西尾市将来人口推計報告書

2026 年（令和８年）３月

西　尾　市

目　　次

序　章　はじめに ····· 1
　１．調査目的 ····· 1
　２．調査内容 ····· 1

第１章　人口に係る社会情勢の整理 ····· 2

第２章　市の人口の動向 ····· 3
　１．市の人口の動向 ····· 3
　（１）市全域の人口動向 ····· 3
　（２）小学校区別の人口動向 ····· 21

第３章　将来人口の推計方法 ····· 34
　（１）推計方法 ····· 34
　（２）推計の概要 ····· 35
　（３）将来推計の仮定値の設定 ····· 35

第４章　将来人口推計の結果 ····· 39
　１．市全域の推計結果 ····· 39
　２．小学校区別の推計結果 ····· 47

第５章　将来課題の整理 ····· 152

序　章　はじめに

１．調査目的

人口減少時代における適正な行政サービスの提供と計画的なまちづくりに資するため、西尾市の最新の人口動態に基づいた将来人口の推計を行います。本推計結果を今後の計画策定等における基礎資料とすることを目的とします。

２．調査内容

①　市全域の人口、世帯数の動態分析

公開されている基礎データを収集整理し、現在までの市全域の人口、世帯数、自然増減（出生・死亡）、社会増減（転出・転入）の推移や傾向を総数、年齢別、男女別、国籍別（日本人・外国人の別）に分析します。

②　小学校区別の人口、世帯数の動態分析

公開されている基礎データを収集整理し、現在までの小学校区別の人口の推移や傾向を分析します。

③　将来人口の推計及び分析

①、②の分析結果等から、本推計における出生率、出生性比、生残率、移動率の仮定値を設定し市全域、小学校区別において、将来人口の推計を行います。

④　将来に対する課題の整理

②の分析結果、③の推計結果をもとに、市の将来に対する課題を整理します。

第１章　人口に係る社会情勢の整理

日本の総人口は、2008 年（平成 20 年）の１億 2,808 万人をピークに減少に転じ、本格的な人口減少社会に突入しました。2020 年（令和２年）の国勢調査では１億 2,615 万人となっており、減少傾向が継続しています。

この人口を年齢３区分別にみると、15 歳未満の年少人口が 1,503 万人、15～64 歳の生産年齢人口が 7,509 万人、65 歳以上の老年人口が 3,603 万人となっています。2015 年（平成 27 年）と比較すると、年少人口の比率は 12.6%から 11.9%へ、生産年齢人口の比率は 60.7%から 59.5%へとそれぞれ低下しました。一方で、老年人口の比率は 26.6%から 28.6%に上昇しており、少子高齢化が進行していることがうかがえます。

2024 年（令和６年）10 月１日時点の推計人口では、日本の人口は１億 2,380 万人となっています。この推計人口を年齢３区分別でみると、年少人口が 1,383 万人（11.2%）、生産年齢人口が 7,372 万人（59.6%）、老年人口が 3,624 万人（29.3%）となっています。全国的には総人口の減少が継続していることに加え、老年人口の割合が約３割に達するなど、人口構成は大きく変容しています、今後も人口減少と高齢化が進むことで、地域社会や経済構造への影響は一層深刻化することが予測されます。

一方、愛知県の人口は 2010 年（平成 22 年）以降も増加しており、2020 年（令和２年）で 754 万人となっています。年齢３区分別にみると、年少人口が 98 万人、生産年齢人口が 465 万人、老年人口が 191 万人となっています。2015 年（平成 27 年）と比較すると、15 歳未満人口の比率は 13.7%から 13.0%へ、生産年齢人口の比率は 62.5%から 61.7%へとそれぞれ低下していますが、老年人口の比率は 23.8%から 25.3%に上昇しており、全国的な人口動向と同様に、少子高齢化が進行していることがうかがえます。

2024 年（令和６年）10 月１日時点の推計人口では、愛知県の総人口は 746 万人となっており、2020 年（令和２年）以降、減少傾向が継続しています。この推計人口を年齢３区分別でみると、年少人口が 90 万人（12.2%）、生産年齢人口が 462 万人（62.0%）、老年人口が 192 万人（25.8%）となっています。愛知県においても、全国の人口動向に比べれば年少人口や生産年齢人口の割合が高いものの、少子高齢化などの人口構造の変化は着実に進んでいます。

第2章　市の人口の動向

１．市の人口の動向

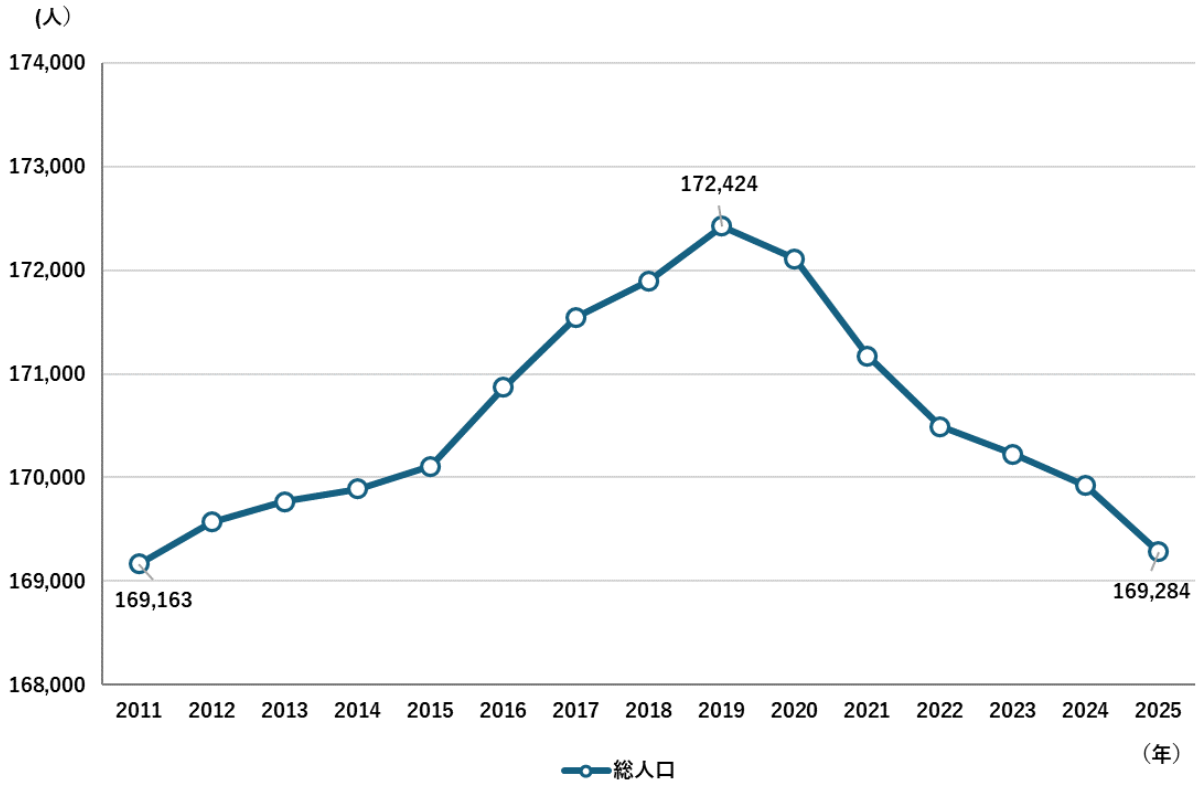
（１）市全域の人口動向

①人口の推移

本市の総人口は、１市３町の合併（一色町、吉良町、幡豆町との合併）により現在の市域となった 2011 年（平成 23 年）の 169,163 人を基準として、その後は堅調な増加傾向が続き、2019 年（令和元年）には 172,424 人とピークを迎えました。

しかし、2020 年（令和２年）からは減少に転じており、特に 2021 年（令和３年）には前年から約 1,000 人の大幅な減少がみられました。以降も減少傾向は継続し、2025 年（令和７年）には 169,284 人と、2011 年（平成 23 年）の人口とほぼ同水準まで減少しています。

図　市全域の人口推移



資料：住民基本台帳（各年４月１日現在）

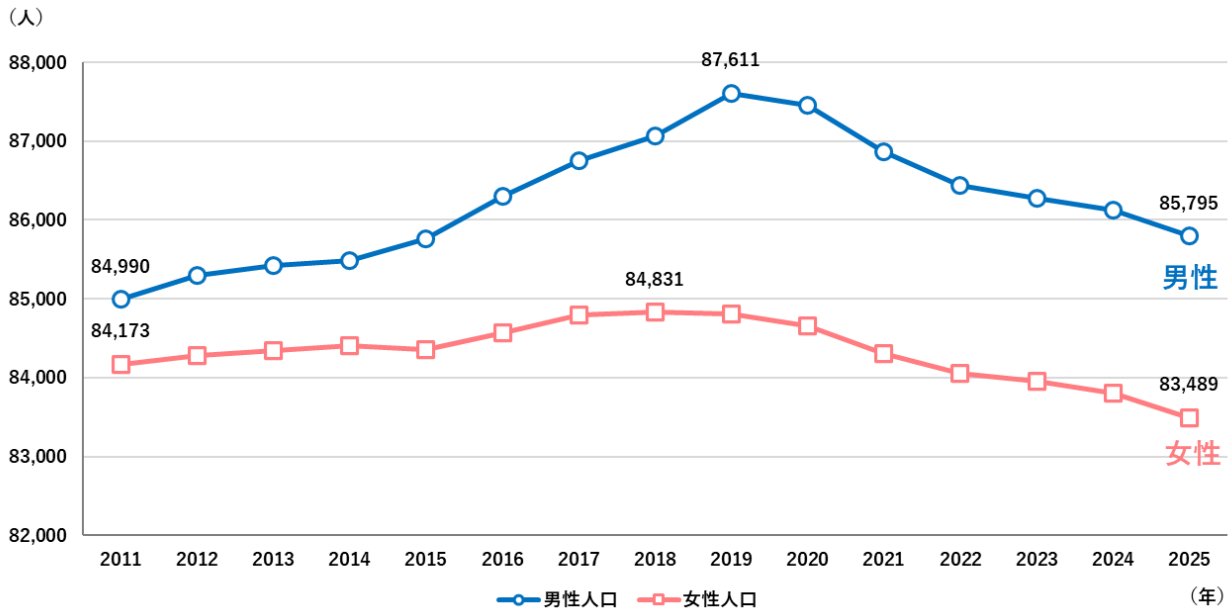
②男女別の人口の推移

男女別の人口推移をみると、男性人口は 2011 年（平成 23 年）の 84,990 人から増加が続き、2019 年（令和元年）に 87,611 人でピークを迎えました。その後は減少に転じ、2025 年（令和 7 年）には 85,795 人となっています。2011 年（平成 23 年）と 2025 年（令和 7 年）を比較すると、約 800 人の増加となっています。

女性人口は 2011 年（平成 23 年）の 84,173 人から緩やかに増加し、2018 年（平成 30 年）の 84,831 人をピークに減少へと転じています。2025 年（令和 7 年）には 83,489 人となっており、2011 年（平成 23 年）と比較して約 700 人の減少となっています。

期間全体の推移を比較すると、男性人口は女性人口を常に上回って推移していますが、増減の幅は男性の方が大きくなっています。また、女性人口が 2018 年（平成 30 年）にピークを迎え、2025 年（令和 7 年）時点で 2011 年（平成 23 年）の数値を下回っているのに対し、男性人口は 1 年遅い 2019 年（令和元年）にピークを迎え、2025 年（令和 7 年）時点でも 2011 年（平成 23 年）の数値を上回っています。

図　男女別の人口推移



資料：住民基本台帳（各年４月１日現在）

③年齢３区分別の人口の推移

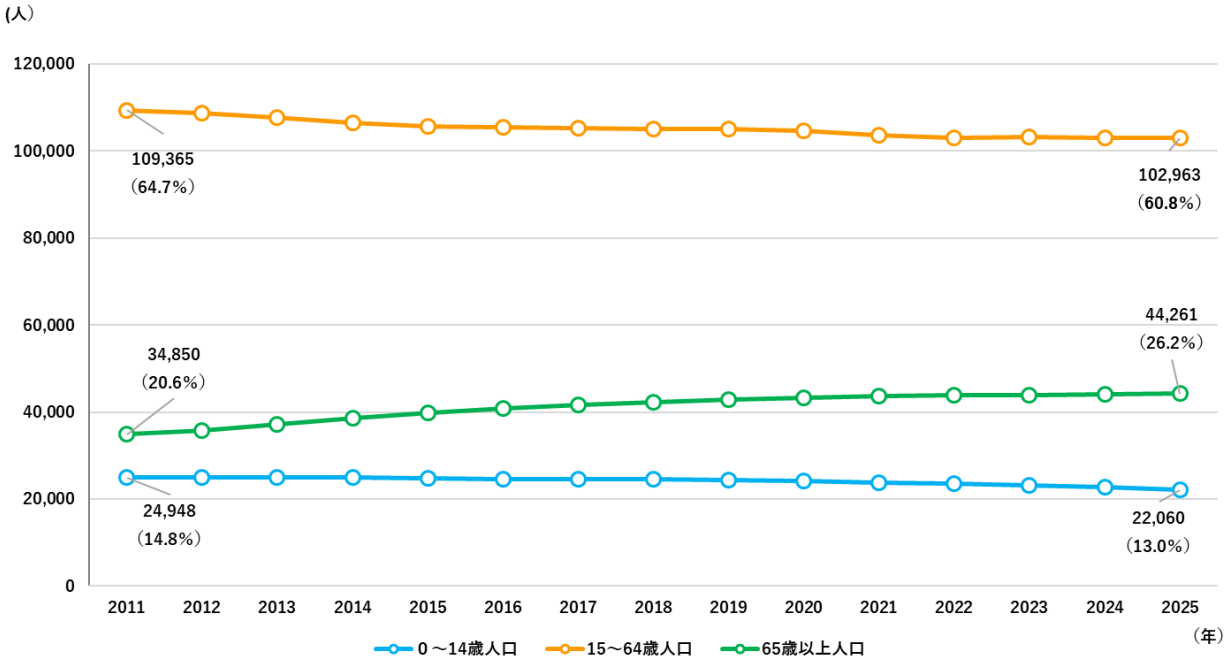
年齢３区分（年少人口、生産年齢人口、老年人口）の構成比の推移をみると、2011年（平成23年）から2025年（令和７年）にかけて、それぞれの区分で顕著な変化がみられます。

15歳未満の年少人口の割合をみると、2011年（平成23年）時点の14.8%から低下が続いており、2025年（令和７年）には13.0%となっています。期間全体では、1.8%低下しています。

15歳から64歳の生産年齢人口は、2011年（平成23年）の64.7%から低下が続いており、2025年（令和７年）には60.8%となっています。期間全体では3.9%低下しています。

一方で、65歳以上の老年人口は、2011年（平成23年）の20.6%から上昇が続いており、2025年（令和７年）には26.2%となっています。期間全体では5.6%上昇しています。

図　年齢３区分別の人口推移



資料：住民基本台帳（各年４月１日現在）

④５歳階級別人口

2011 年（平成 23 年）と 2025 年（令和７年）の５歳階級別人口を比較すると、本市の人口構造は明確に変化しています。

2011 年（平成 23 年）に 30 歳代後半から 40 歳代前半、および 60 歳代前半にあった人口の大きな塊は、2025 年（令和７年）にはそのまま高年齢層へと移行しました。その結果、2025 年（令和７年）時点では 50 歳代前半が最大のボリュームゾーンとなり、次いで 70 歳代前半の層が厚くなっています。

ピラミッドの土台となる若年層（０～14 歳）は、2011 年（平成 23 年）時点でもすでに縮小傾向にありましたが、2025 年（令和７年）にはさらにその幅が狭まっています。特に最下部の０～４歳層の縮小が顕著であり、少子化が一段と加速している状況が形状から読み取れます。

いずれの年においても、若年層から生産年齢層にかけては男性が女性を上回る一方で、75 歳以上の後期高齢者層では女性が男性を大きく上回るという構造は共通していますが、2025 年（令和７年）では高齢層全体の厚みが増したことで、この男女の差がより高い年齢層で顕著に現れるようになりました。

全体としては、2011 年（平成 23 年）の「つぼ型」に近い形状から、2025 年（令和７年）にはさらに上部が膨らみ下部が一段と細くなった「逆ピラミッド型」に近い形状へと移行しており、少子高齢化の進行が数値と形状の両面で明確に示されています。

図　年齢５歳階級別の人口（2011 年）

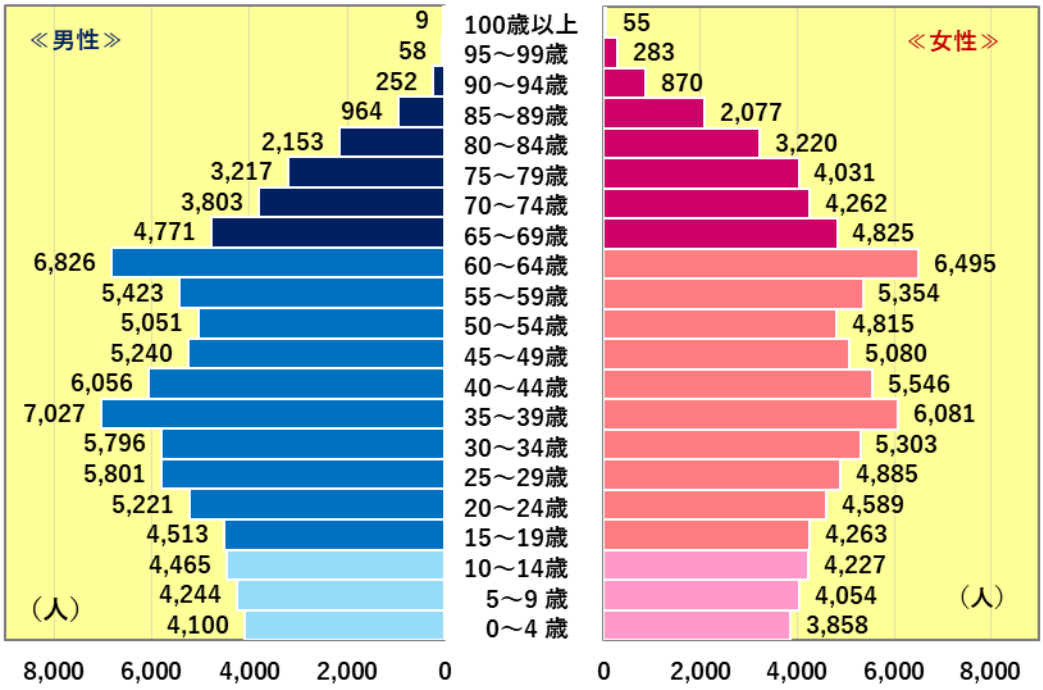
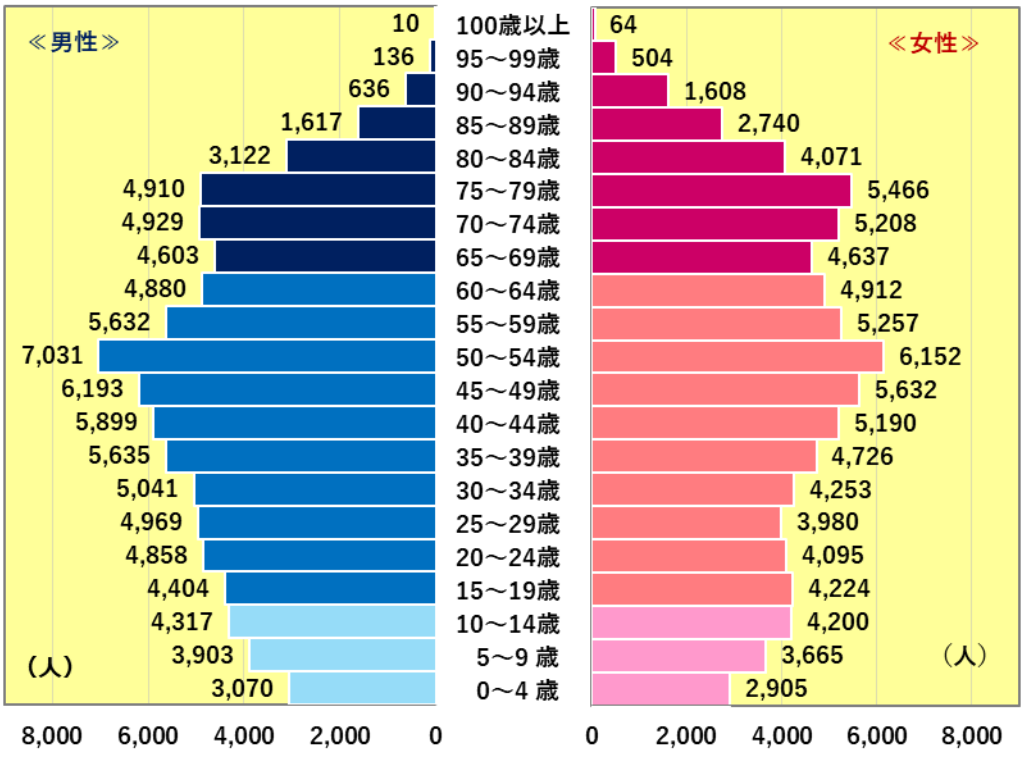


図　年齢５歳階級別の人口（2025 年）



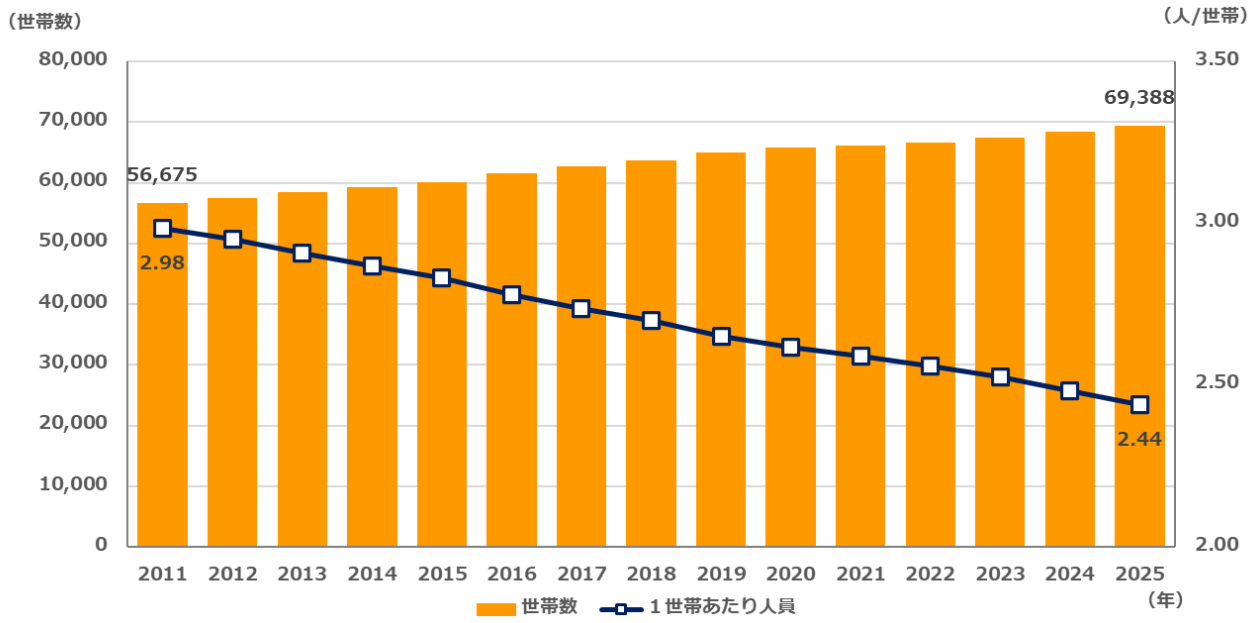
資料：住民基本台帳（各年４月１日現在）

⑤世帯数の推移

本市の世帯数は、2011 年（平成 23 年）の 56,675 世帯から一貫して増加が続いており、総人口が減少局面に入った 2020 年（令和２年）以降もその傾向に変化はみられません。2025 年（令和７年）には 69,388 世帯となり、2011 年（平成 23 年）と比較すると、約 12,700 世帯（約 22.4%）増加しています。

一方で、１世帯あたりの平均人員は、2011 年（平成 23 年）の 2.98 人から減少が続いており、2025 年には 2.44 人まで減少しています。

図　世帯数・１世帯あたり人員



資料：住民基本台帳（各年４月１日現在）

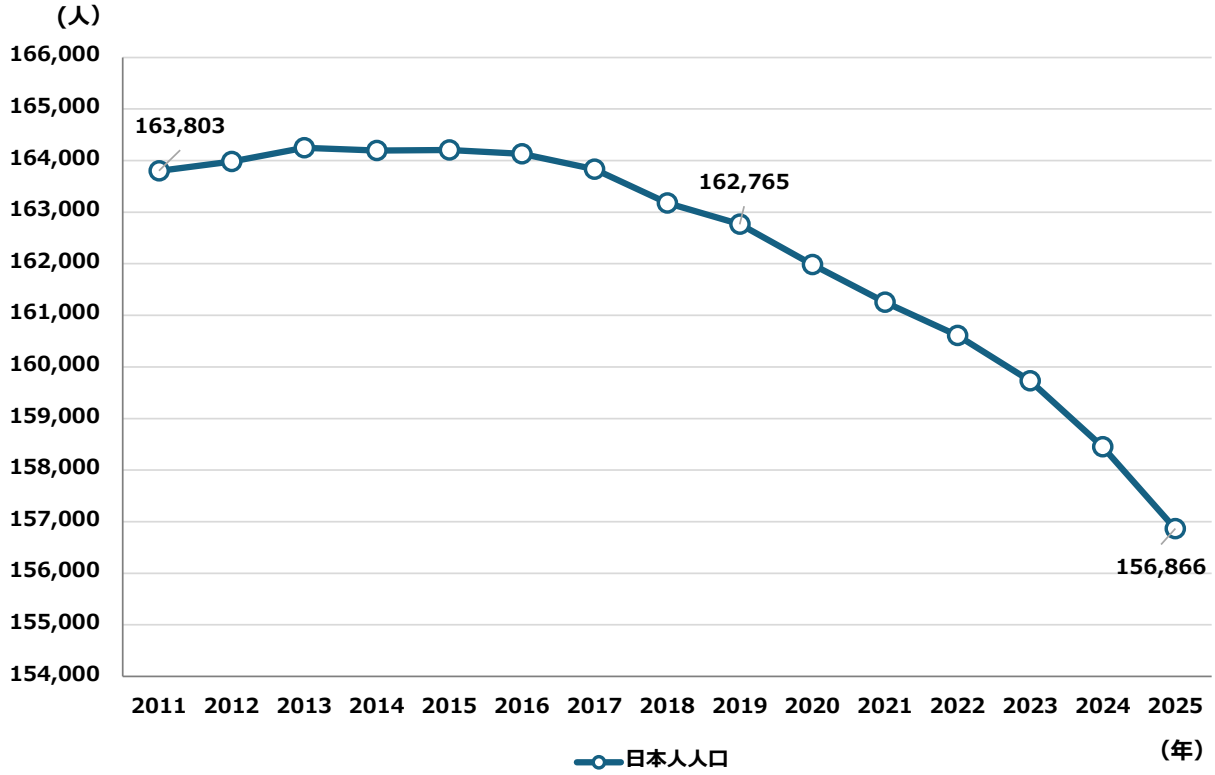
⑥日本人の人口の推移

本市の日本人人口の推移をみると、2011 年（平成 23 年）の 163,803 人から 2013 年（平成 25 年）までは微増傾向にありましたが、2014 年（平成 26 年）を境に減少へと転じています。

総人口のピークが 2019 年（令和元年）であったのに対し、日本人人口はその５年前から減少が始まっています。特に 2018 年（平成 30 年）以降は減少幅が加速しており、2025 年（令和７年）には 156,866 人まで減少しました。

期間全体の推移をみると、2011 年（平成 23 年）から 2025 年（令和７年）までで 6,937 人（約 4.2%）の減少となっています。総人口が 2011 年（平成 23 年）とほぼ同水準を維持している一方で、日本人人口のみでは約 7,000 人規模の減少が生じています。

図　日本人の人口推移



資料：住民基本台帳（各年４月１日現在）

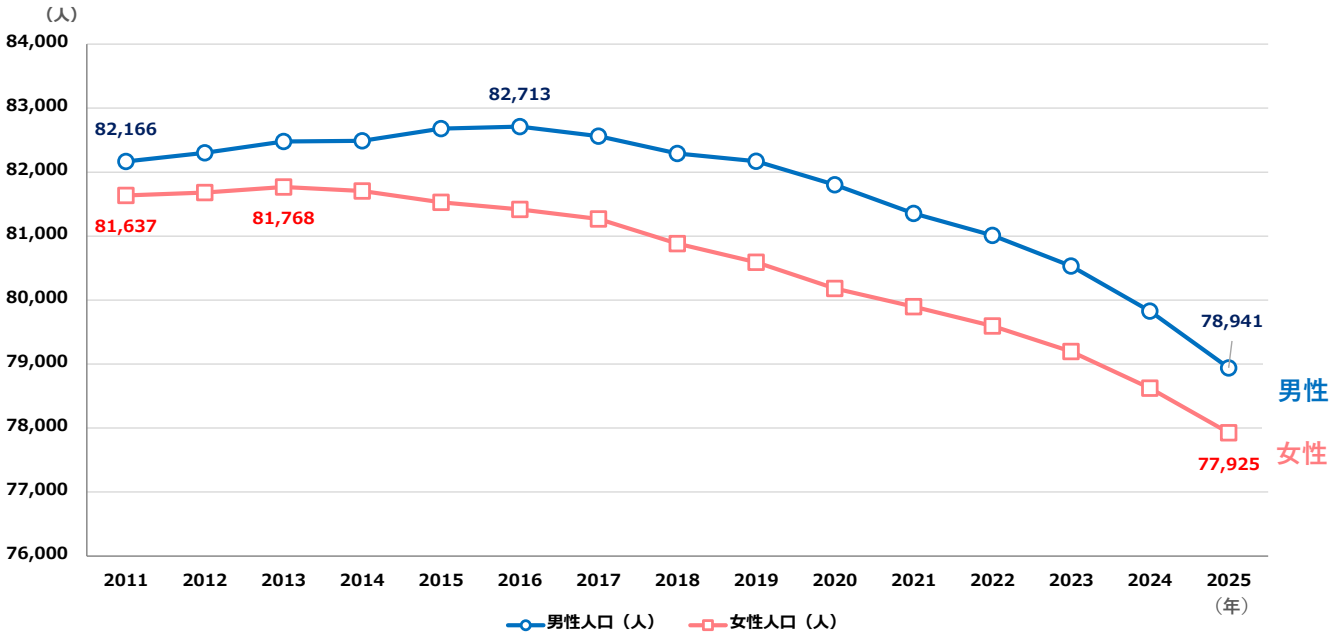
⑦日本人の男女別の人口の推移

男性の日本人人口は、2011 年（平成 23 年）の 82,166 人から微増を続け、2016 年（平成 28 年）の 82,713 人でピークを迎えました。その後は減少に転じ、2025 年（令和 7 年）には 78,941 人となっています。2011 年（平成 23 年）と比較すると、3,225 人の減少となりました。

一方、女性の日本人人口は、2013 年（平成 25 年）の 81,768 人をピークに減少へと転じています。2011 年（平成 23 年）の 81,637 人と 2025 年（令和 7 年）の 77,925 人を比較すると、3,712 人の減少となっています。

男女別の推移を比較すると、女性人口は男性人口よりも 3 年早くピークを迎え、減少局面に入っています。また、期間全体を通じた減少幅も女性の方が大きく、男性人口が 2019 年（令和元年）まで 2011 年（平成 23 年）当時の水準を上回っていたのに対し、女性人口は 2014 年（平成 26 年）にはすでに 2011 年（平成 23 年）の水準を下回るなど、減少の進行がより早い傾向が表れています。

図　日本人の男女別の人口推移



資料：住民基本台帳（各年４月１日現在）

⑧日本人の出生数、死亡数、自然増減数の推移

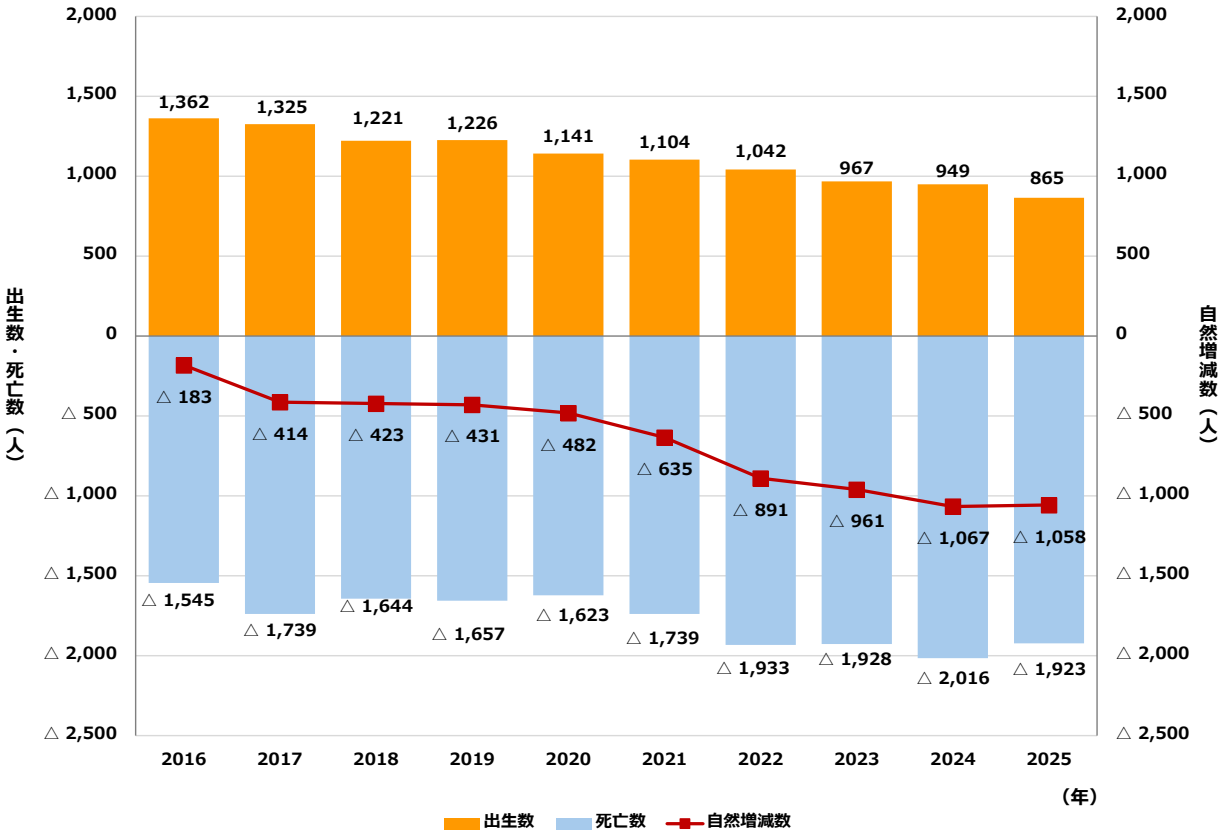
過去 10 年間(2016 年から 2025 年まで)の日本人における自然増減の推移をみると、死亡数が出生数を上回る自然減の状態が一貫して続いており、その減少幅は拡大傾向にあります。

出生数は、2016 年（平成 28 年）の 1,362 人から減少が続いており、2025 年（令和 7 年）には 865 人となりました。この 10 年間で出生数は 497 人減少し、2025 年（令和 7 年）時点では 2016 年（平成 28 年）と比較して約 6 割の水準まで低下しています。

一方で、死亡数は 2016 年（平成 28 年）の 1,545 人から、年ごとの変動はあるものの概ね増加傾向で推移しています。2024 年（令和 6 年）には 2,016 人と期間中で最多を記録し、2025 年（令和 7 年）も 1,923 人と高い水準にあります。

これらの結果、出生数から死亡数を差し引いた自然増減数は、2016 年（平成 28 年）のマイナス 183 人から、2024 年（令和 6 年）にはマイナス 1,067 人と、初めて 1,000 人を超える減少幅となりました。2025 年（令和 7 年）もマイナス 1,058 人となっており、近年の出生数の減少と死亡数の高止まりにより、日本人人口の自然減が加速しています。

図　日本人の出生数、死亡数、自然増減数の推移



資料：愛知県人口動向調査　各年　前年 10 月 1 日～当年 9 月 30 日

⑨日本人の転入数、転出数、社会増減数の推移

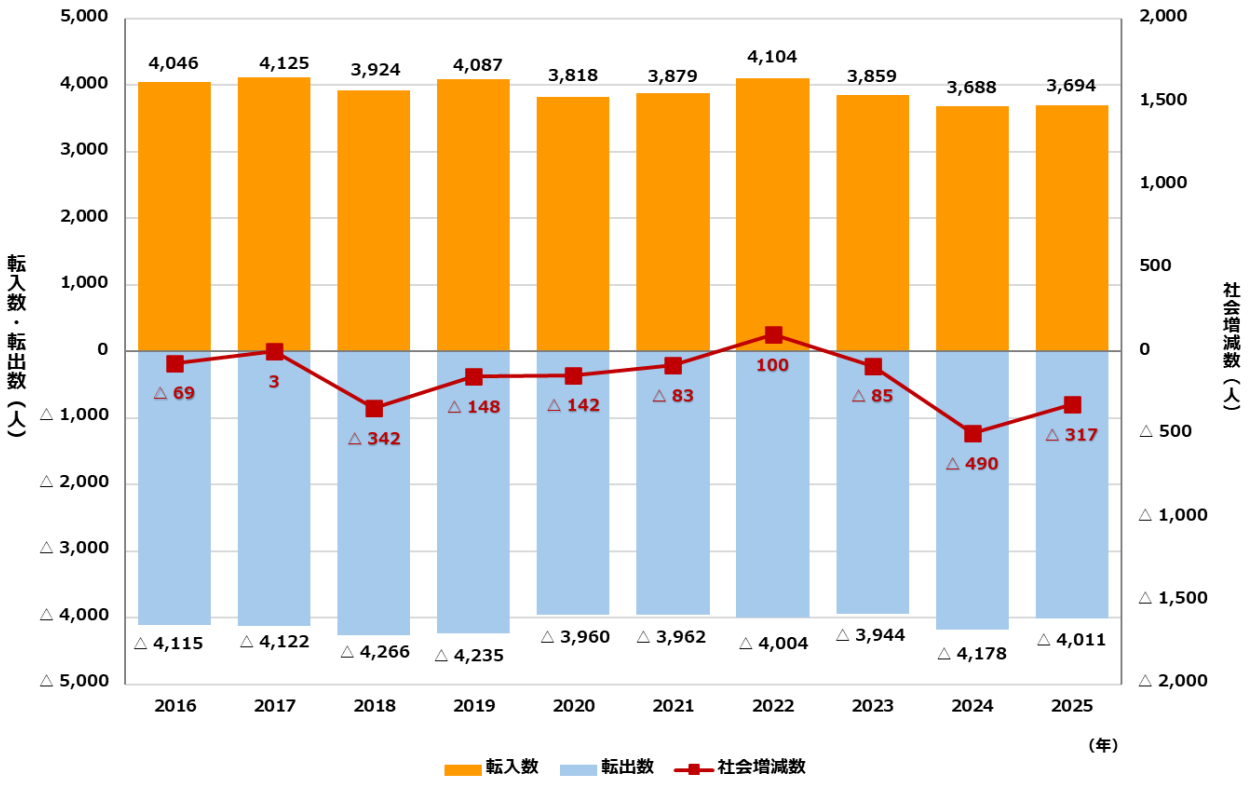
過去 10 年間(2016 年から 2025 年まで)の日本人における社会増減の推移をみると、2022 年（令和４年）の一時期を除き、転出数が転入数を上回る転出超過（社会減）の状態が続いています。

転入数は、2017 年（平成 29 年）の 4,125 人をピークに、概ね 3,000 人台後半から 4,000 人台前半で推移しています。2025 年（令和７年）には 3,694 人となり、2016 年（平成 28 年）の 4,046 人と比較して 352 人の減少となりました。

一方で転出数は、期間を通じて 4,000 人前後で推移しています。2024 年（令和６年）には 4,178 人と期間中で最多を記録し、2025 年（令和７年）も 4,011 人と転入数を上回る水準にあります。

これらの結果、転入数から転出数を差し引いた社会増減数は、2022 年（令和４年）に 100 人の転入超過（社会増）を記録したほかは、すべてマイナスで推移しています。特に 2024 年（令和６年）はマイナス 490 人と最大の減少幅となりました。2025 年（令和７年）もマイナス 317 人となっており、自然増減と比較すると変動幅は小さいものの、日本人人口を減少させる要因の一つとして継続的に推移しています。

図　日本人の転入数、転出数、社会増減数の推移



資料：愛知県人口動向調査　各年　前年 10 月１日～当年９月 30 日

⑩－１　2018 年の日本人における男女別・年齢別転入数、転出数、社会増減数

2018 年（平成 30 年）における日本人の年齢別社会増減をみると、男女ともに若年層の大幅な転出超過（社会減）が全体を押し下げています。

男性の状況をみると、25 歳から 29 歳の層において転入 420 人に対し、転出が 568 人と、148 人の大幅な社会減となっています。次いで、20 歳から 24 歳の層では 75 人の社会減、30 歳から 34 歳の層では 42 人の社会減となっています。一方で、０歳から４歳の層では 29 人、15 歳から 19 歳の層では 13 人の社会増がみられます。

女性の状況においても、20 歳から 24 歳の層で 170 人、25 歳から 29 歳の層で 97 人と、若年層における顕著な社会減が確認できます。特に女性の 20 歳から 24 歳の層では、転入 218 人に対し、転出が 388 人と全年齢層・男女を通じて最大の減少幅となっています。一方、０歳から４歳の層では 40 人、30 歳から 34 歳の層では５人の社会増がみられます。

図　2018 年【日本人男性】年齢別転入・転出・社会増減

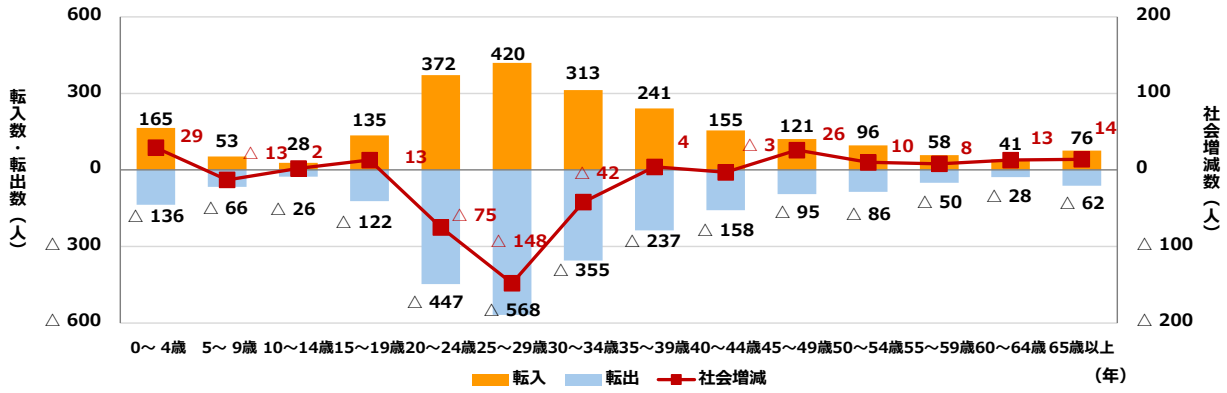
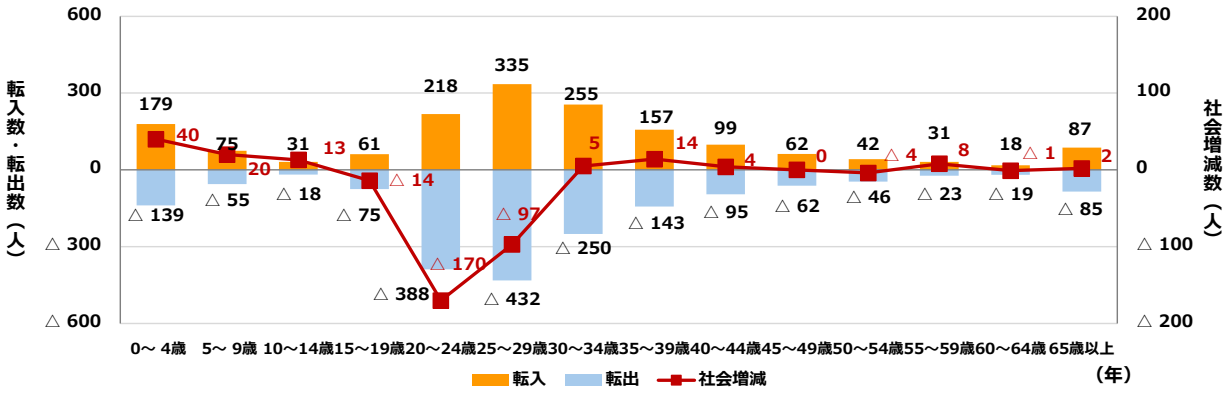


図　2018 年【日本人女性】年齢別転入・転出・社会増減



資料：愛知県人口動向調査　2017 年 10 月１日～2018 年９月 30 日

⑩−２　2022 年の日本人における男女別・年齢別転入数、転出数、社会増減数

過去 10 年間で唯一、日本人の社会増減がプラス（100 人の転入超過）となった 2022 年（令和４年）の年齢別社会増減をみると、若年層の流出が抑制される一方で、子育て世代とその子ども世代にあたる層の転入超過が全体を押し上げています。

男性の状況をみると、20 歳から 24 歳の層で 94 人の転出超過、25 歳から 29 歳の層で 74 人の転出超過がみられるものの、2024 年（令和６年）と比較するとその規模は小さくなっています。一方で、30 歳から 34 歳の層で 40 人、35 歳から 39 歳の層で 23 人の転入超過となっており、０歳から４歳の層でも 44 人の転入超過がみられます。

女性の状況においては、20 歳から 24 歳の層で 116 人の転出超過になっているものの、25 歳から 29 歳の層では４人の転出超過にとどまっています。さらに、30 歳から 34 歳の層で 71 人、35 歳から 39 歳の層で 23 人と、30 歳代の転入超過が顕著です。これに伴い、０歳から４歳の層でも 55 人の転入超過となっています。

図　2022 年【日本人男性】年齢別転入・転出・社会増減

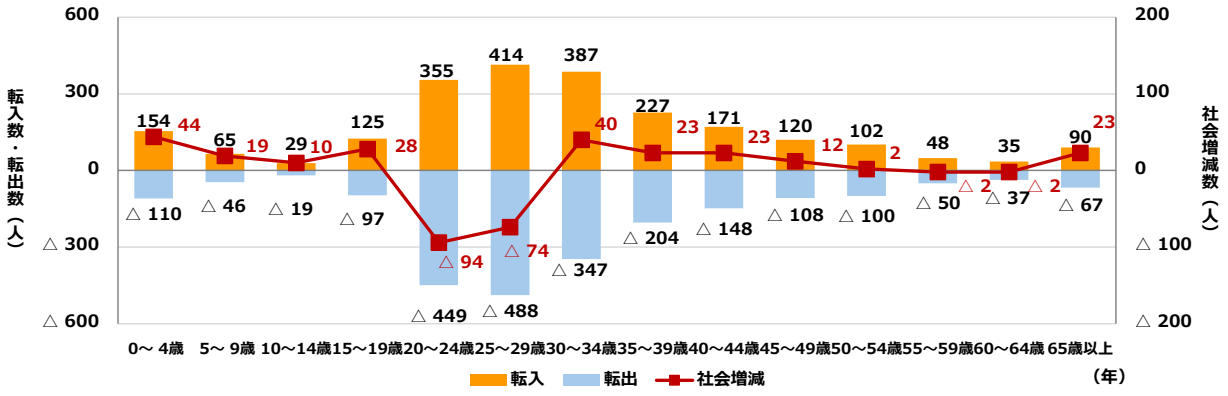
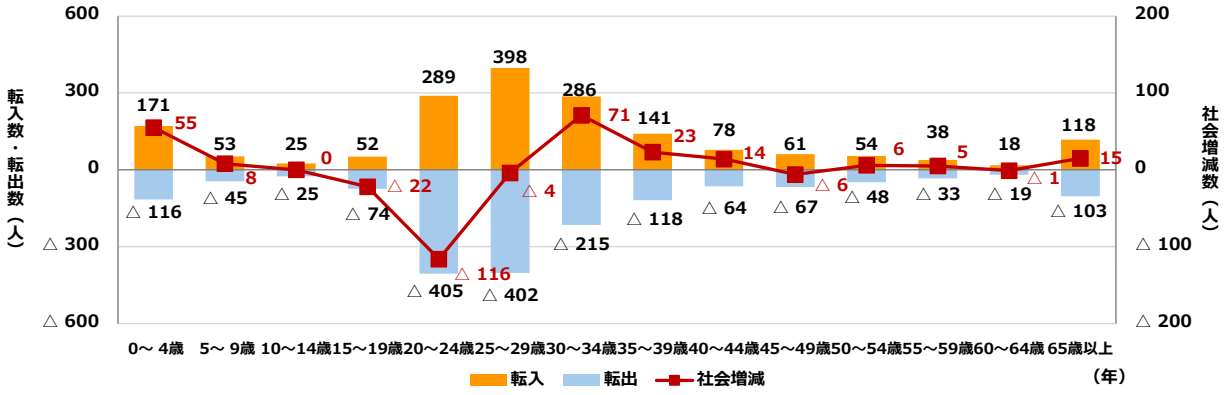


図　2022 年【日本人女性】年齢別転入・転出・社会増減



資料：愛知県人口動向調査　2021 年 10 月１日～2022 年９月 30 日

⑩−３　2024 年の日本人における男女別・年齢別転入数、転出数、社会増減数

2024 年（令和６年）における日本人の年齢別社会増減をみると、男女ともに若年層から 30 歳代にかけて転出超過（社会減）が目立つ状況となっています。

男性の状況をみると、20 歳～24 歳の層において転入 345 人に対し、転出が 519 人と、174 人の大幅な社会減となっており、全年齢層で最大の減少幅を記録しています。次いで 25 歳～29 歳の層でも 108 人の社会減となっており、若年層の流出が続いています。なお、０歳～４歳の層では 25 人の社会増がみられるものの、親世代に近い年齢層での大きな増加には至っていません。

女性の状況においても、20 歳～24 歳の層で 95 人、25 歳～29 歳の層で 80 人の転出超過となっています。男性と同様に、進学や就職を機とした若年層の流出傾向が顕著に表れています。０歳～４歳の層では 18 人の社会増がみられますが、男性と同様に限定的な動きにとどまっています。

特筆すべきは 30 歳代の動向です。2024 年（令和６年）の特徴として、これまで社会増を維持してきた 30 歳代において、男女ともに社会増減がマイナス（転出超過）に転じています。

図　2024 年【日本人男性】年齢別転入・転出・社会増減

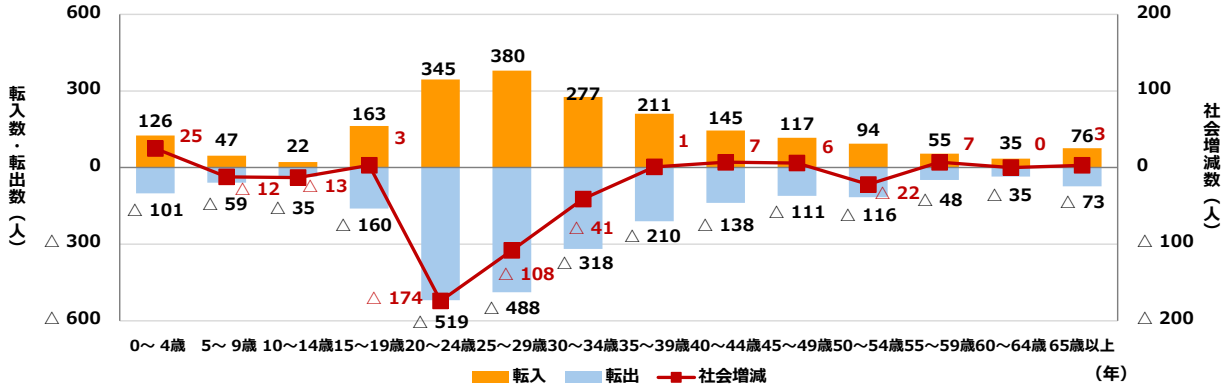
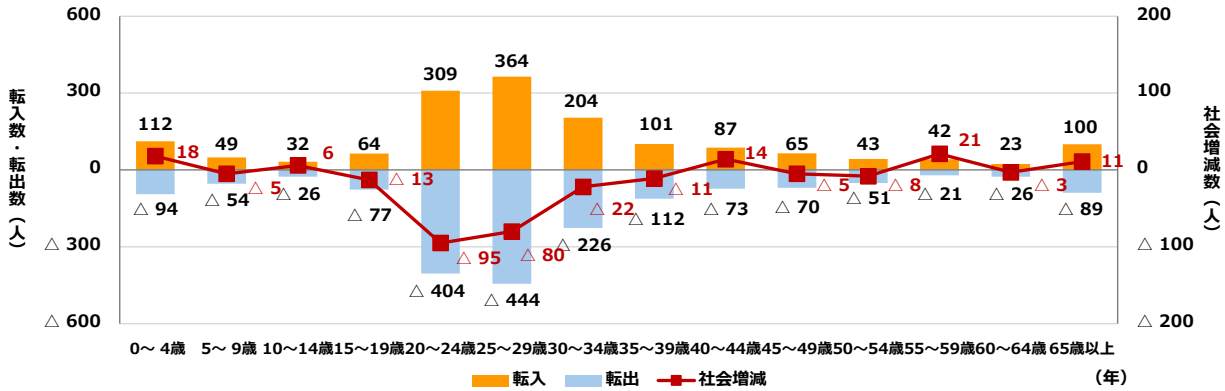


図　2024 年【日本人女性】年齢別転入・転出・社会増減



資料：愛知県人口動向調査　2023 年 10 月１日～2024 年９月 30 日

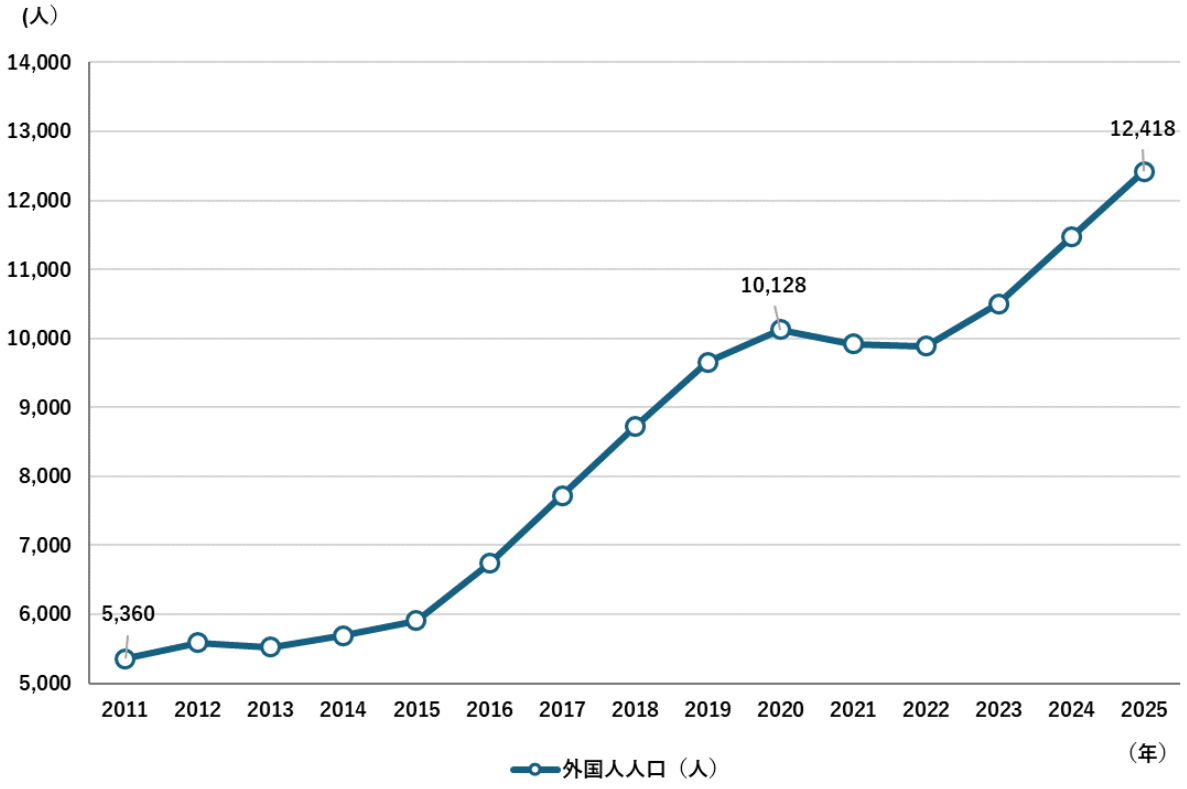
⑪外国人の人口の推移

本市の外国人人口の推移をみると、2011 年（平成 23 年）から 2025 年（令和 7 年）にかけて大幅な増加傾向にあります。

2011 年（平成 23 年）時点では 5,360 人であった外国人人口は、2013 年（平成 25 年）に一度微減したものの、2014 年（平成 26 年）以降は一転して増加に転じました。2020 年（令和２年）に 10,128 人と初めて１万人を超え、その後 2021 年（令和３年）から 2022 年（令和４年）にかけては横ばいで推移したものの、2023 年（令和５年）から再び増加が加速しています。2025 年（令和 7 年）には 12,418 人に達し、2011 年（平成 23 年）と比較すると、約 2.3 倍（7,058 人の増）に拡大しています。

年間の増減数に注目すると、2016 年（平成 28 年）から 2019 年（令和元年）にかけては毎年 800 人から 1,000 人規模の極めて多い増加となっています。2021 年（令和３年）から 2022 年（令和４年）にかけてはわずかな減少がみられたものの、2023 年（令和５年）以降は再び毎年約 600 人から 1,000 人規模の増加に転じています。

図　外国人の人口推移



資料：住民基本台帳（各年４月１日現在）

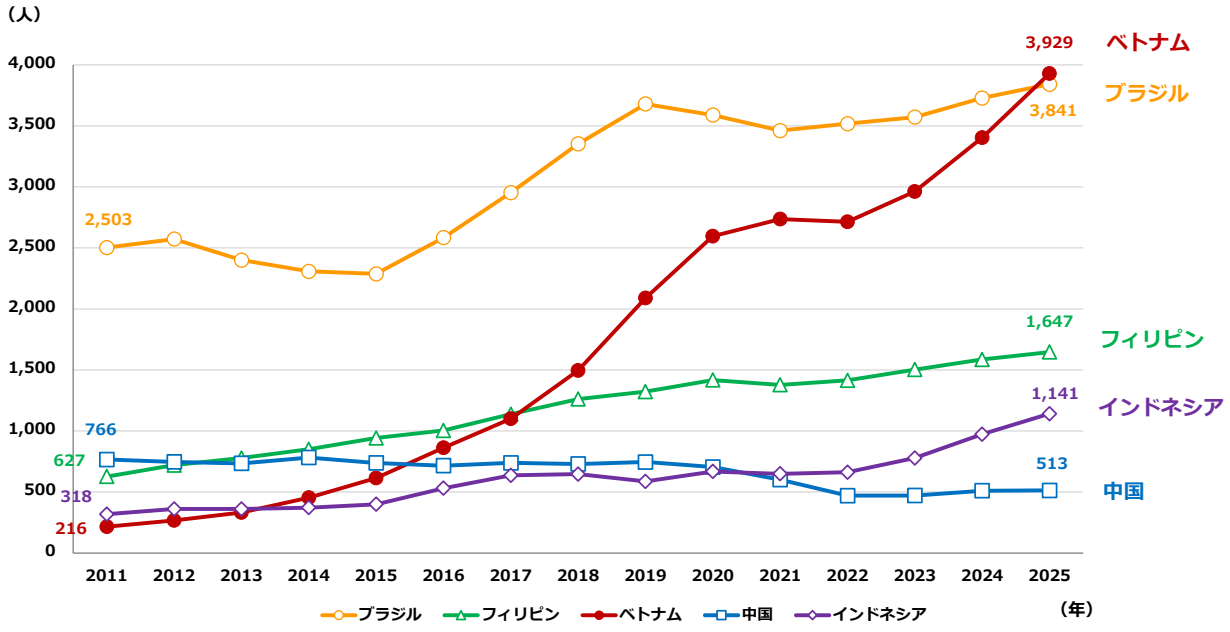
⑫国籍別外国人人口の推移

本市の外国人人口を国籍別にみると、2011 年（平成 23 年）の構成と 2025 年（令和 7 年）の構成において、最も顕著な変化を示しているのはベトナム国籍です。2011 年（平成 23 年）時点では 216 人でしたが、2014 年（平成 26 年）以降に急激な増加に転じました。その後も極めて高い伸び率を維持し続け、2025 年（令和 7 年）には 3,929 人に達しており、外国人人口において最大の人口規模となっています。

次いで多くの人口を占めるのがブラジル国籍です。長年、最多の外国人国籍として推移しており、2011 年（平成 23 年）の 2,503 人から、一時期の減少を経て 2015 年（平成 27 年）以降は再び増加傾向にあります。2025 年（令和 7 年）時点では 3,841 人となっており、ベトナム国籍と並ぶ人口規模となっています。

その他の国籍では、フィリピン国籍（1,647 人）やインドネシア国籍（1,141 人）が増加をみせている一方で、2011 年（平成 23 年）当時はブラジルに次ぐ人口規模であった中国国籍（513 人）は近年減少傾向にあります。

図　国籍別外国人市民の推移



資料：住民基本台帳（各年４月１日現在）

⑬外国人の出生数、死亡数、自然増減数の推移

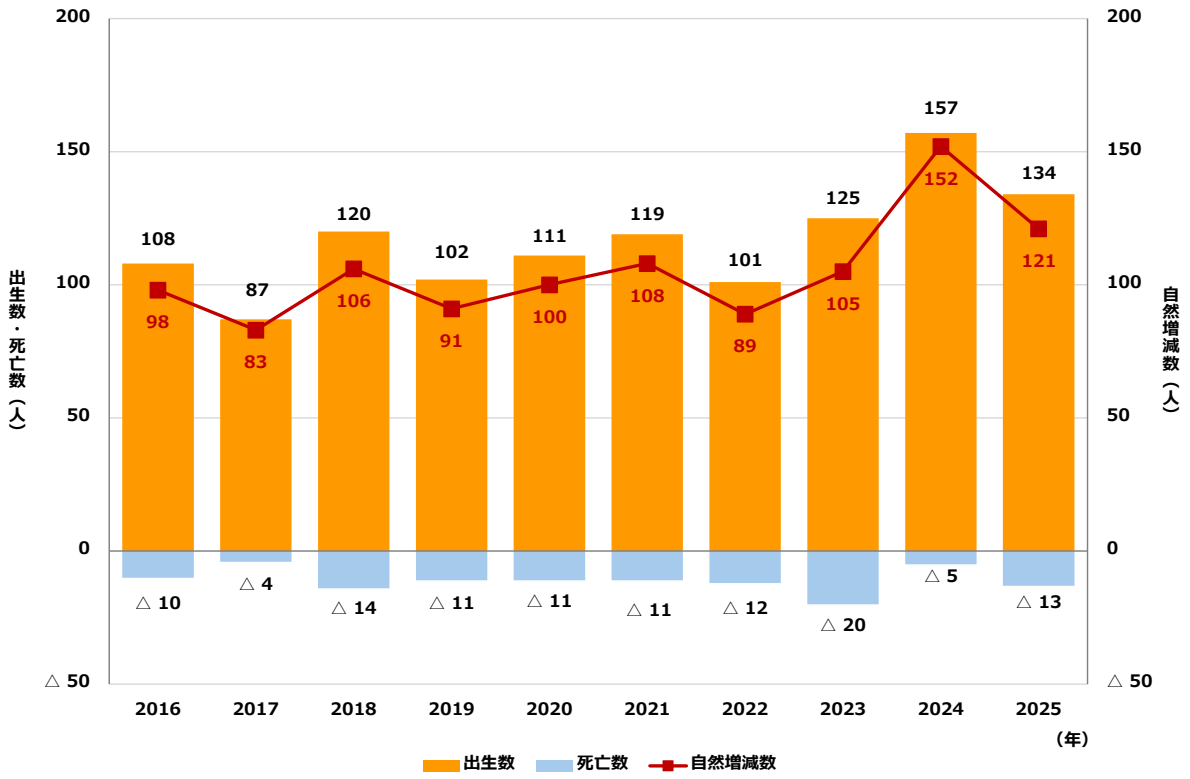
過去 10 年間(2016 年から 2025 年まで)の外国人における自然増減の推移をみると、日本人とは対照的に、期間を通じて出生数が死亡数を大きく上回る自然増の状態が継続しています。

出生数は、2016 年（平成 28 年）の 108 人から、年による変動はあるものの概ね増加傾向にあります。特に 2024 年（令和 6 年）には 157 人と期間中で最多を記録し、2025 年（令和 7 年）も 134 人と高い水準を維持しています。2016 年（平成 28 年）と比較すると、出生数は約 24%増加しています。

一方で、死亡数は極めて少ない人数で推移しており、期間を通じて年間 4 人から 20 人の範囲に留まっています。2025 年（令和 7 年）の死亡数は 13 人であり、若年層の多い外国人の年齢構造を反映した結果となっています。

これらの結果、出生数から死亡数を差し引いた自然増減数は、期間中すべてプラス（自然増）で推移しています。2024 年（令和 6 年）にはプラス 152 人の最大の増加幅を記録し、2025 年（令和 7 年）もプラス 121 人の自然増となりました。日本人における深刻な自然減を、外国人の自然増が一定程度下支えしている状況となっています。

図　外国人の出生数、死亡数、自然増減数の推移



資料：愛知県人口動向調査　各年　前年 10 月 1 日～当年 9 月 30 日

⑭外国人の転入数、転出数、社会増減数の推移

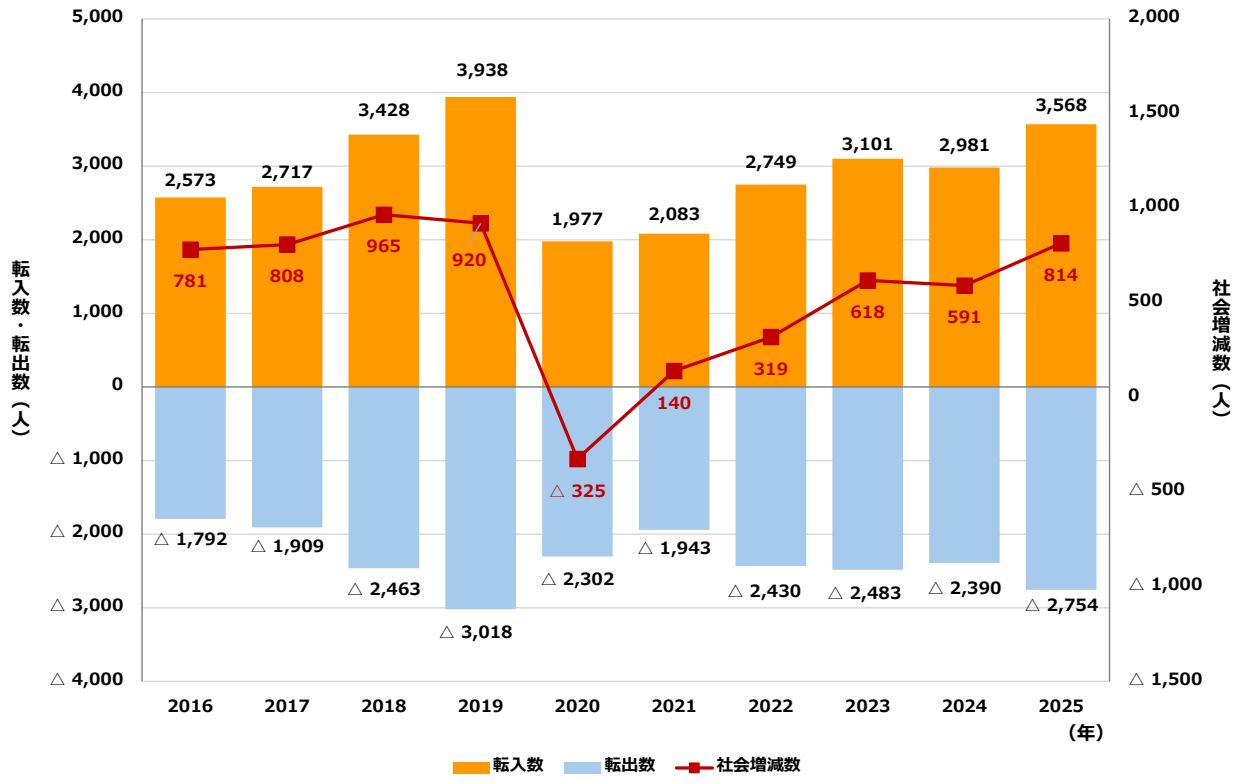
過去 10 年間(2016 年から 2025 年まで)の外国人における社会増減の推移をみると、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた 2020 年（令和２年）の一時期を除き、一貫して転入数が転出数を上回る転入超過（社会増）の状態が続いています。

転入数は、2016 年（平成 28 年）の 2,573 人から増加傾向をたどり、2019 年（令和元年）には 3,938 人と高い水準を記録しました。2020 年（令和２年）には 1,977 人まで急減しましたが、その後は再び増加に転じ、2025 年（令和７年）には 3,568 人まで回復しています。

一方で転出数についても、2019 年（令和元年）の 3,018 人をピークに、概ね 2,000 人台前後で推移しています。2025 年（令和７年）は 2,754 人となっており、活発な人口移動が行われていることが分かります。

これらの結果、社会増減数は、2020 年（令和２年）にマイナス 325 人の転出超過（社会減）を記録したほかは、すべての年でプラス（社会増）を維持しています。特に 2018 年（平成 30 年）は 965 人、2019 年（令和元年）は 920 人と、年間約 1,000 人規模の転入超過となっており、2025 年（令和７年）においても 814 人の社会増となっています。

図　外国人の転入数、転出数、社会増減数の推移



資料：愛知県人口動向調査　各年　前年 10 月１日～当年９月 30 日

⑮2024 年の外国人における男女別・年齢別転入数、転出数、社会増減数

2024 年（令和６年）における外国人の年齢別社会増減をみると、男女ともに 20 歳代を中心とした若年層において、極めて活発な転入超過（社会増）がみられます。

男性の状況をみると、20 歳から 24 歳の層において転入 407 人に対し、転出が 272 人と、135 人の大幅な社会増となっています。次いで 25 歳から 29 歳の層でも 43 人の社会増となっており、この 20 歳代の２つの層で男性全体の社会増の大部分を占めています。また、30 歳から 34 歳の層においても 31 人の社会増となるなど、生産年齢人口の若年層における流入が顕著となっています。

女性の状況においても、20 歳から 24 歳の層で 106 人、25 歳から 29 歳の層で 21 人と、20 歳代における社会増が確認できます。男性と比較すると 20 歳代後半の増加幅は緩やかですが、20 歳から 24 歳の層では、転入 250 人に対し、転出が 144 人と、女性の全年齢層の中で最大の増加幅となっています。また、15 歳から 19 歳の層（68 人増）においても、男性（57 人増）を上回る流入がみられます。

図　2024 年【外国人男性】年齢別転入・転出・社会増減

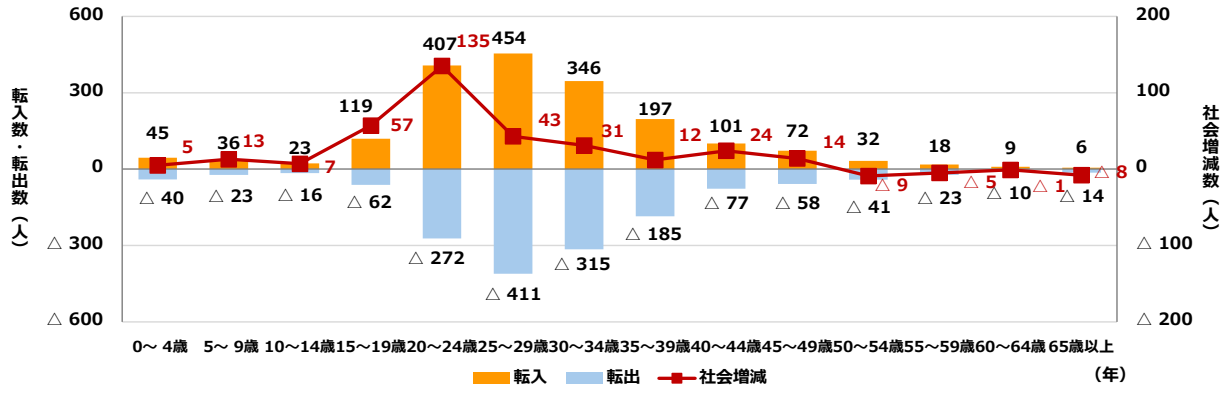
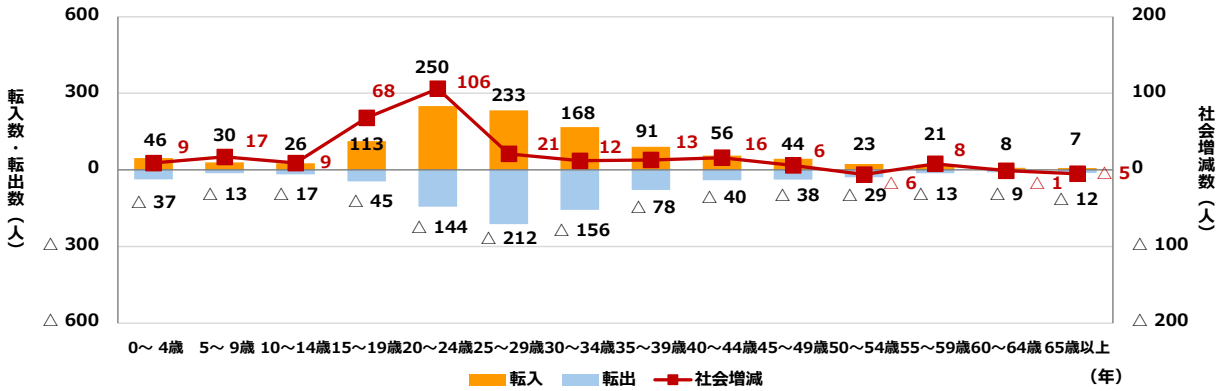


図　2024 年【外国人女性】年齢別転入・転出・社会増減

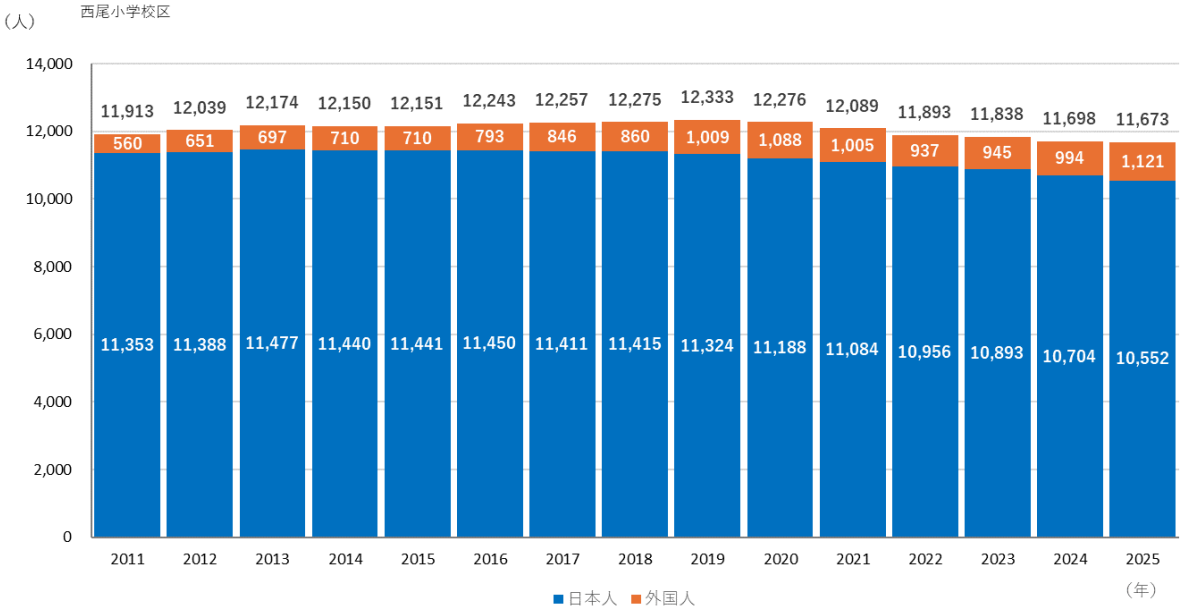


資料：愛知県人口動向調査　各年　前年 10 月１日～当年９月 30 日

（２）小学校区別の人口動向

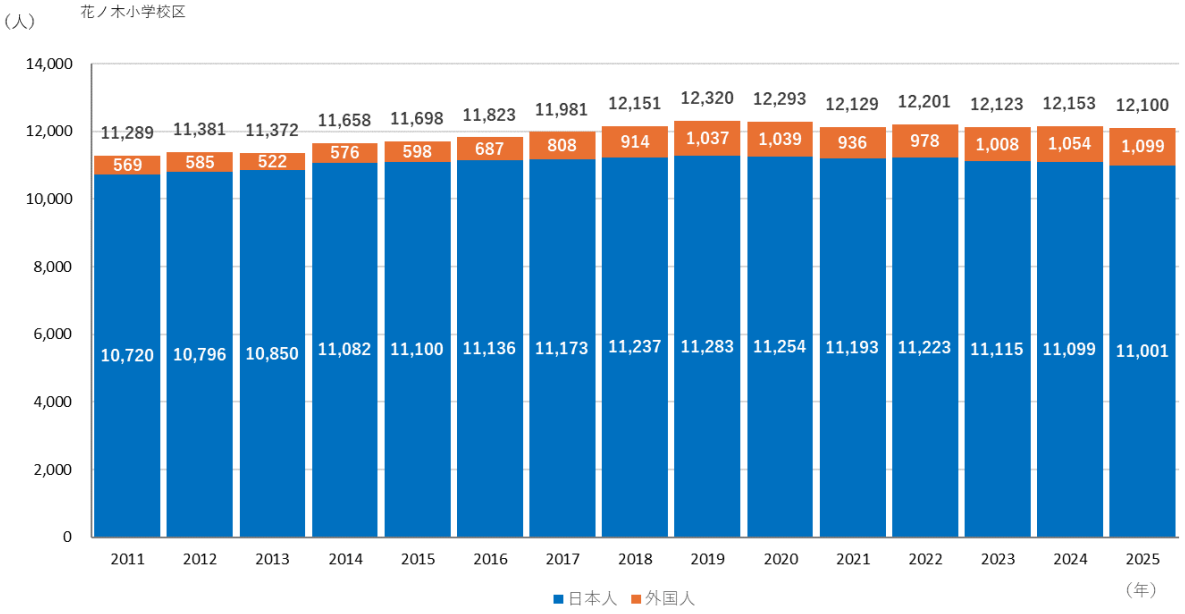
①西尾小学校区

西尾小学校区の人口は、2011 年から 2025 年までにおいて、11,913 人から 11,673 人へと 240 人（2.0%）減少しています。日本人と外国人別の人口では、日本人は、11,353 人から 10,552 人へと 801 人（7.1%）減少、外国人は、560 人から 1,121 人へと 561 人（100.2%）増加しています。



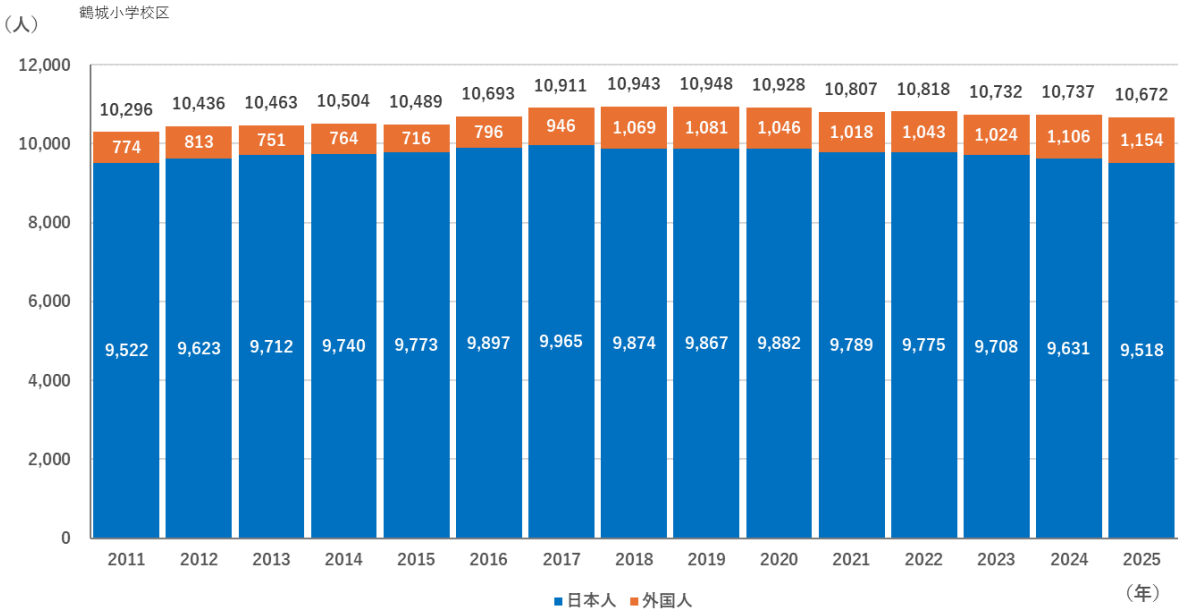
②花ノ木小学校区

花ノ木小学校区の人口は、2011 年から 2025 年までにおいて、11,289 人から 12,100 人へと 811 人（7.2%）増加しています。日本人と外国人別の人口では、日本人は、10,720 人から 11,001 人へと 281 人（2.6%）増加、外国人は、569 人から 1,099 人へと 530 人（93.1%）増加しています。



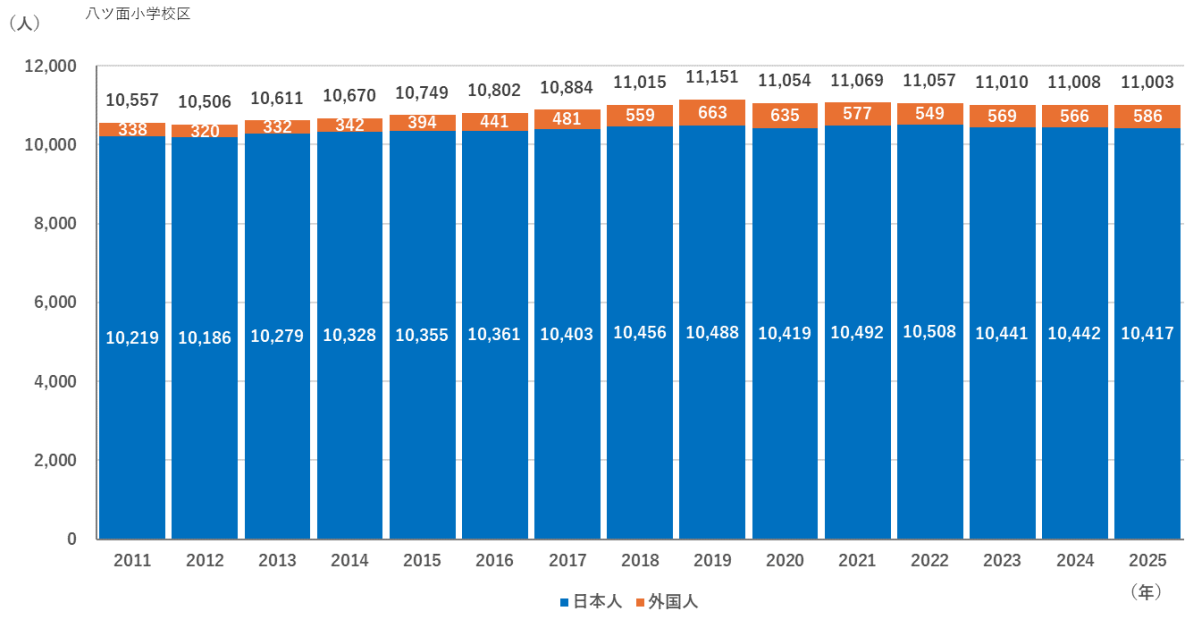
③鶴城小学校区

鶴城小学校区の人口は、2011 年から 2025 年までにおいて、10,296 人から 10,672 人へと 376 人（3.7%）増加しています。日本人と外国人別の人口では、日本人は、9,522 人から 9,518 人へとわずかに減少（4 人減少）、外国人は、774 人から 1,154 人へと 380 人（49.1%）増加しています。



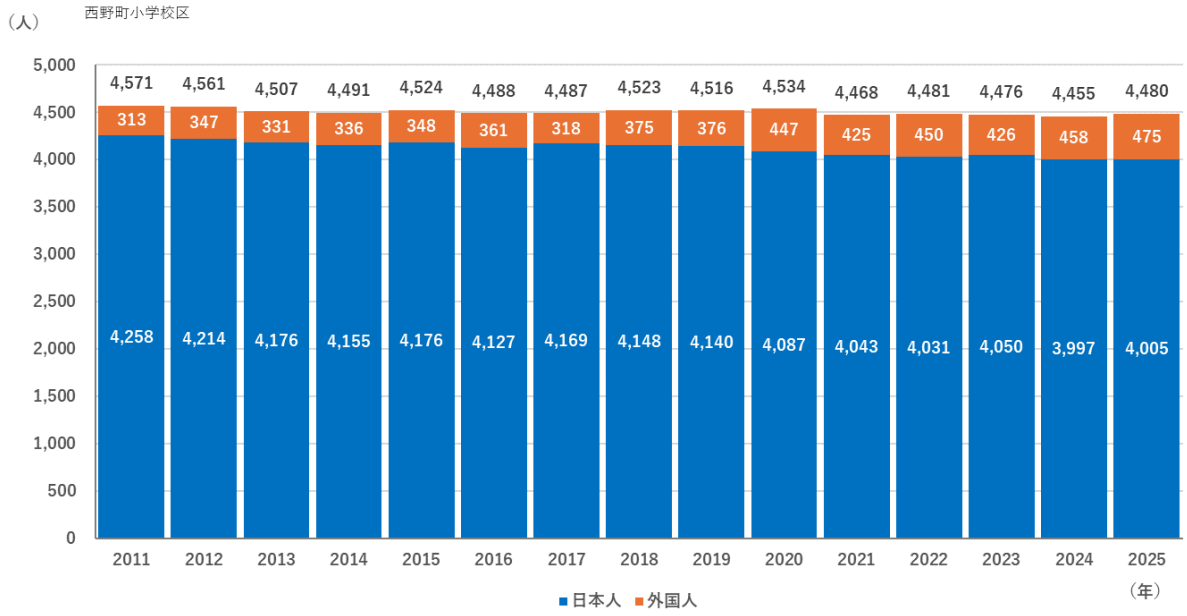
④八ツ面小学校区

八ツ面小学校区の人口は、2011 年から 2025 年までにおいて、10,557 人から 11,003 人へと 446 人（4.2%）増加しています。日本人と外国人別の人口では、日本人は、10,219 人から 10,417 人へと 198 人（1.9%）増加、外国人は、338 人から 586 人へと 248 人（73.4%）増加しています。



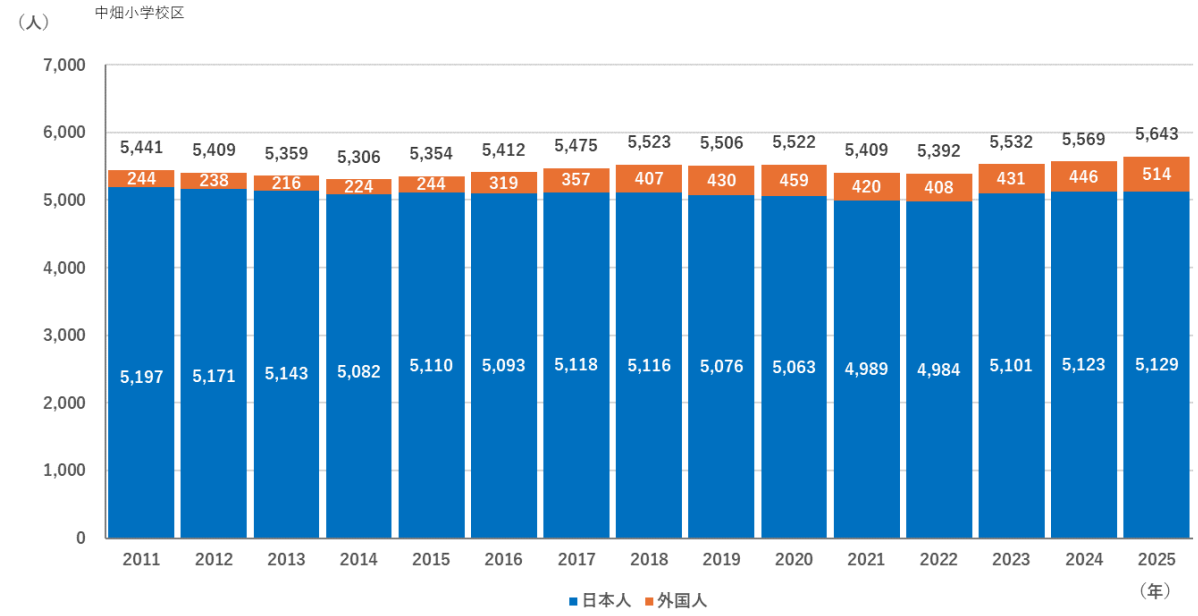
⑤西野町小学校区

西野町小学校区の人口は、2011 年から 2025 年までにおいて、4,571 人から 4,480 人へと 91 人（2.0%）減少しています。日本人と外国人別の人口では、日本人は、4,258 人から 4,005 人へと 253 人（5.9%）減少、外国人は、313 人から 475 人へと 162 人（51.8%）増加しています。



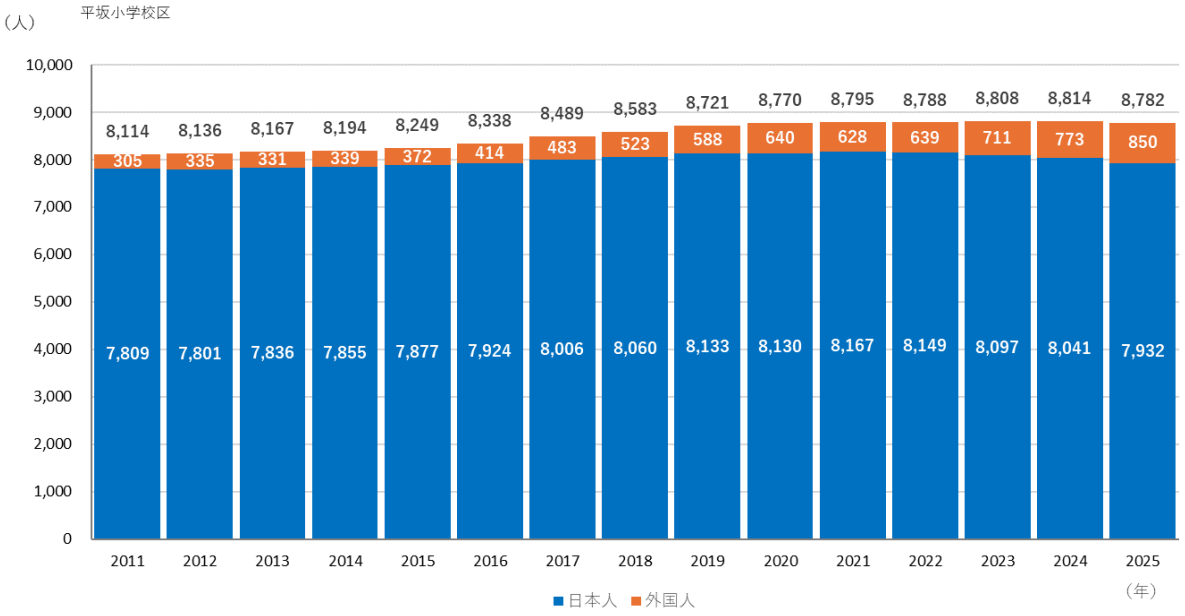
⑥中畑小学校区

中畑小学校区の人口は、2011 年から 2025 年までにおいて、5,441 人から 5,643 人へと 202 人（3.7%）増加しています。日本人と外国人別の人口では、日本人は、5,197 人から 5,129 人へと 68 人（1.3%）減少、外国人は、244 人から 514 人へと 270 人（110.7%）増加しています。



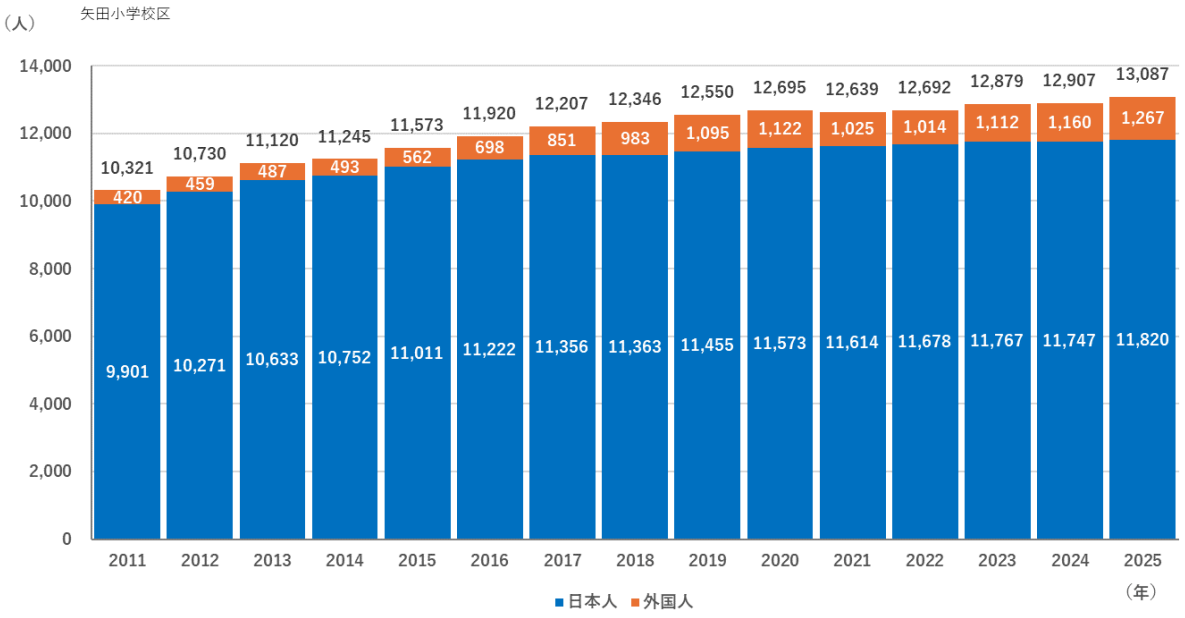
⑦平坂小学校区

平坂小学校区の人口は 2011 年から 2025 年までにおいて、8,114 人から 8,782 人へと 668 人（8.2%）増加しています。日本人と外国人別の人口では、日本人は、7,809 人から 7,932 人へと 123 人（1.5%）増加、外国人は、305 人から 850 人へと 545 人（178.7%）増加しています。



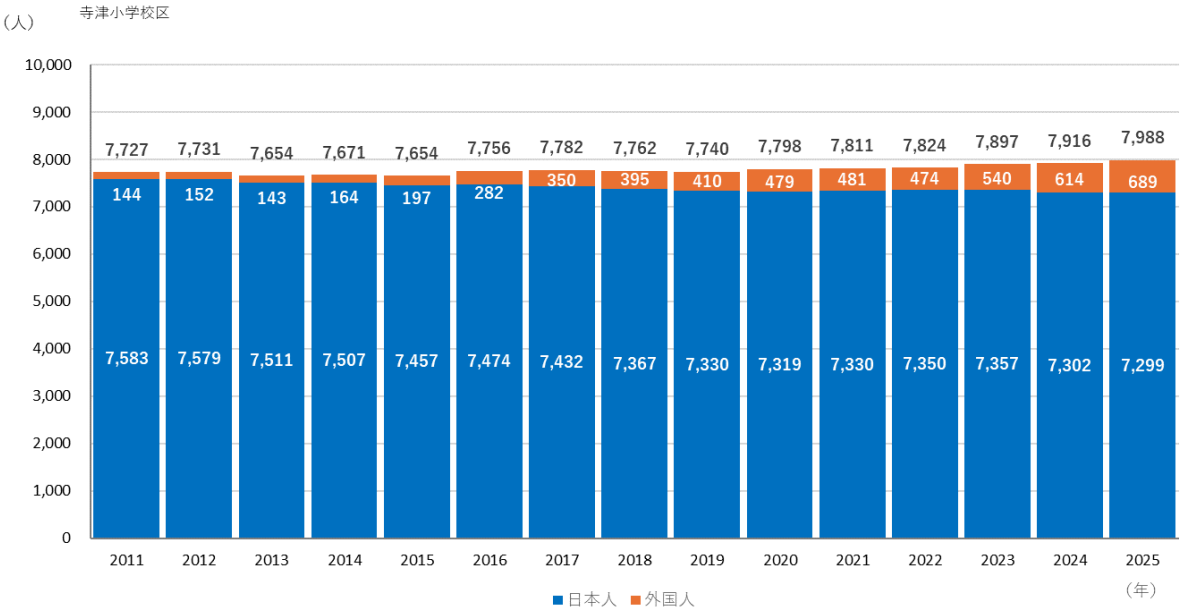
⑧矢田小学校区

矢田小学校区の人口は 2011 年から 2025 年までにおいて、10,321 人から 13,087 人へと 2,766 人（26.8%）増加しています。日本人と外国人別の人口では、日本人は、9,901 人から 11,820 人へと 1,919 人（19.4%）増加、外国人は、420 人から 1,267 人へと 847 人（201.7%）増加しています。



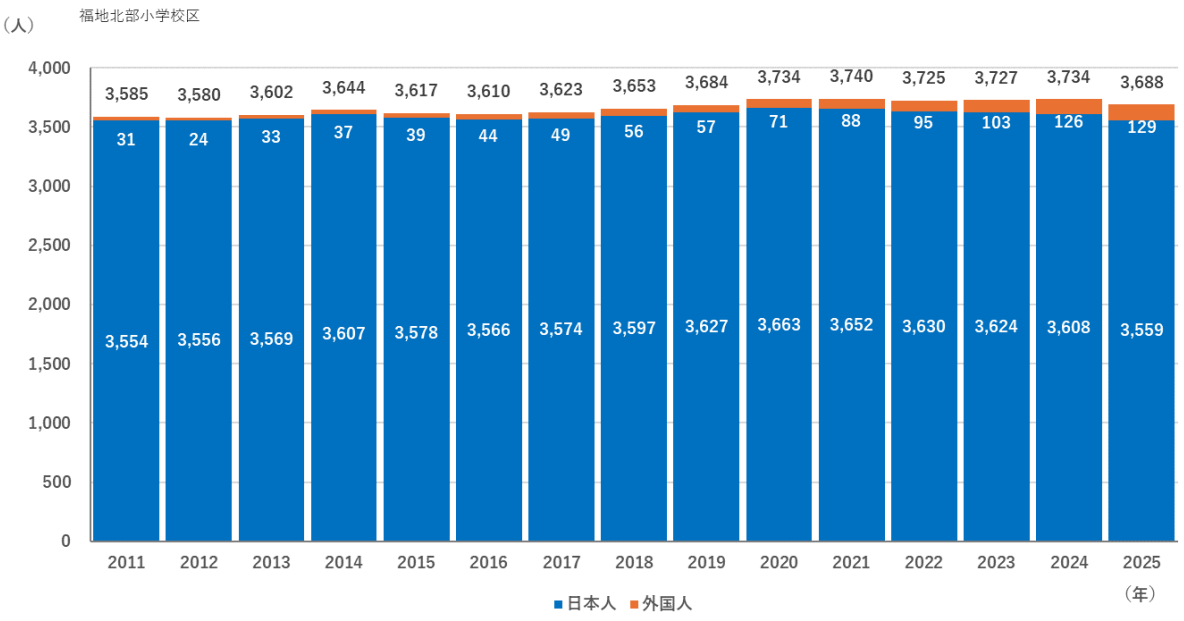
⑨寺津小学校区

寺津小学校区の人口は 2011 年から 2025 年までにおいて、7,727 人から 7,988 人へと 261 人（3.3%）増加しています。日本人と外国人別の人口では、日本人は、7,583 人から 7,299 人へと 284 人（3.%）減少、外国人は、145 人から 702 人へと 557 人（484.1%）増加しています。



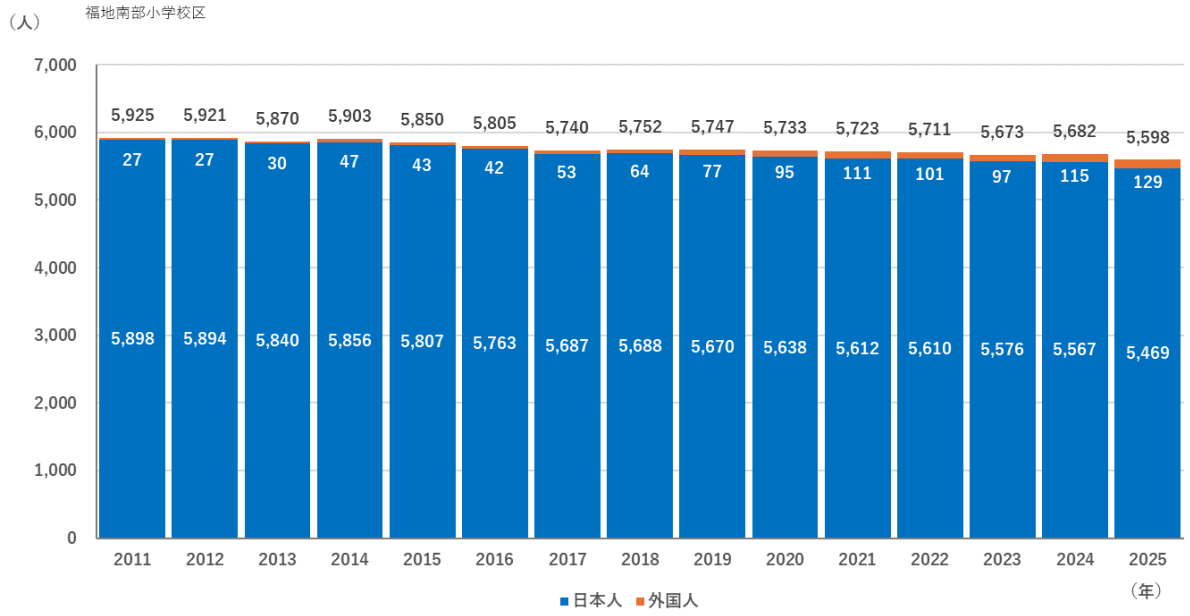
⑩福地北部小学校区

福地北部小学校区の人口は 2011 年から 2025 年までにおいて、3,585 人から 3,688 人へと 103 人（2.9%）増加しています。日本人と外国人別の人口では、日本人は、3,554 人から 3,559 人へとわずかに増加（５人増加）、外国人は、31 人から 129 人へと 98 人（316.1%）増加しています。



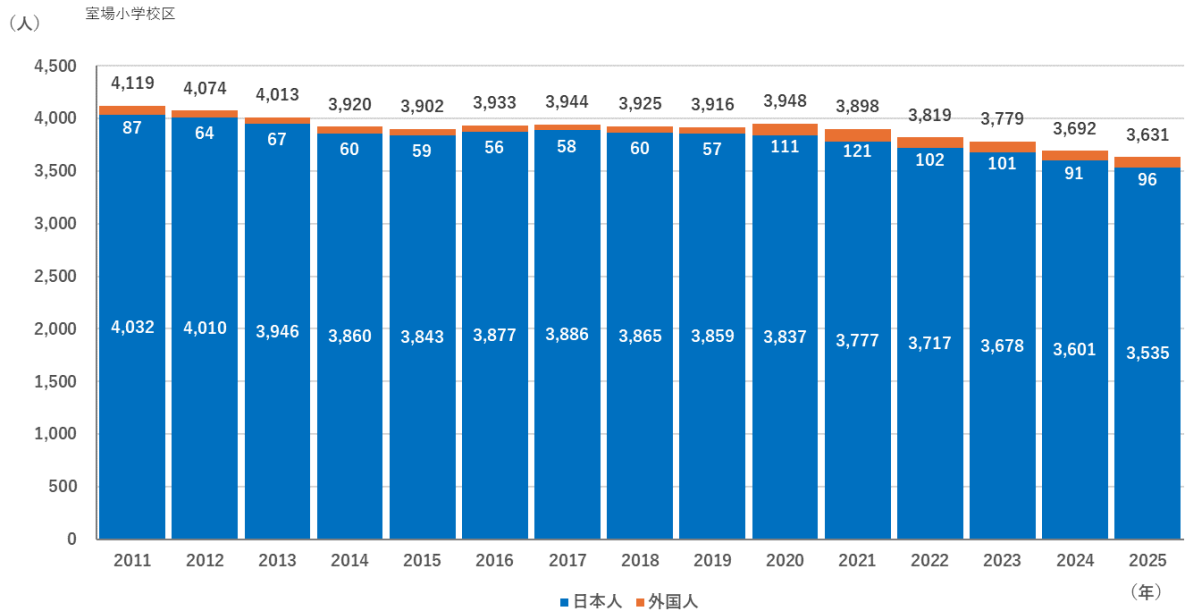
⑪福地南部小学校区

福地南部小学校区の人口は 2011 年から 2025 年までにおいて、5,925 人から 5,598 人へと 327 人（5.5%）減少しています。日本人と外国人別の人口では、日本人は、5,898 人から 5,469 人へと 429 人（7.3%）減少、外国人は、27 人から 129 人へと 102 人（377.8%）増加しています。



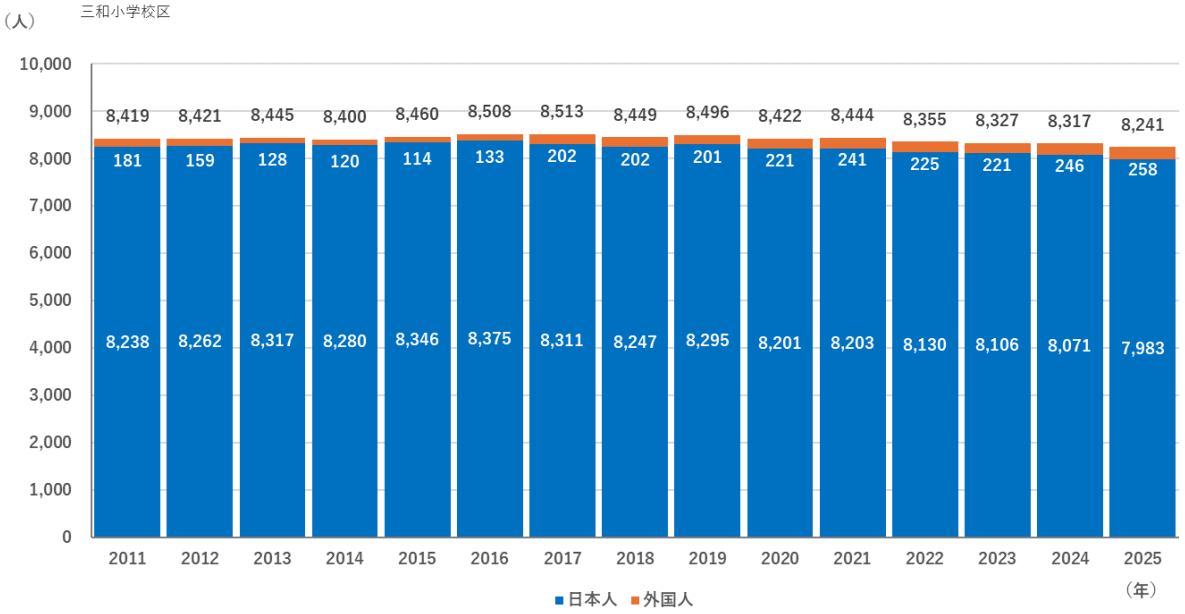
⑫室場小学校区

室場小学校区の人口は 2011 年から 2025 年までにおいて、4,119 人から 3,631 人へと 488 人（11.8%）減少しています。日本人と外国人別の人口では、日本人は、4,032 人から 3,535 人へと 497 人(12.3%)減少、外国人は、87 人から 96 人へと 9 人(10.3%)増加しています。



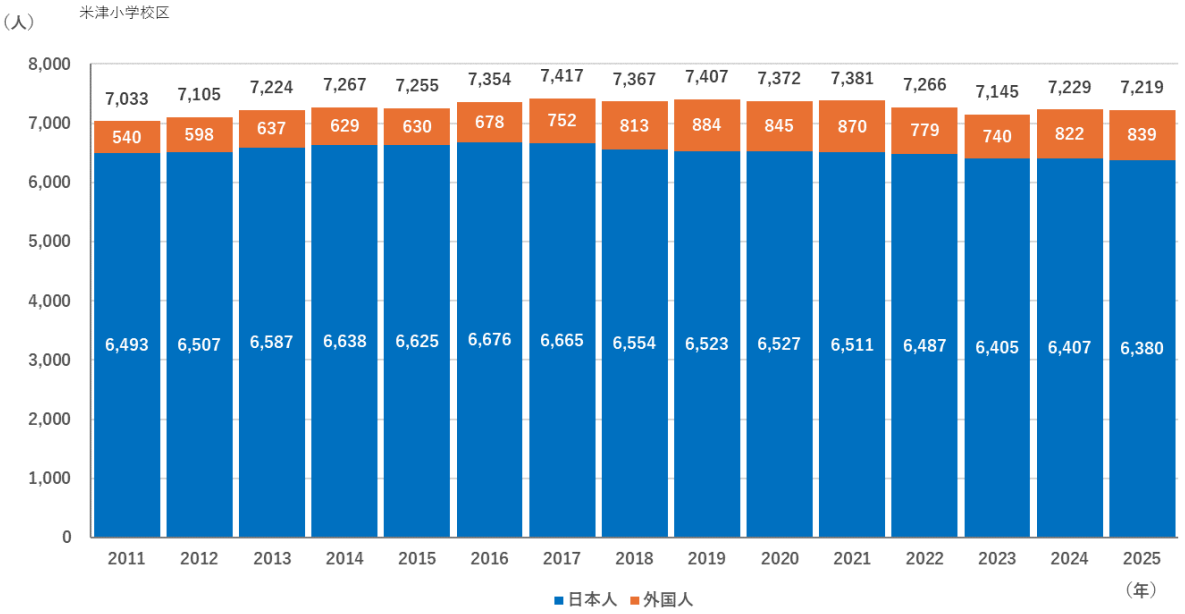
⑬三和小学校区

三和小学校区の人口は 2011 年から 2025 年までにおいて、8,419 人から 8,241 人へと 178 人（2.1%）減少しています。日本人と外国人別の人口では、日本人は、8,238 人から 7,983 人へと 255 人（3.1%）減少、外国人は、181 人から 258 人へと 77 人（42.5%）増加しています。



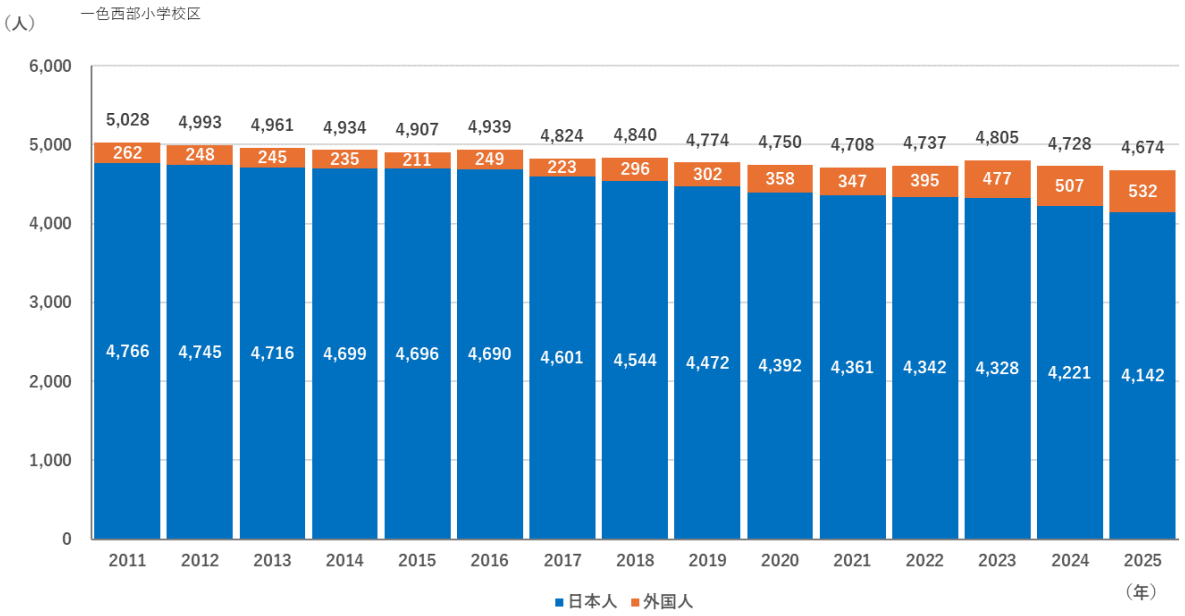
⑭米津小学校区

米津小学校区の人口は 2011 年から 2025 年までにおいて、7,033 人から 7,219 人へと 186 人（2.6%）増加しています。日本人と外国人別の人口では、日本人は、6,493 人から 6,380 人へと 113 人（1.7%）減少、外国人は、540 人から 839 人へと 299 人（55.4%）増加しています。



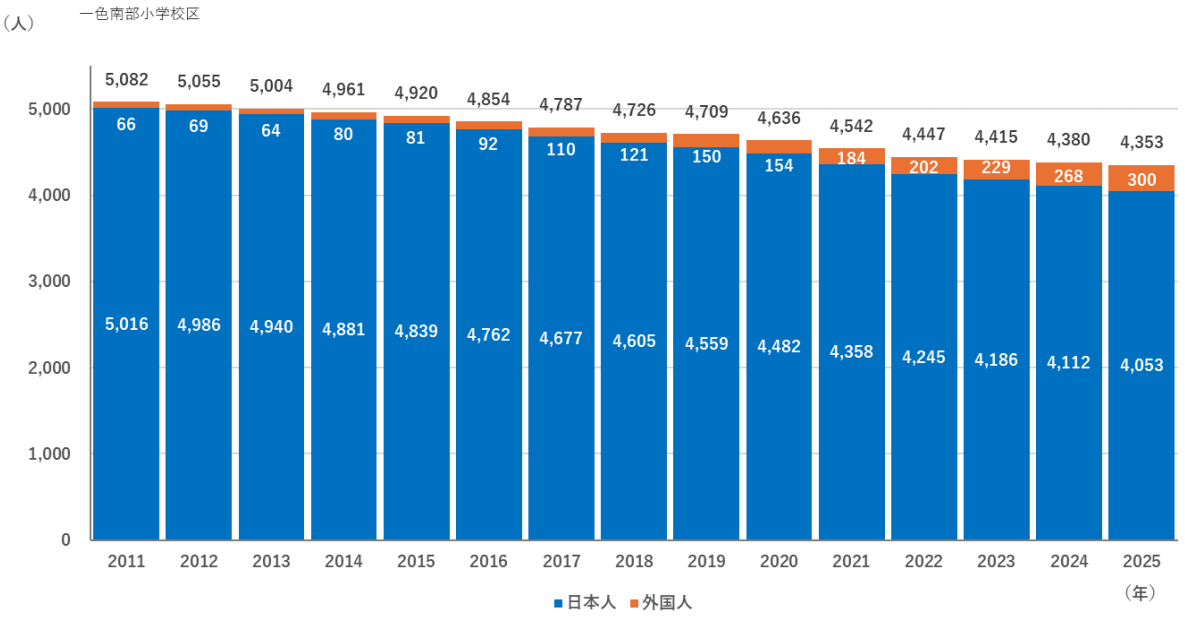
⑮一色西部小学校区

一色西部小学校区の人口は 2011 年から 2025 年までにおいて、5,028 人から 4,674 人へと 354 人（7.0%）減少しています。日本人と外国人別の人口では、日本人は、4,766 人から 4,142 人へと 624 人（13.1%）減少、外国人は、262 人から 532 人へと 270 人（103.1%）増加しています。



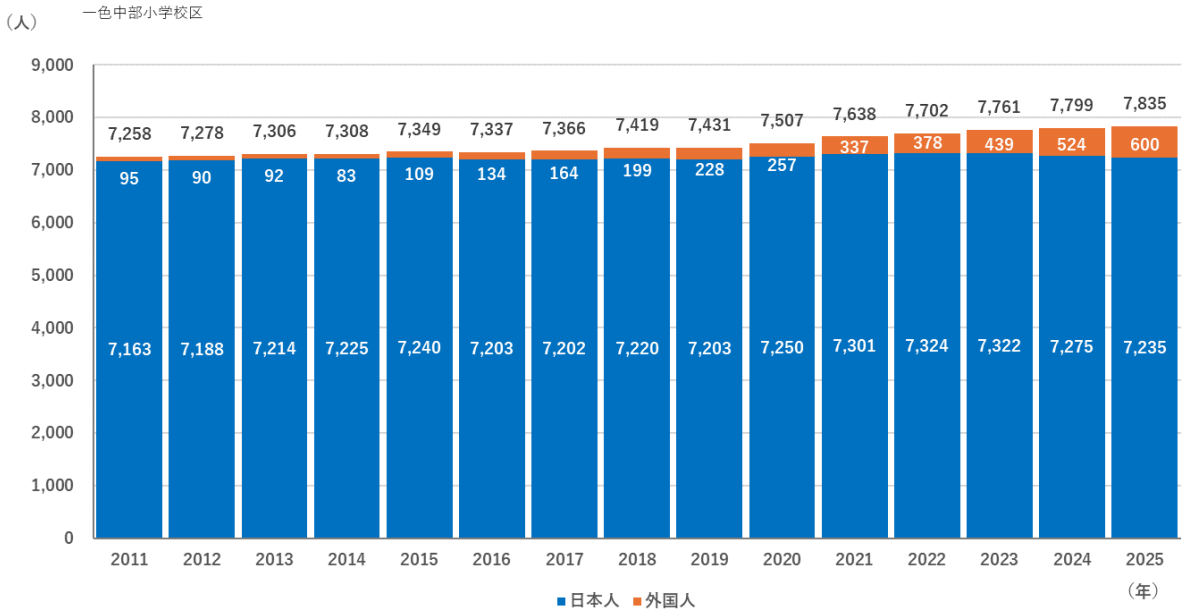
⑯一色南部小学校区

一色南部小学校区の人口は 2011 年から 2025 年までにおいて、5,082 人から 4,353 人へと 729 人（14.3%）減少しています。日本人と外国人別の人口では、日本人は、5,016 人から 4,053 人へと 963 人（19.2%）減少、外国人は、66 人から 300 人へと 234 人（354.5%）増加しています。



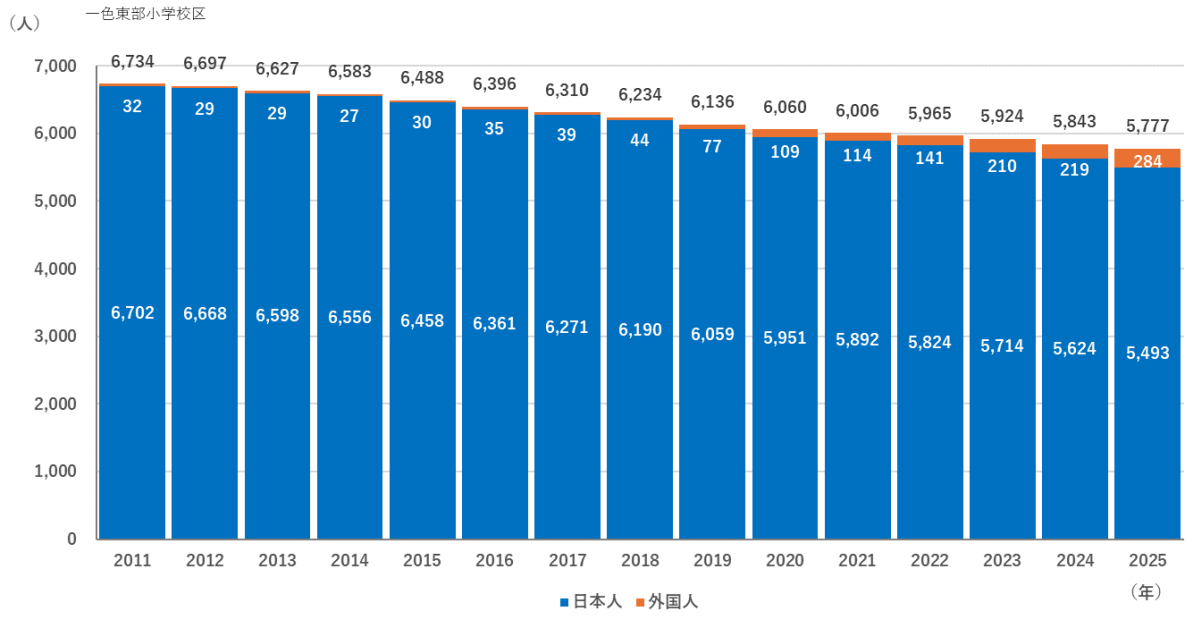
⑰一色中部小学校区

一色中部小学校区の人口は 2011 年から 2025 年までにおいて、7,258 人から 7,835 人へと 577 人（7.9%）増加しています。日本人と外国人別の人口では、日本人は、7,163 人から 7,235 人へと 72 人（1.0%）増加、外国人は、95 人から 600 人へと 505 人（531.6%）増加しています。



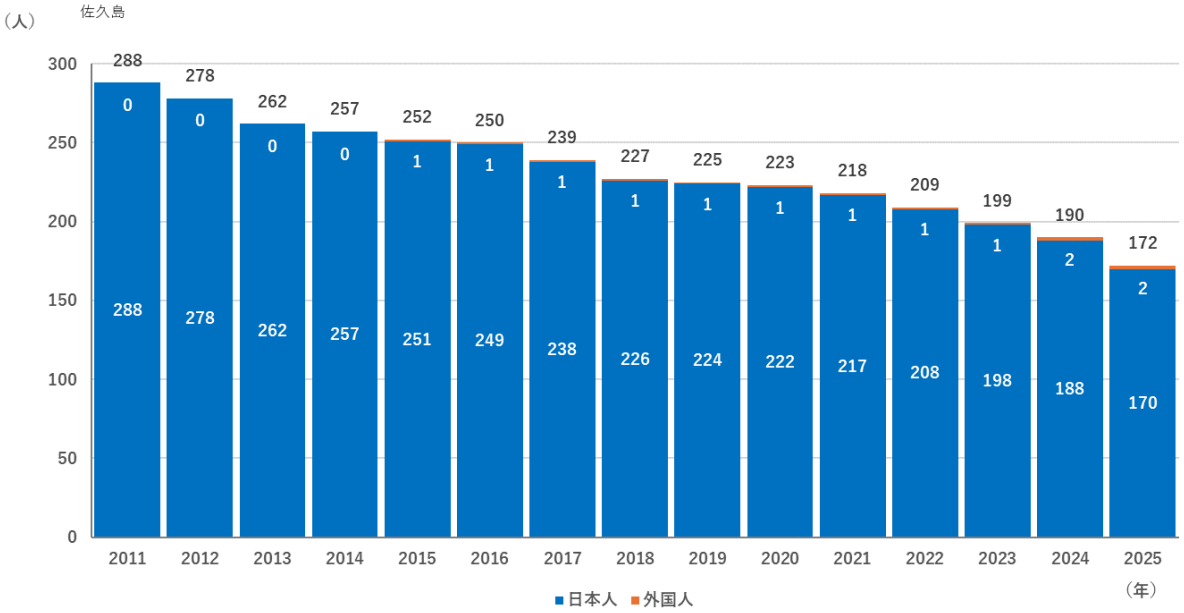
⑱一色東部小学校区

一色東部小学校区の人口は 2011 年から 2025 年までにおいて、6,734 人から 5,777 人へと 957 人（14.2%）減少しています。日本人と外国人別の人口では、日本人は、6,702 人から 5,493 人へと 1,209 人（18.0%）減少、外国人は、32 人から 284 人へと 252 人（787.5%）増加しています。



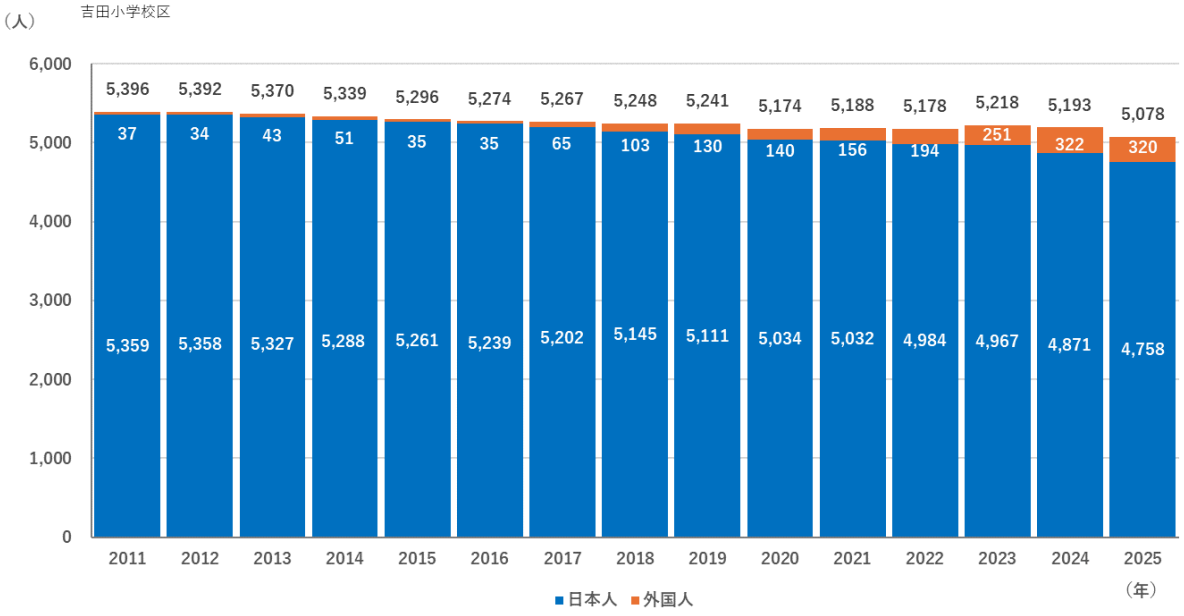
⑲佐久島

佐久島の人口は 2011 年から 2025 年までにおいて、288 人から 172 人へと 116 人（40.3%）減少しています。日本人と外国人別の人口では、日本人は、288 人から 170 人へと 118 人（41.0%）減少、外国人は、0 人から 2 人へと増加しています。



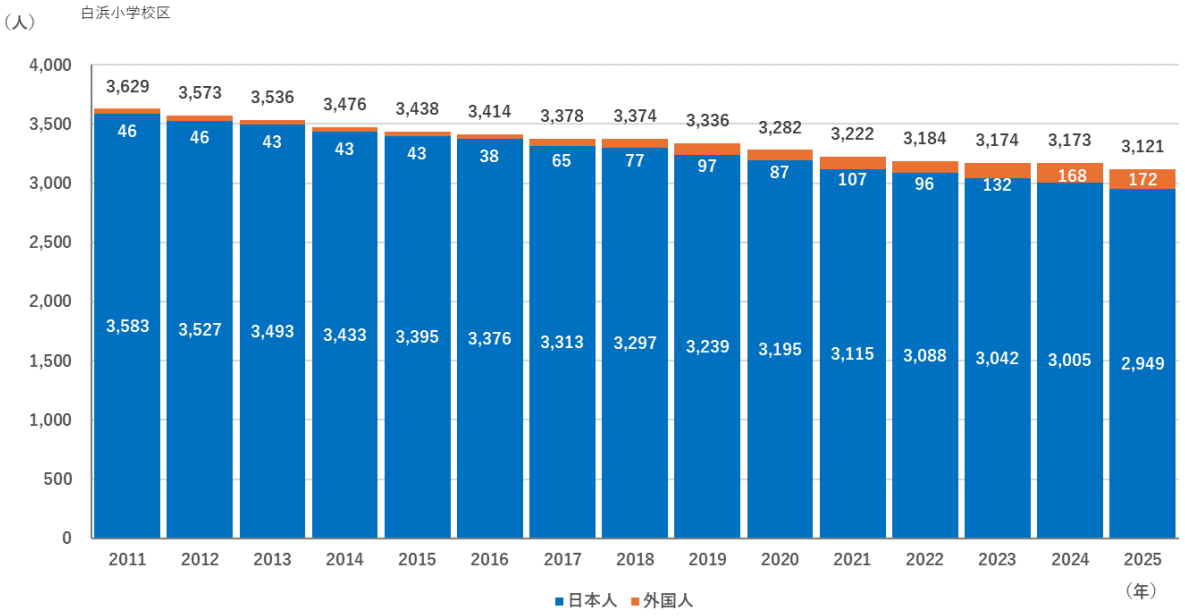
⑳吉田小学校区

吉田小学校区の人口は 2011 年から 2025 年までにおいて、5,396 人から 5,078 人へと 318 人（5.9%）減少しています。日本人と外国人別の人口では、日本人は、5,359 人から 4,758 人へと 601 人（11.2%）減少、外国人は、37 人から 320 人へと 283 人（764.9%）増加しています。



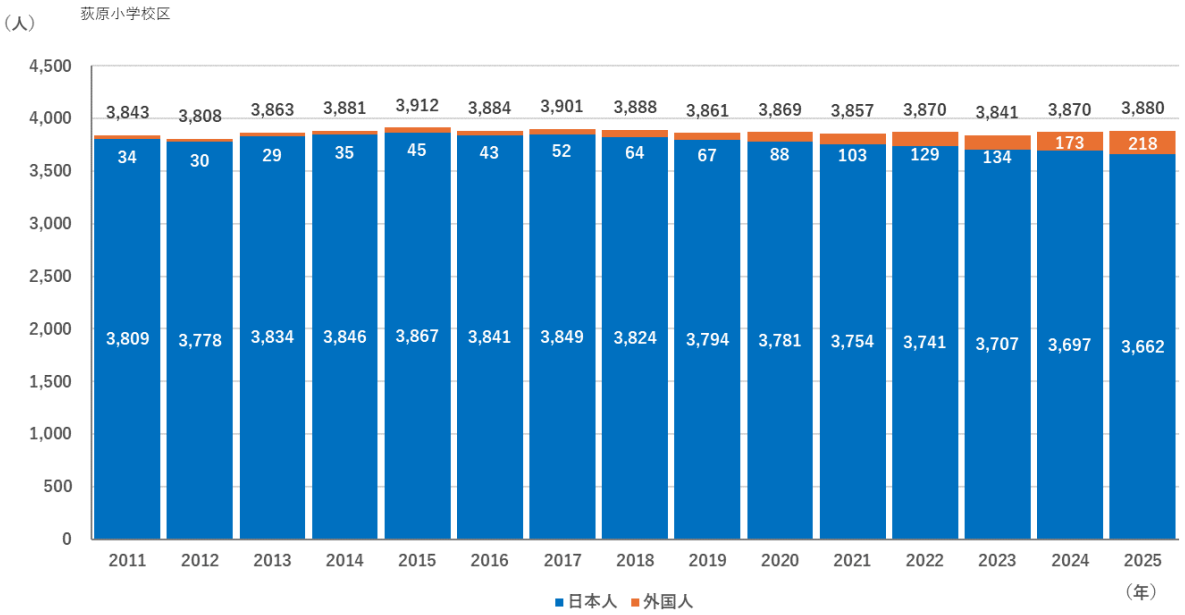
㉑白浜小学校区

白浜小学校区の人口は 2011 年から 2025 年までにおいて、3,629 人から 3,121 人へと 508 人（14.0%）減少しています。日本人と外国人別の人口では、日本人は、3,583 人から 2,949 人へと 634 人（17.7%）減少、外国人は、46 人から 172 人へと 126 人（273.9%）増加しています。



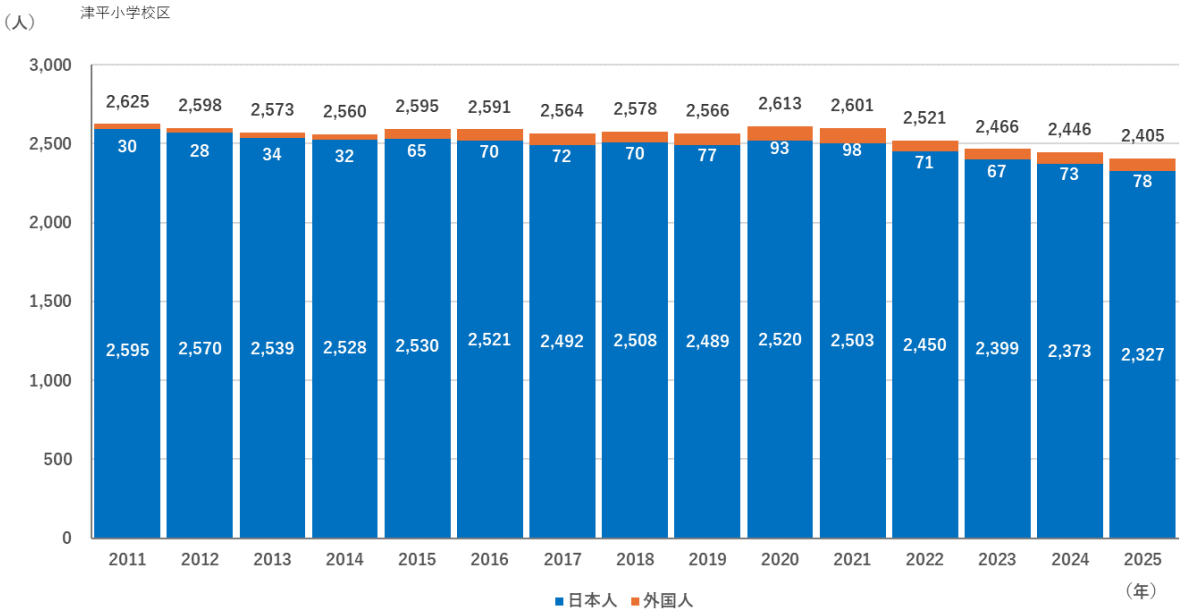
㉒荻原小学校区

荻原小学校区の人口は 2011 年から 2025 年までにおいて、3,843 人から 3,880 人へと 37 人（1.0%）増加しています。日本人と外国人別の人口では、日本人は、3,809 人から 3,662 人へと 147 人(3.9%)減少、外国人は、34 人から 218 人へと 184 人(541.2%)増加しています。



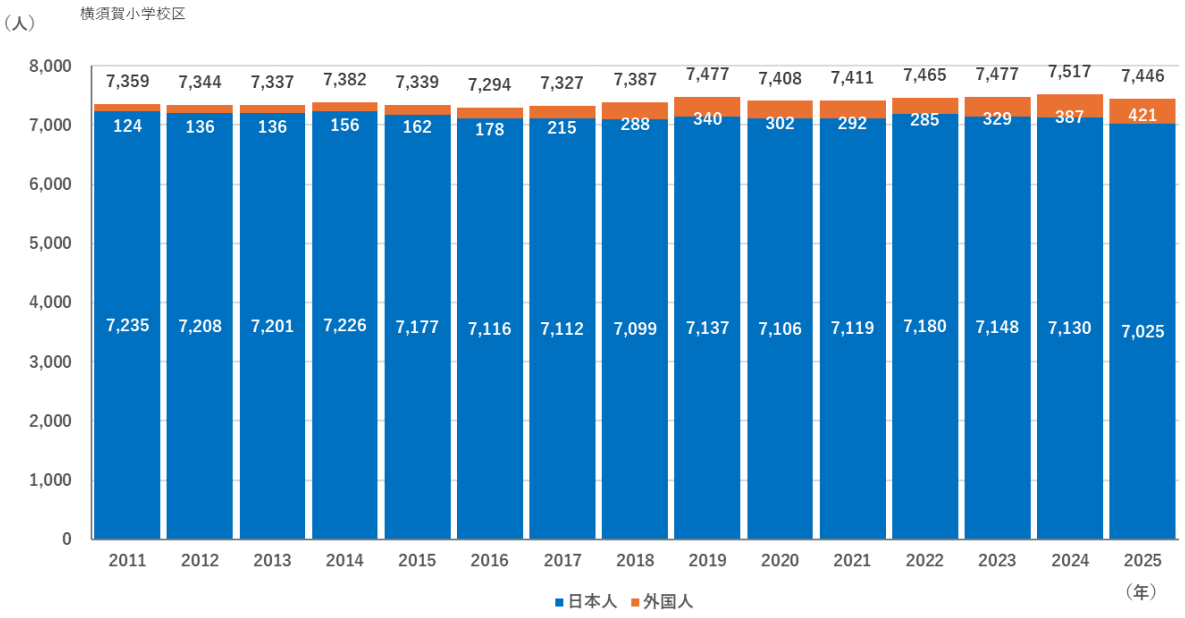
㉓津平小学校区

津平小学校区の人口は 2011 年から 2025 年までにおいて、2,625 人から 2,405 人へと 220 人（8.4%）減少しています。日本人と外国人別の人口では、日本人は、2,595 人から 2,327 人へと 268 人（10.3%）減少、外国人は、30 人から 78 人へと 48 人（160.0%）増加しています。



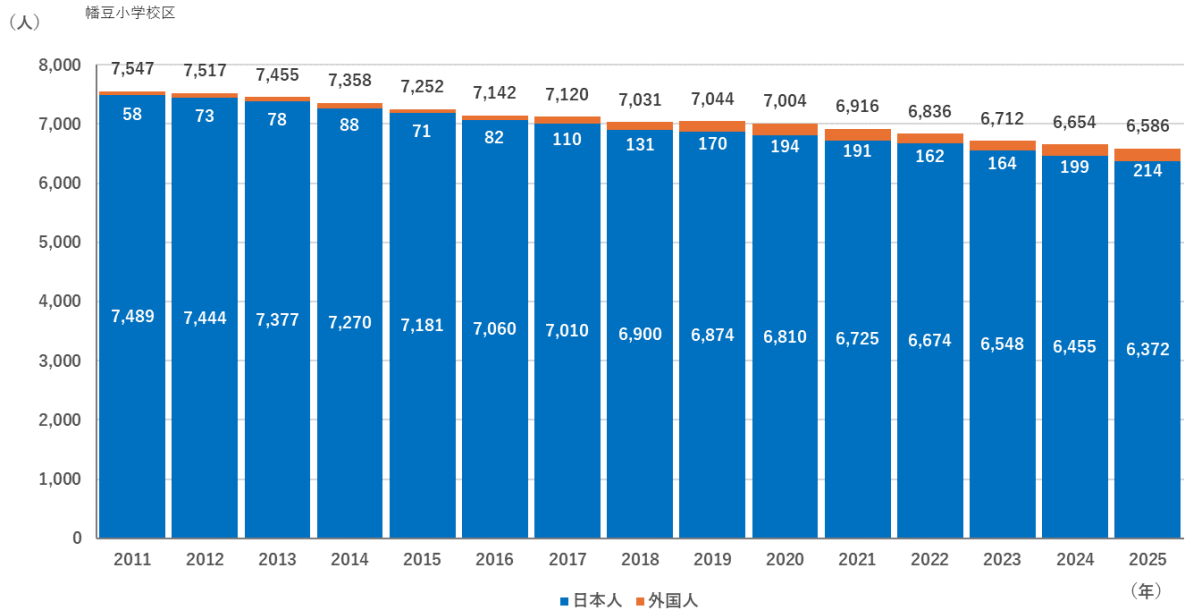
㉔横須賀小学校区

横須賀小学校区の人口は 2011 年から 2025 年までにおいて、7,359 人から 7,446 人へと 87 人（1.2%）増加しています。日本人と外国人別の人口では、日本人は、7,235 人から 7,025 人へと 210 人（2.9%）減少、外国人は、124 人から 421 人へと 297 人（239.5%）増加しています。



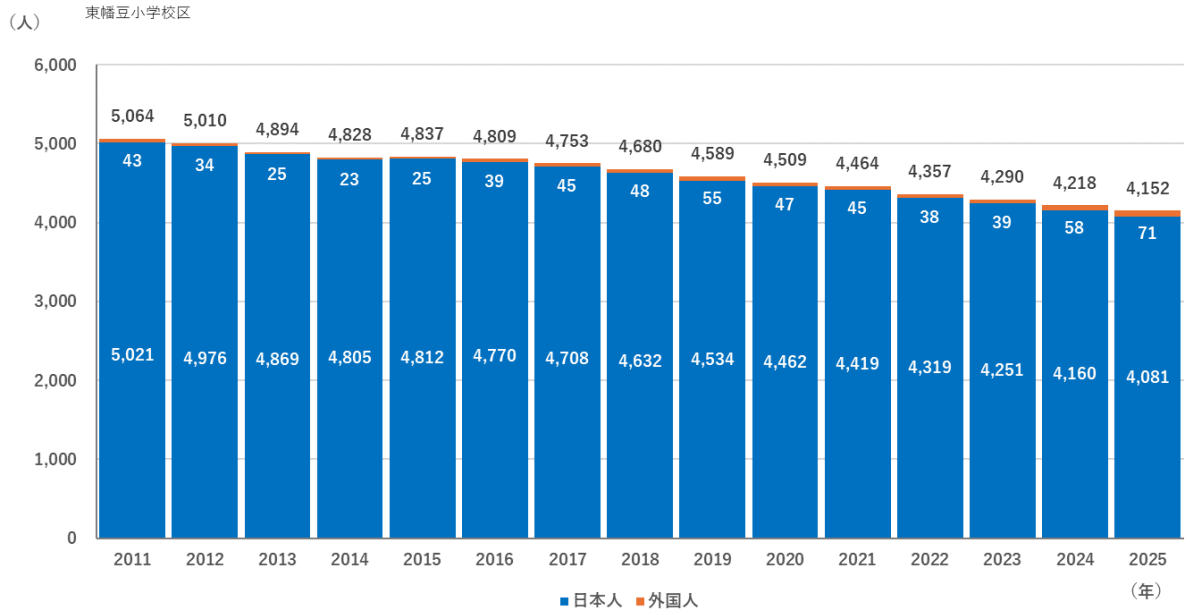
㉕幡豆小学校区

幡豆小学校区の人口は 2011 年から 2025 年までにおいて、7,547 人から 6,586 人へと 961 人（12.7%）減少しています。日本人と外国人別の人口では、日本人は、7,489 人から 6,372 人へと 1,117 人（14.9%）減少、外国人は、58 人から 214 人へと 156 人（269.0%）増加しています。



㉖東幡豆小学校区

東幡豆小学校区の人口は 2011 年から 2025 年までにおいて、5,064 人から 4,152 人へと 912 人（18.0%）減少しています。日本人と外国人別の人口では、日本人は、5,021 人から 4,081 人へと 940 人（18.7%）減少、外国人は、43 人から 71 人へと 28 人（65.1%）増加しています。



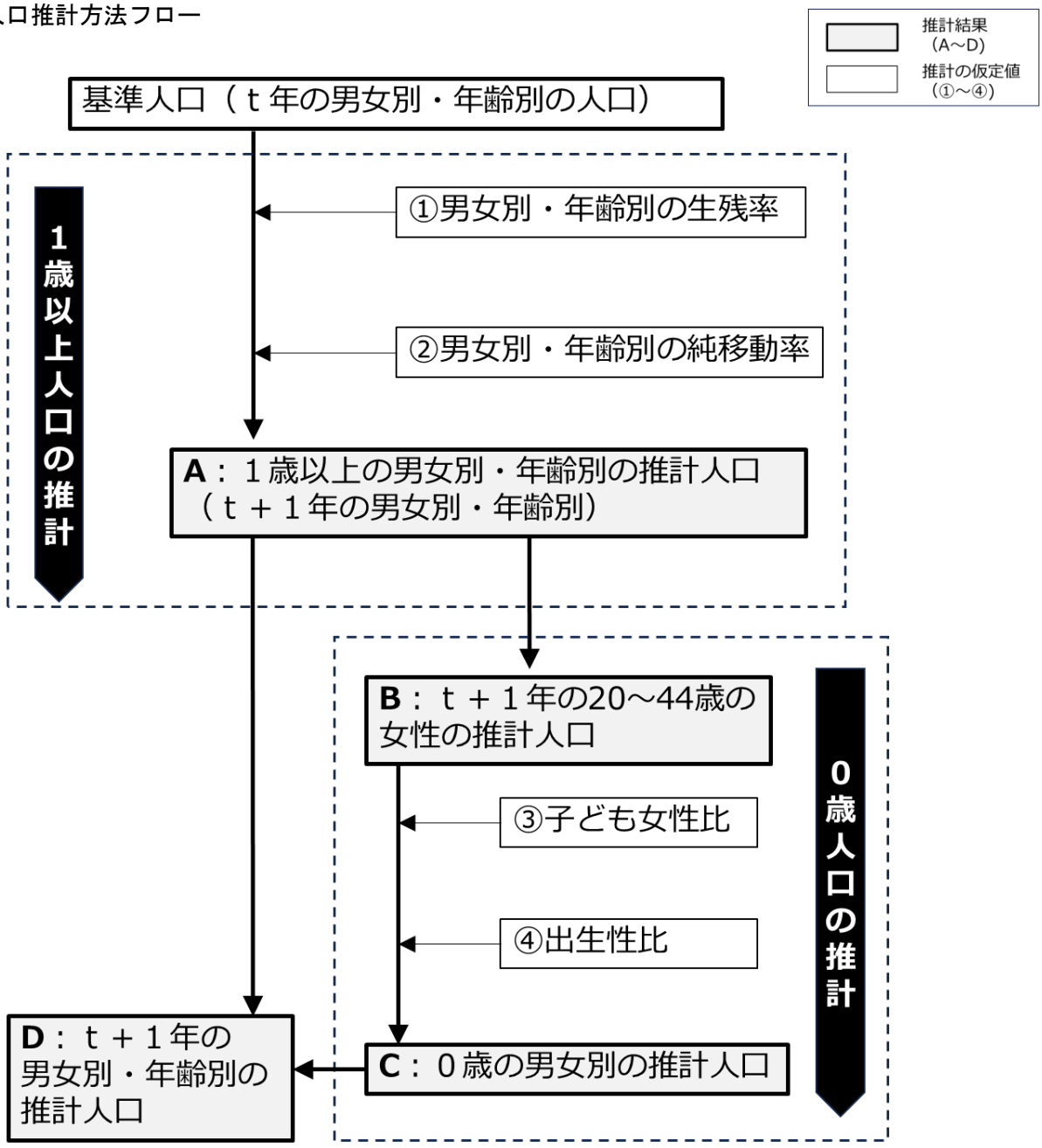
第3章　将来人口の推計方法

（1）推計方法

将来人口の推計はコーホート要因法によって行っています。コーホート要因法は、人口増減を決定する要因である出生、死亡、社会移動を個別に推計し、それらを積み上げて将来人口を推計する方法です。

具体的には、2025 年（令和 7 年）の人口を基準とし、男女別・1 歳階級別（0 歳から 100 歳以上）に、以下のプロセスで 2055 年（令和 37 年）まで 1 年ずつ計算を繰り返します。

図　人口推計方法フロー



（２）推計の概要

推計対象	男女別１歳階級別の人口（０～100 歳以上）
推計期間	2026 年（令和８年）から 2055 年（令和 37 年）
推計方法	コーホート要因法
基準年人口	2025 年（令和７年）４月１日現在の住民基本台帳人口
子ども女性比	20～44 歳の女性人口に対する０歳人口
出生性比	０歳人口の男女比で、０歳女性 100 人に対する０歳男性の人数
生残率	各年４月１日～翌年３月 31 日の間で生き残る人の割合。 生残率＝１－死亡率となります。 男女別１歳階級の生残率を用いています。
純移動率	各年４月１日～翌年３月 31 日の間の転入出で移動した人口（転入出の増減数）と当年４月１日の人口との比。 男女別１歳階級の純移動率を用いています。

（３）将来推計の仮定値の設定

①子ども女性比

子ども女性比とは、子どもを産む中心世代となる 20 歳から 44 歳の女性人口に対して、０歳の子どもが何人いるかを示す割合のことです。この数値は、将来の出生数を推計するための目安となります。

この数値を設定するにあたっては、直近 10 年間（2016 年から 2025 年まで）の本市における実際の割合を算出しました。その上で、過去 10 年間の推移傾向を分析し、統計的な手法（直線回帰式）を用いて将来の子ども女性比を設定しています。

②出生性比

将来の人口を男女別に推計するためには、０歳の男女の割合を決める必要があります。これを出生性比といい、通常は「女の子 100 人に対して男の子が何人生まれるか」という数値で表します。

この数値の設定にあたっては、直近 10 年間（2016 年から 2025 年まで）の本市における実際の割合を算出しました。その結果、10 年間の平均値が 105（女の子 100 人に対し男の子 105 人）であったため、推計期間である 2055 年（令和 37 年）まで、この数値を一律で設定することとしています。

③生残率

生残率とは、ある年齢の人が１年後に生存している確率のことです。これを算出することで、将来の各年齢における死亡者数を推計します。

設定にあたっては、直近 10 年間（2016 年から 2025 年）の各年において、年齢ごとの死亡数と人口から、まず死亡率を割り出します。この死亡率を１から差し引くことで、生存する確率（生残率）を算出しています。

将来の仮定値には、直近 10 年間の平均値を採用しています。ただし、１歳刻みのデータでは年によって数値に極端な偏りが出ることがあります。そのため、各年齢の値を決める際には、その年齢の前後２歳を含めた計５歳分の平均値を算定し、数値を滑らかに補正して使用しています。

④純移動率

純移動率は、転入や転出といった人の移動によって、その年齢の人口が１年間でどのくらい変化するかを示す割合のことです。

設定にあたっては、まず、直近 10 年間（2016 年から 2025 年）のデータを用いて、ある年の人口から死亡者数だけを差し引いた翌年の推計人口（封鎖人口）を計算します。 この封鎖人口と実際の翌年の人口を比べることで、その差を転入、転出による増減（純移動数）として割り出しました。この数を、もとの人口で割ることで純移動率を算定しています。

将来の仮定値には、直近 10 年間の平均値を採用しています。生残率と同様に、１歳刻みのデータでは年によって数値に極端な偏りが出ることがあります。そのため、各年齢の値を決める際には、その年齢の前後２歳を含めた計５歳分の平均値を算定し、数値を滑らかに補正して使用しています。

なお、小学校区の推計にあたっては、近年の開発状況を反映させるため、一部の地区で数値の調整を行っています。

・中畑小学校区

過去に行われた区画整理事業により、転入者が一時的に増加しています。この影響が将来にわたって過大に反映されるのを防ぐため、2016 年（平成 28 年）から 2022 年（令和４年）までの平均値を採用し、区画整理事業の影響を適切に考慮した設定としています。

・矢田小学校区

区画整理事業の影響で、過去のデータのみでは将来の動きを正確に推計することが困難です。そのため、すでに同様の住宅開発が進み、転入の傾向が似ている平坂小学校区の数値を採用しています。

⑤区画整理事業が予定されている地区の補正

今後、土地区画整理事業などによる新たな宅地開発が予定されている地区については、事業完了に伴う居住者の増加が見込まれるため、推計値にその影響を加算しています。

対象地区（矢田小学校区、寺津小学校区、横須賀小学校区の３地区）については、新たな宅地の供給により人口が増加すると想定し、事業計画に基づいた人口を推計値に加えています。なお、市全体の推計においては、市内での移動は総人口に影響しないため、市外から転入してくる人口のみを増加分として加算しています。

⑥将来世帯数

将来の世帯数については、まず、直近 10 年間（2016 年から 2025 年）の実績データに基づき、人口１人に対して世帯がいくつ存在するかを示す割合である「１人あたりの世帯数」を算定しました。その上で、過去 10 年間の推移傾向を分析し、統計的な手法（直線回帰式）を用いることで、この割合が今後どのように変化するかという将来の仮定値を設定しています。この仮定値に、別途算出した将来人口の数値を掛け合わせることで、2055 年（令和 37 年）までの将来世帯数を推計しています。

⑦日本人の将来人口推計

日本人の将来人口については、日本人のみの人口を用いて上記の方法で「子ども女性比」、「生残率」、「純移動率」、「区画整理事業が予定されている地区の人口加算」を推計しています。

⑧外国人の将来人口推計

外国人の将来人口については、市の将来人口から日本人の将来人口を差し引いたものとしています。

⑨小学校区の将来人口推計

小学校区別の将来人口については、「子ども女性比」、「出生性比」、「生残率」は市総数で使用した仮定値を使用しますが、「純移動率」については、市総数と同じ方法で各小学校区の仮定値を推計しています。

なお、「区画整理事業が予定されている地区の人口加算」については、対象となる矢田小学校区、寺津小学校区、横須賀小学校区の３地区で地区外から転入してくる人口を加算しています。

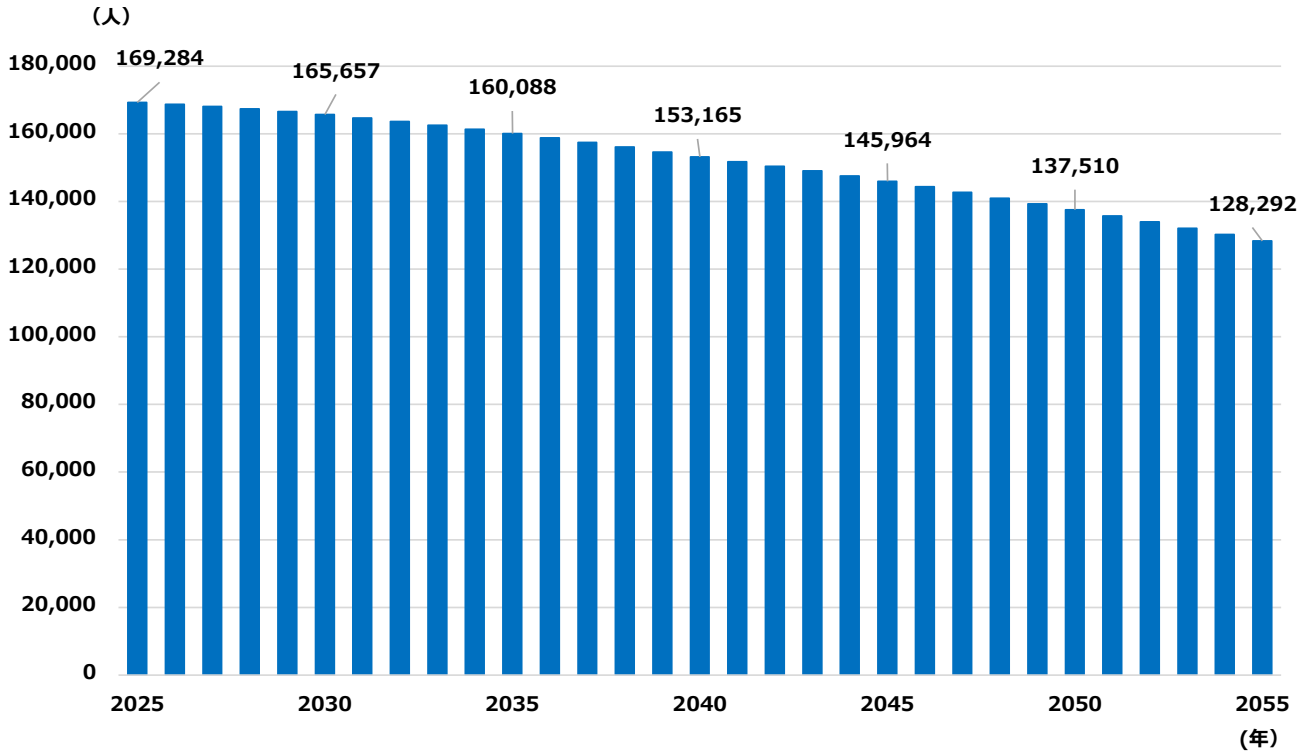
市総数の将来人口推計結果と、各小学校区の将来人口推計結果の合算値に差異が生じるため、市総数の男女１歳階級人口別の推計人口結果に合うように、26 小学校区の推計人口結果を補正しています。

第4章　将来人口推計の結果

１．市全域の推計結果

（１）総人口

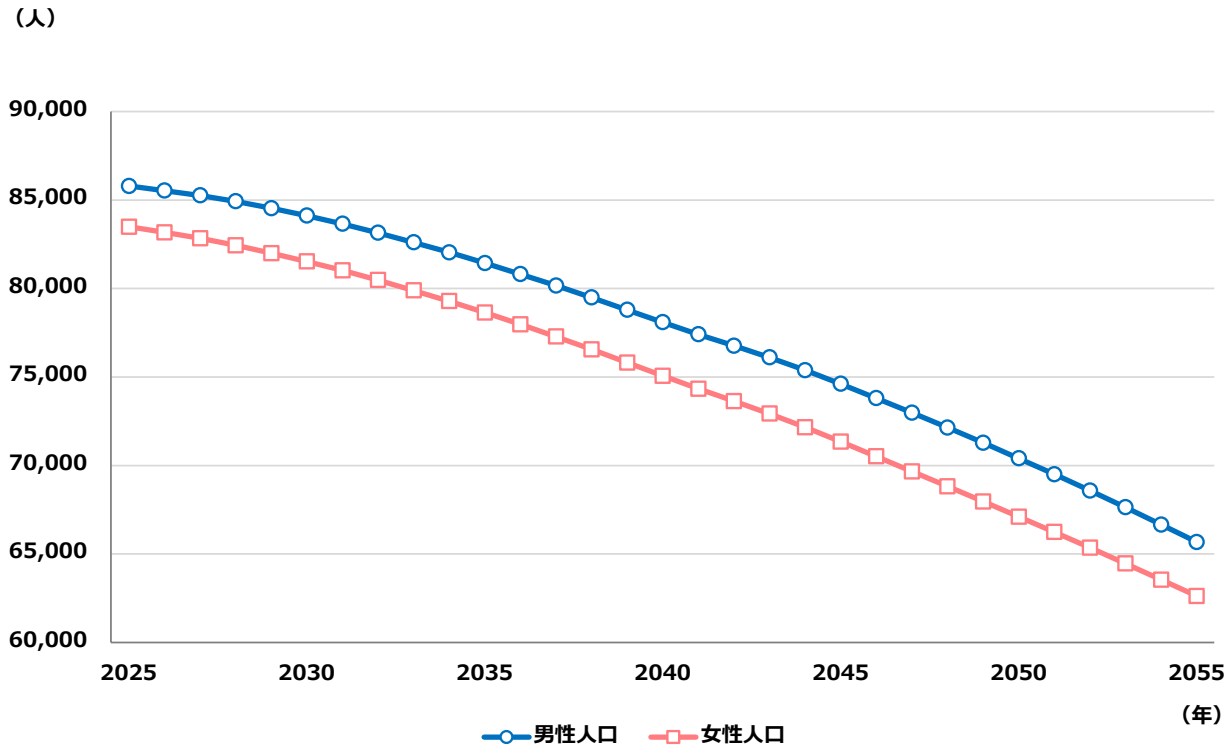
総人口は、今後も減少する見通しであり、2035 年（令和 17 年）には 160,088 人、2045 年（令和 27 年）には 145,964 人、2055 年（令和 37 年）には 128,292 人になると推計されます。



	2025 年	2030 年	2035 年	2040 年	2045 年	2050 年	2055 年
総人口	169,284	165,657	160,088	153,165	145,964	137,510	128,292

（２）男女別人口

男女とも人口は減少する見通しであり、2055 年（令和 37 年）には男性が 65,671 人、女性が 62,621 人と推計されます。



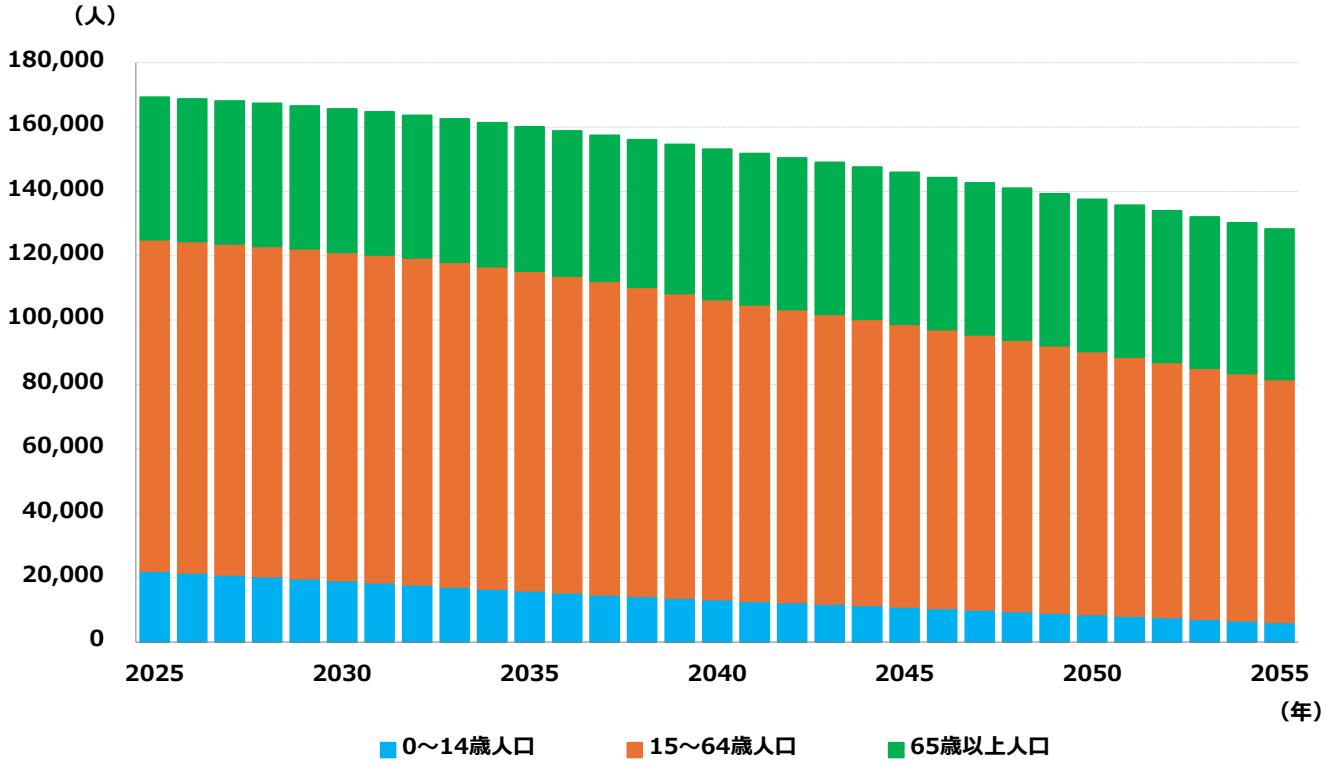
	2025 年	2030 年	2035 年	2040 年	2045 年	2050 年	2055 年
男性人口	85,795	84,124	81,442	78,096	74,614	70,406	65,671
女性人口	83,489	81,533	78,646	75,069	71,350	67,104	62,621
計	169,284	165,657	160,088	153,165	145,964	137,510	128,292

（３）年齢３区分別人口

０～14 歳人口は 2025 年（令和７年）で 22,060 人（13.0%）ですが、年々減少し、2055 年（令和 37 年）には 6,100 人（4.8%）になると推計されます。

15～64 歳人口は 2025 年（令和７年）の 102,963 人（60.8%）から年々減少し、2055 年（令和 37 年）には 75,555 人（58.9%）になると推計されます。

65 歳以上人口は 2025 年（令和７年）の 44,261 人（26.1%）から年々増加し、2045 年（令和 27 年）には 47,220 人となります。その後は減少し、2055 年（令和 37 年）には 46,637 人（36.4%）になると推計されます。

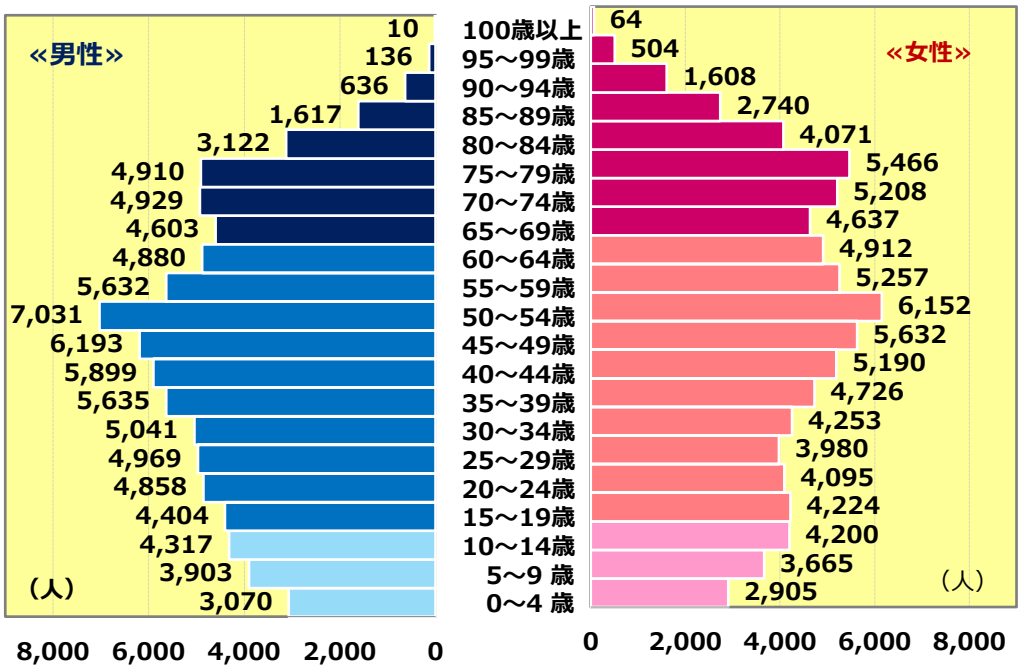


	2025 年	2030 年	2035 年	2040 年	2045 年	2050 年	2055 年
0～14 歳人口	22,060 (13.0%)	19,086 (11.5%)	15,924 (9.9%)	13,174 (8.6%)	10,926 (7.5%)	8,560 (6.2%)	6,100 (4.8%)
15～64 歳人口	102,963 (60.8%)	102,070 (61.6%)	99,306 (62.0%)	93,235 (60.9%)	87,818 (60.2%)	81,734 (59.4%)	75,555 (58.9%)
65 歳以上人口	44,261 (26.1%)	44,501 (26.9%)	44,858 (28.0%)	46,756 (30.5%)	47,220 (32.4%)	47,216 (34.3%)	46,637 (36.4%)

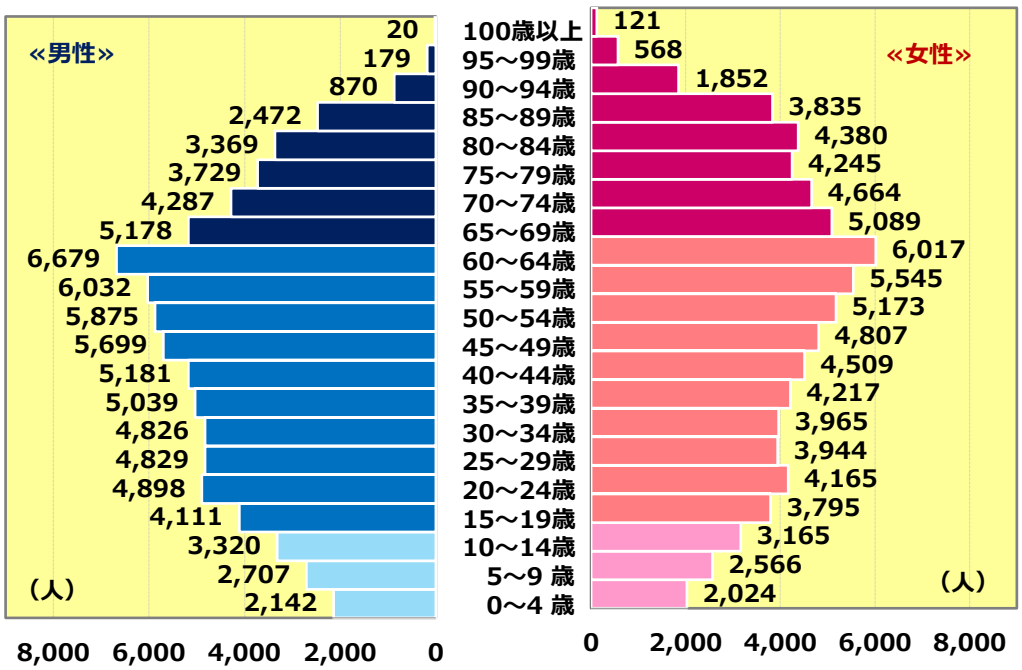
（４）５歳階級別人口

５歳階級別人口の将来見通しは、以下の図のとおりです。

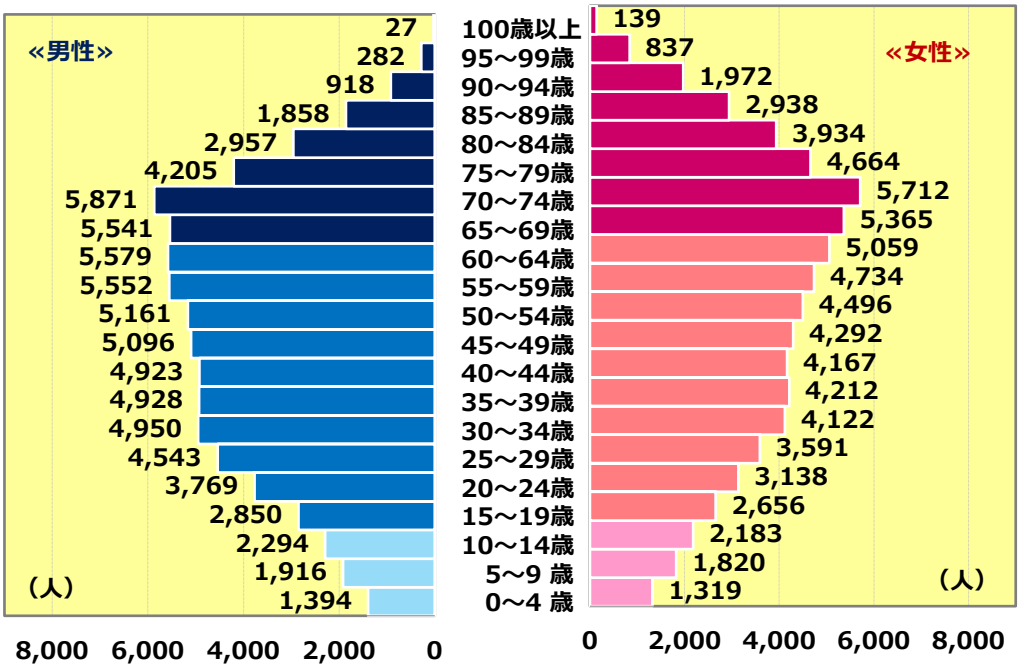
2025 年（令和７年）



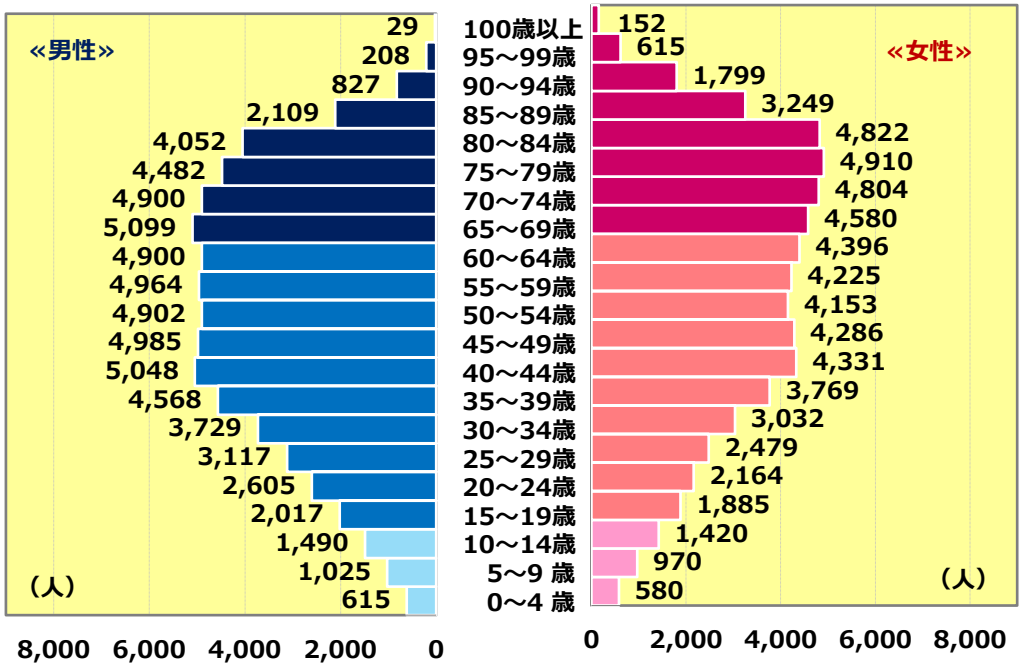
2035 年（令和 17 年）



2045 年（令和 27 年）



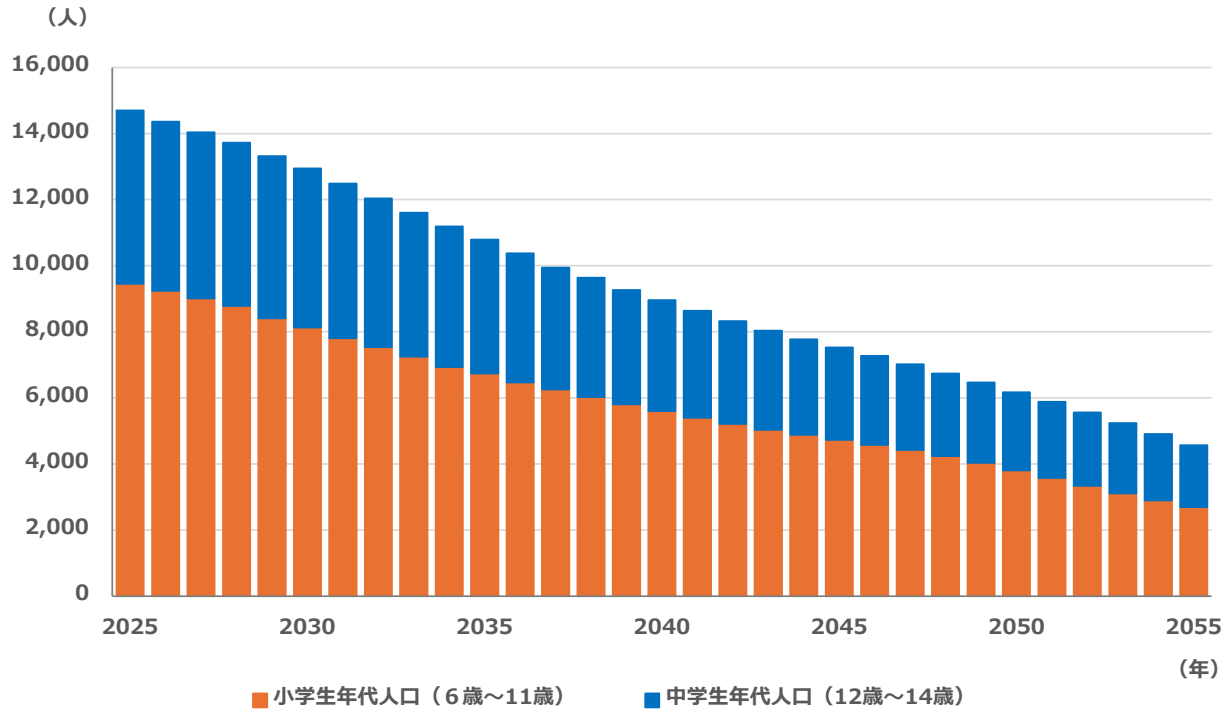
2055 年（令和 37 年）



（５）小学生年代・中学生年代人口

小学生年代の人口は、2025 年（令和 7 年）と 2055 年（令和 37 年）を比較すると、9,455 人から 2,698 人へと、約 71.4%（6,757 人）減少すると推計されます。

中学生年代の人口は、2025 年（令和 7 年）と 2055 年（令和 37 年）を比較すると、5,242 人から 1,874 人へと、約 64.3%（3,368 人）減少すると推計されます。

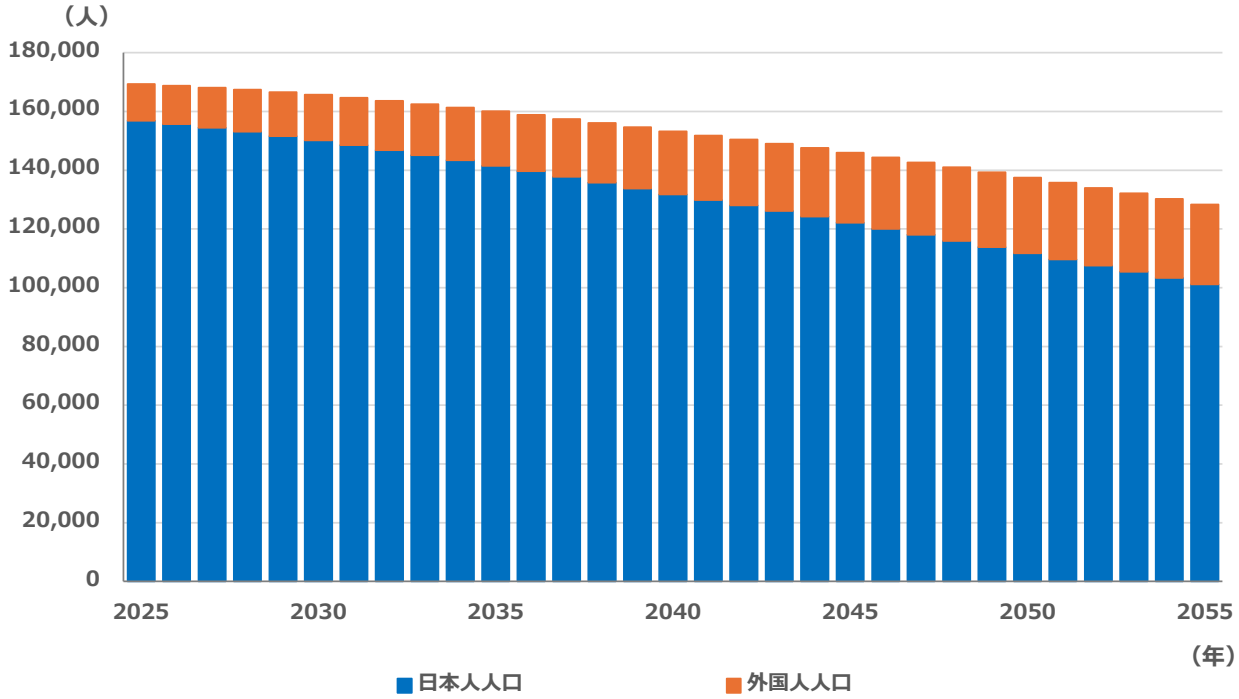


	2025 年	2030 年	2035 年	2040 年	2045 年	2050 年	2055 年
小学生年代（６～11 歳）	9,455	8,128	6,735	5,599	4,731	3,807	2,698
中学生年代（12～14 歳）	5,242	4,814	4,059	3,364	2,793	2,367	1,874
計	14,697	12,942	10,794	8,963	7,524	6,174	4,572

（６）日本人・外国人の人口

外国人人口は 2025 年（令和７年）の 12,418 人から年々増加し、2055 年（令和 37 年）には 27,147 人になると推計されます。その一方で、日本人人口は年々減少し、2025 年（令和７年）の 156,866 人から、2055 年（令和 37 年）には 101,145 人になると推計されます。

なお、総人口に対する外国人比率は 2025 年（令和７年）では 7.3%ですが、2055 年（令和 37 年）には 21.2%と、５人に１人が外国人という状況になると推計されます。

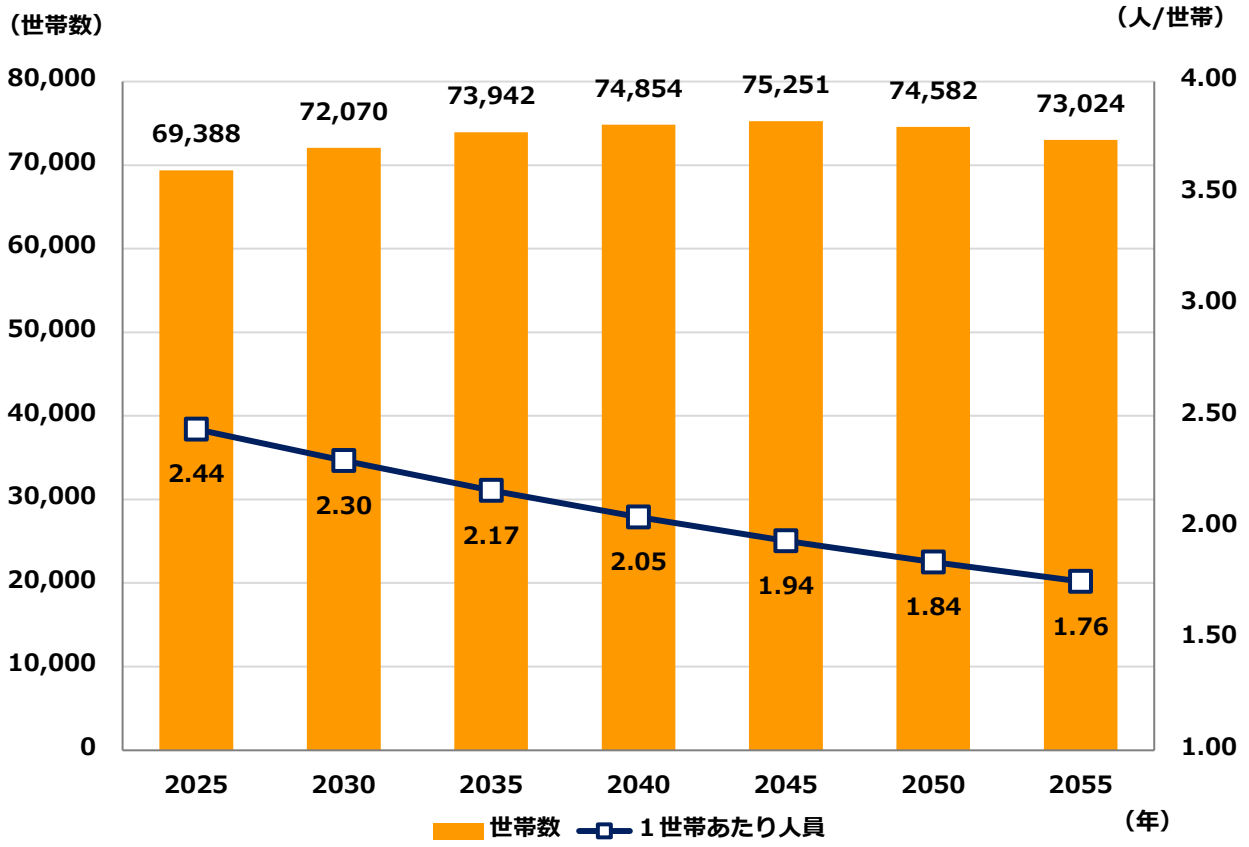


	2025 年	2030 年	2035 年	2040 年	2045 年	2050 年	2055 年
日本人	156,866 (92.7%)	150,120 (90.6%)	141,512 (88.4%)	131,772 (86.0%)	122,136 (83.7%)	111,745 (81.3%)	101,145 (78.8%)
外国人	12,418 (7.3%)	15,537 (9.4%)	18,576 (11.6%)	21,393 (14.0%)	23,828 (16.3%)	25,765 (18.7%)	27,147 (21.2%)

（７）将来世帯数

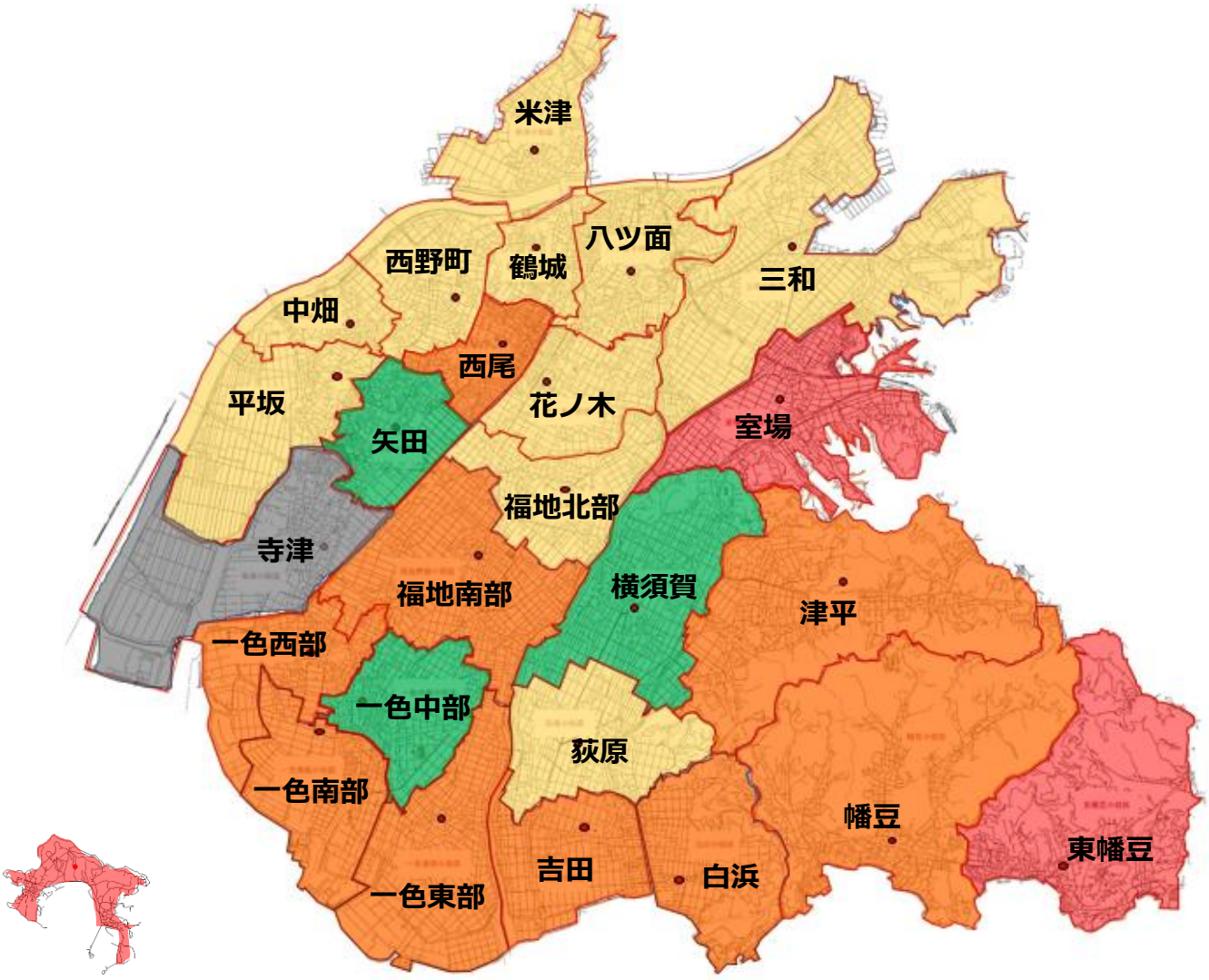
世帯数は年々増加し、2045 年（令和 27 年）には 75,251 世帯となります。その後は減少し、2055 年（令和 37 年）には 73,024 世帯になると推計されます。

１世帯あたりの人員は 2025 年（令和７年）の 2.44 人から年々減少し、2055 年（令和 37 年）には 1.76 人になると推計されます。



2．小学校区別の推計結果

小学校区別では、2025 年（令和 7 年）から 2055 年（令和 37 年）までの 30 年間で、人口が増加すると推計される小学校区が 3 地区、人口が 0～10%減少すると推計される小学校区が 1 地区、11%～30%減少すると推計される小学校区が 10 地区、31%～50%減少すると推計される小学校区が 9 地区、51%以上減少すると推計される小学校区が 3 地区となります。



2025→2055
50%以上減少

2025→2055
30～50%減少

2025→2055
10～30%減少

2025→2055
0～10%減少

2025→2055
増加する

（１）西尾小学校区

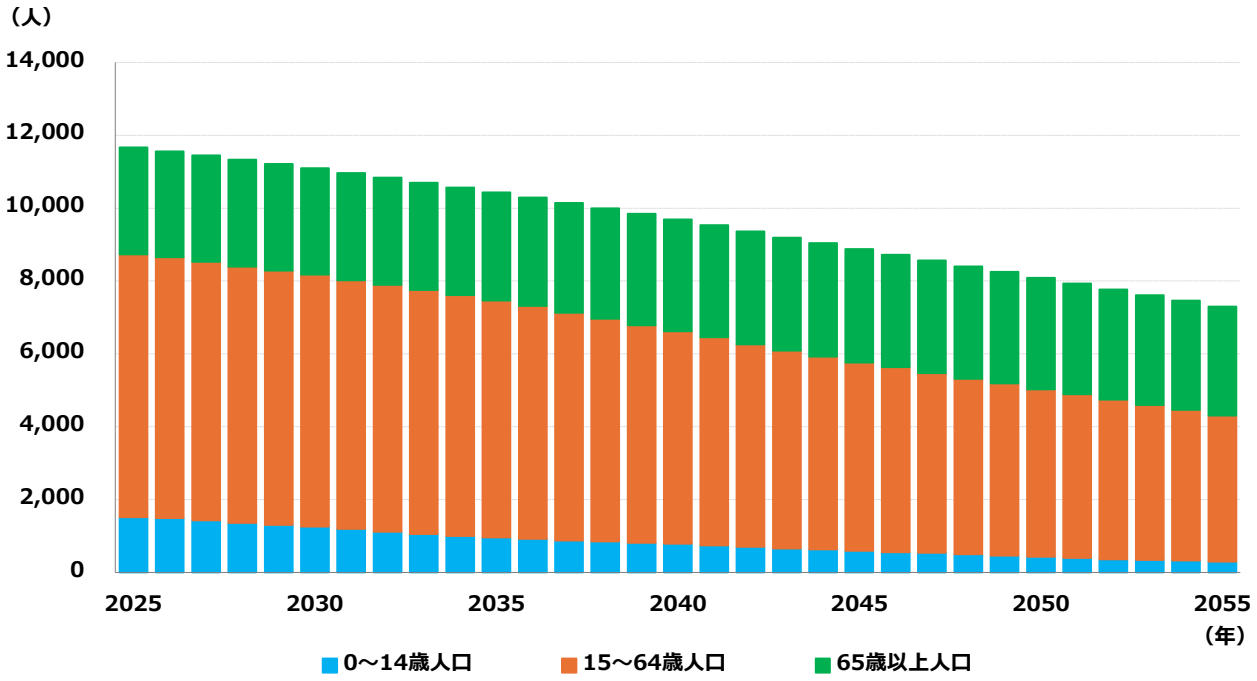
①年齢３区分別人口

西尾小学校区の人口は 2025 年（令和７年）の 11,673 人から年々減少し、2055 年（令和 37 年）には 7,298 人と、4,375 人（37.5%）減少すると推計されます。

０～14 歳人口は 2025 年（令和７年）の 1,513 人（13.0%）から年々減少し、2055 年（令和 37 年）には 294 人（4.0%）になると推計されます。

15～64 歳人口は 2025 年（令和７年）の 7,214 人（61.8%）から年々減少し、2055 年（令和 37 年）には 4,013 人（55.0%）になると推計されます。

65 歳以上人口は 2025 年（令和７年）の 2,946 人（25.2%）から 2030 年（令和 12 年）にかけて減少するものの、その後は増加に転じます。2045 年（令和 27 年）以降に再び減少に転じ、2055 年（令和 37 年）には 2,991 人（41.0%）になると推計されます。



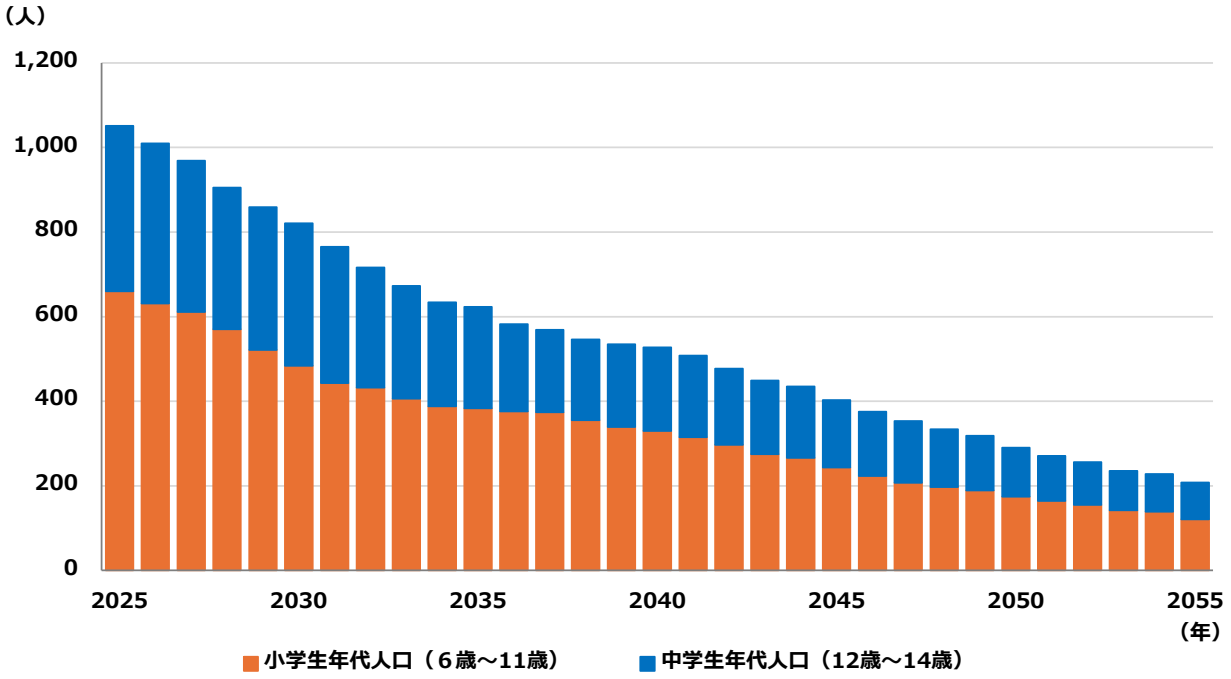
	2025 年	2030 年	2035 年	2040 年	2045 年	2050 年	2055 年
0～14 歳人口	1,513 (13.0%)	1,257 (11.3%)	964 (9.2%)	791 (8.2%)	596 (6.7%)	429 (5.3%)	294 (4.0%)
15～64 歳人口	7,214 (61.8%)	6,915 (62.3%)	6,504 (62.3%)	5,833 (60.2%)	5,168 (58.2%)	4,598 (56.8%)	4,013 (55.0%)
65 歳以上人口	2,946 (25.2%)	2,927 (26.4%)	2,964 (28.4%)	3,070 (31.7%)	3,115 (35.1%)	3,064 (37.9%)	2,991 (41.0%)
計	11,673	11,099	10,432	9,694	8,879	8,091	7,298

（１）西尾小学校区

②小学生年代・中学生年代人口

小学生年代の人口は、2025 年（令和 7 年）と 2055 年（令和 37 年）を比較すると、660 人から 121 人へと、約 81.7%（539 人）減少すると推計されます。

中学生年代の人口は、2025 年（令和 7 年）と 2055 年（令和 37 年）を比較すると、391 人から 87 人へと、約 77.7%（304 人）減少すると推計されます。



	2025 年	2030 年	2035 年	2040 年	2045 年	2050 年	2055 年
小学生年代（６～11 歳）	660	484	383	330	243	174	121
中学生年代（12～14 歳）	391	337	240	197	160	116	87
計	1,051	821	623	527	403	290	208

（１）西尾小学校区

③５歳階級別（2025 年→2055 年）

図　2025 年

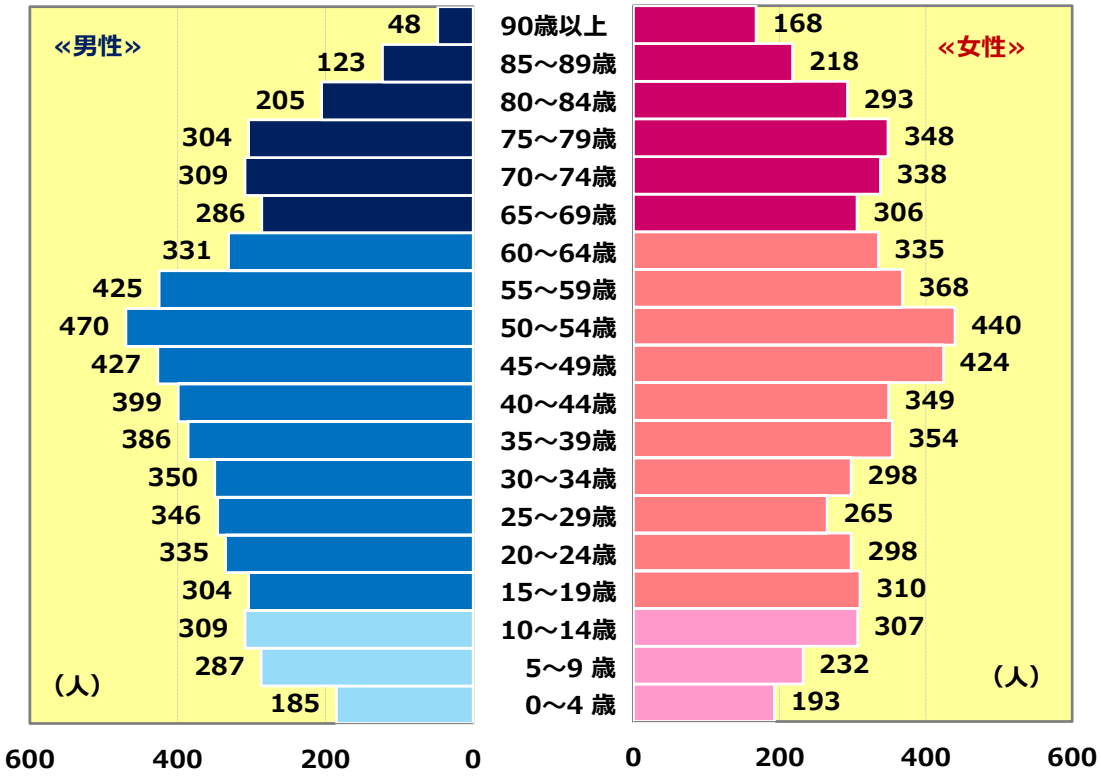


図　2035 年

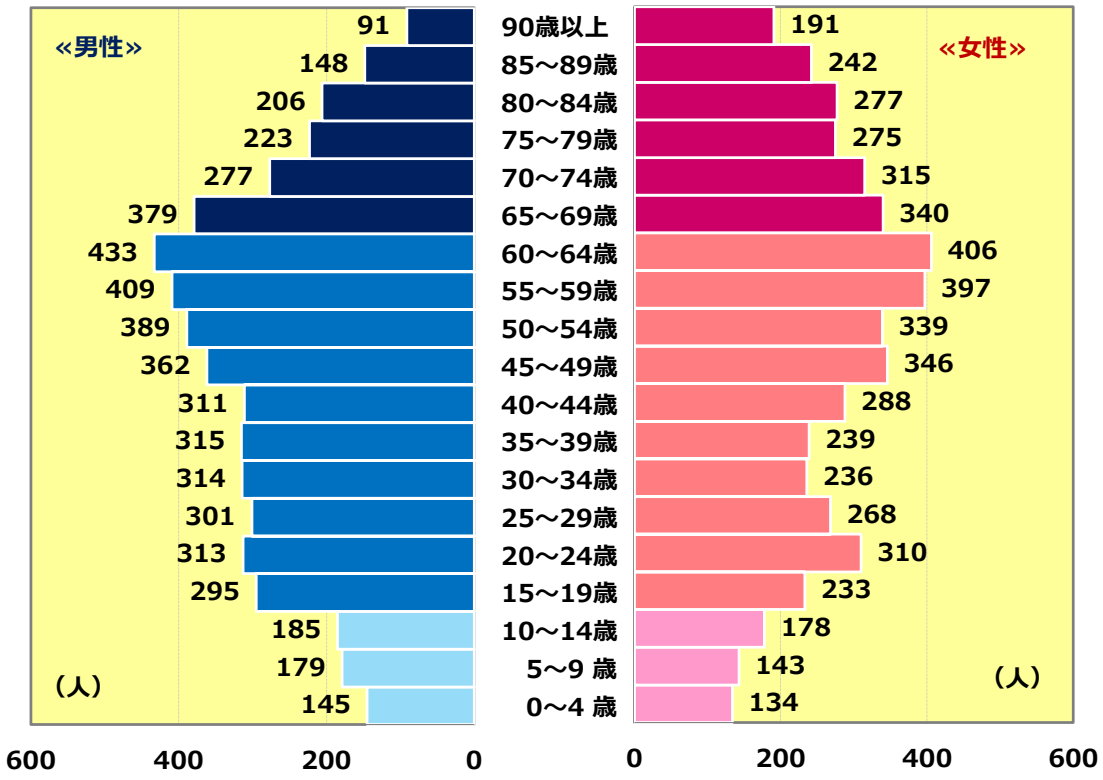


図　2045 年

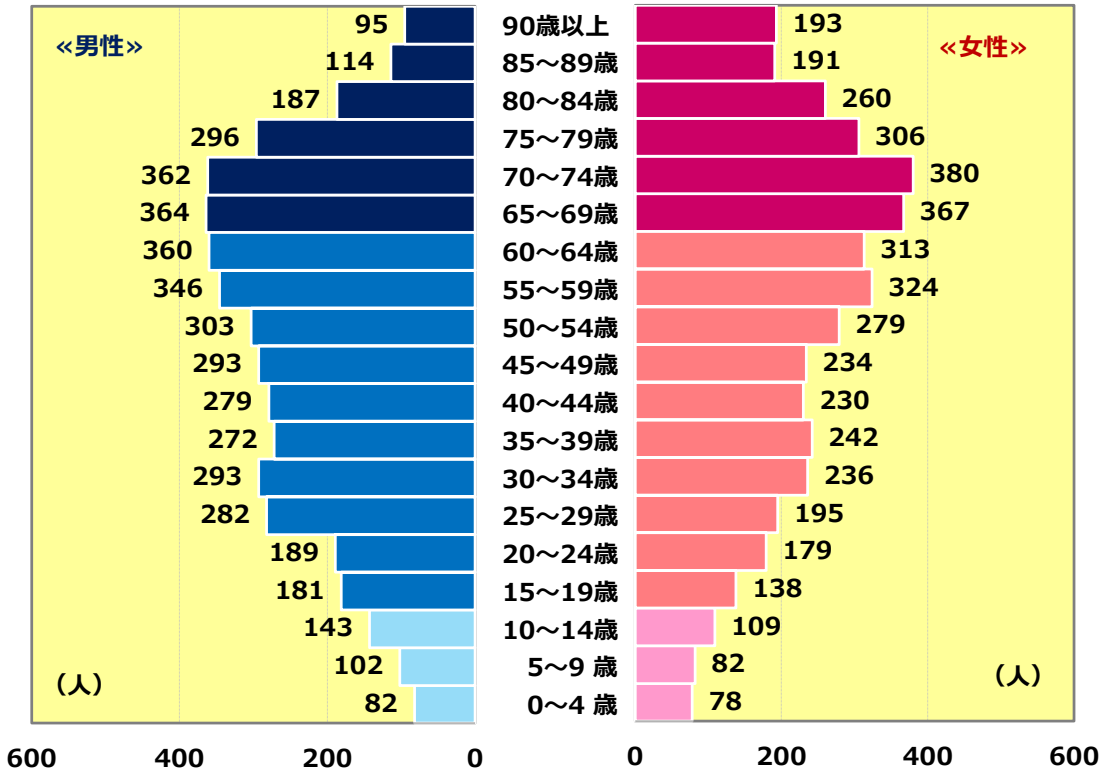
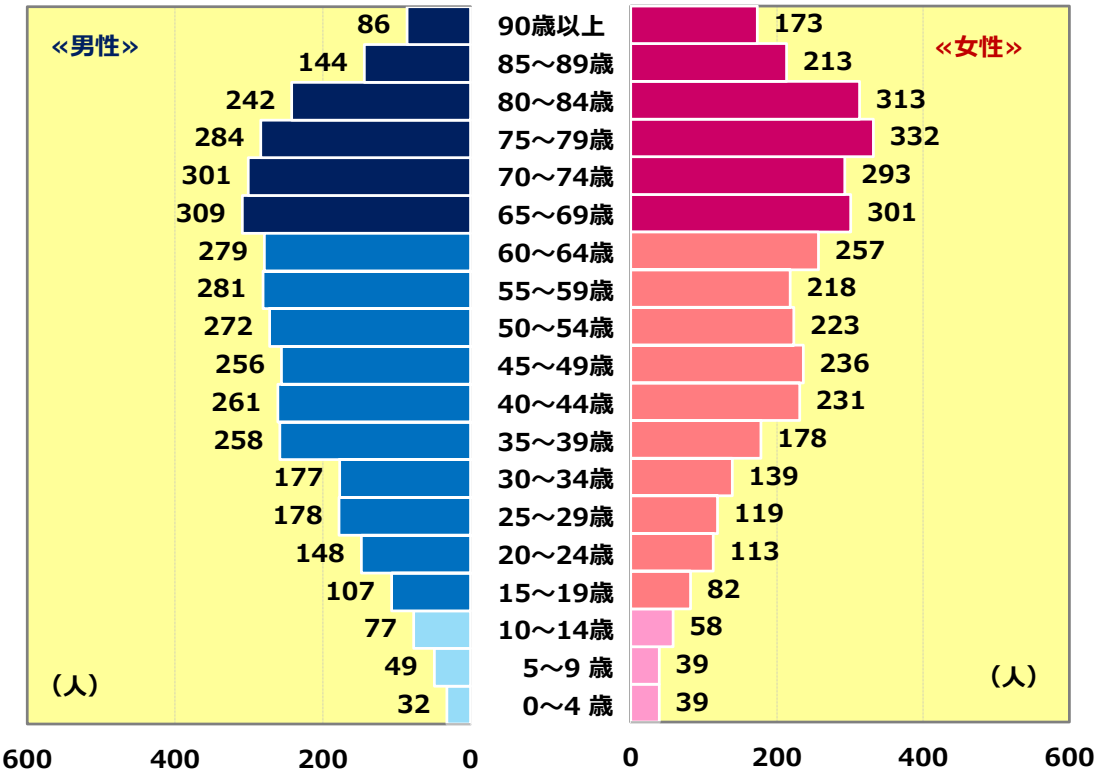


図　2055 年



（２）花ノ木小学校区

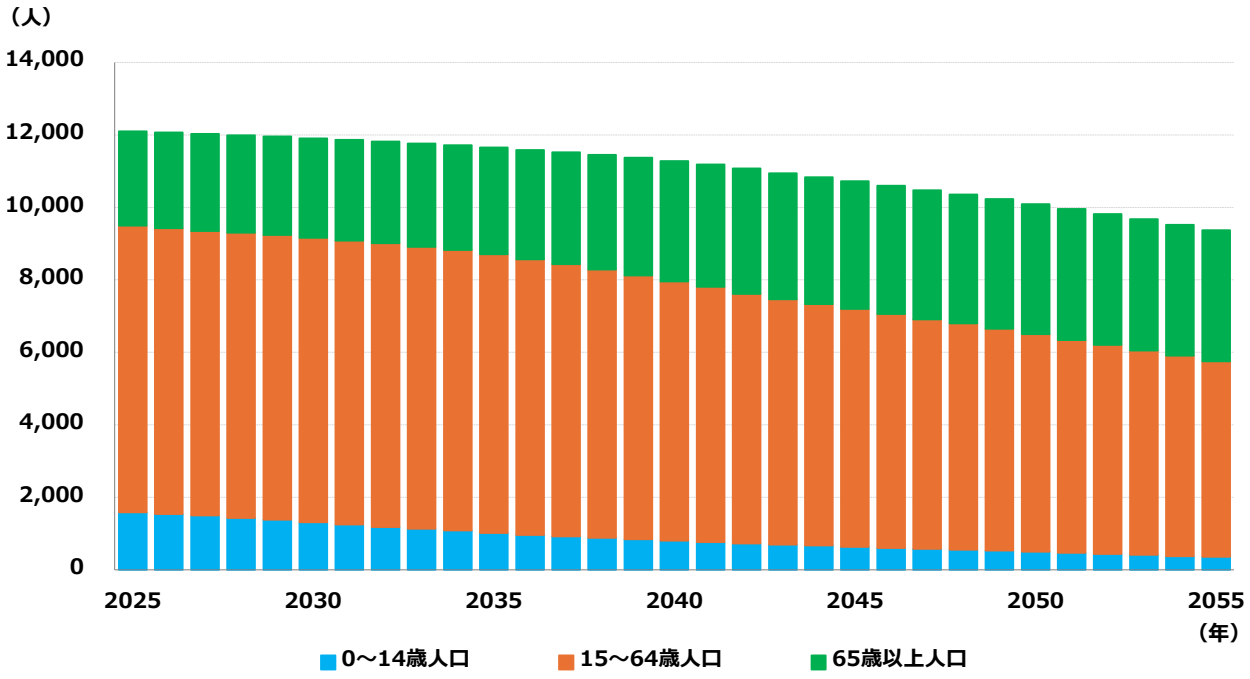
①年齢３区分別人口

花ノ木小学校区の人口は 2025 年（令和７年）の 12,100 人から年々減少し、2055 年（令和 37 年）には 9,371 人と、2,729 人（22.6%）減少すると推計されます。

０～14 歳人口は 2025 年（令和７年）の 1,584 人（13.1%）から年々減少し、2055 年（令和 37 年）には 358 人（3.8%）になると推計されます。

15～64 歳人口は 2025 年（令和７年）の 7,913 人（65.4%）から年々減少し、2055 年（令和 37 年）には 5,398 人（57.6%）になると推計されます。

65 歳以上人口は 2025 年（令和７年）の 2,603 人（21.5%）から年々増加し、2055 年（令和 37 年）には 3,615 人（38.6%）になると推計されます。



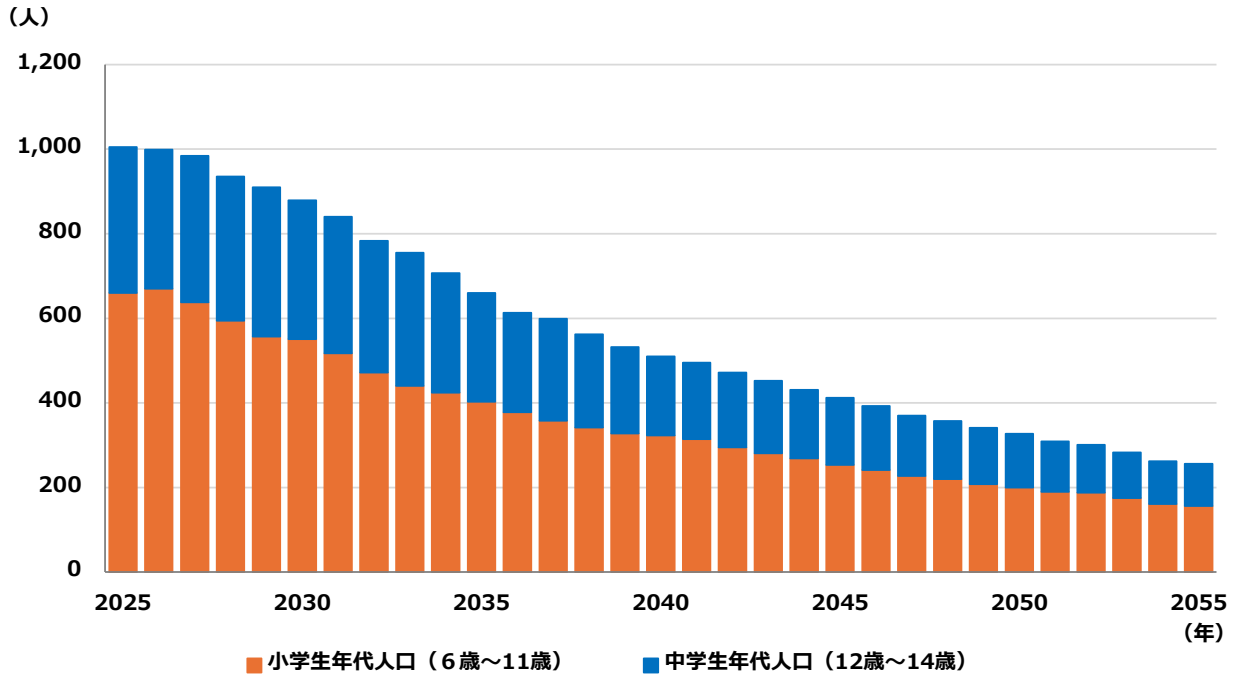
	2025 年	2030 年	2035 年	2040 年	2045 年	2050 年	2055 年
0～14 歳人口	1,584 (13.1%)	1,316 (11.1%)	1,013 (8.7%)	805 (7.1%)	633 (5.9%)	497 (4.9%)	358 (3.8%)
15～64 歳人口	7,913 (65.4%)	7,847 (65.9%)	7,692 (66.0%)	7,152 (63.4%)	6,564 (61.2%)	6,007 (59.5%)	5,398 (57.6%)
65 歳以上人口	2,603 (21.5%)	2,741 (23.0%)	2,946 (25.3%)	3,321 (29.4%)	3,525 (32.9%)	3,590 (35.6%)	3,615 (38.6%)
計	12,100	11,904	11,651	11,278	10,722	10,094	9,371

（２）花ノ木小学校区

②小学生年代・中学生年代人口

小学生年代の人口は、2025 年（令和 7 年）と 2055 年（令和 37 年）を比較すると、660 人から 156 人へと、約 76.4%（504 人）減少すると推計されます。

中学生年代の人口は、2025 年（令和 7 年）と 2055 年（令和 37 年）を比較すると、345 人から 100 人へと、約 71.0%（245 人）減少すると推計されます。



	2025 年	2030 年	2035 年	2040 年	2045 年	2050 年	2055 年
小学生年代（６～11 歳）	660	551	403	323	253	200	156
中学生年代（12～14 歳）	345	328	257	187	159	127	100
計	1,005	879	660	510	412	327	256

（２）花ノ木小学校区

③５歳階級別（2025 年→2055 年）

図　2025 年

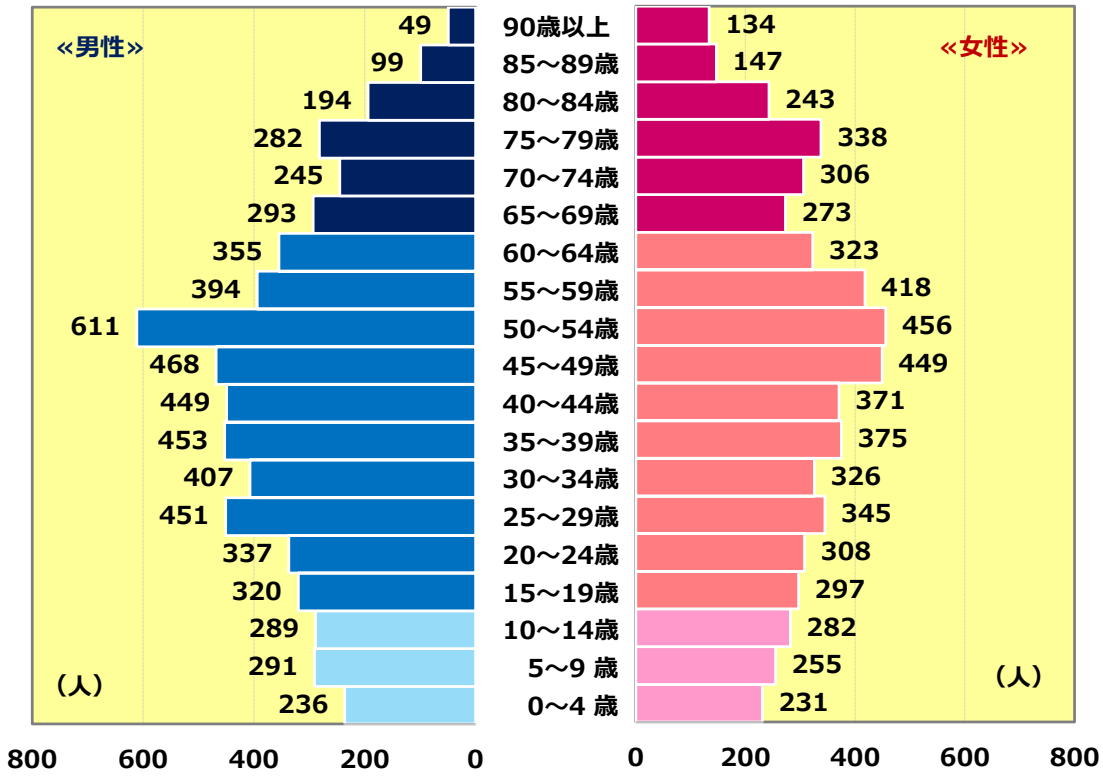


図　2035 年

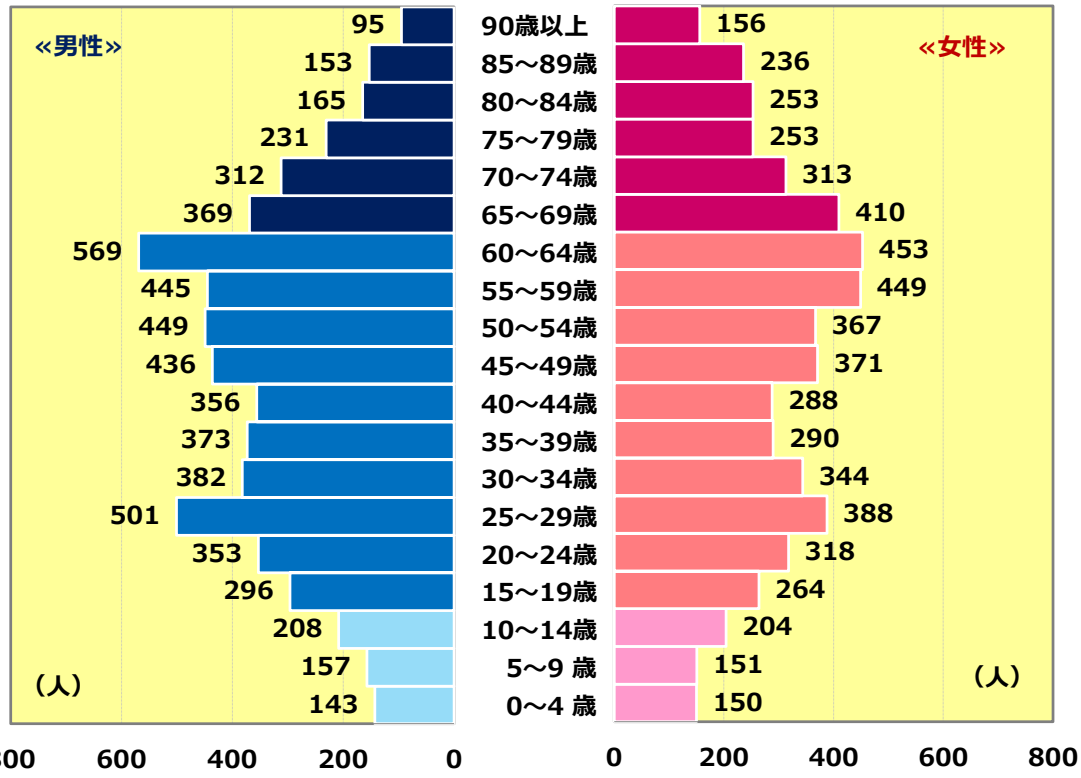


図　2045 年

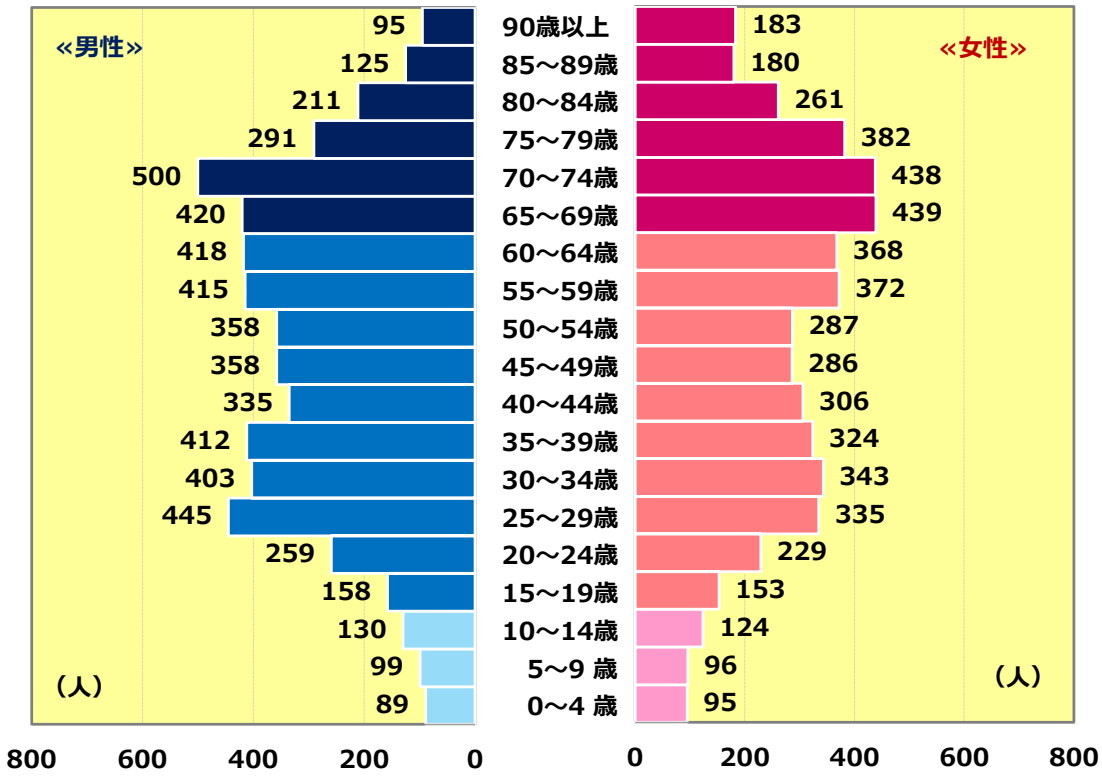
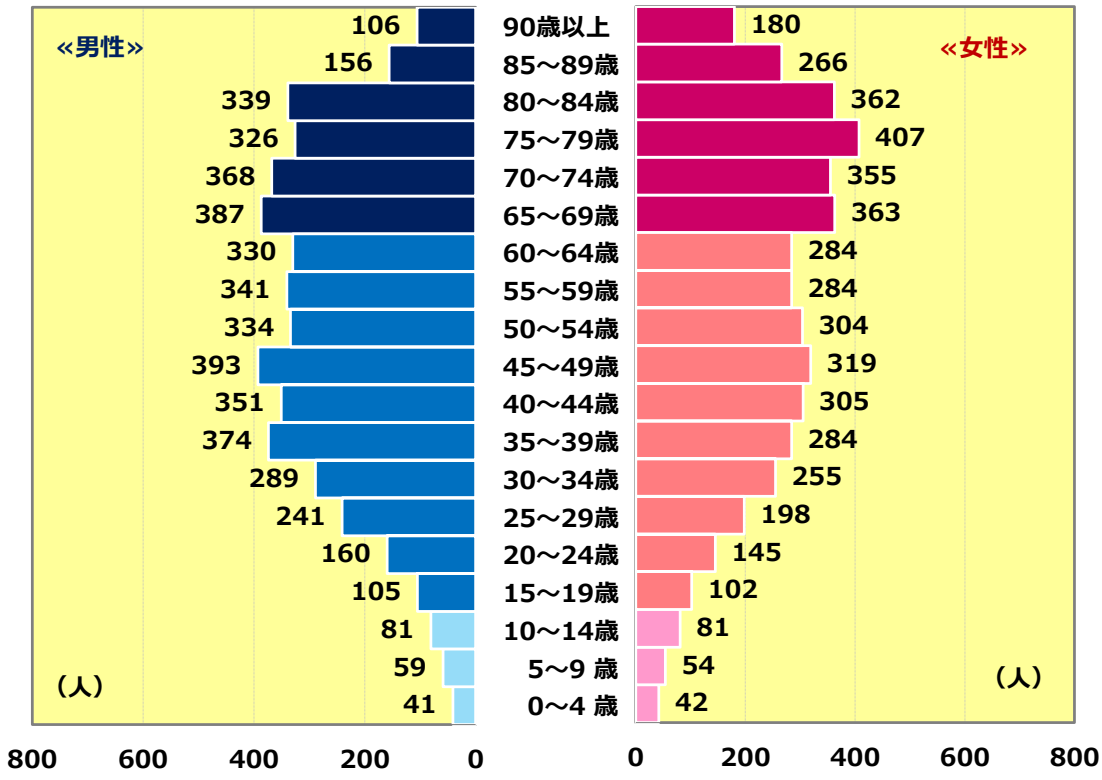


図　2055 年



（３）鶴城小学校区

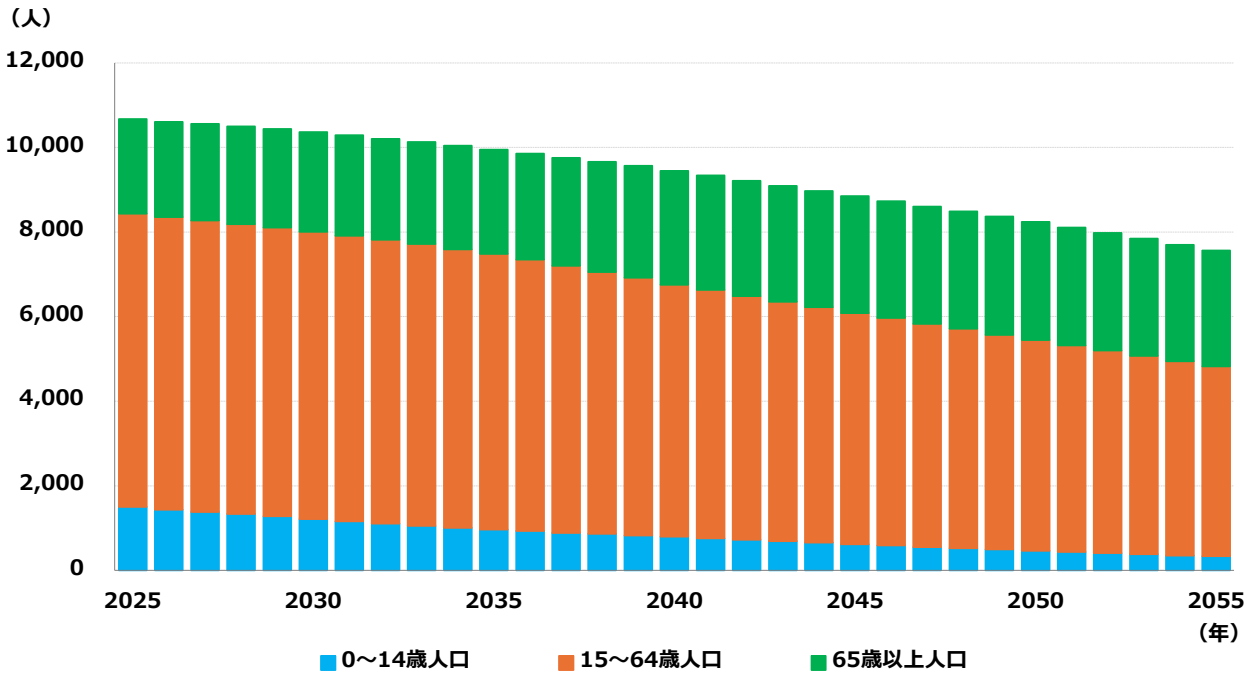
①年齢３区分別人口

鶴城小学校区の人口は 2025 年（令和７年）の 10,672 人から年々減少し、2055 年（令和 37 年）には 7,566 人と、3,106 人（29.1%）減少すると推計されます。

０～14 歳人口は 2025 年（令和７年）の 1,503 人（14.1%）から年々減少し、2055 年（令和 37 年）には 335 人（4.4%）になると推計されます。

15～64 歳人口は 2025 年（令和７年）の 6,935 人（65.0%）から年々減少し、2055 年（令和 37 年）には 4,487 人（59.3%）になると推計されます。

65 歳以上人口は 2025 年（令和７年）の 2,234 人（20.9%）から年々増加しますが、2050 年（令和 32 年）以降は減少に転じ、2055 年（令和 37 年）には 2,744 人（36.3%）になると推計されます。



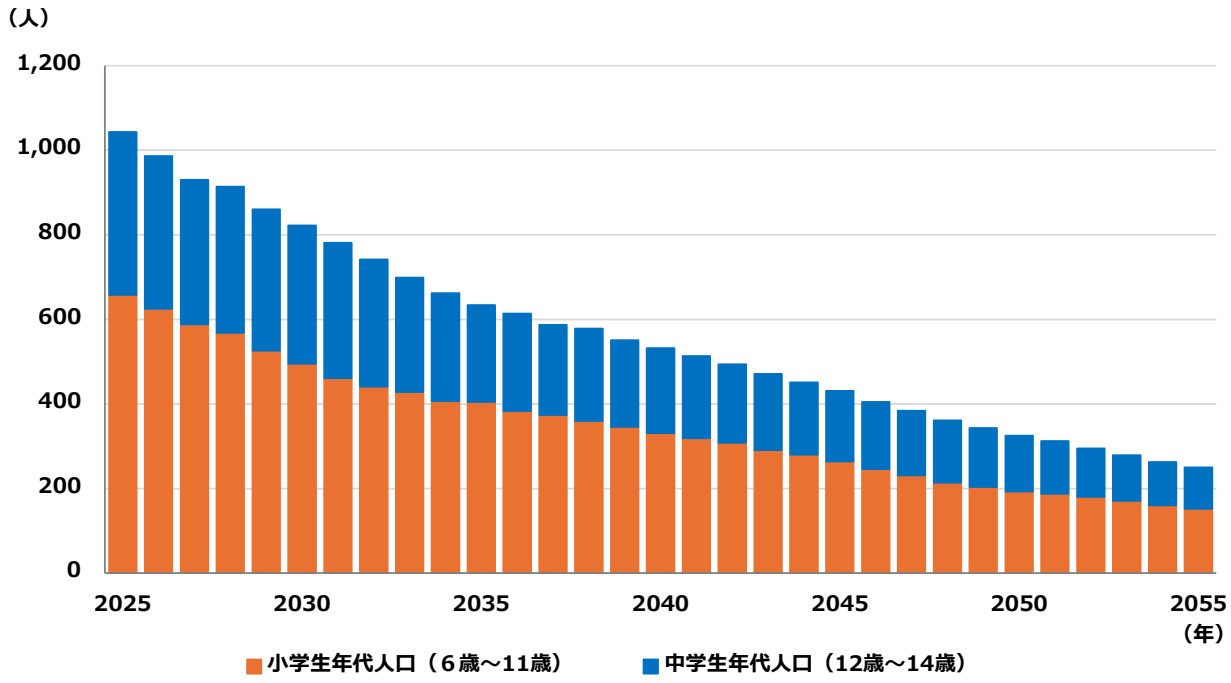
	2025 年	2030 年	2035 年	2040 年	2045 年	2050 年	2055 年
0～14 歳人口	1,503 (14.1%)	1,212 (11.7%)	964 (9.7%)	795 (8.4%)	615 (6.9%)	462 (5.6%)	335 (4.4%)
15～64 歳人口	6,935 (65.0%)	6,793 (65.5%)	6,518 (65.5%)	5,956 (63.0%)	5,466 (61.8%)	4,985 (60.5%)	4,487 (59.3%)
65 歳以上人口	2,234 (20.9%)	2,359 (22.8%)	2,469 (24.8%)	2,697 (28.5%)	2,768 (31.3%)	2,795 (33.9%)	2,744 (36.3%)
計	10,672	10,364	9,951	9,448	8,849	8,242	7,566

（３）鶴城小学校区

②小学生年代・中学生年代人口

小学生年代の人口は、2025 年（令和 7 年）と 2055 年（令和 37 年）を比較すると、658 人から 152 人へと、約 76.9%（506 人）減少すると推計されます。

中学生年代の人口は、2025 年（令和 7 年）と 2055 年（令和 37 年）を比較すると、385 人から 98 人へと、約 74.5%（287 人）減少すると推計されます。



	2025 年	2030 年	2035 年	2040 年	2045 年	2050 年	2055 年
小学生年代（６～11 歳）	658	495	405	331	264	193	152
中学生年代（12～14 歳）	385	327	229	201	167	132	98
計	1,043	822	634	532	431	325	250

（３）鶴城小学校区

③５歳階級別（2025 年→2055 年）

図　2025 年

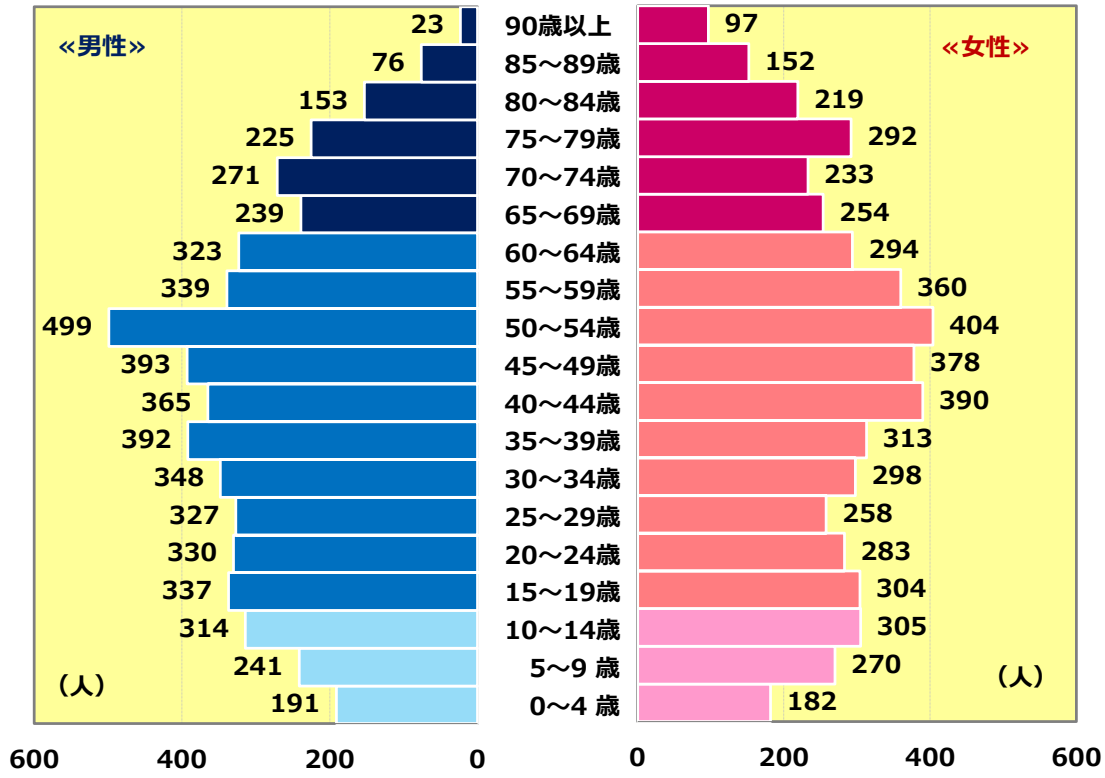


図　2035 年

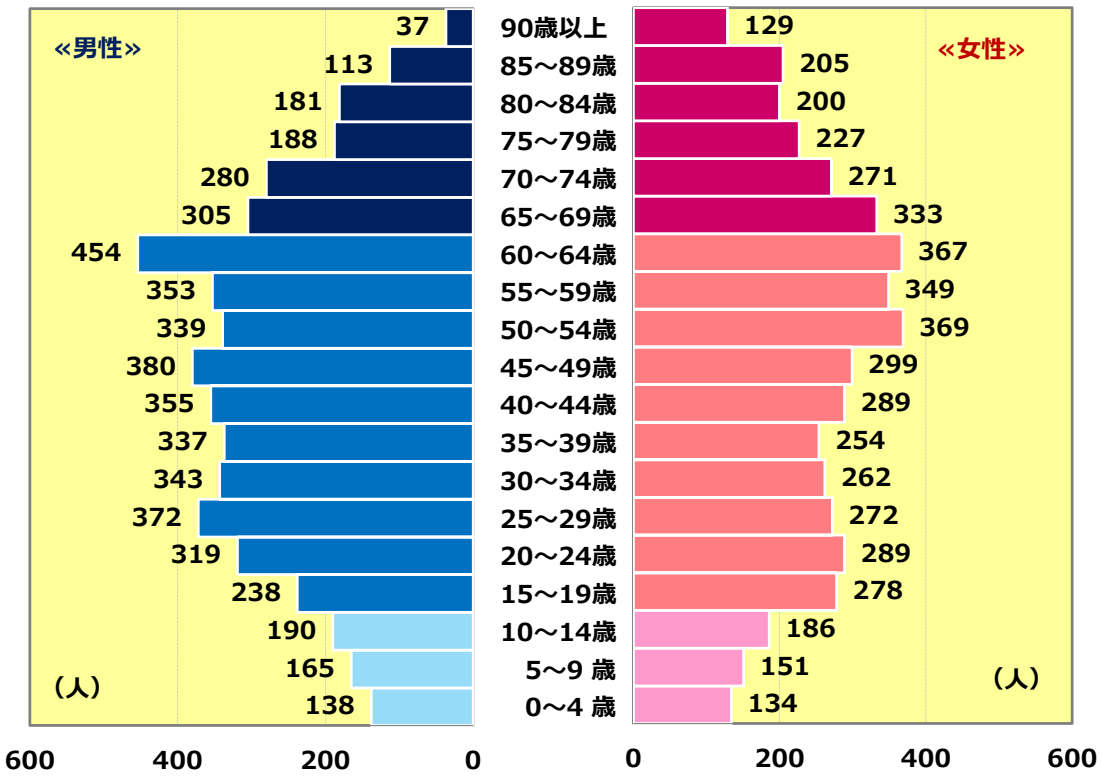


図　2045 年

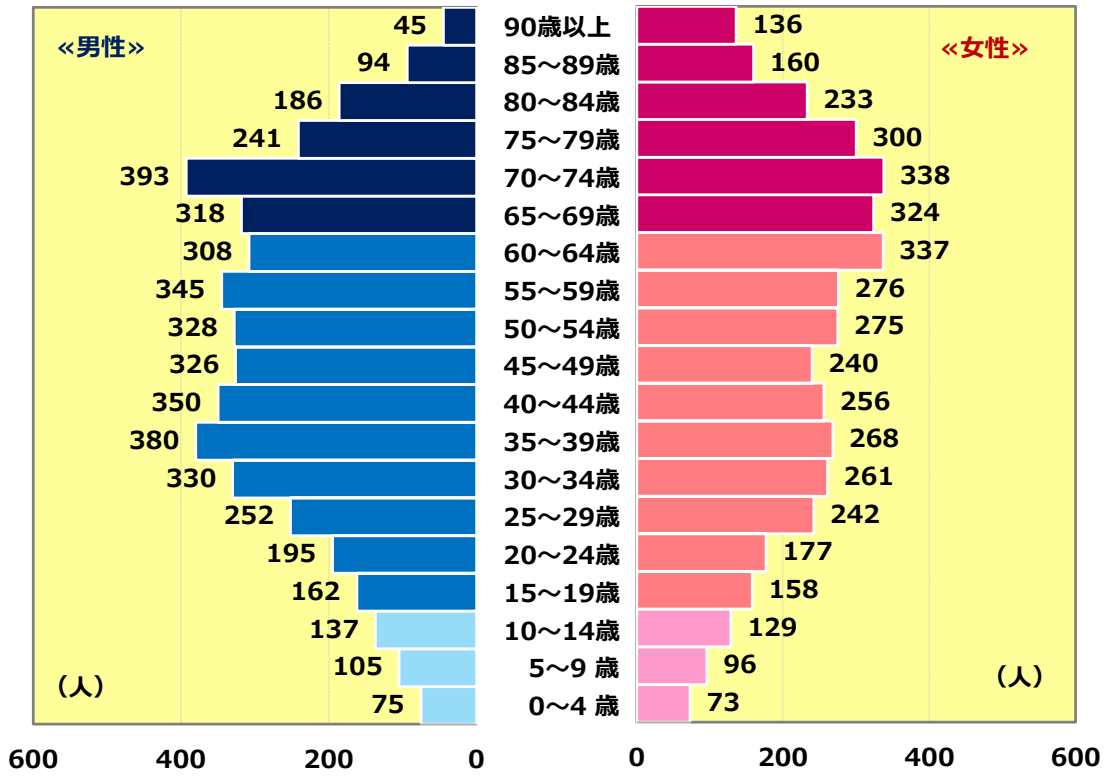
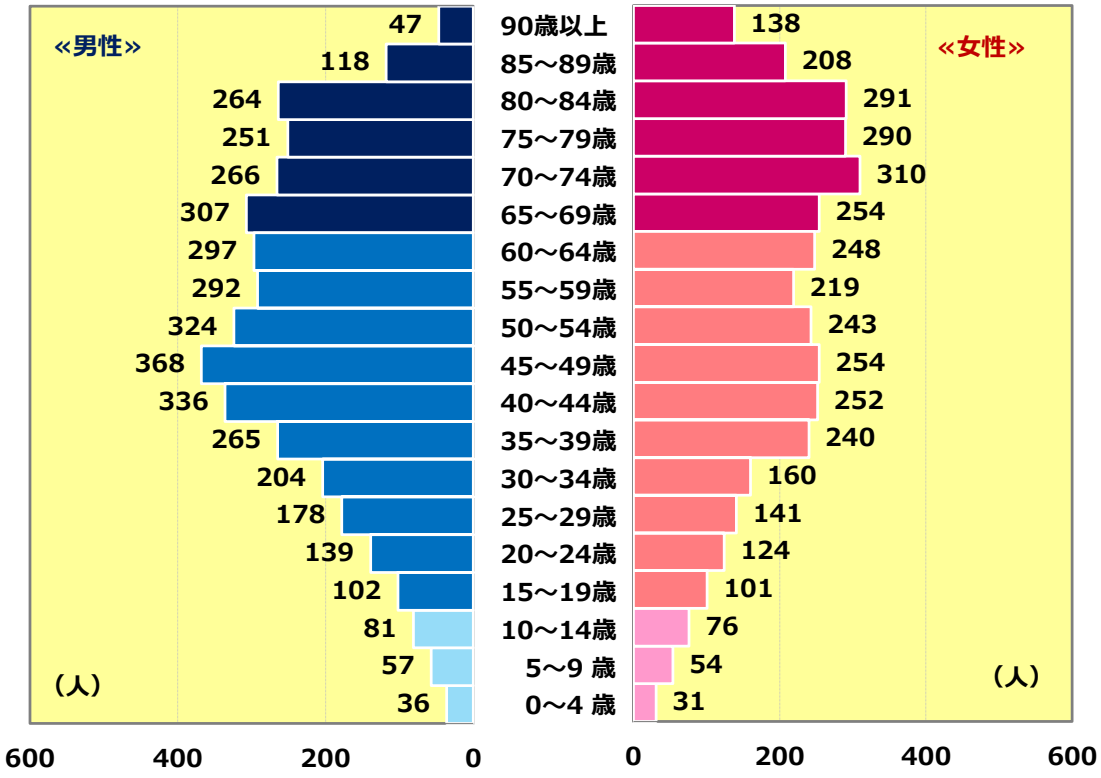


図　2055 年



（４）八ツ面小学校区

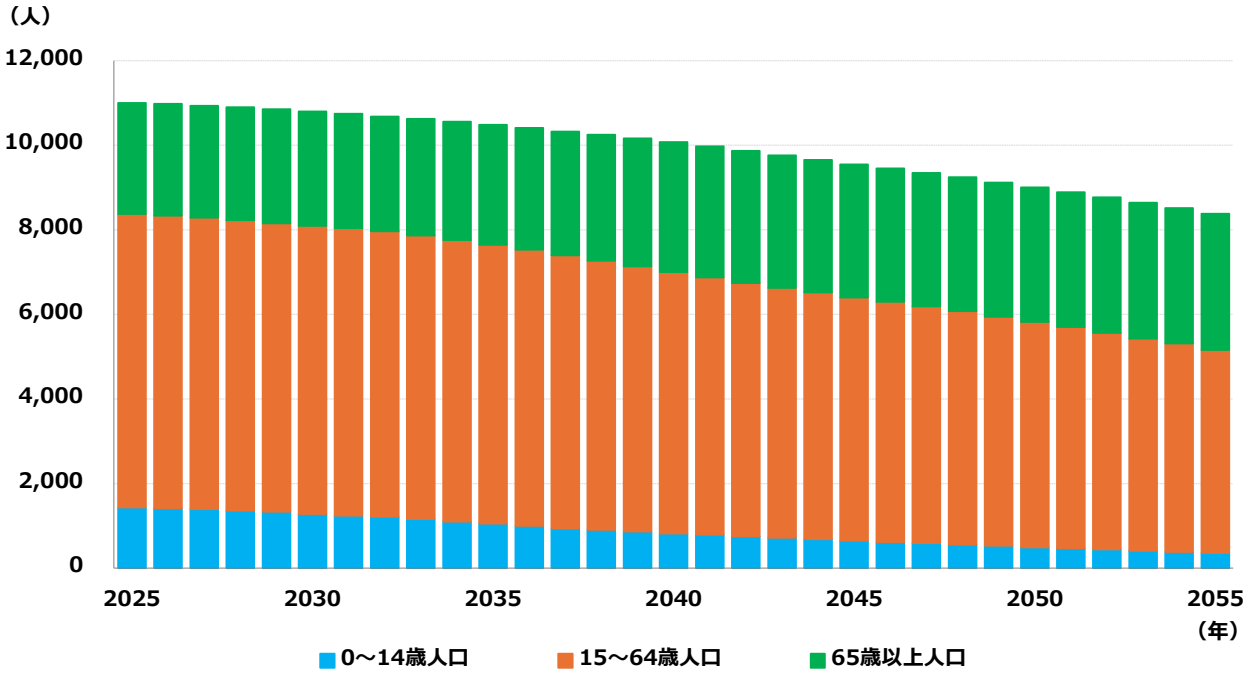
①年齢３区分別人口

八ツ面小学校区の人口は 2025 年（令和７年）の 11,003 人から年々減少し、2055 年（令和 37 年）には 8,383 人と、2,620 人（23.8%）減少すると推計されます。

０～14 歳人口は 2025 年（令和７年）の 1,437 人（13.1%）から年々減少し、2055 年（令和 37 年）には 357 人（4.3%）になると推計されます。

15～64 歳人口は 2025 年（令和７年）の 6,936 人（63.0%）から年々減少し、2055 年（令和 37 年）には 4,803 人（57.3%）になると推計されます。

65 歳以上人口は 2025 年（令和７年）の 2,630 人（23.9%）から年々増加し、2055 年（令和 37 年）には 3,223 人（38.4%）になると推計されます。



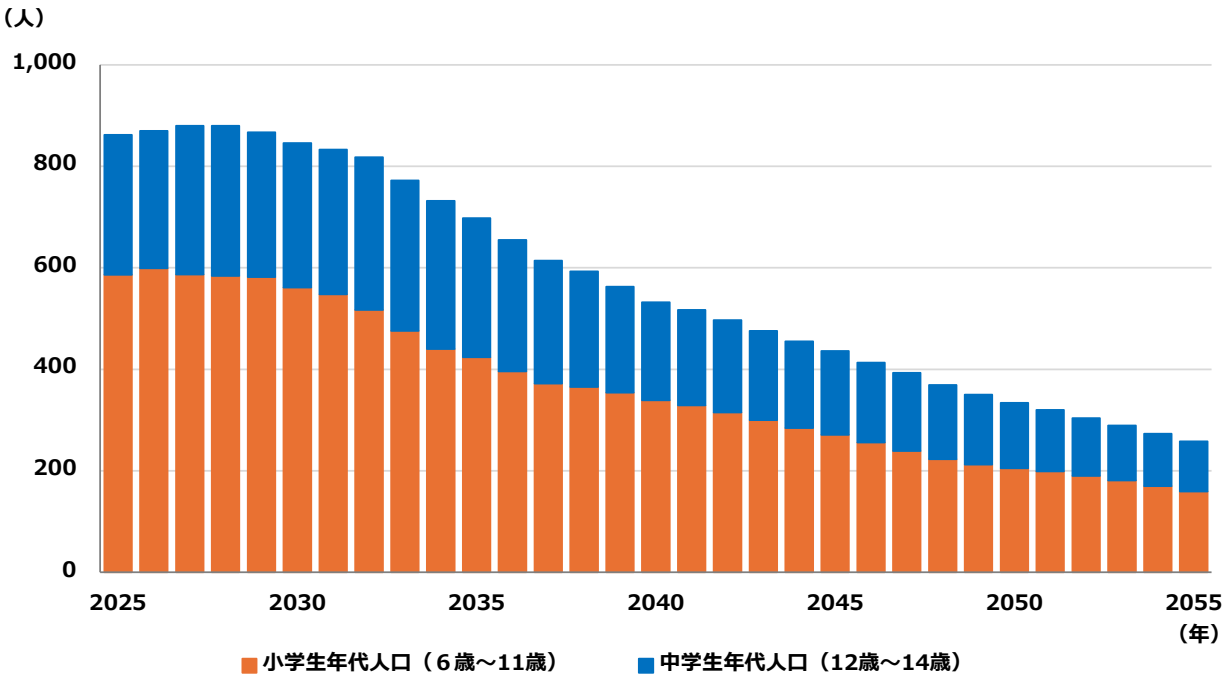
	2025 年	2030 年	2035 年	2040 年	2045 年	2050 年	2055 年
0～14 歳人口	1,437 (13.1%)	1,279 (11.8%)	1,055 (10.1%)	821 (8.1%)	651 (6.8%)	489 (5.4%)	357 (4.3%)
15～64 歳人口	6,936 (63.0%)	6,814 (63.1%)	6,587 (62.8%)	6,182 (61.4%)	5,750 (60.2%)	5,333 (59.2%)	4,803 (57.3%)
65 歳以上人口	2,630 (23.9%)	2,708 (25.1%)	2,842 (27.1%)	3,071 (30.5%)	3,149 (33.0%)	3,179 (35.3%)	3,223 (38.4%)
計	11,003	10,801	10,484	10,074	9,550	9,001	8,383

（４）八ツ面小学校区

②小学生年代・中学生年代人口

小学生年代の人口は、2025 年（令和 7 年）と 2055 年（令和 37 年）を比較すると、586 人から 159 人へと、約 72.9%（427 人）減少すると推計されます。

中学生年代の人口は、2025 年（令和 7 年）と 2055 年（令和 37 年）を比較すると、276 人から 99 人へと、約 64.1%（177 人）減少すると推計されます。



	2025 年	2030 年	2035 年	2040 年	2045 年	2050 年	2055 年
小学生年代（６～11 歳）	586	561	424	339	271	205	159
中学生年代（12～14 歳）	276	285	274	193	165	129	99
計	862	846	698	532	436	334	258

（４）八ツ面小学校区

③５歳階級別（2025 年→2055 年）

図　2025 年

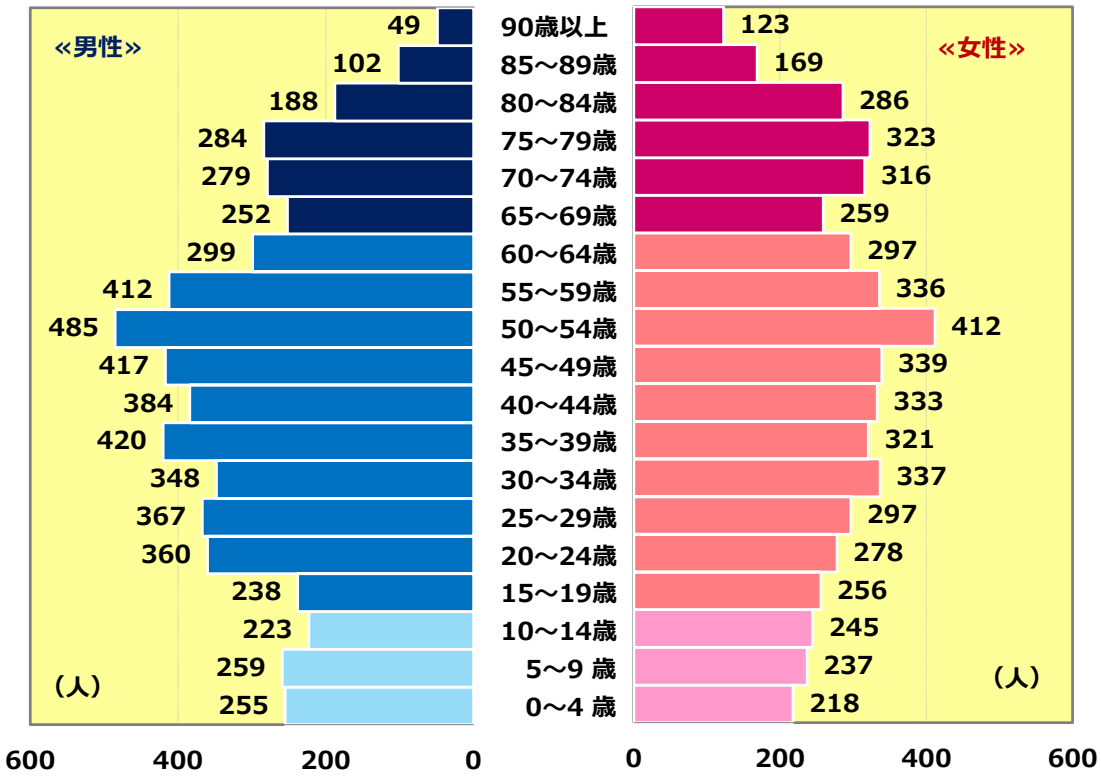


図　2035 年

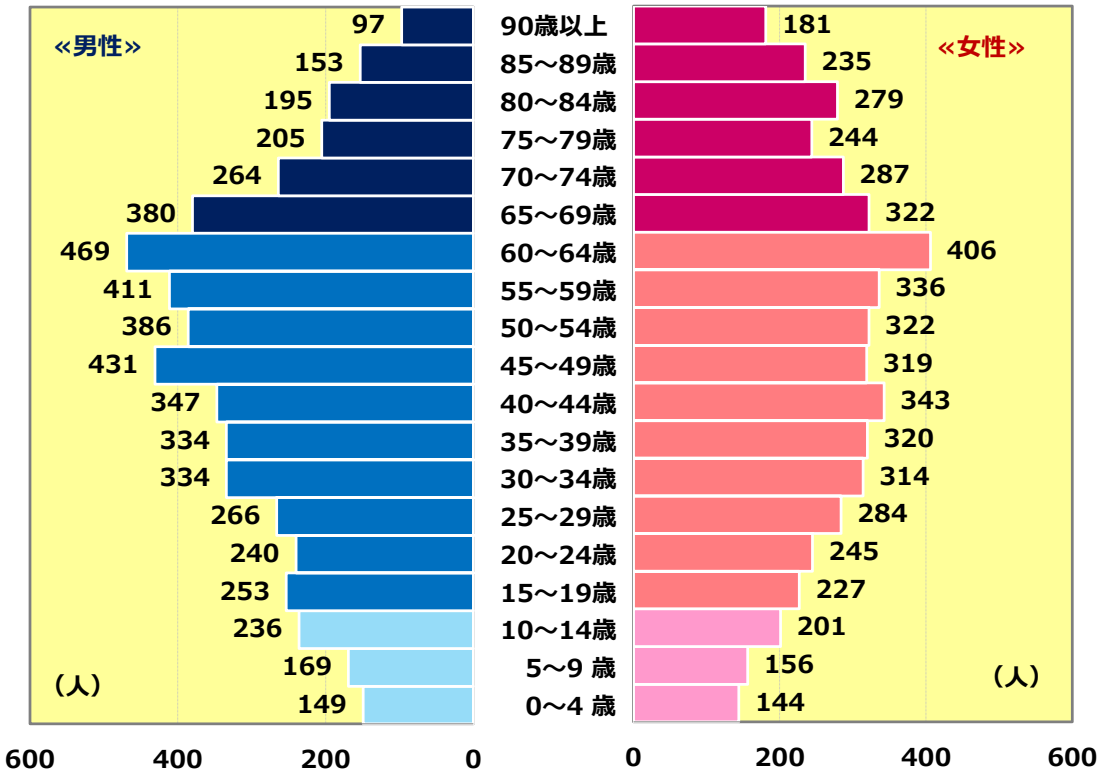


図　2045 年

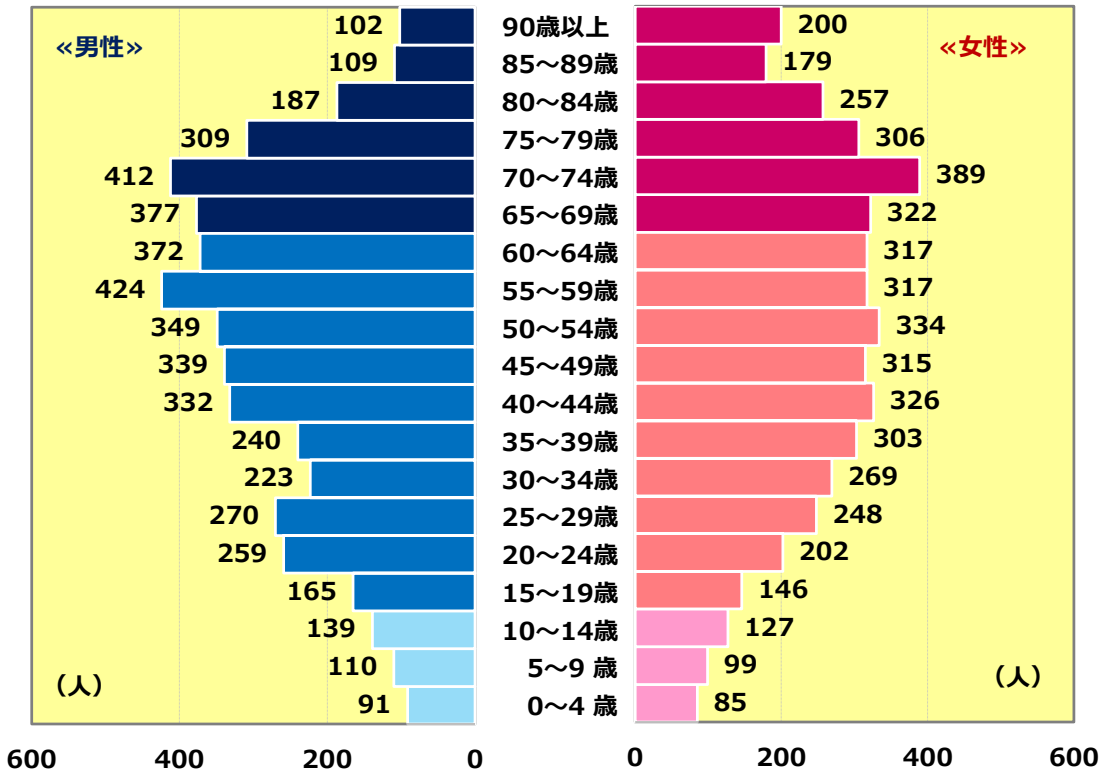
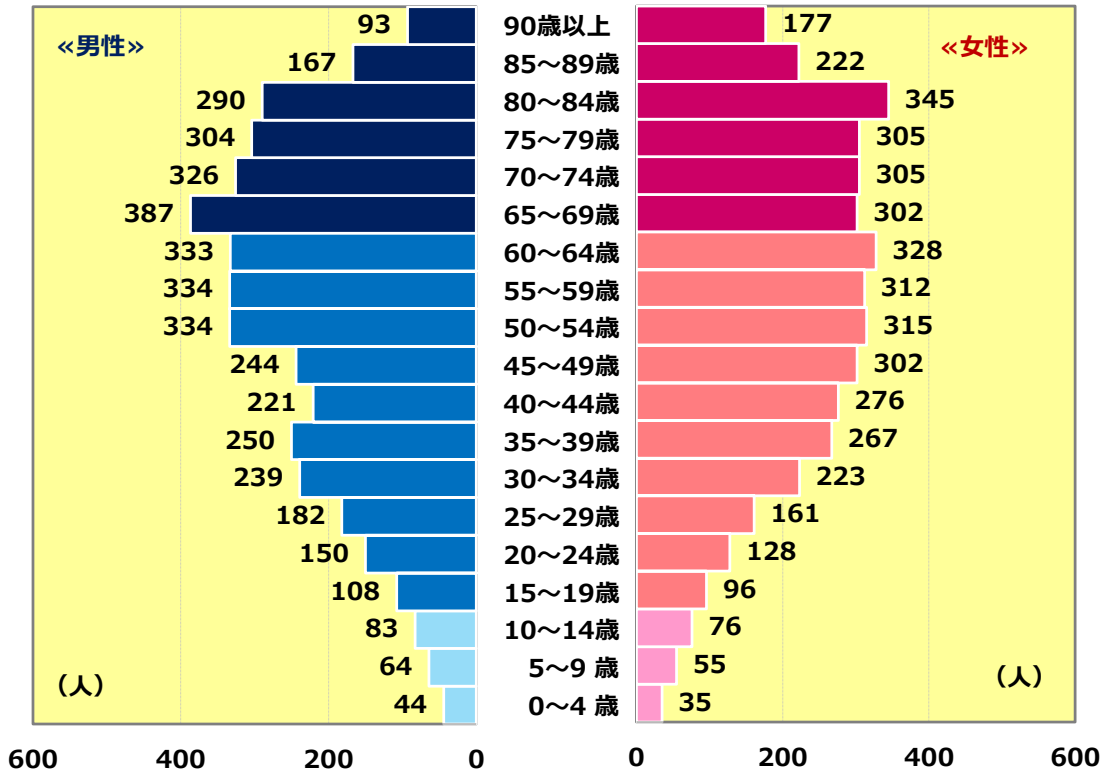


図　2055 年



（５）西野町小学校区

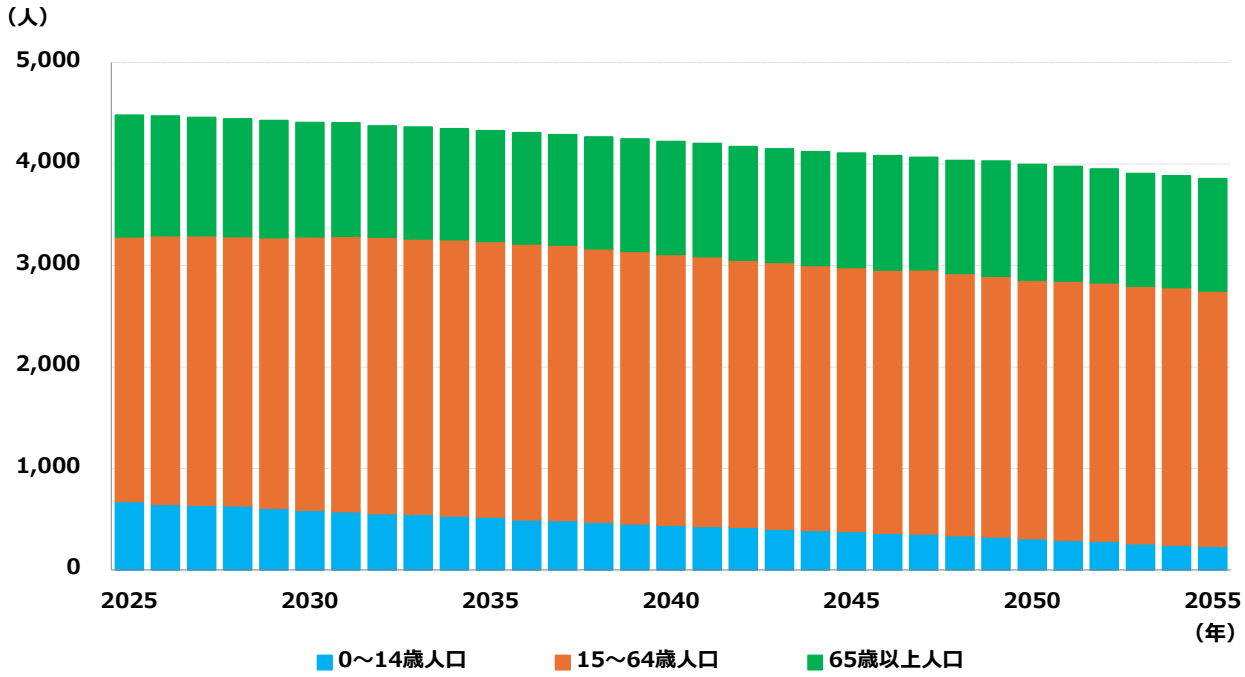
①年齢３区分別人口

西野町小学校区の人口は 2025 年（令和７年）の 4,480 人から年々減少し、2055 年（令和 37 年）には 3,855 人と、625 人（14.0%）減少すると推計されます。

０～14 歳人口は 2025 年（令和７年）の 676 人（15.1%）から年々減少し、2055 年（令和 37 年）には 234 人（6.1%）になると推計されます。

15～64 歳人口は 2025 年（令和７年）の 2,606 人（58.2%）から年々増加しますが、2035 年（令和 17 年）以降は減少に転じ、2055 年（令和 37 年）には 2,515 人（65.2%）になると推計されます。

65 歳以上人口は 2025 年（令和７年）の 1,198 人（26.7%）から減少するものの、2040 年から 2050 年には一旦増加に転じます。その後は再び減少し、2055 年（令和 37 年）には 1,106 人（28.7%）になると推計されます。



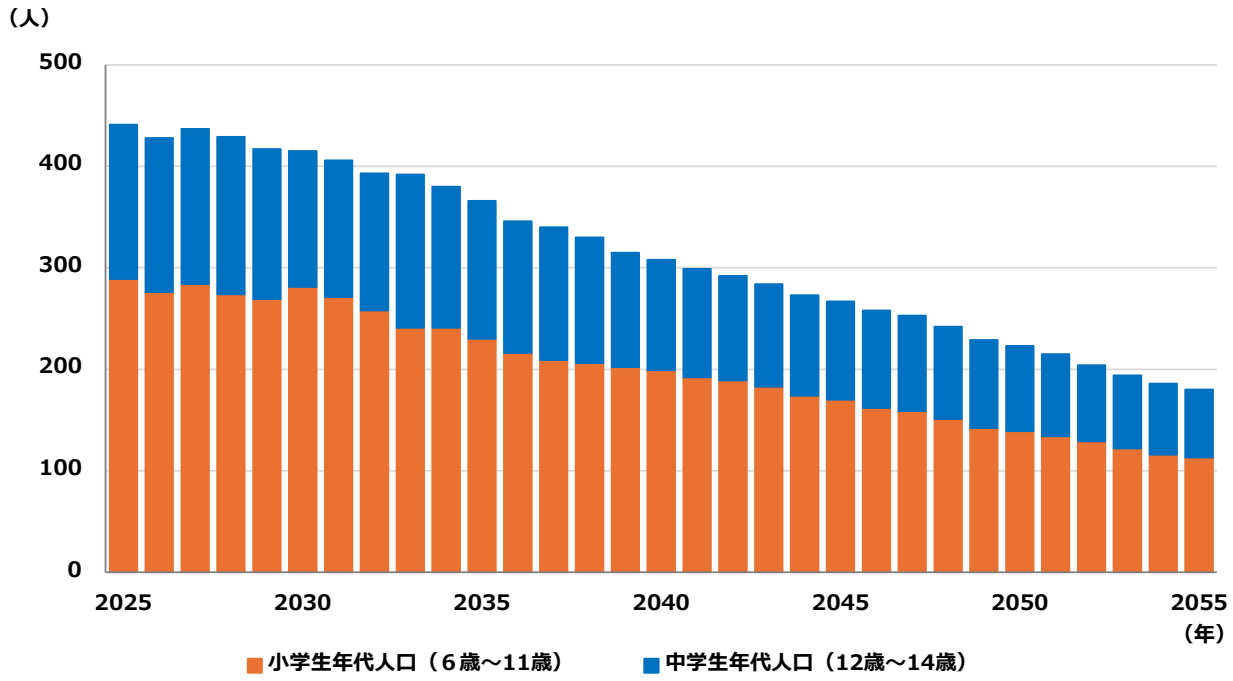
	2025 年	2030 年	2035 年	2040 年	2045 年	2050 年	2055 年
0～14 歳人口	676 (15.1%)	588 (13.3%)	521 (12.0%)	441 (10.4%)	379 (9.2%)	310 (7.8%)	234 (6.1%)
15～64 歳人口	2,606 (58.2%)	2,695 (61.1%)	2,716 (62.8%)	2,669 (63.2%)	2,601 (63.4%)	2,546 (63.7%)	2,515 (65.2%)
65 歳以上人口	1,198 (26.7%)	1,125 (25.5%)	1,089 (25.2%)	1,112 (26.3%)	1,125 (27.4%)	1,139 (28.5%)	1,106 (28.7%)
計	4,480	4,408	4,326	4,222	4,105	3,995	3,855

（５）西野町小学校区

②小学生年代・中学生年代人口

小学生年代の人口は、2025 年（令和 7 年）と 2055 年（令和 37 年）を比較すると、289 人から 113 人へと、約 60.9%（176 人）減少すると推計されます。

中学生年代の人口は、2025 年（令和 7 年）と 2055 年（令和 37 年）を比較すると、152 人から 67 人へと、約 55.9%（85 人）減少すると推計されます。



	2025 年	2030 年	2035 年	2040 年	2045 年	2050 年	2055 年
小学生年代（６～11 歳）	289	281	230	199	170	139	113
中学生年代（12～14 歳）	152	134	136	109	97	84	67
計	441	415	366	308	267	223	180

（５）西野町小学校区

③５歳階級別（2025 年→2055 年）

図　2025 年

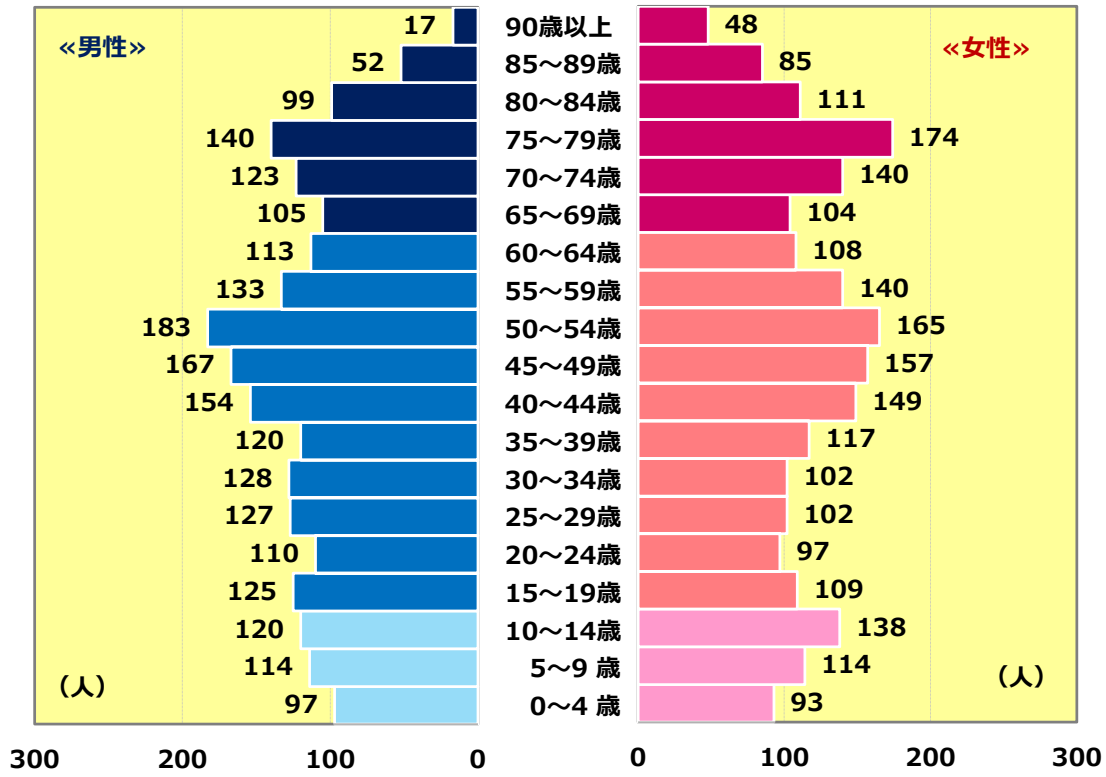


図　2035 年

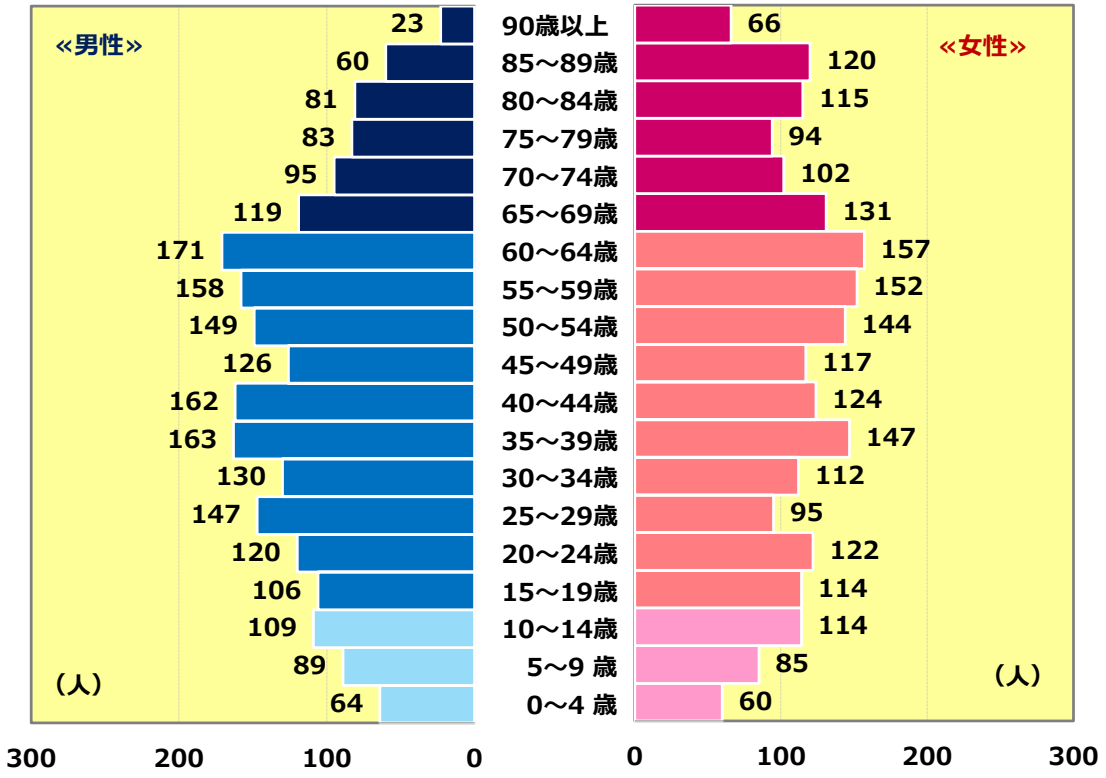


図　2045 年

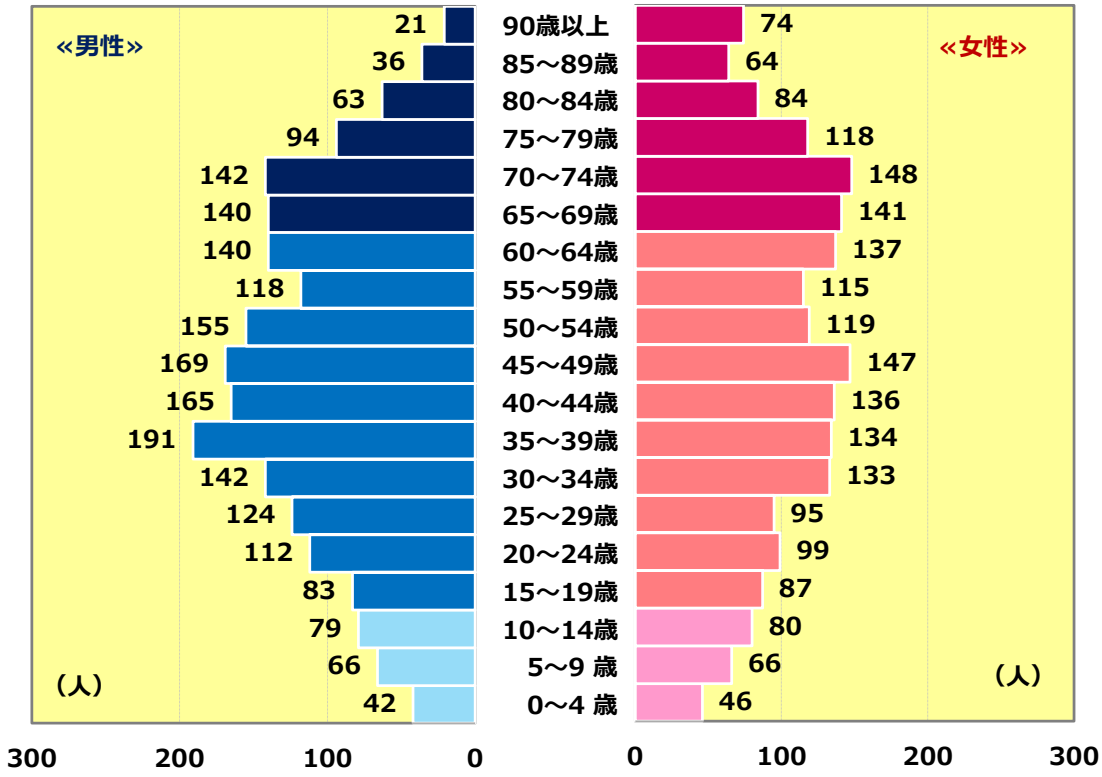
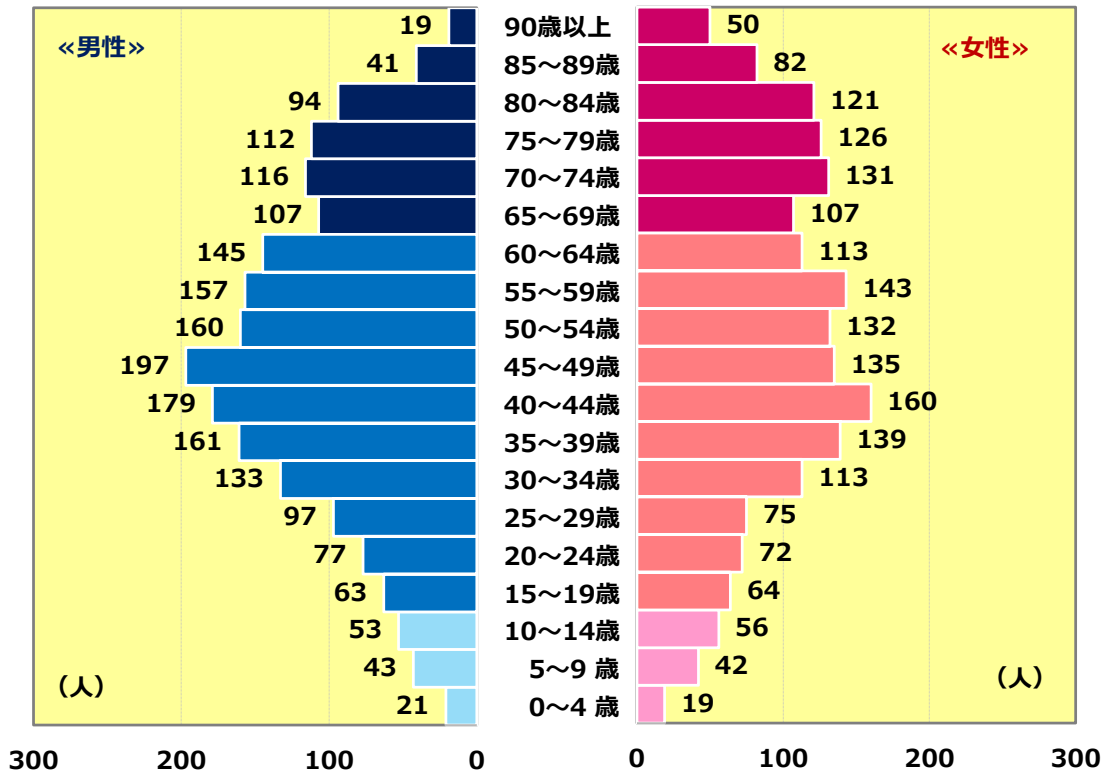


図　2055 年



（６）中畑小学校区

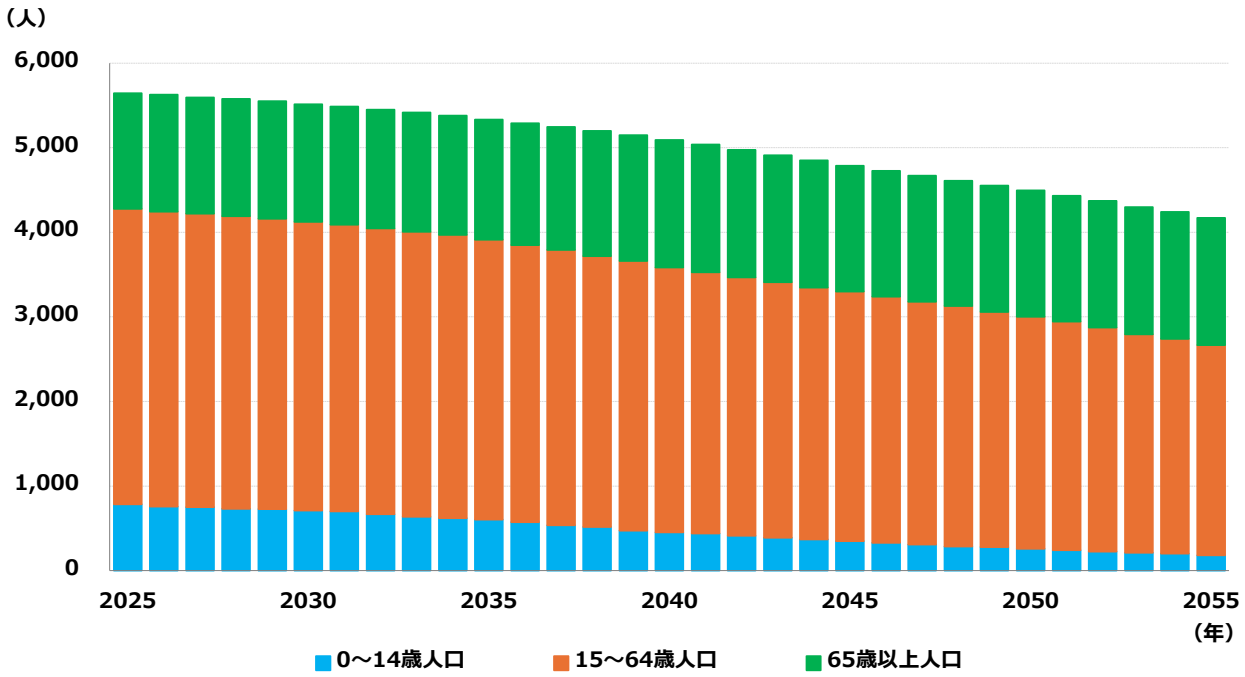
①年齢３区分別人口

中畑小学校区の人口は 2025 年（令和７年）の 5,643 人から年々減少し、2055 年（令和 37 年）には 4,171 人と、1,472 人（26.1%）減少すると推計されます。

０～14 歳人口は 2025 年（令和７年）の 783 人（13.9%）から年々減少し、2055 年（令和 37 年）には 182 人（4.4%）になると推計されます。

15～64 歳人口は 2025 年（令和７年）の 3,493 人（61.9%）から年々減少し、2055 年（令和 37 年）には 2,486 人（59.6%）になると推計されます。

65 歳以上人口は 2025 年（令和７年）の 1,367 人（24.2%）から年々増加します。2040 年（令和 22 年）以降は増減を繰り返すものの、65 歳以上人口比率は上昇しており、2055 年（令和 37 年）には 1,503 人（36.0%）になると推計されます。



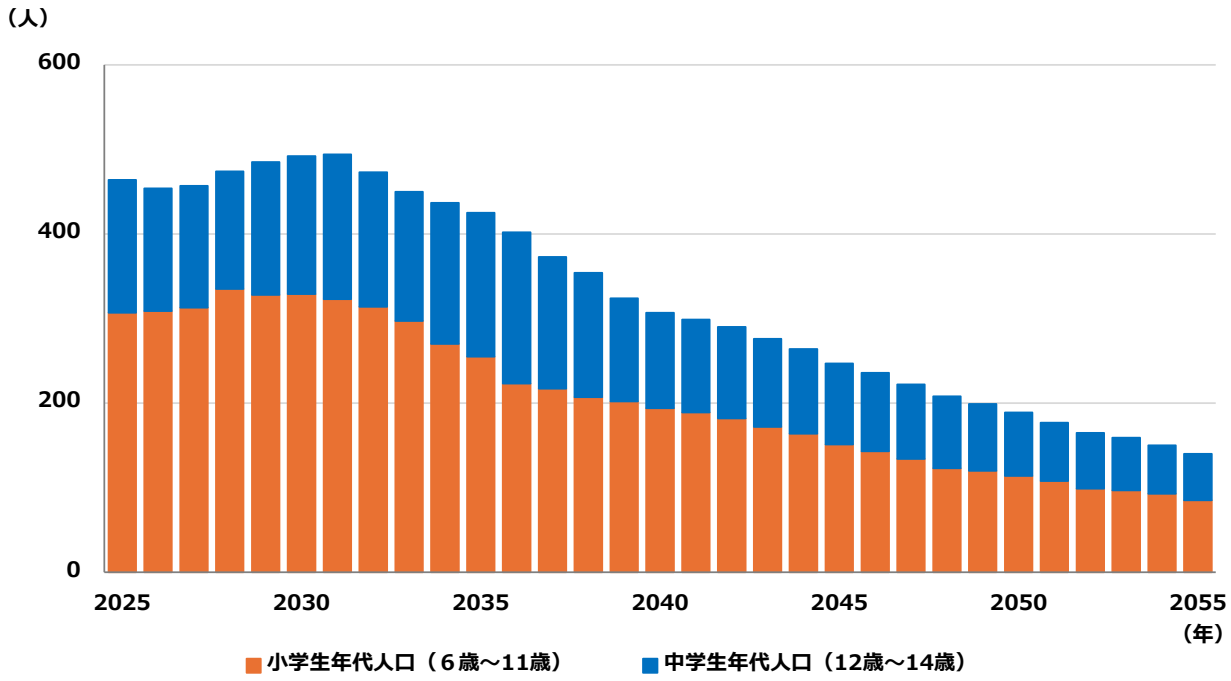
	2025 年	2030 年	2035 年	2040 年	2045 年	2050 年	2055 年
0～14 歳人口	783 (13.9%)	711 (12.9%)	603 (11.3%)	451 (8.9%)	347 (7.3%)	258 (5.7%)	182 (4.4%)
15～64 歳人口	3,493 (61.9%)	3,411 (61.9%)	3,309 (62.1%)	3,133 (61.5%)	2,953 (61.7%)	2,744 (61.0%)	2,486 (59.6%)
65 歳以上人口	1,367 (24.2%)	1,391 (25.2%)	1,420 (26.6%)	1,507 (29.6%)	1,486 (31.0%)	1,493 (33.2%)	1,503 (36.0%)
計	5,643	5,513	5,332	5,091	4,786	4,495	4,171

（６）中畑小学校区

②小学生年代・中学生年代人口

小学生年代の人口は、2025 年（令和 7 年）と 2055 年（令和 37 年）を比較すると、307 人から 85 人へと、約 72.3%（222 人）減少すると推計されます。

中学生年代の人口は、2025 年（令和 7 年）と 2055 年（令和 37 年）を比較すると、157 人から 55 人へと、約 65.0%（102 人）減少すると推計されます。



	2025 年	2030 年	2035 年	2040 年	2045 年	2050 年	2055 年
小学生年代（６～11 歳）	307	329	255	194	151	114	85
中学生年代（12～14 歳）	157	163	170	113	96	75	55
計	464	492	425	307	247	189	140

（６）中畑小学校区

③５歳階級別（2025 年→2055 年）

図　2025 年

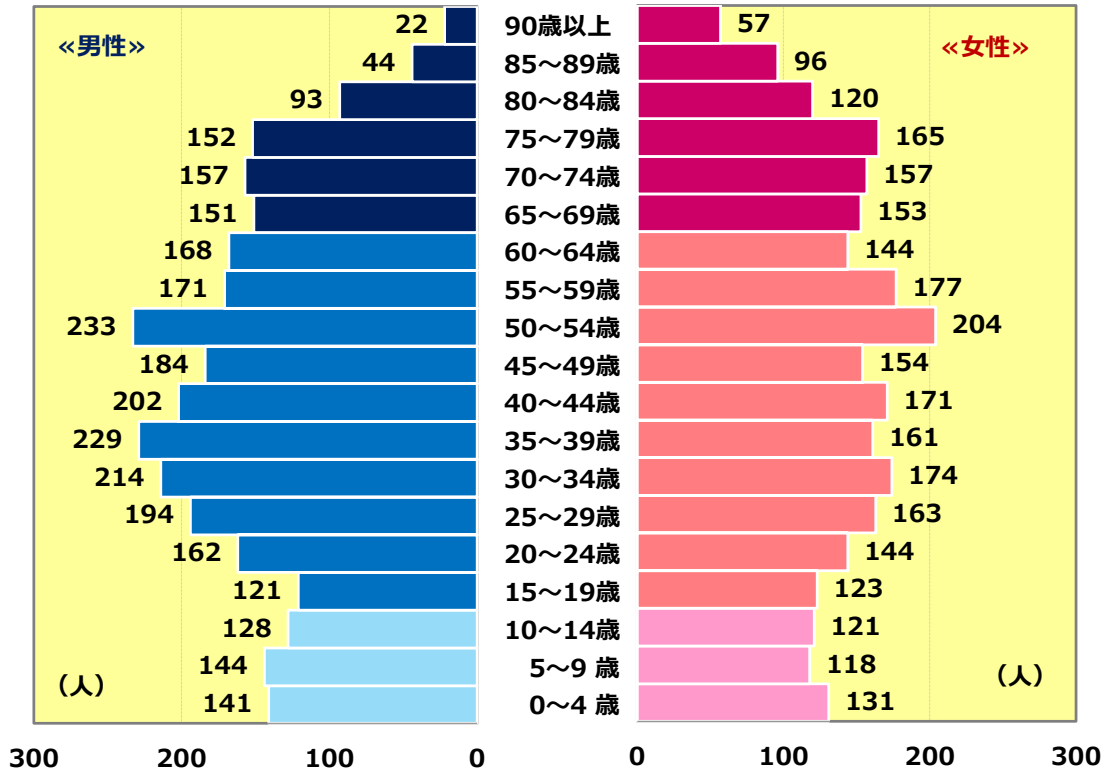


図　2035 年

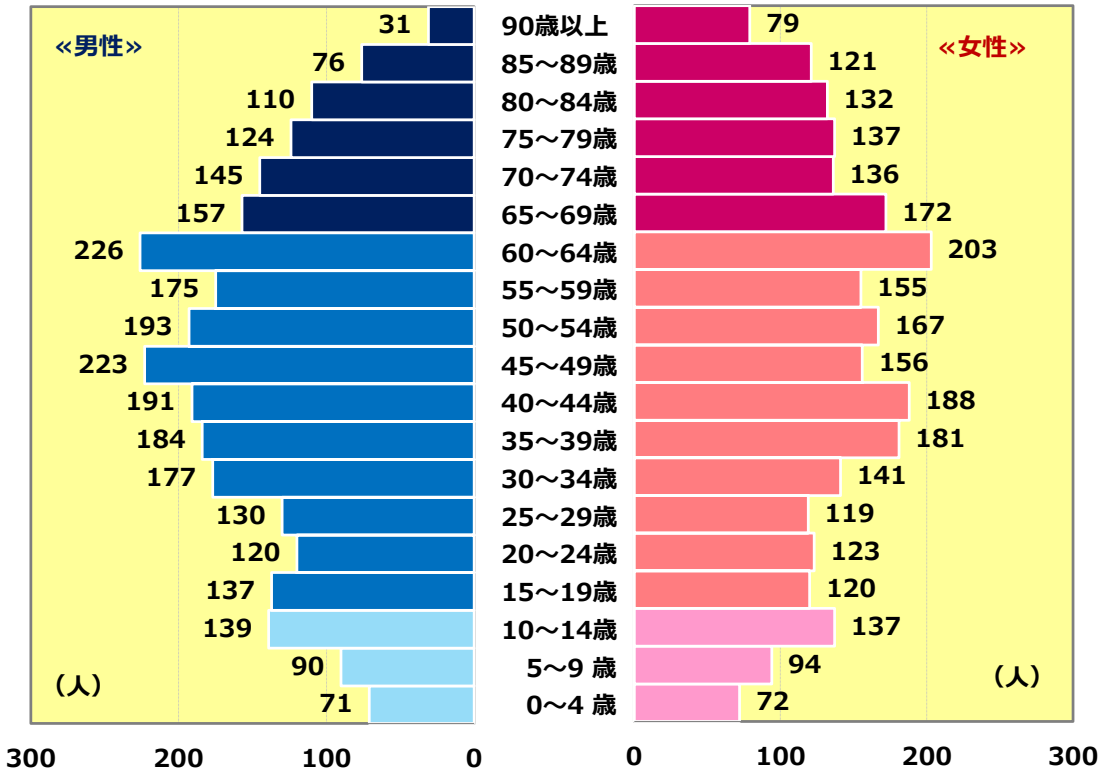


図　2045 年

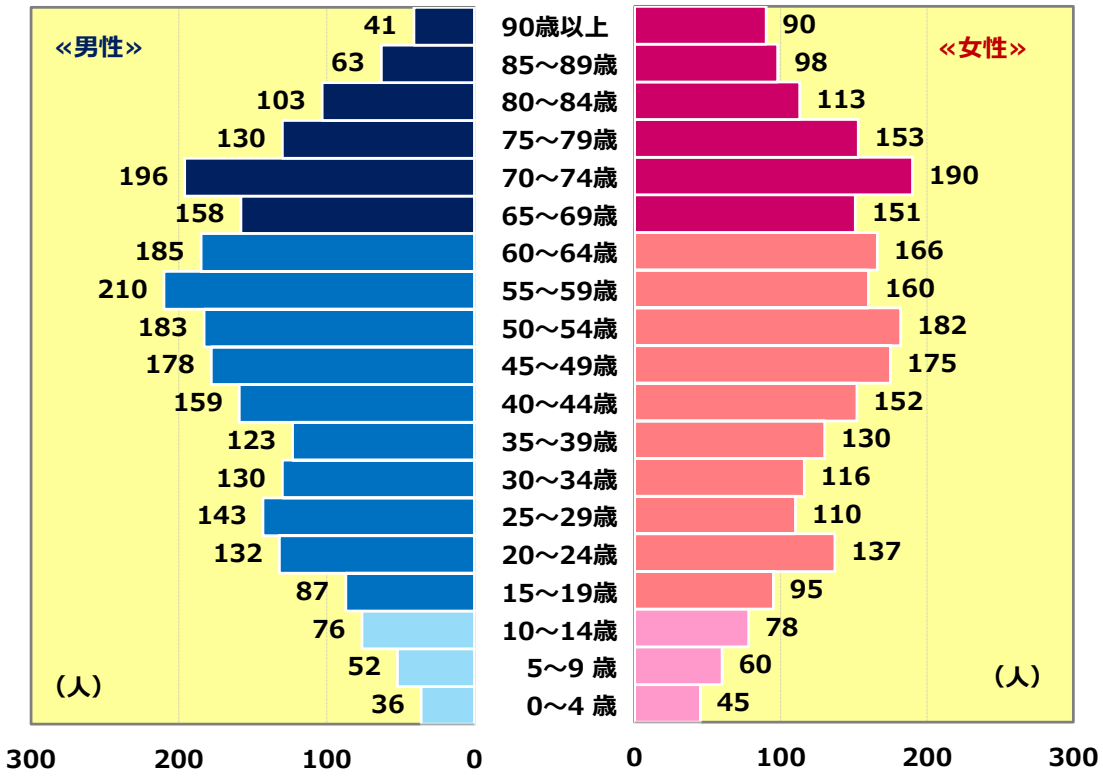
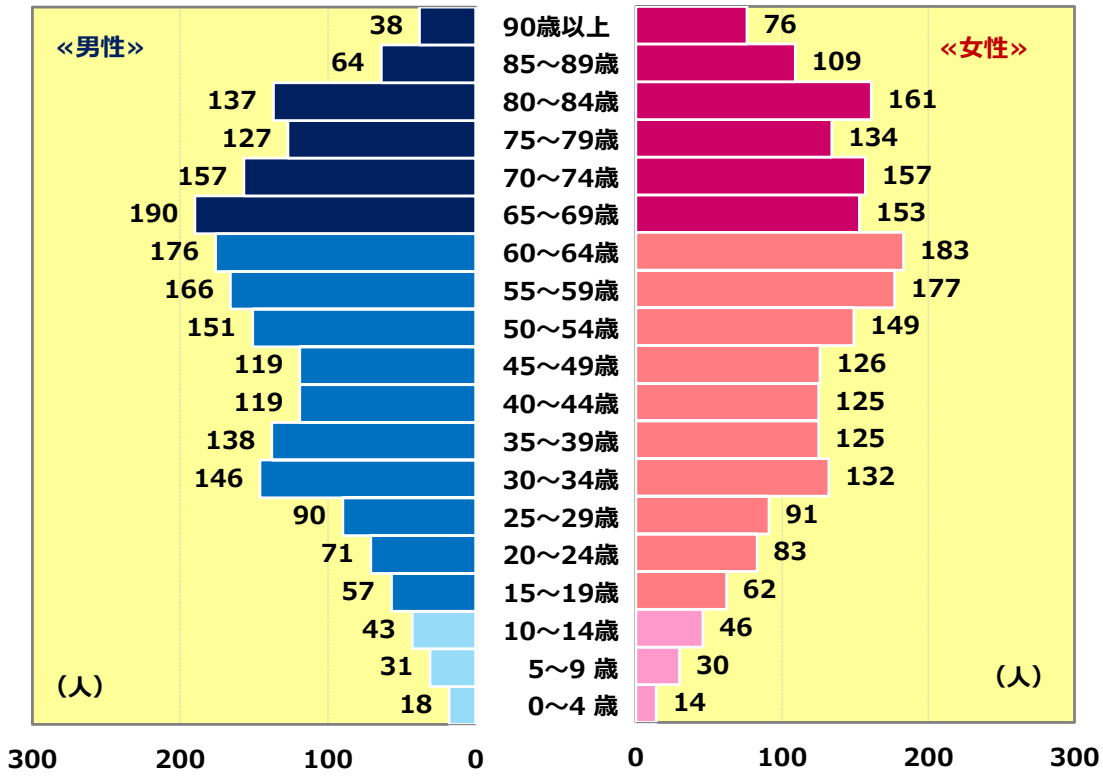


図　2055 年



（７）平坂小学校区

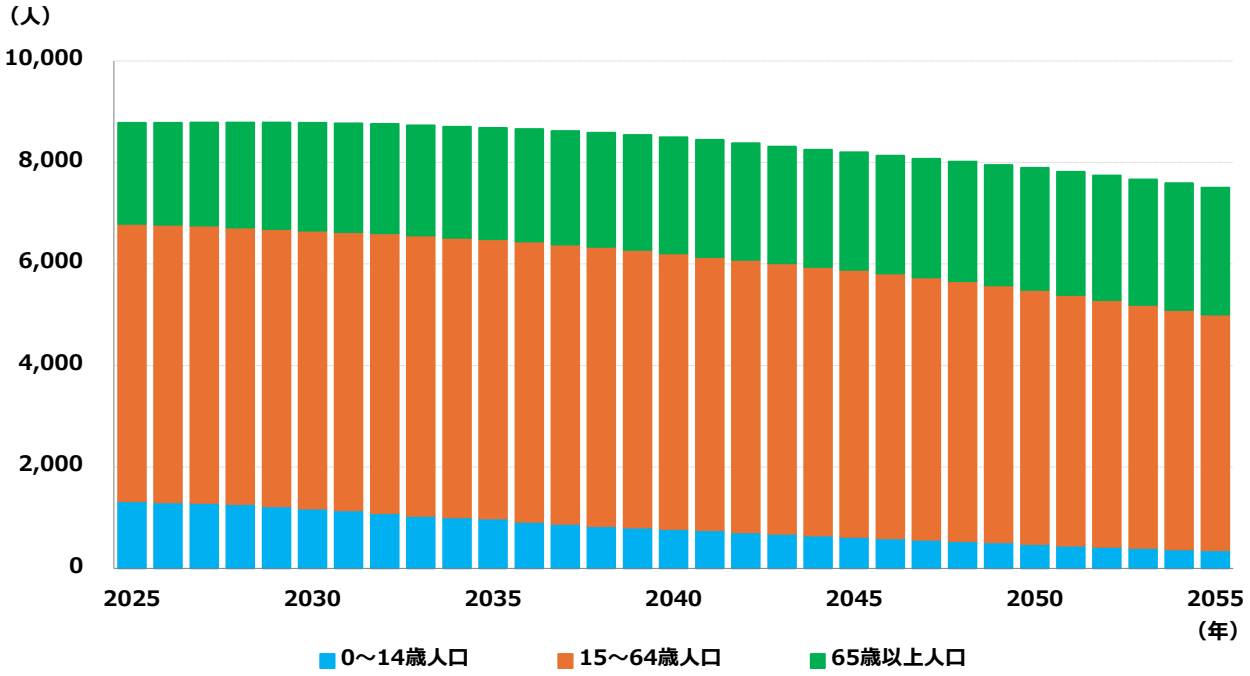
①年齢３区分別人口

平坂小学校区の人口は 2025 年（令和 7 年）の 8,782 人から 2030 年（令和 12 年）までは横ばいで推移するものの、その後は減少に転じ、2055 年（令和 37 年）には 7,504 人と、1,278 人（14.6%）減少すると推計されます。

０～14 歳人口は 2025 年（令和 7 年）の 1,321 人（15.0%）から年々減少し、2055 年（令和 37 年）には 358 人（4.8%）になると推計されます。

15～64 歳人口は 2025 年（令和 7 年）の 5,469 人（62.3%）から増加するものの、2035 年（令和 17 年）以降は減少に転じ、2055 年（令和 37 年）には 4,642 人（61.9%）になると推計されます。

65 歳以上人口は 2025 年（令和 7 年）の 1,992 人（22.7%）から年々増加し、2055 年（令和 37 年）には 2,504 人（33.4%）になると推計されます。



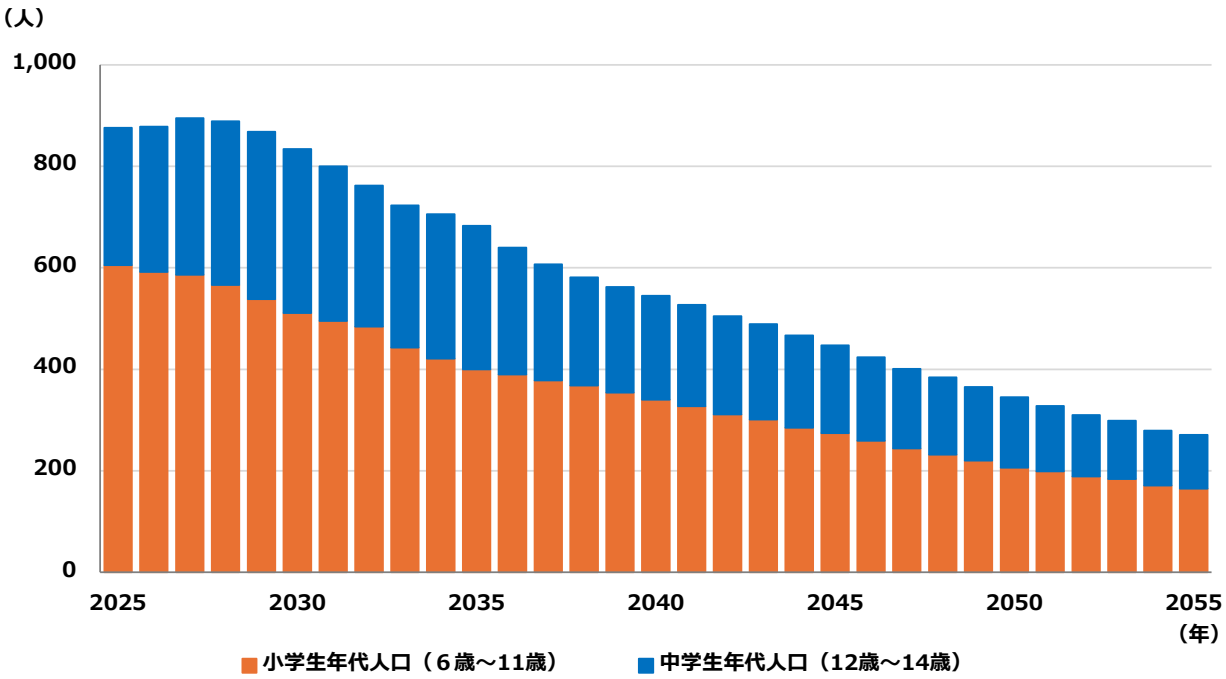
	2025 年	2030 年	2035 年	2040 年	2045 年	2050 年	2055 年
0～14 歳人口	1,321 (15.0%)	1,179 (13.4%)	984 (11.3%)	777 (9.1%)	619 (7.5%)	482 (6.1%)	358 (4.8%)
15～64 歳人口	5,469 (62.3%)	5,478 (62.4%)	5,506 (63.4%)	5,429 (63.9%)	5,267 (64.2%)	5,006 (63.4%)	4,642 (61.9%)
65 歳以上人口	1,992 (22.7%)	2,125 (24.2%)	2,189 (25.2%)	2,291 (27.0%)	2,315 (28.2%)	2,407 (30.5%)	2,504 (33.4%)
計	8,782	8,782	8,679	8,497	8,201	7,895	7,504

（７）平坂小学校区

②小学生年代・中学生年代人口

小学生年代の人口は、2025 年（令和 7 年）と 2055 年（令和 37 年）を比較すると、605 人から 165 人へと、約 72.7%（440 人）減少すると推計されます。

中学生年代の人口は、2025 年（令和 7 年）と 2055 年（令和 37 年）を比較すると、271 人から 106 人へと、約 60.9%（165 人）減少すると推計されます。



	2025 年	2030 年	2035 年	2040 年	2045 年	2050 年	2055 年
小学生年代（６～11 歳）	605	511	400	340	274	206	165
中学生年代（12～14 歳）	271	323	283	205	173	139	106
計	876	834	683	545	447	345	271

（７）平坂小学校区

③５歳階級別（2025 年→2055 年）

図　2025 年

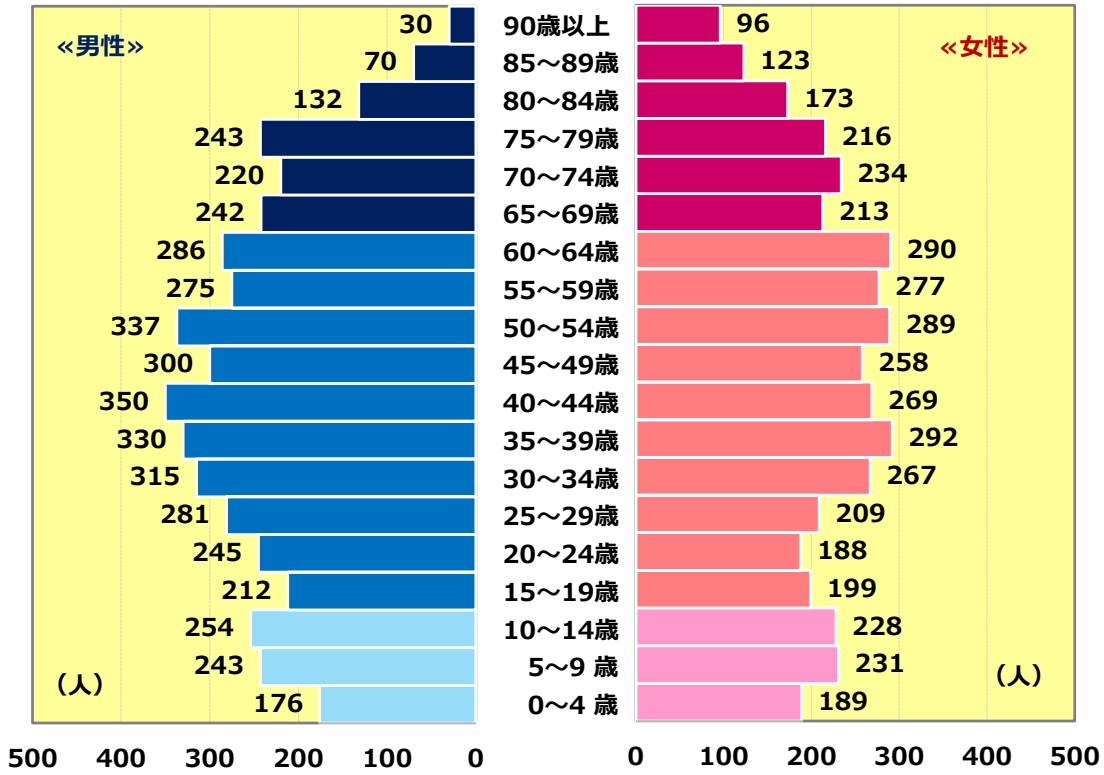


図　2035 年

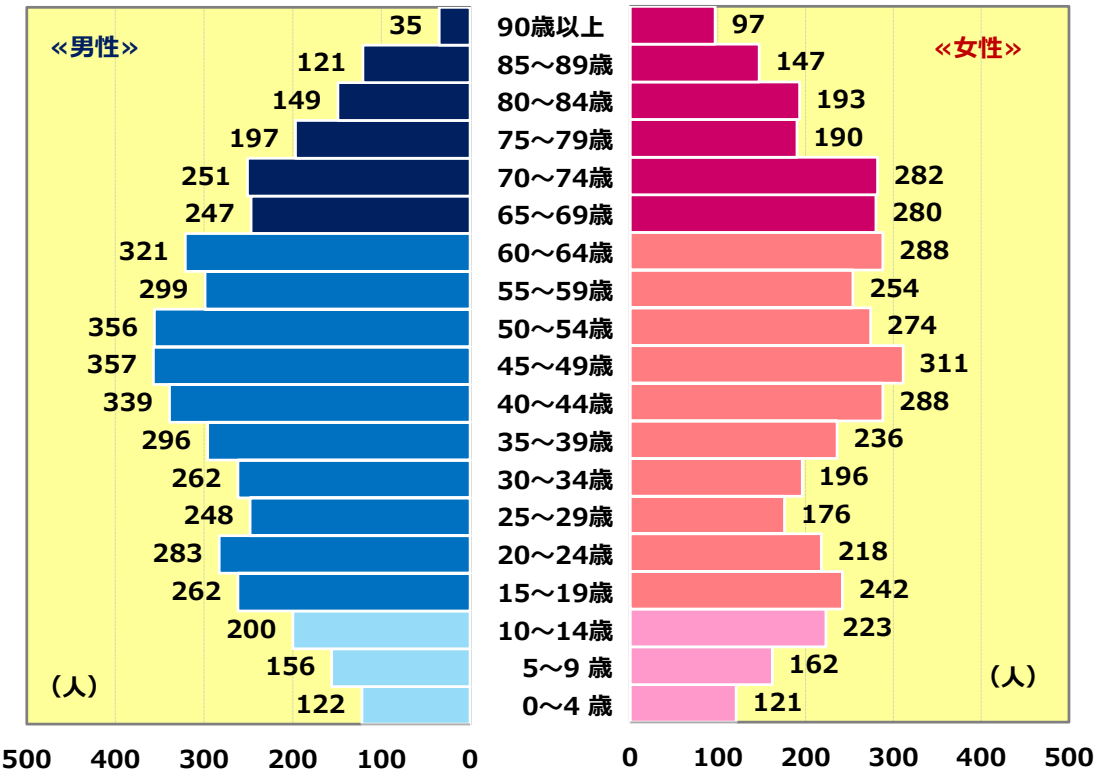


図　2045 年

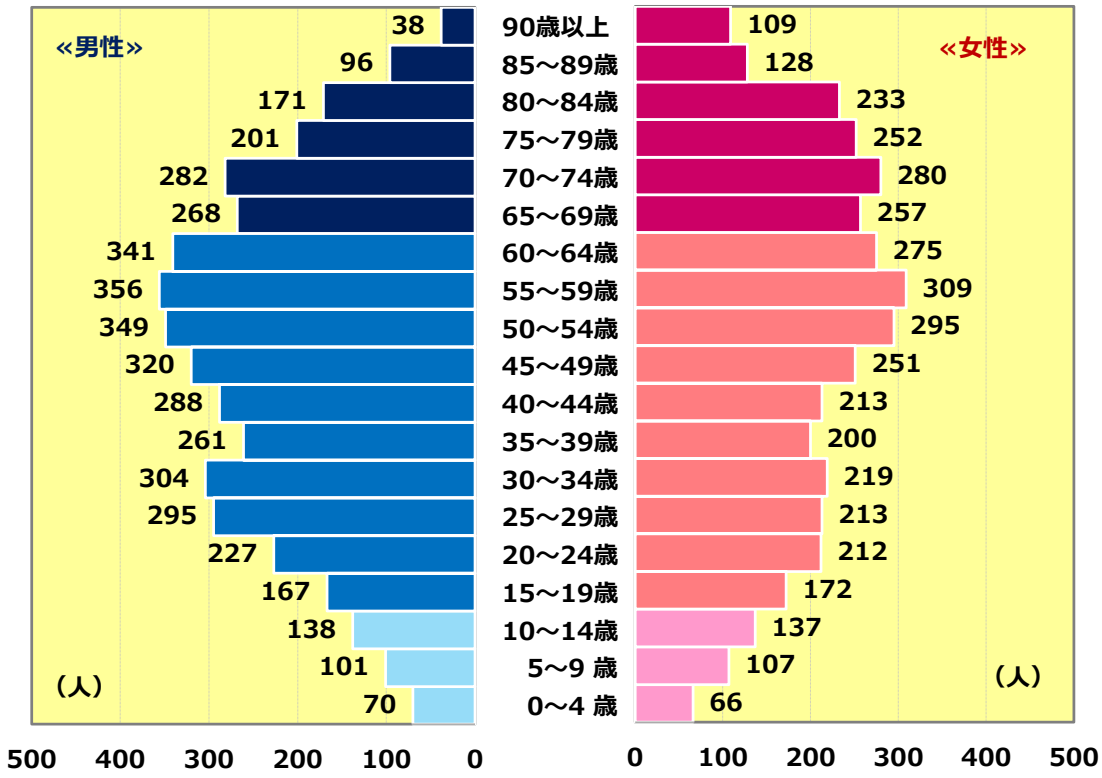
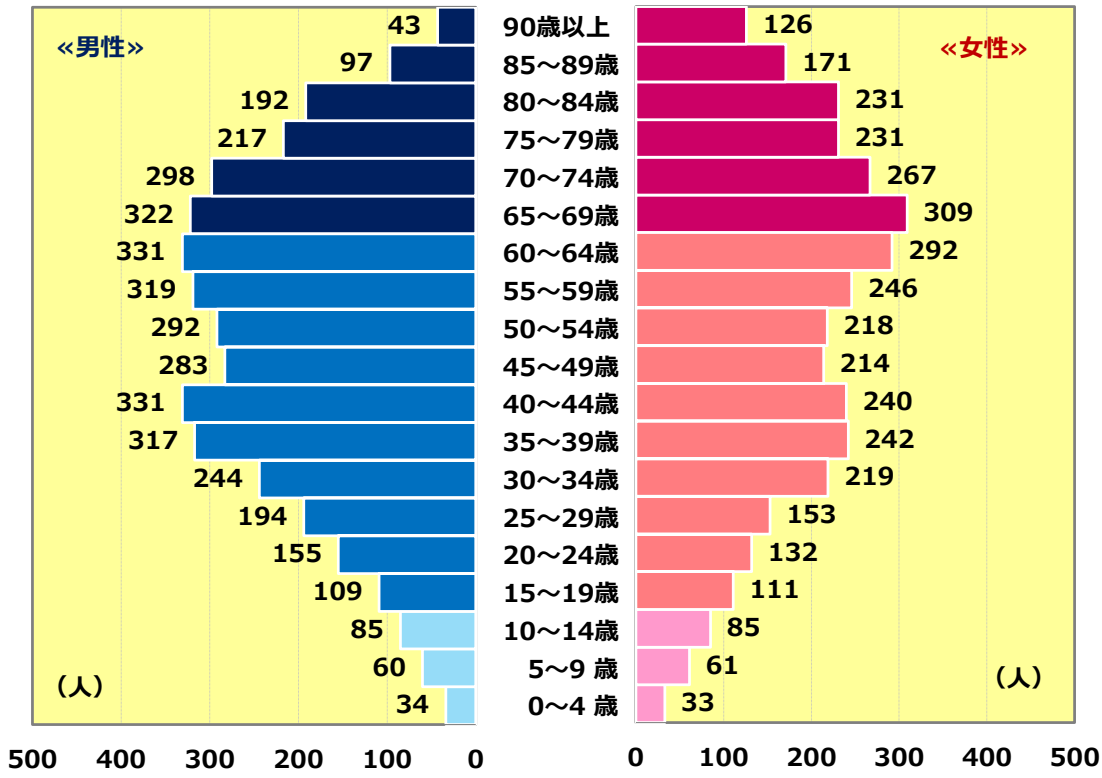


図　2055 年



（８）矢田小学校区

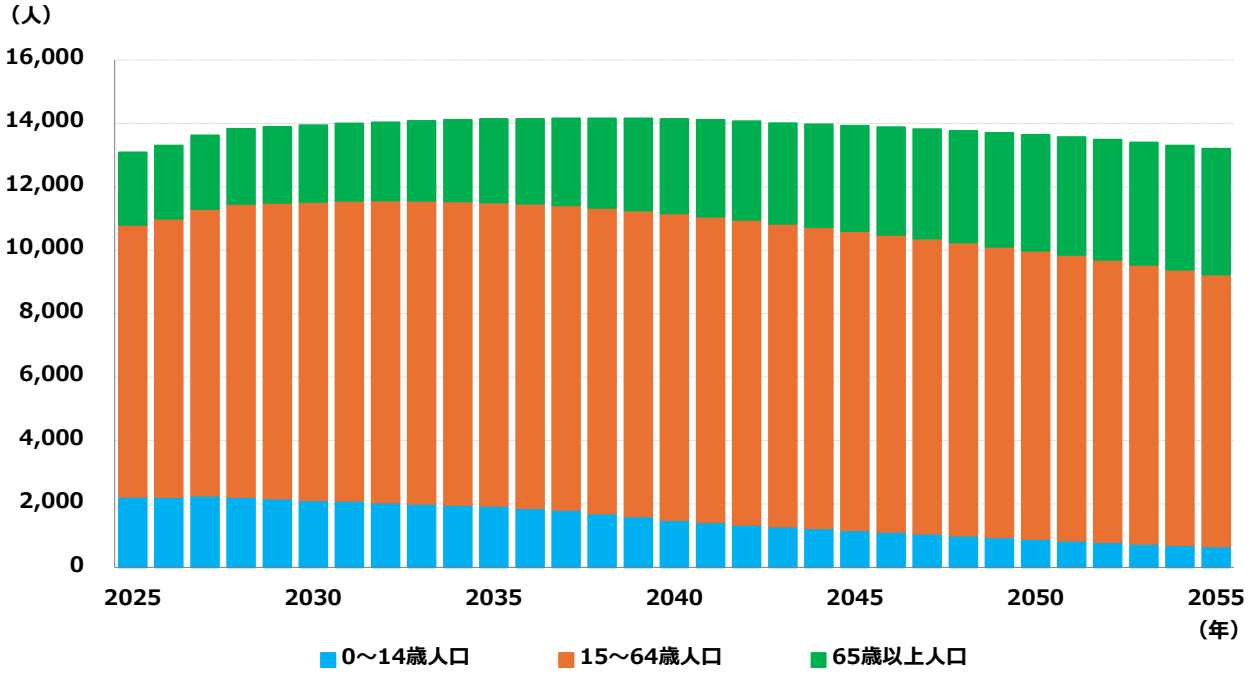
①年齢３区分別人口

矢田小学校区の人口は 2025 年（令和７年）の 13,087 人から増加するものの、2040 年（令和 22 年）以降は減少に転じ、2055 年（令和 37 年）には 13,204 人となりますが、117 人（0.9%）増加すると推計されます。

０～14 歳人口は 2025 年（令和７年）の 2,224 人（17.0%）から年々減少し、2055 年（令和 37 年）には 665 人（5.0%）になると推計されます。

15～64 歳人口は 2025 年（令和７年）の 8,572 人（65.5%）から増加するものの、2040 年（令和 22 年）以降は減少に転じ、2055 年（令和 37 年）には 8,570 人（64.9%）になると推計されます。

65 歳以上人口は 2025 年（令和７年）の 2,291 人（17.5%）から年々増加し、2055 年（令和 37 年）には 3,969 人（30.1%）になると推計されます。



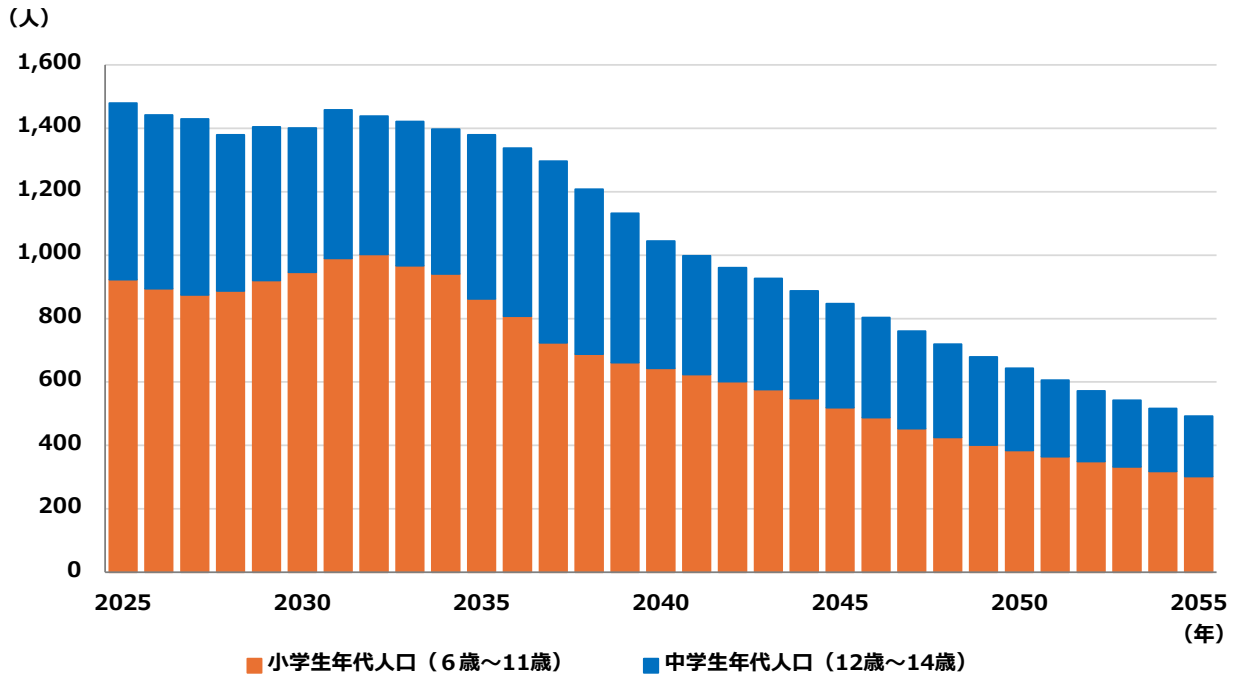
	2025 年	2030 年	2035 年	2040 年	2045 年	2050 年	2055 年
0～14 歳人口	2,224 (17.0%)	2,116 (15.2%)	1,936 (13.7%)	1,491 (10.5%)	1,167 (8.4%)	897 (6.6%)	665 (5.0%)
15～64 歳人口	8,572 (65.5%)	9,406 (67.4%)	9,573 (67.7%)	9,678 (68.4%)	9,432 (67.7%)	9,090 (66.7%)	8,570 (64.9%)
65 歳以上人口	2,291 (17.5%)	2,425 (17.4%)	2,628 (18.6%)	2,974 (21.0%)	3,325 (23.9%)	3,650 (26.8%)	3,969 (30.1%)
計	13,087	13,947	14,137	14,143	13,924	13,637	13,204

（８）矢田小学校区

②小学生年代・中学生年代人口

小学生年代の人口は、2025 年（令和 7 年）と 2055 年（令和 37 年）を比較すると、923 人から 302 人へと、約 67.3%（621 人）減少すると推計されます。

中学生年代の人口は、2025 年（令和 7 年）と 2055 年（令和 37 年）を比較すると、556 人から 190 人へと、約 65.8%（366 人）減少すると推計されます。



	2025 年	2030 年	2035 年	2040 年	2045 年	2050 年	2055 年
小学生年代（６～11 歳）	923	946	862	643	519	384	302
中学生年代（12～14 歳）	556	455	517	401	328	259	190
計	1,479	1,401	1,379	1,044	847	643	492

（８）矢田小学校区

③５歳階級別（2025 年→2055 年）

図　2025 年

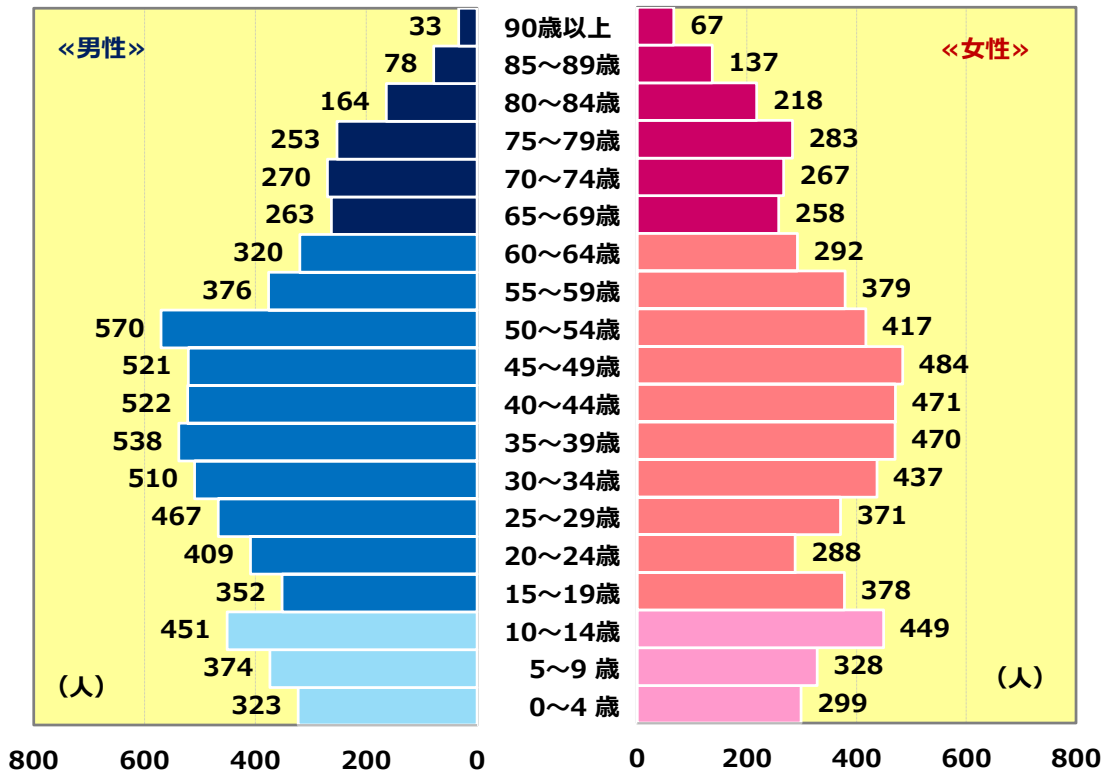


図　2035 年

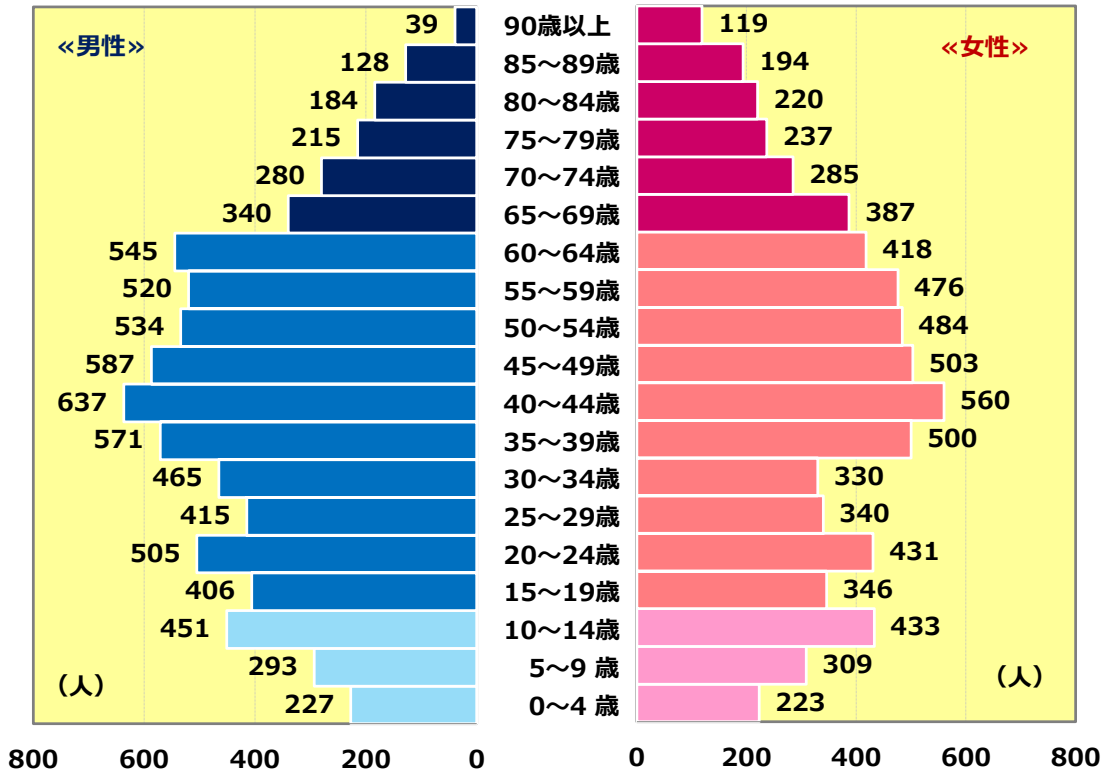


図　2045 年

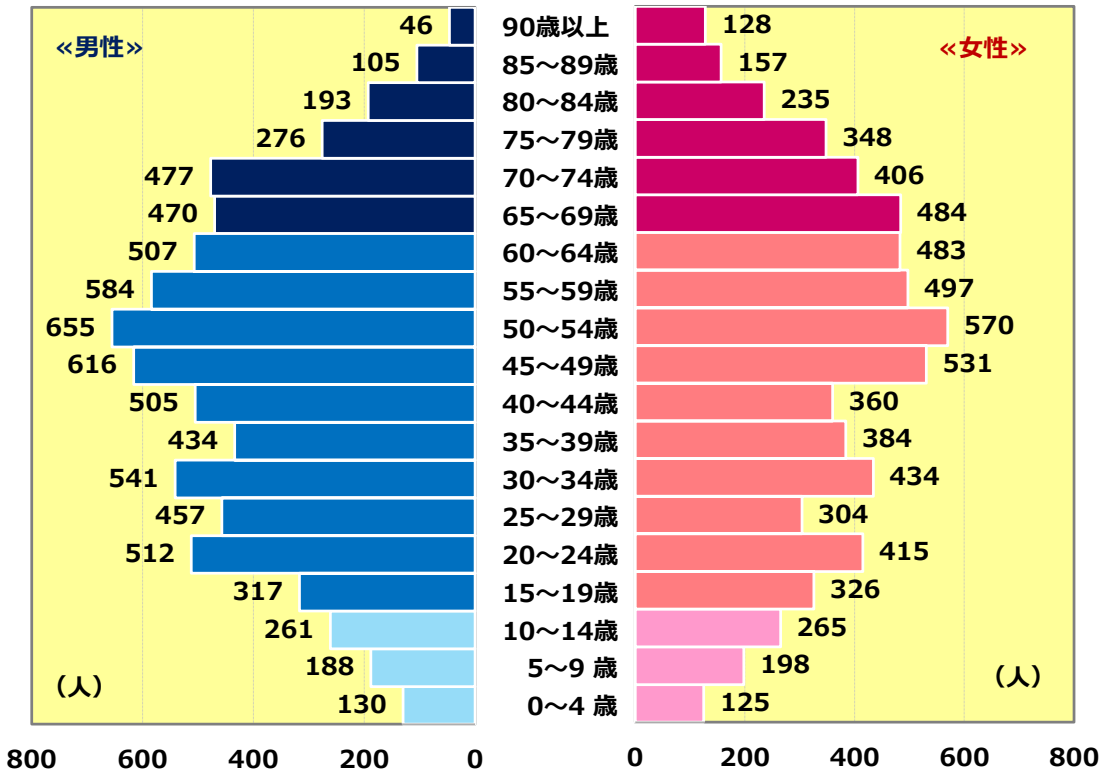
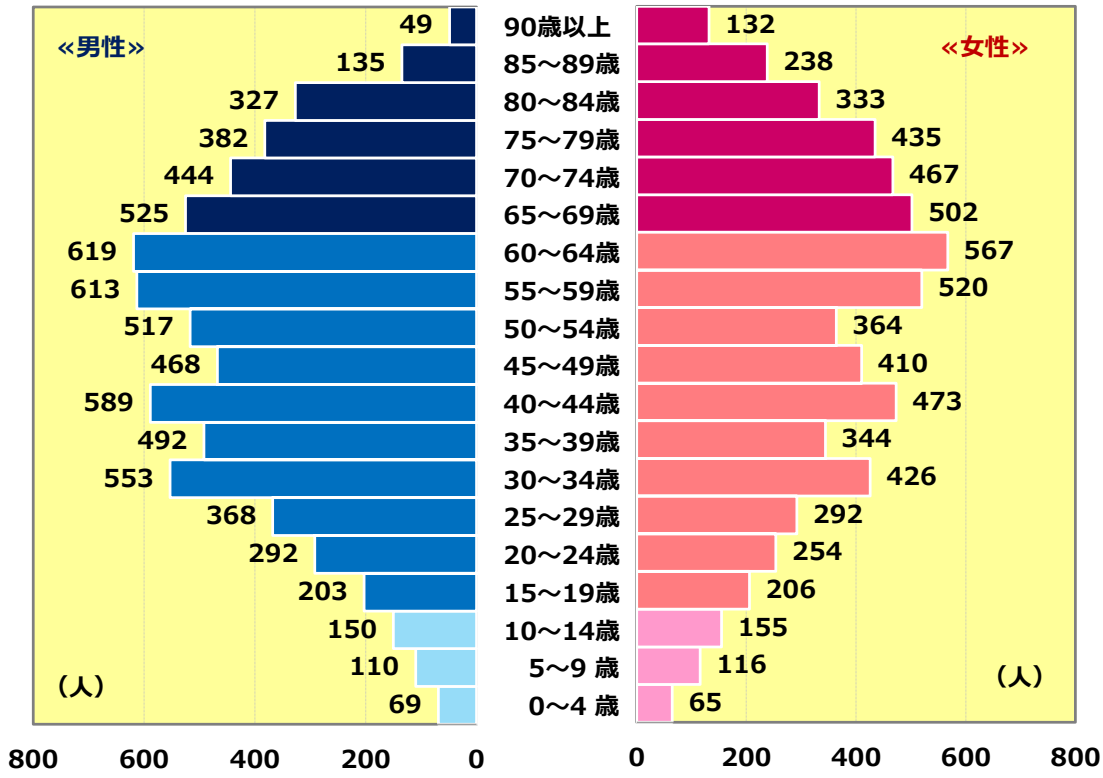


図　2055 年



（９）寺津小学校区

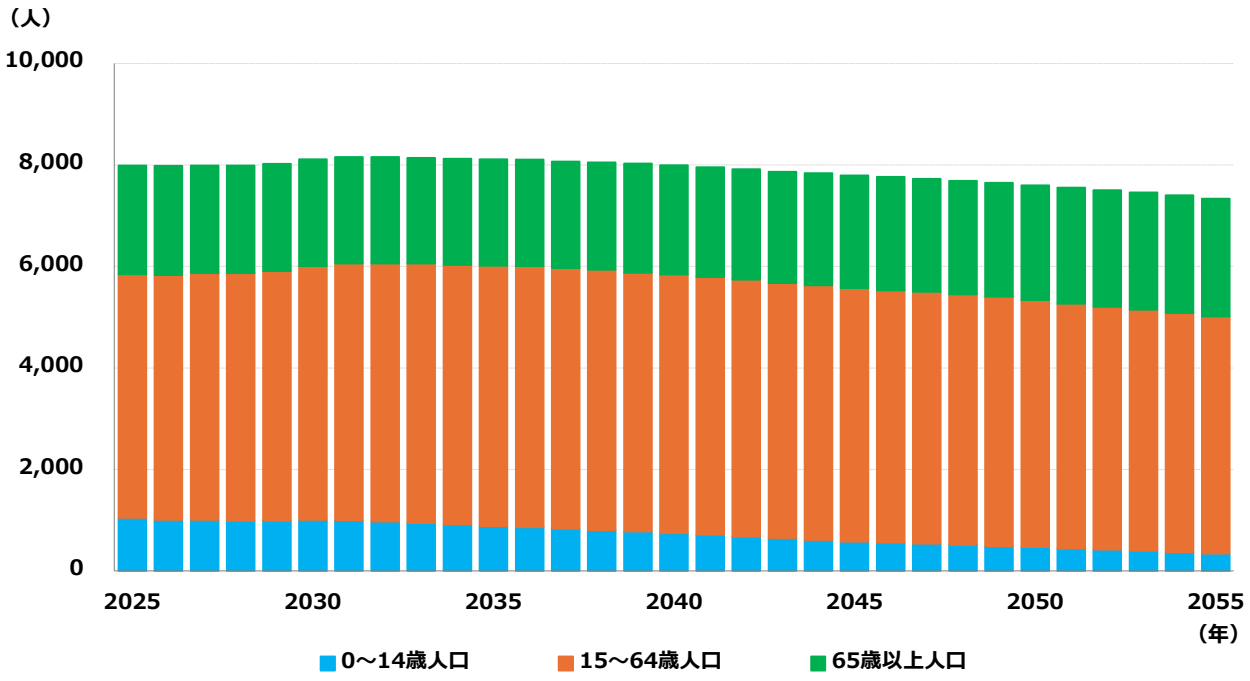
①年齢３区分別人口

寺津小学校区の人口は 2025 年（令和７年）の 7,988 人から増加するものの、2035 年（令和 17 年）以降は減少に転じ、2055 年（令和 37 年）には 7,335 人と、653 人（8.2%）減少すると推計されます。

０～14 歳人口は 2025 年（令和７年）の 1,044 人（13.1%）から年々減少し、2055 年（令和 37 年）には 343 人（4.7%）になると推計されます。

15～64 歳人口は 2025 年（令和７年）の 4,801 人（60.1%）から増加するものの、2035 年（令和 17 年）以降は減少に転じ、2055 年（令和 37 年）には 4,672 人（63.7%）になると推計されます。

65 歳以上人口は 2025 年（令和７年）の 2,143 人（26.8%）から減少するものの、2040 年（令和 22 年）からは増加に転じ、2055 年（令和 37 年）には 2,320 人（31.6%）になると推計されます。



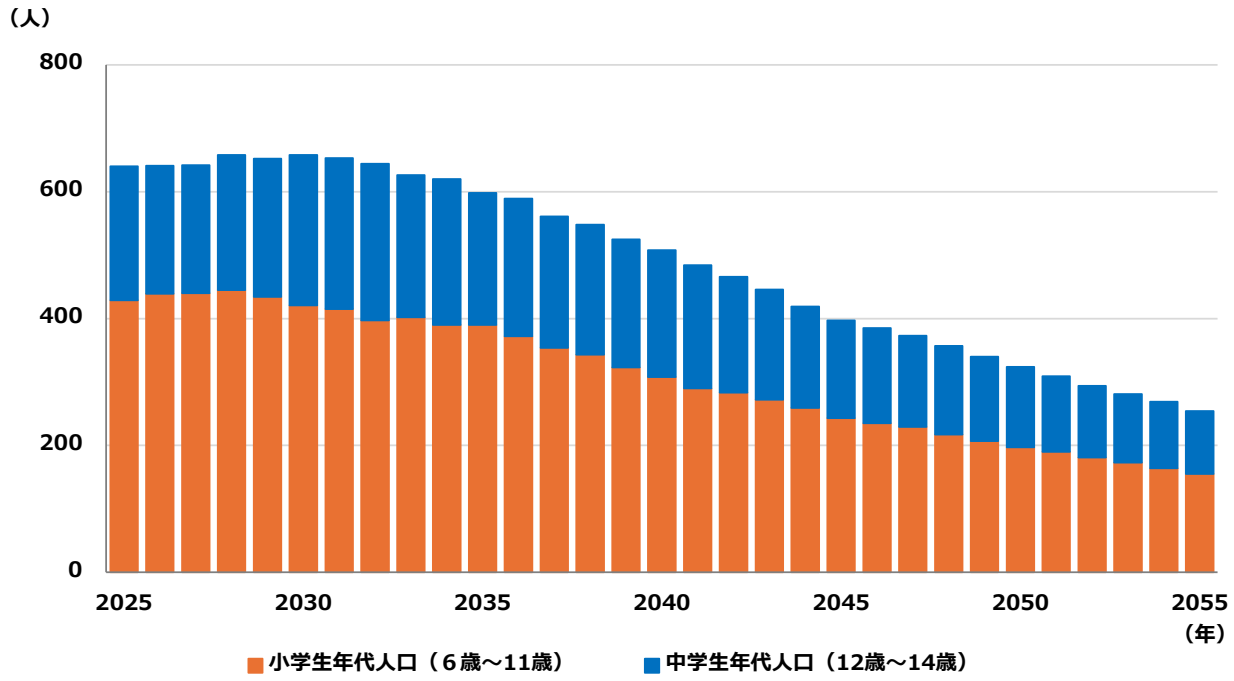
	2025 年	2030 年	2035 年	2040 年	2045 年	2050 年	2055 年
0～14 歳人口	1,044 (13.1%)	1,004 (12.4%)	881 (10.9%)	745 (9.3%)	576 (7.4%)	467 (6.1%)	343 (4.7%)
15～64 歳人口	4,801 (60.1%)	5,002 (61.7%)	5,131 (63.2%)	5,096 (63.7%)	4,995 (64.1%)	4,872 (64.1%)	4,672 (63.7%)
65 歳以上人口	2,143 (26.8%)	2,106 (26.0%)	2,101 (25.9%)	2,156 (27.0%)	2,223 (28.5%)	2,262 (29.8%)	2,320 (31.6%)
計	7,988	8,112	8,113	7,997	7,794	7,601	7,335

（９）寺津小学校区

②小学生年代・中学生年代人口

小学生年代の人口は、2025 年（令和 7 年）と 2055 年（令和 37 年）を比較すると、429 人から 155 人へと、約 63.9%（274 人）減少すると推計されます。

中学生年代の人口は、2025 年（令和 7 年）と 2055 年（令和 37 年）を比較すると、211 人から 99 人へと、約 53.1%（112 人）減少すると推計されます。



	2025 年	2030 年	2035 年	2040 年	2045 年	2050 年	2055 年
小学生年代（６～11 歳）	429	421	390	308	243	197	155
中学生年代（12～14 歳）	211	237	208	200	154	127	99
計	640	658	598	508	397	324	254

（９）寺津小学校区

③５歳階級別（2025 年→2055 年）

図　2025 年

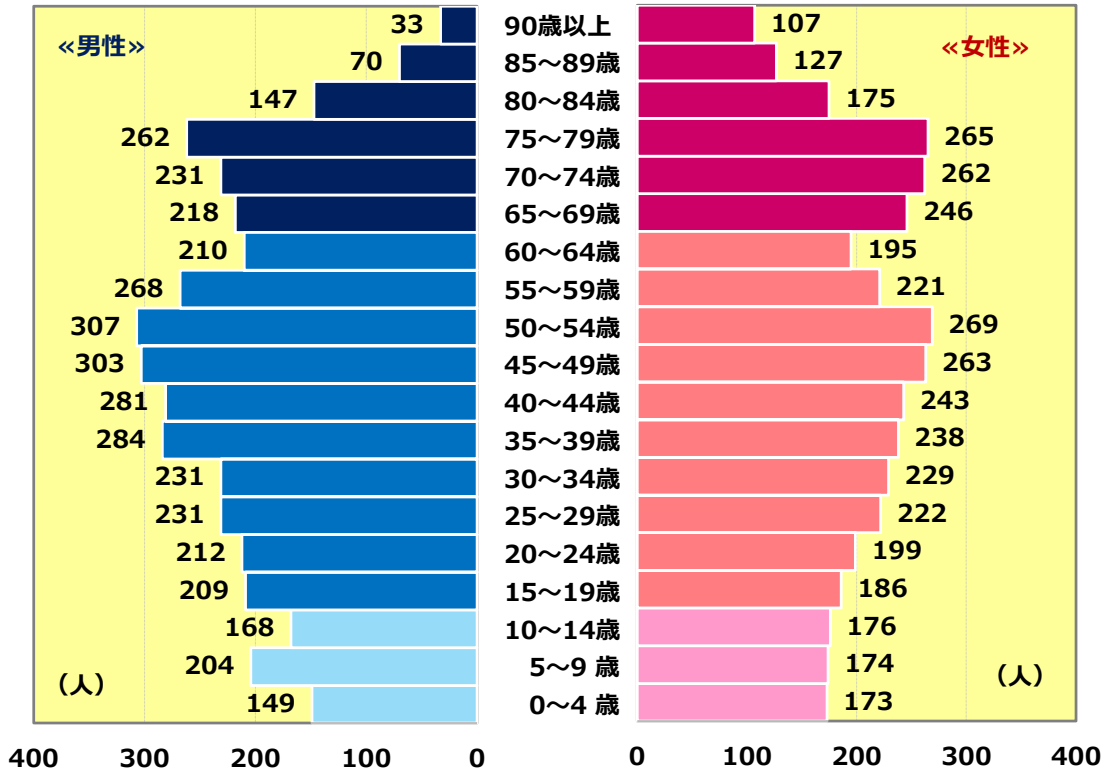


図　2035 年

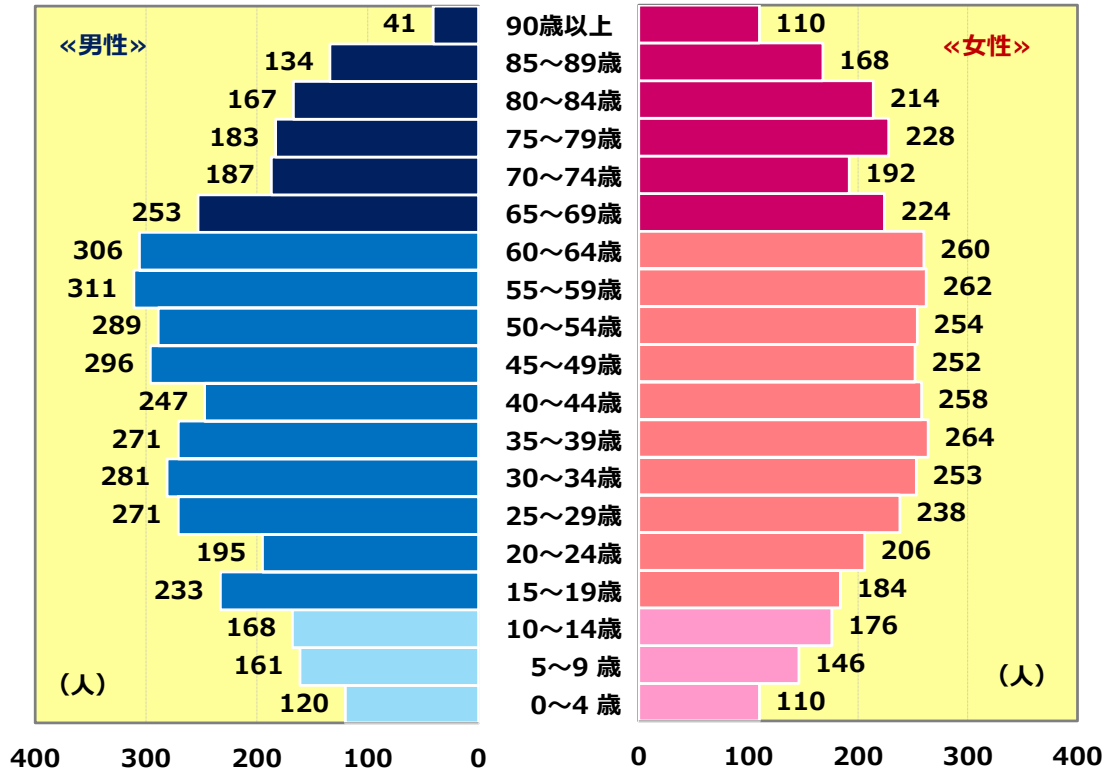


図　2045 年

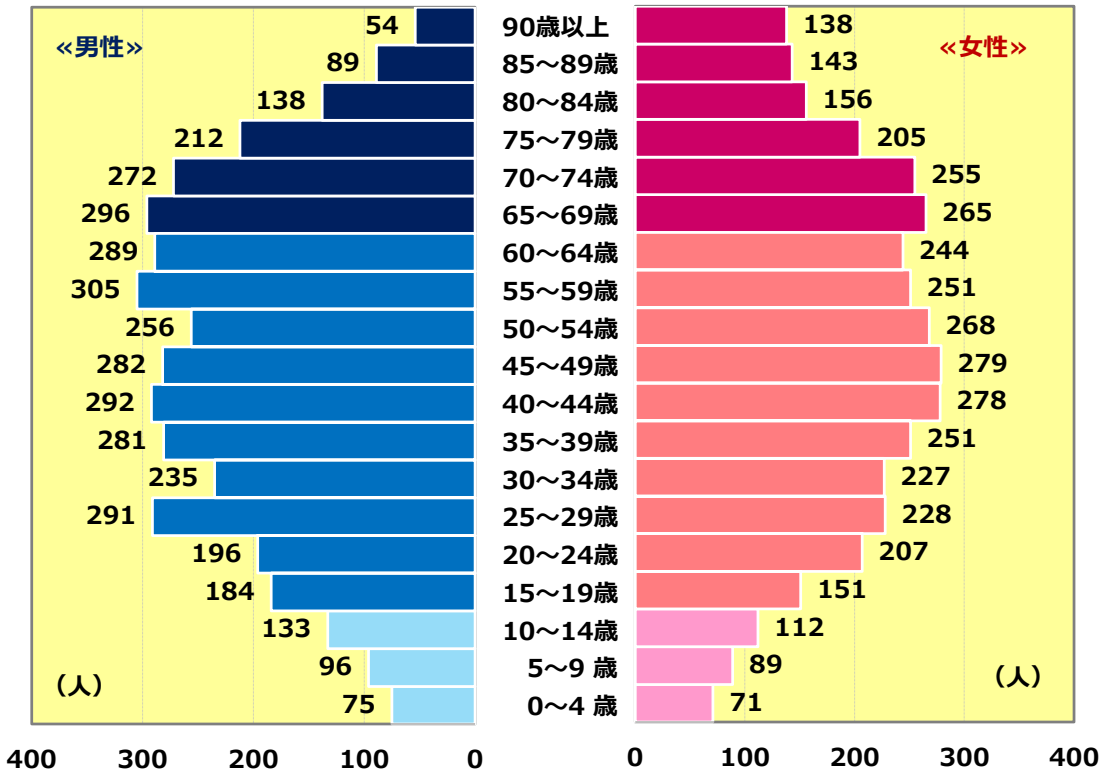
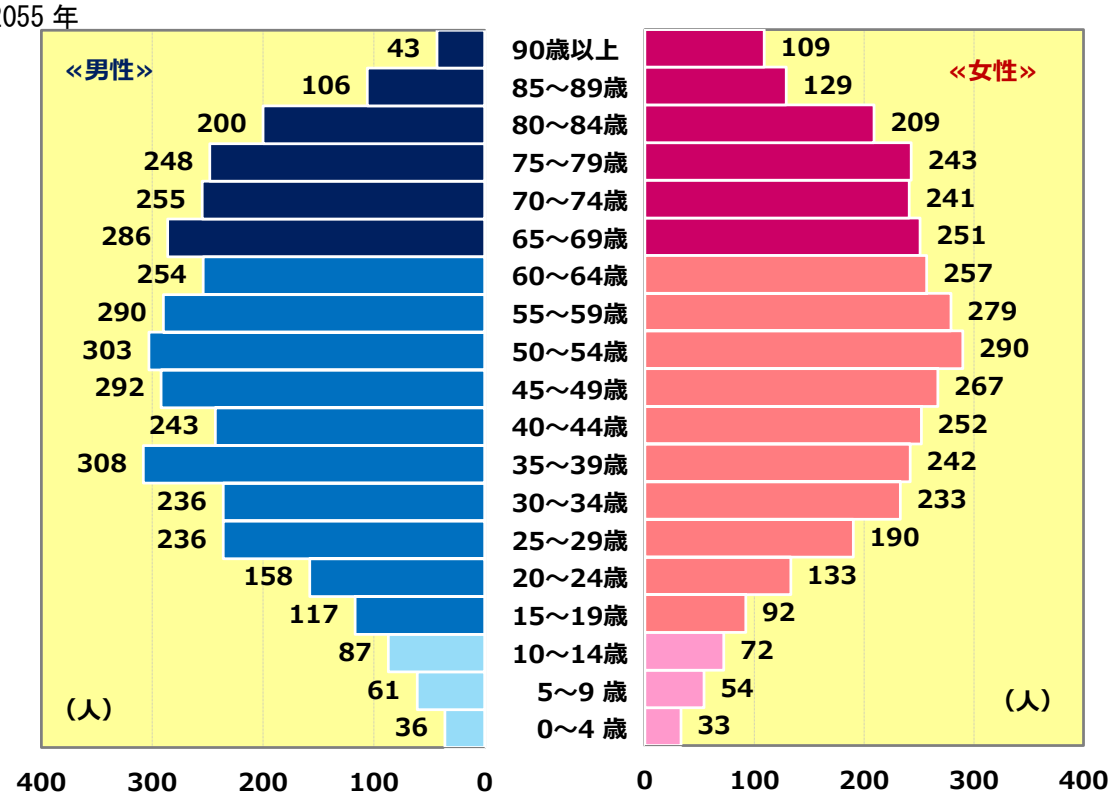


図　2055 年



（10）福地北部小学校区

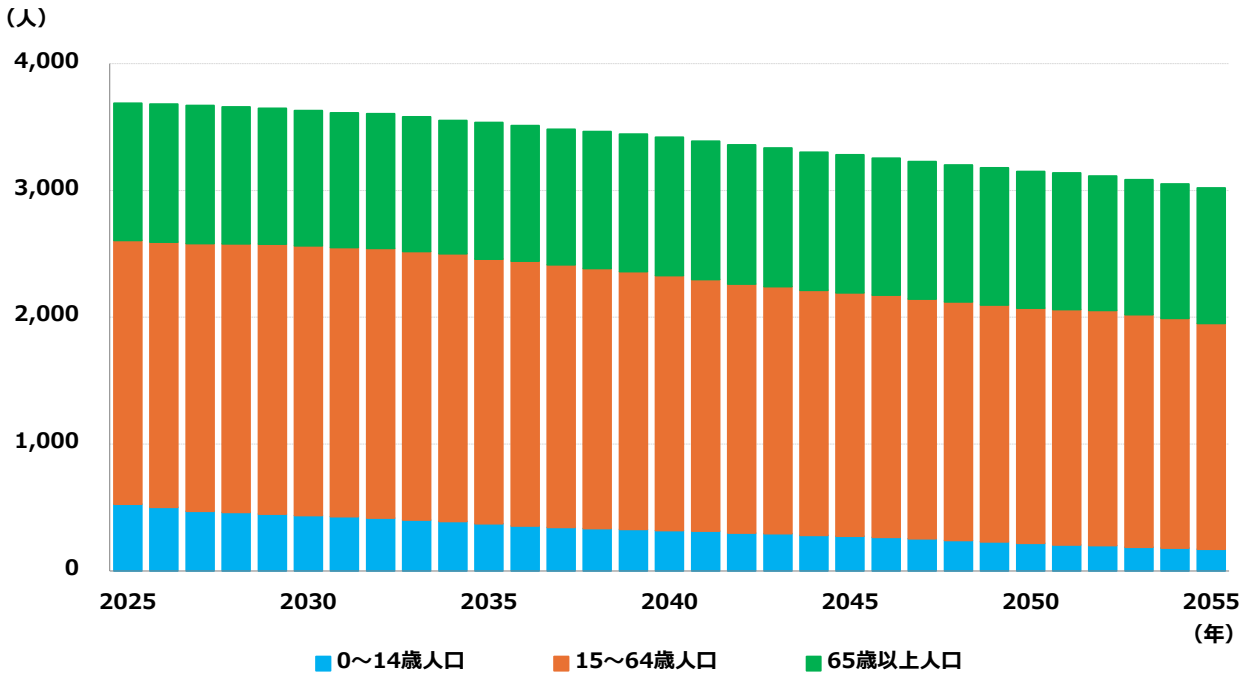
①年齢３区分別人口

福地北部小学校区の人口は 2025 年（令和７年）の 3,688 人から年々減少し、2055 年（令和 37 年）には 3,019 人と、669 人（18.1%）減少すると推計されます。

０～14 歳人口は 2025 年（令和７年）の 527 人（14.3%）から年々減少し、2055 年（令和 37 年）には 171 人（5.7%）になると推計されます。

15～64 歳人口は 2025 年（令和７年）の 2,078 人（56.3%）から 2030 年（令和 12 年）にかけて増加するものの、その後は減少に転じ、2055 年（令和 37 年）には 1,781 人（59.0%）になると推計されます。

65 歳以上人口は 2025 年（令和７年）の 1,083 人（29.4%）からほぼ横ばいで推移するものの、65 歳以上人口比率は年々上昇し、2055 年（令和 37 年）には 1,067 人（35.3%）になると推計されます。



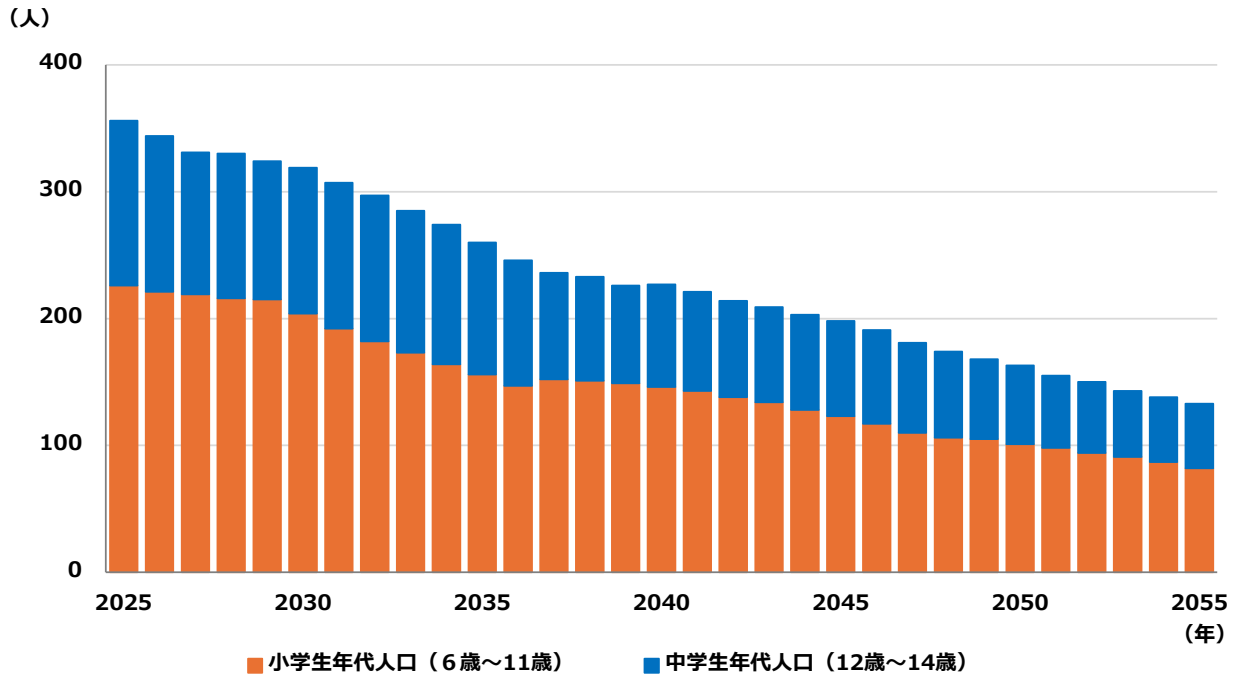
	2025 年	2030 年	2035 年	2040 年	2045 年	2050 年	2055 年
0～14 歳人口	527 (14.3%)	438 (12.1%)	374 (10.6%)	320 (9.4%)	274 (8.4%)	220 (7.0%)	171 (5.7%)
15～64 歳人口	2,078 (56.3%)	2,125 (58.6%)	2,085 (59.0%)	2,009 (58.8%)	1,919 (58.5%)	1,852 (58.8%)	1,781 (59.0%)
65 歳以上人口	1,083 (29.4%)	1,066 (29.4%)	1,076 (30.4%)	1,089 (31.9%)	1,087 (33.1%)	1,077 (34.2%)	1,067 (35.3%)
計	3,688	3,629	3,535	3,418	3,280	3,149	3,019

（10）福地北部小学校区

②小学生年代・中学生年代人口

小学生年代の人口は、2025 年（令和 7 年）と 2055 年（令和 37 年）を比較すると、226 人から 82 人へと、約 63.7%（144 人）減少すると推計されます。

中学生年代の人口は、2025 年（令和 7 年）と 2055 年（令和 37 年）を比較すると、130 人から 51 人へと、約 60.8%（79 人）減少すると推計されます。



	2025 年	2030 年	2035 年	2040 年	2045 年	2050 年	2055 年
小学生年代（６～11 歳）	226	204	156	146	123	101	82
中学生年代（12～14 歳）	130	115	104	81	75	62	51
計	356	319	260	227	198	163	133

（10）福地北部小学校区

③５歳階級別（2025 年→2055 年）

図　2025 年

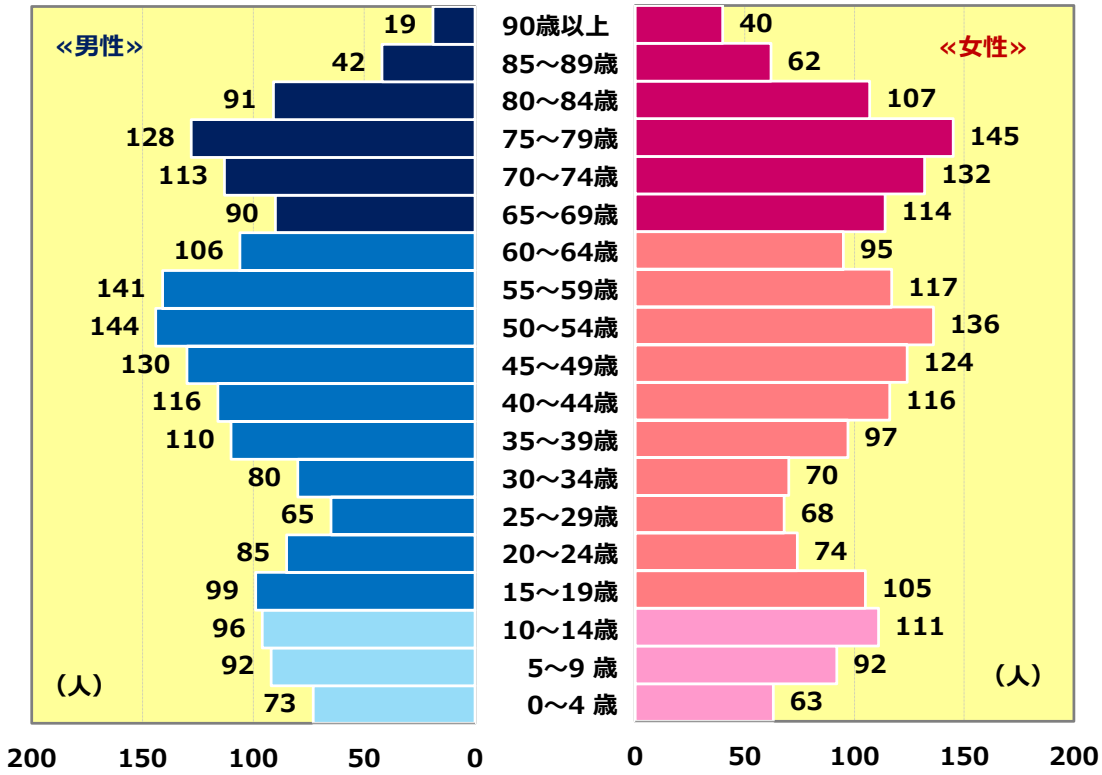


図　2035 年

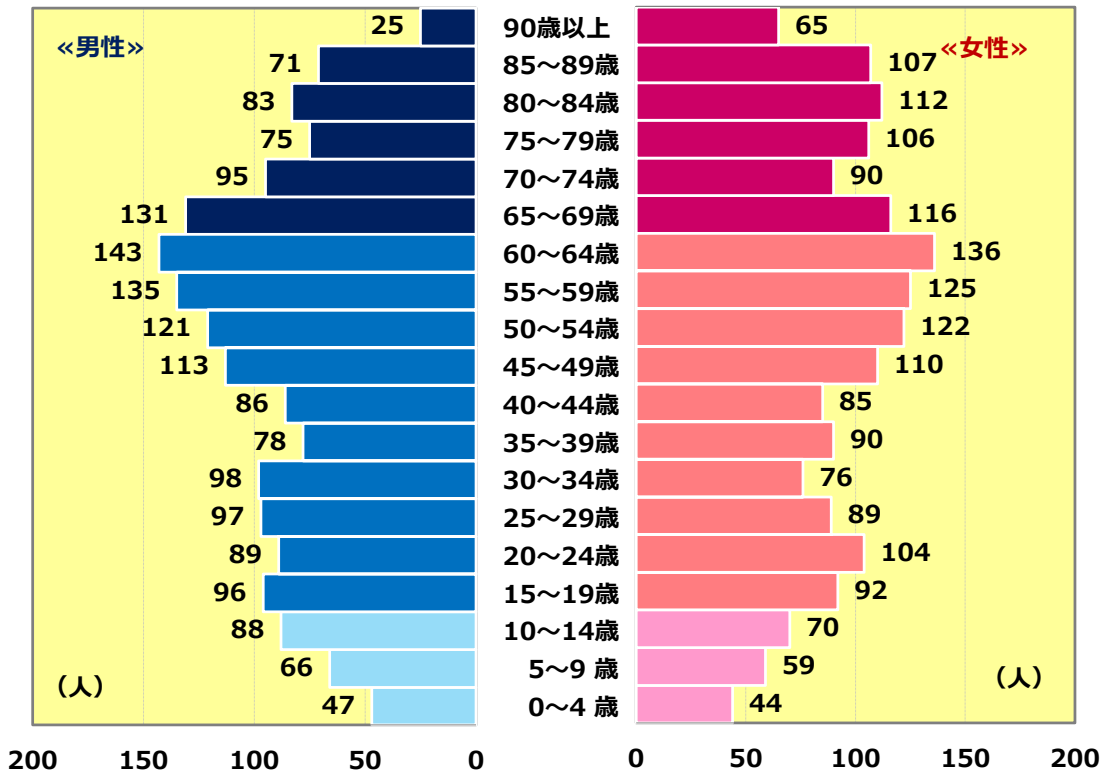


図　2045 年

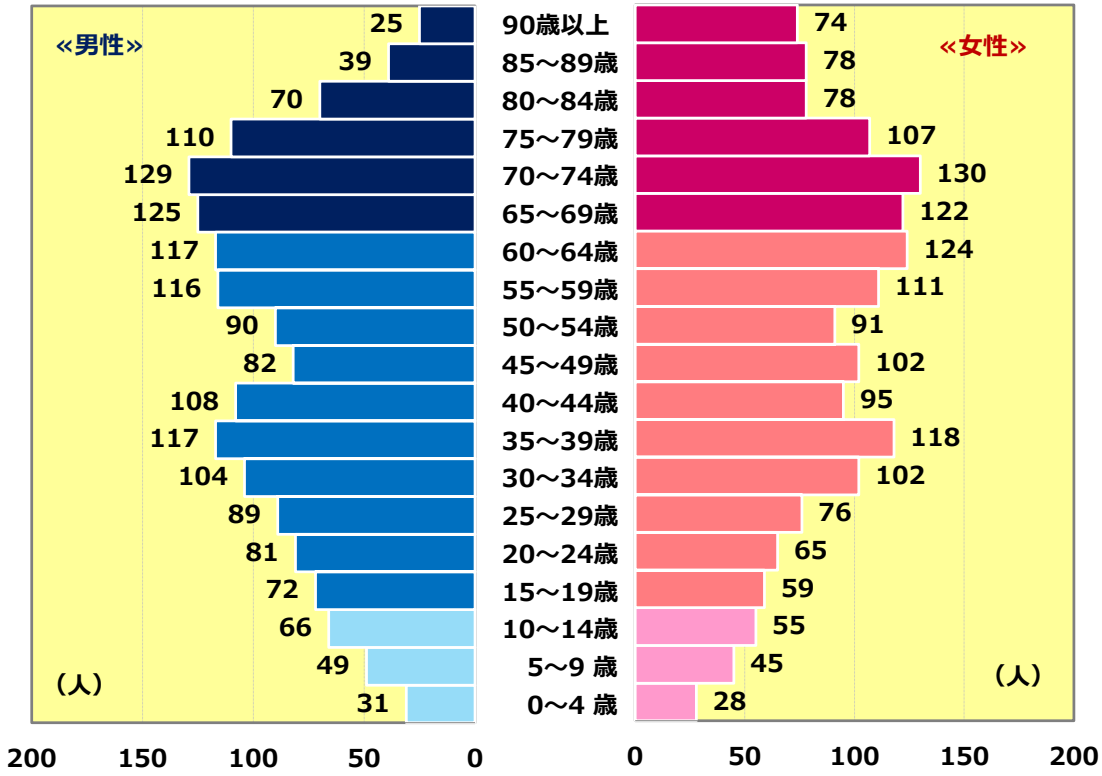
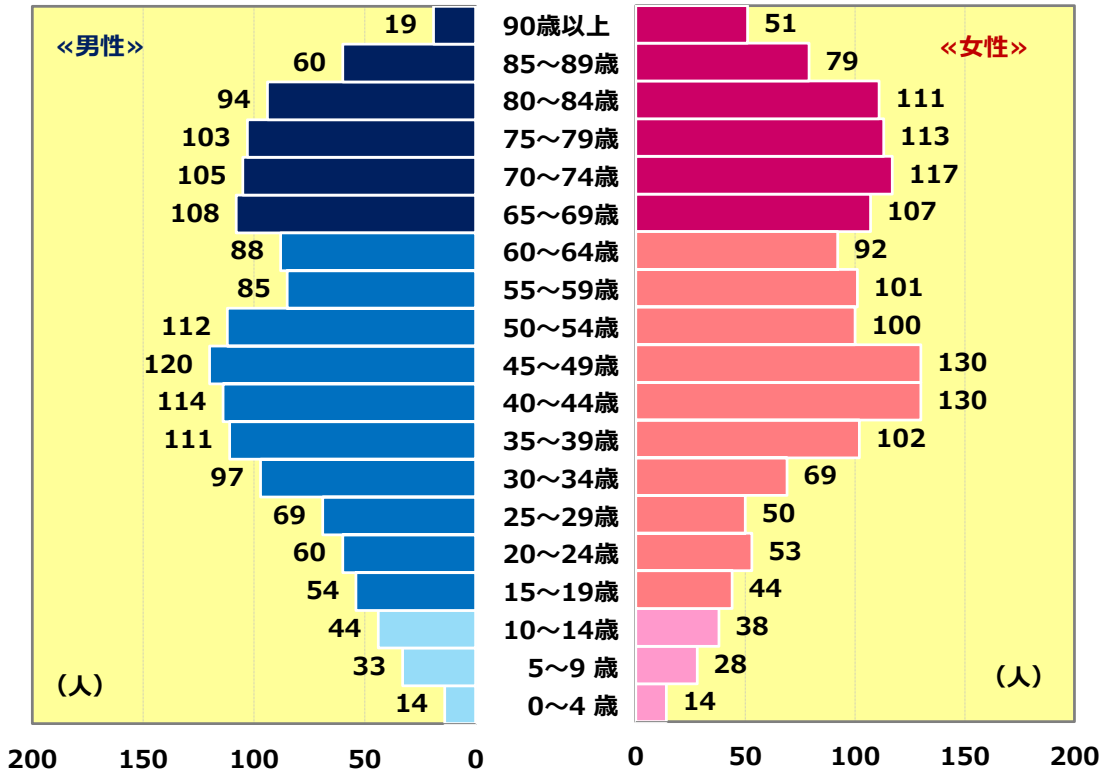


図　2055 年



（11）福地南部小学校区

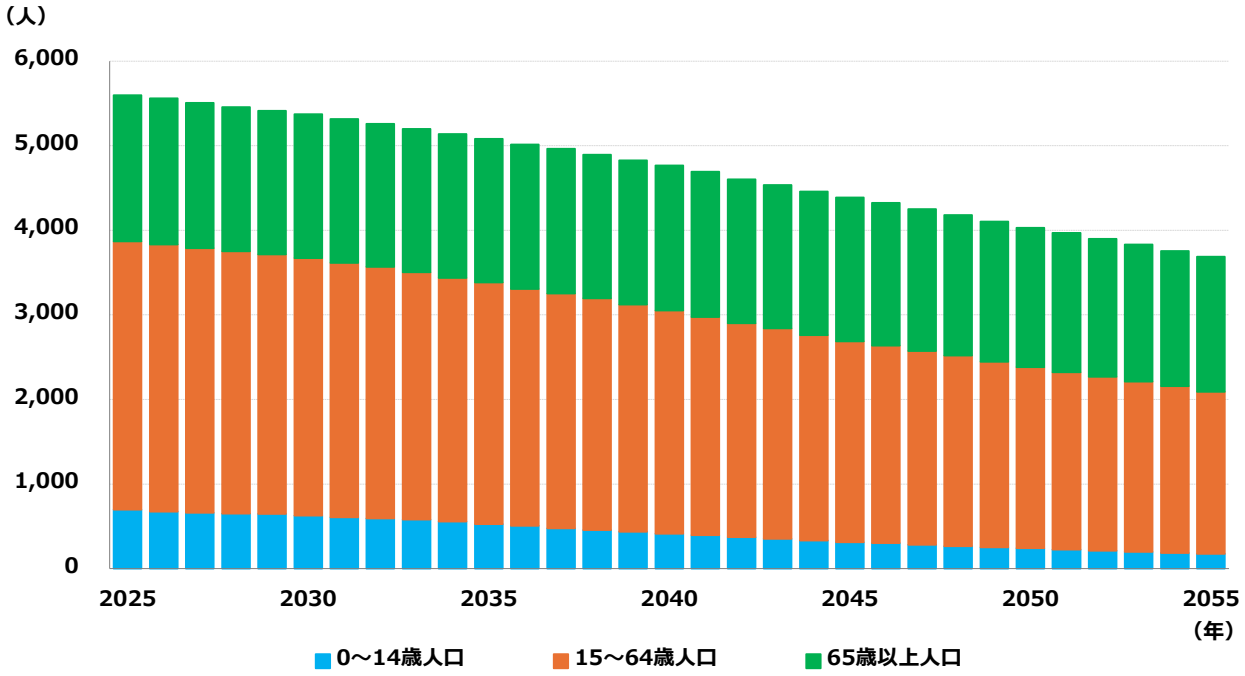
①年齢３区分別人口

福地南部小学校区の人口は 2025 年（令和７年）の 5,598 人から年々減少し、2055 年（令和 37 年）には 3,689 人と、1,909 人（34.1%）減少すると推計されます。

０～14 歳人口は 2025 年（令和７年）の 698 人（12.5%）から年々減少し、2055 年（令和 37 年）には 174 人（4.7%）になると推計されます。

15～64 歳人口は 2025 年（令和７年）の 3,170 人（56.6%）から年々減少し、2055 年（令和 37 年）には 1,915 人（51.9%）になると推計されます。

65 歳以上人口は 2025 年（令和７年）の 1,730 人（30.9%）から減少傾向にあるものの、65 歳以上人口比率は年々上昇し、2055 年（令和 37 年）には 1,600 人（43.4%）になると推計されます。



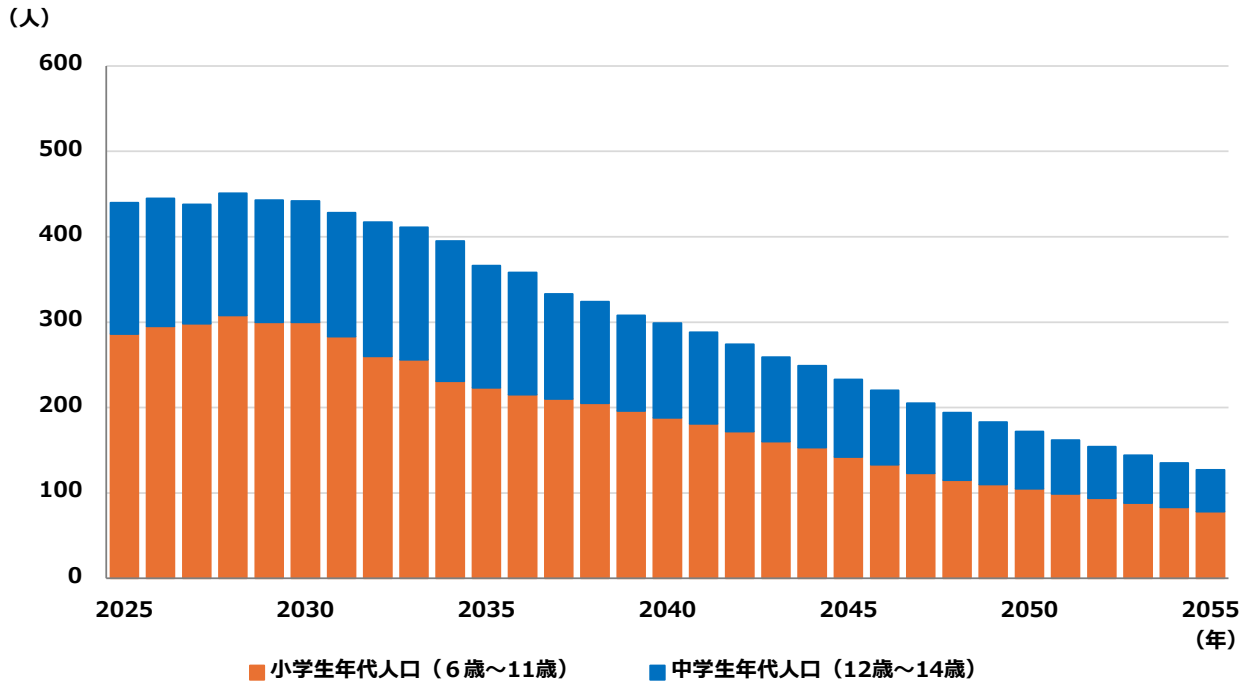
	2025 年	2030 年	2035 年	2040 年	2045 年	2050 年	2055 年
0～14 歳人口	698 (12.5%)	626 (11.6%)	526 (10.3%)	413 (8.7%)	311 (7.1%)	243 (6.0%)	174 (4.7%)
15～64 歳人口	3,170 (56.6%)	3,045 (56.7%)	2,856 (56.2%)	2,639 (55.4%)	2,376 (54.2%)	2,139 (53.1%)	1,915 (51.9%)
65 歳以上人口	1,730 (30.9%)	1,703 (31.7%)	1,701 (33.5%)	1,713 (35.9%)	1,700 (38.8%)	1,647 (40.9%)	1,600 (43.4%)
計	5,598	5,374	5,083	4,765	4,387	4,029	3,689

（11）福地南部小学校区

②小学生年代・中学生年代人口

小学生年代の人口は、2025 年（令和 7 年）と 2055 年（令和 37 年）を比較すると、286 人から 78 人へと、約 72.7%（208 人）減少すると推計されます。

中学生年代の人口は、2025 年（令和 7 年）と 2055 年（令和 37 年）を比較すると、154 人から 49 人へと、約 68.2%（105 人）減少すると推計されます。



	2025 年	2030 年	2035 年	2040 年	2045 年	2050 年	2055 年
小学生年代（６～11 歳）	286	300	223	188	142	105	78
中学生年代（12～14 歳）	154	142	143	111	91	67	49
計	440	442	366	299	233	172	127

（11）福地南部小学校区

③５歳階級別（2025 年→2055 年）

図　2025 年

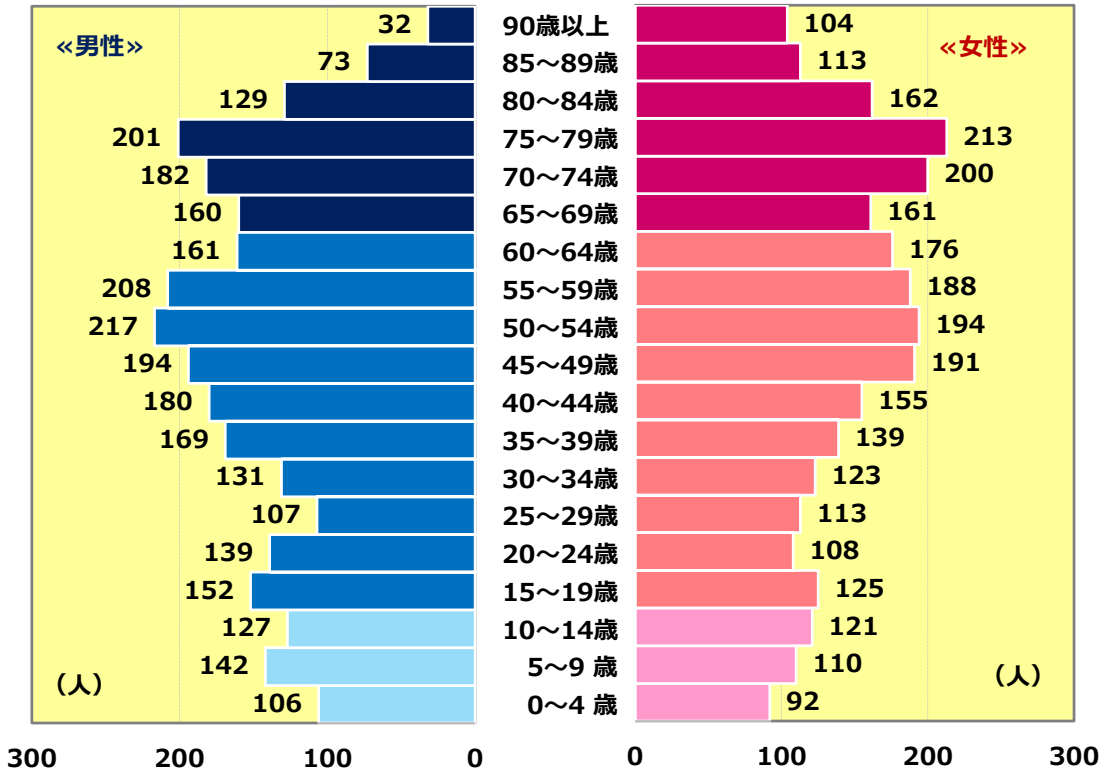


図　2035 年

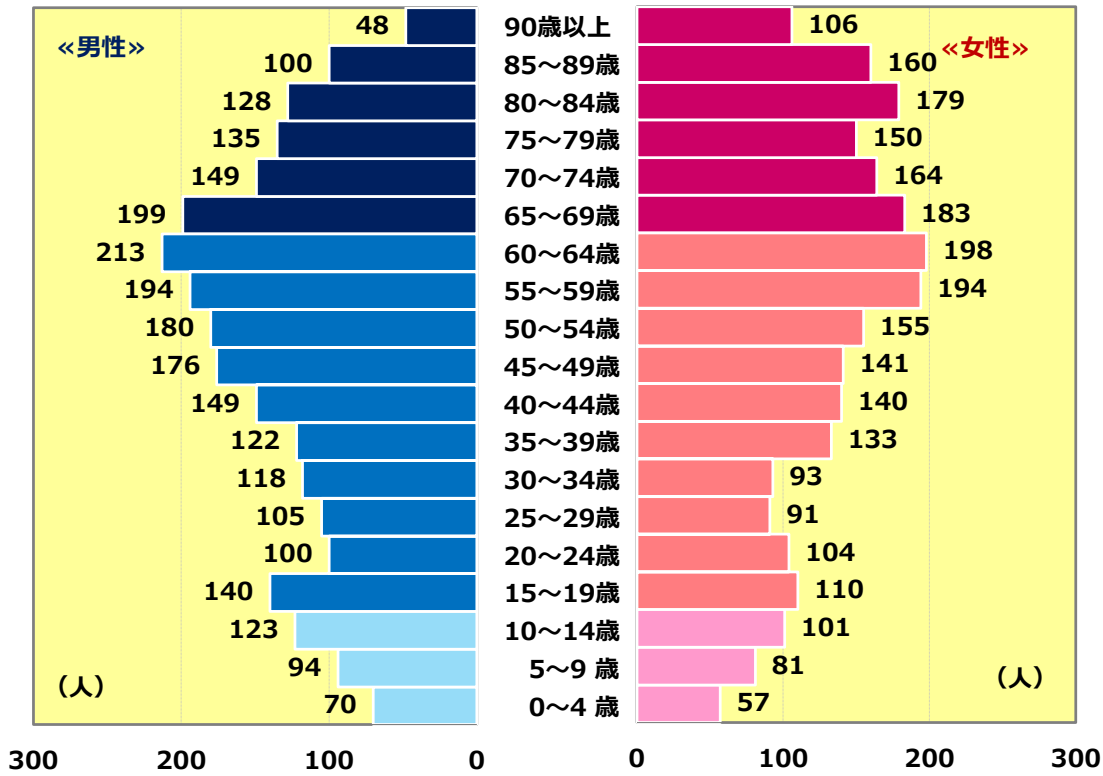


図　2045 年

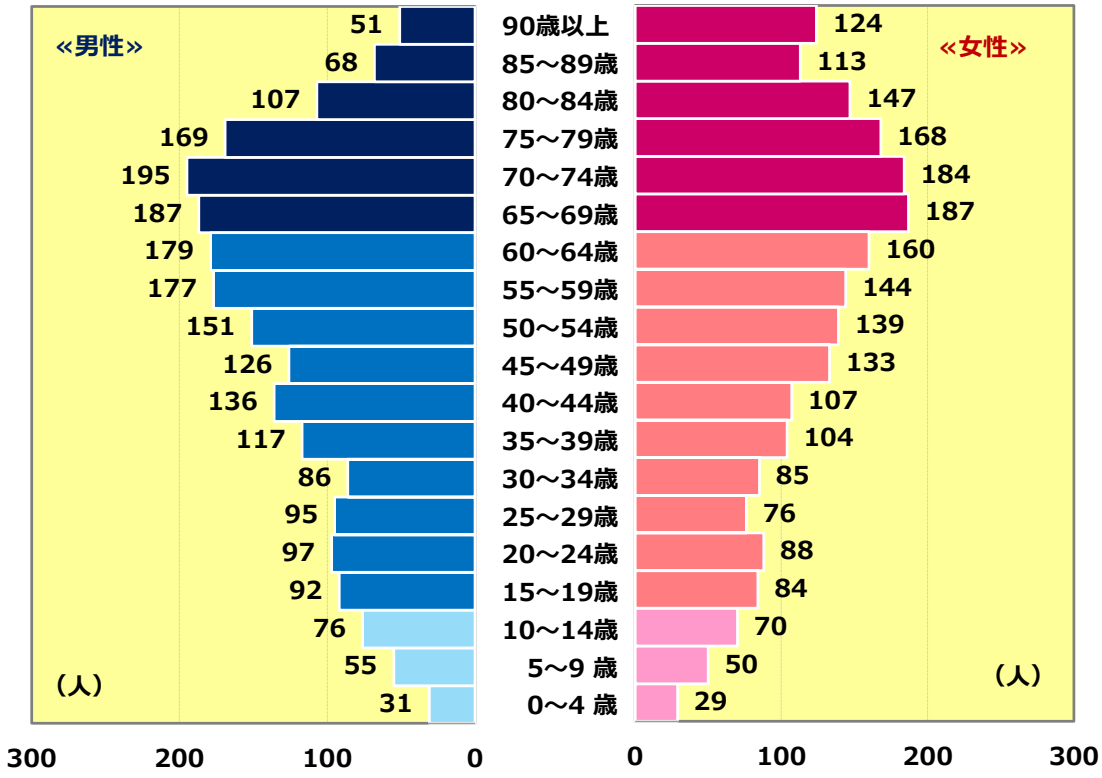
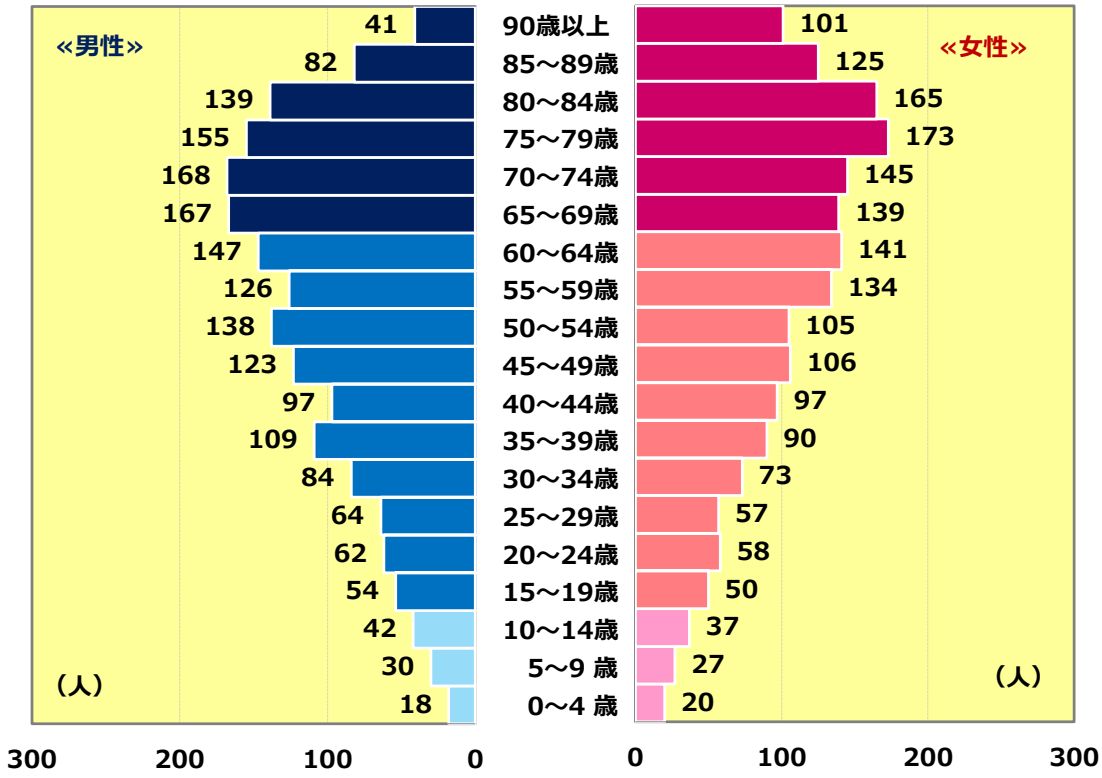


図　2055 年



（12）室場小学校区

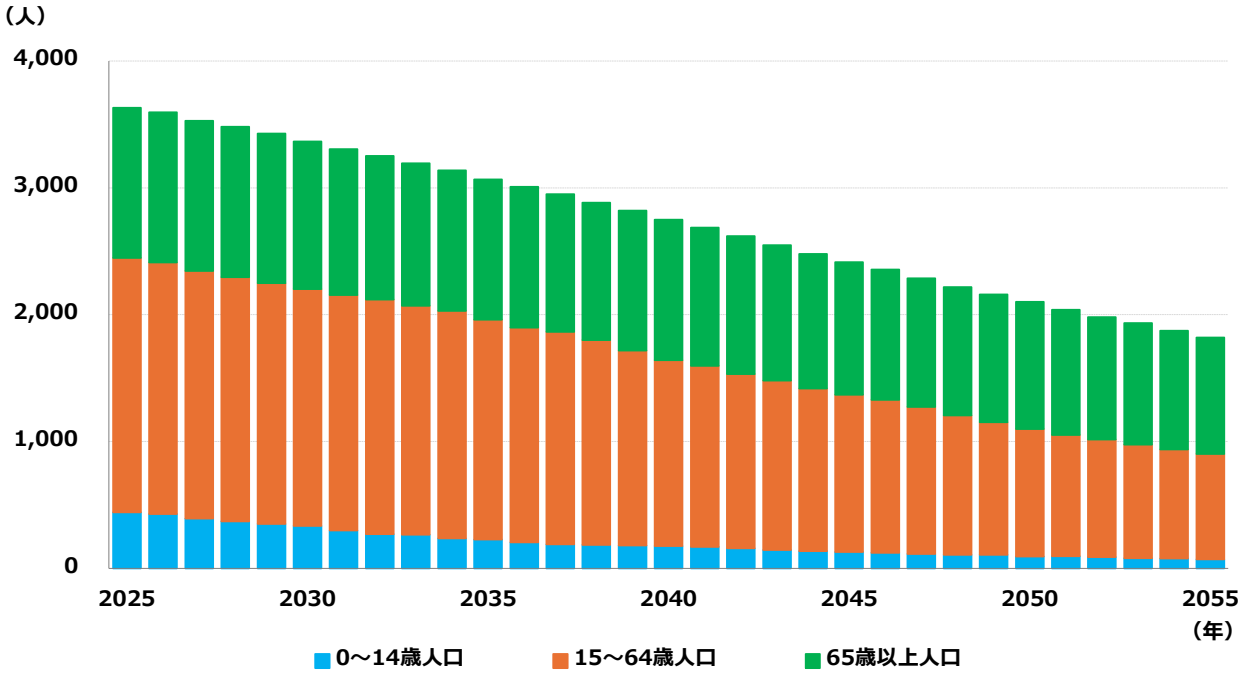
①年齢３区分別人口

室場小学校区の人口は 2025 年（令和７年）の 3,631 人から年々減少し、2055 年（令和 37 年）には 1,821 人と、1,810 人（49.8%）減少すると推計されます。

０～14 歳人口は 2025 年（令和７年）の 443 人（12.2%）から年々減少し、2055 年（令和 37 年）には 72 人（4.0%）になると推計されます。

15～64 歳人口は 2025 年（令和７年）の 2,005 人（55.2%）から年々減少し、2055 年（令和 37 年）には 831 人（45.6%）になると推計されます。

65 歳以上人口は 2025 年（令和７年）の 1,183 人（32.6%）から年々減少する一方で 65 歳以上人口比率は年々上昇し、2055 年（令和 37 年）には 918 人（50.4%）になると推計されます。



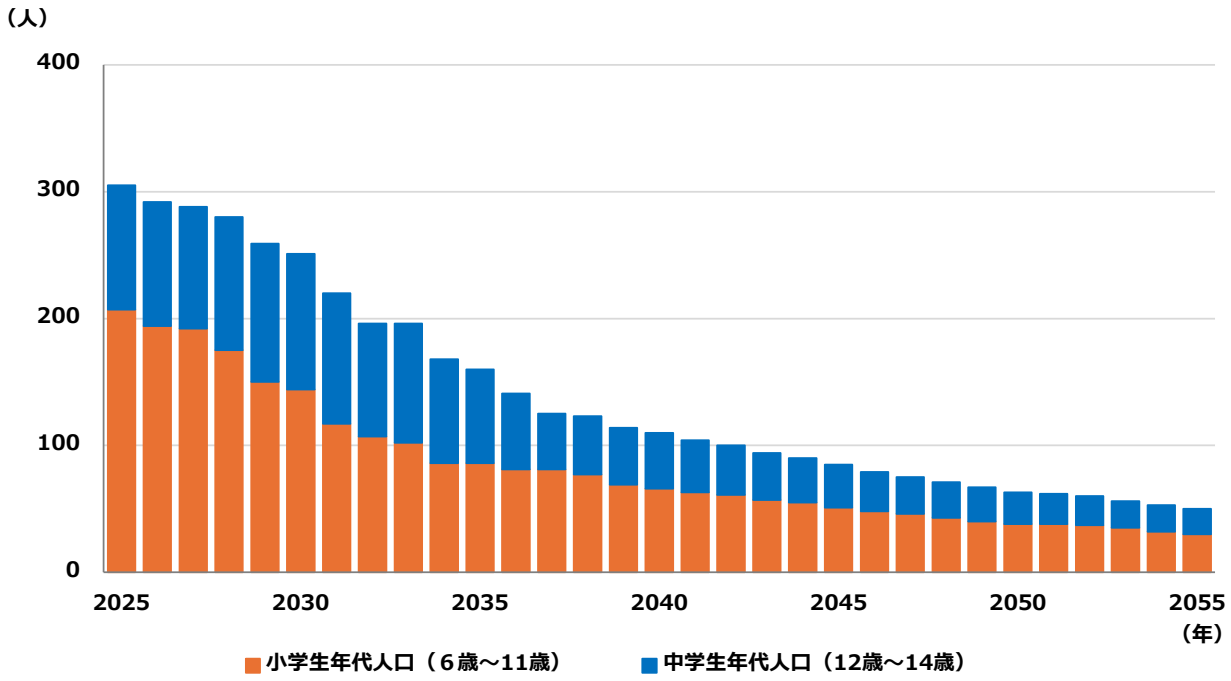
	2025 年	2030 年	2035 年	2040 年	2045 年	2050 年	2055 年
0～14 歳人口	443 (12.2%)	335 (10.0%)	227 (7.4%)	176 (6.4%)	130 (5.4%)	95 (4.5%)	72 (4.0%)
15～64 歳人口	2,005 (55.2%)	1,867 (55.5%)	1,734 (56.5%)	1,466 (53.3%)	1,240 (51.3%)	1,003 (47.7%)	831 (45.6%)
65 歳以上人口	1,183 (32.6%)	1,164 (34.6%)	1,106 (36.1%)	1,108 (40.3%)	1,045 (43.3%)	1,003 (47.7%)	918 (50.4%)
計	3,631	3,366	3,067	2,750	2,415	2,101	1,821

（12）室場小学校区

②小学生年代・中学生年代人口

小学生年代の人口は、2025 年（令和 7 年）と 2055 年（令和 37 年）を比較すると、207 人から 30 人へと、約 85.5%（177 人）減少すると推計されます。

中学生年代の人口は、2025 年（令和 7 年）と 2055 年（令和 37 年）を比較すると、98 人から 20 人へと、約 79.6%（78 人）減少すると推計されます。



	2025 年	2030 年	2035 年	2040 年	2045 年	2050 年	2055 年
小学生年代（６～11 歳）	207	144	86	66	51	38	30
中学生年代（12～14 歳）	98	107	74	44	34	25	20
計	305	251	160	110	85	63	50

（12）室場小学校区

③５歳階級別（2025 年→2055 年）

図　2025 年

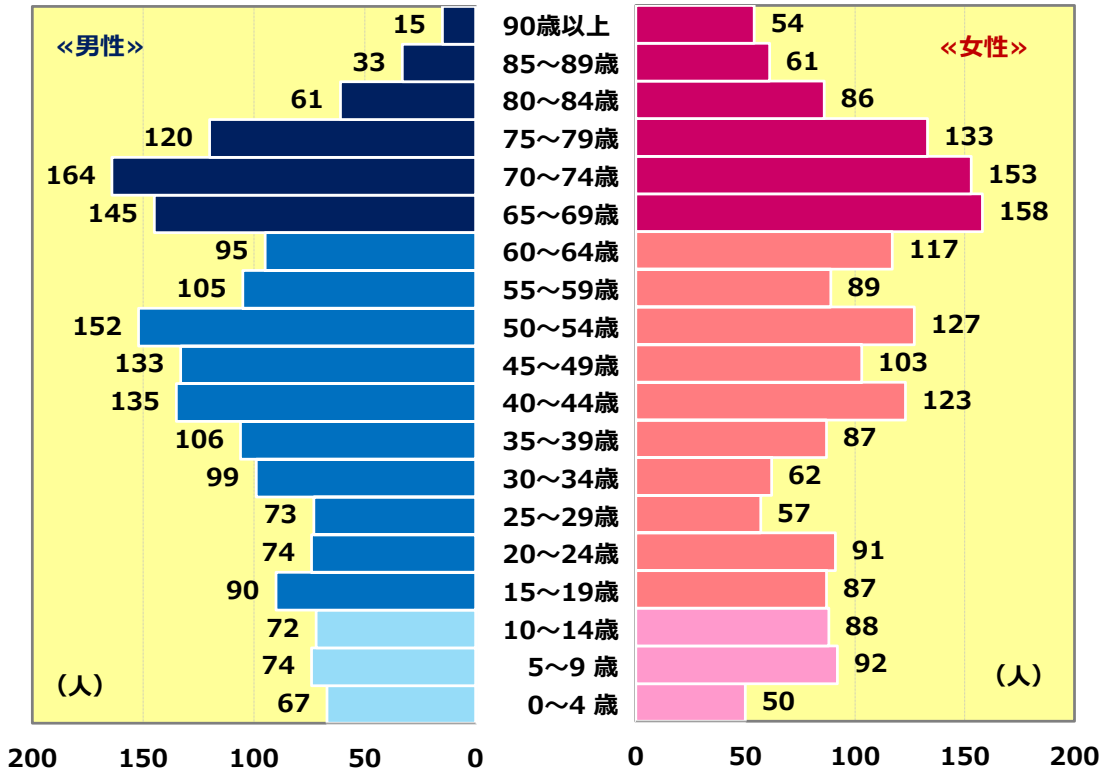


図　2035 年

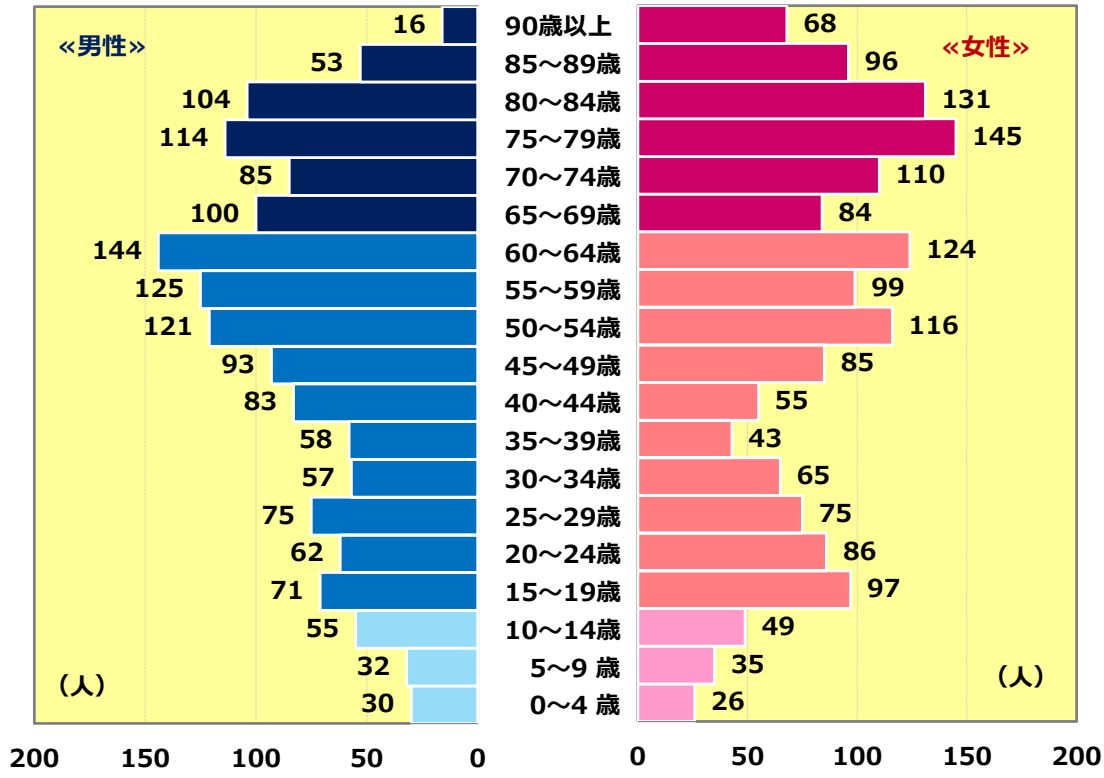


図　2045 年

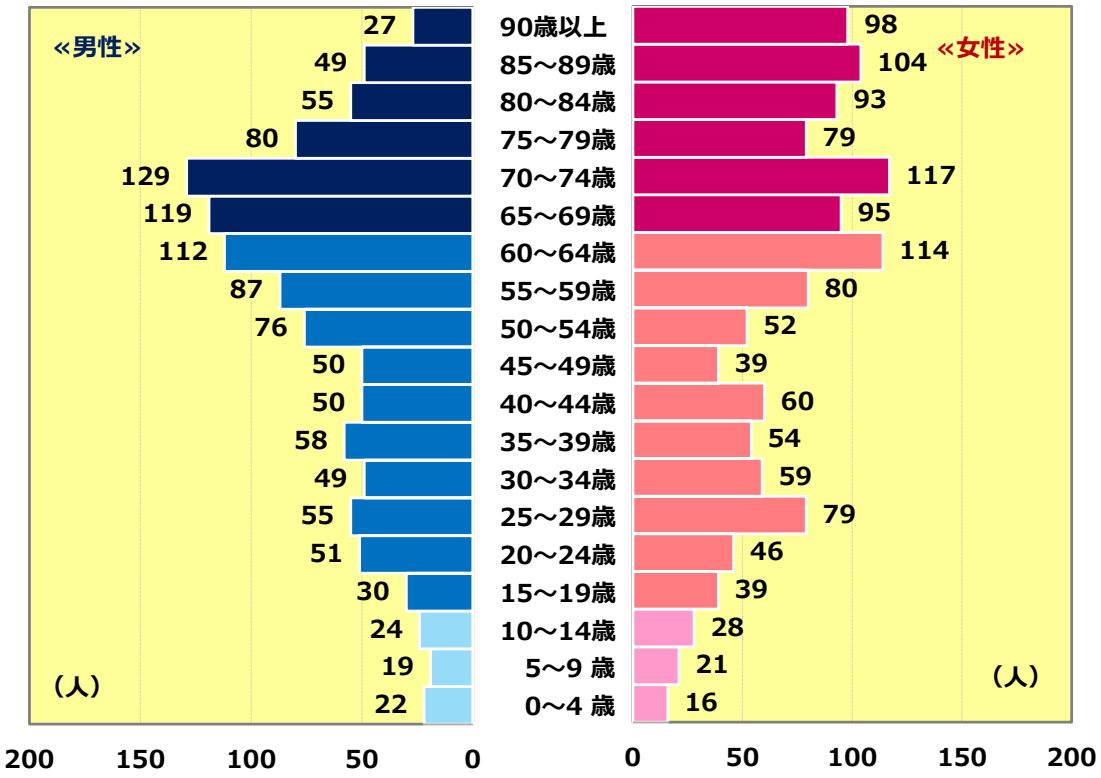
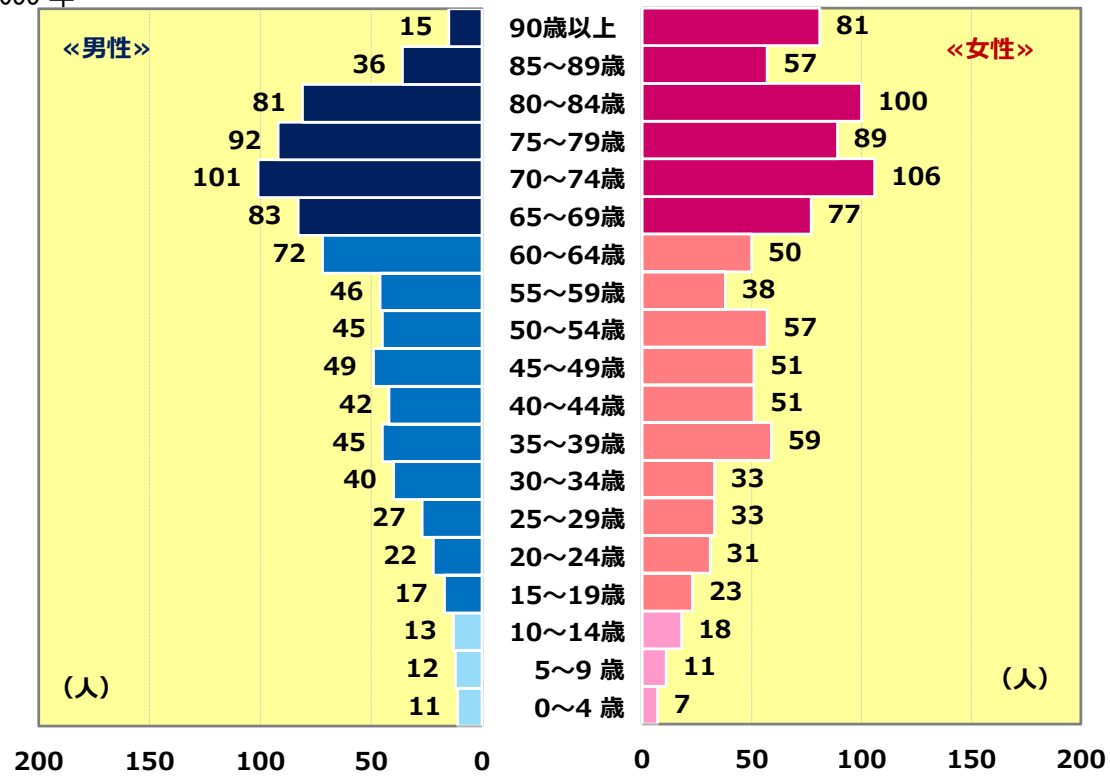


図　2055 年



（13）三和小学校区

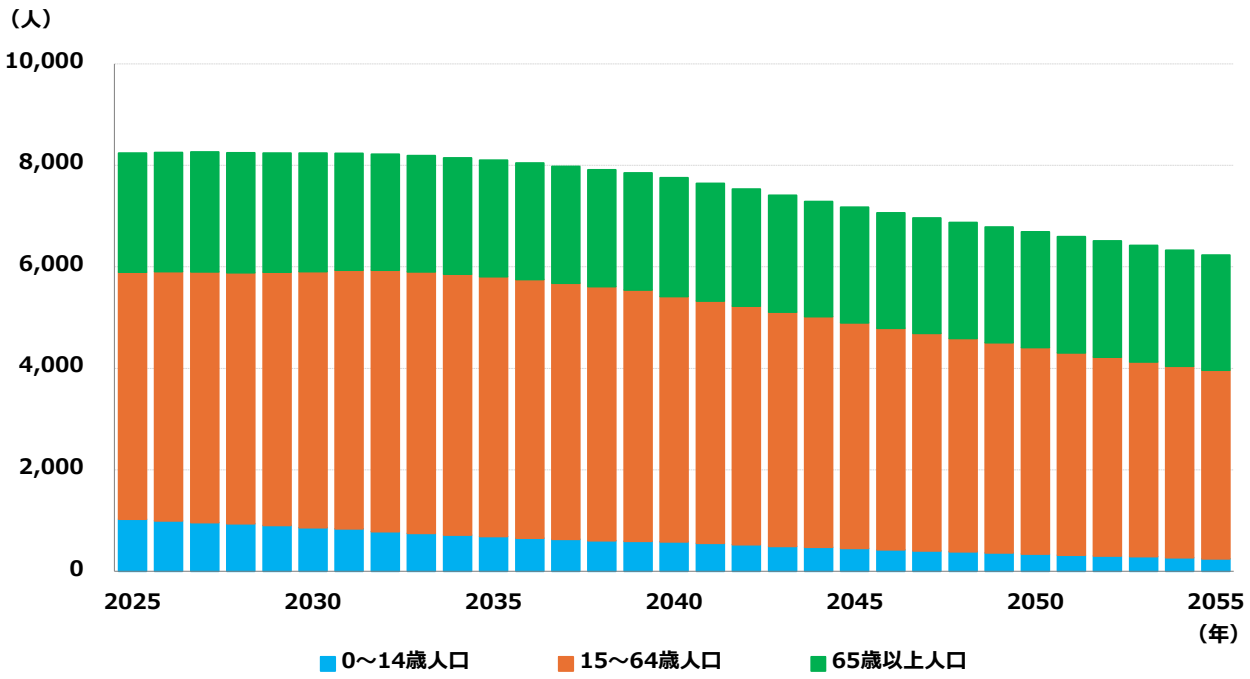
①年齢３区分別人口

三和小学校区の人口は 2025 年（令和７年）の 8,241 人から年々減少し、2055 年（令和 37 年）には 6,230 人と、2,011 人（24.4%）減少すると推計されます。

０～14 歳人口は 2025 年（令和７年）の 1,026 人（12.4%）から年々減少し、2055 年（令和 37 年）には 245 人（3.9%）になると推計されます。

15～64 歳人口は 2025 年（令和７年）の 4,870 人（59.1%）から増加するものの、2035 年（令和 17 年）以降は減少に転じ、2055 年（令和 37 年）には 3,720 人（59.7%）になると推計されます。

65 歳以上人口は 2025 年（令和７年）の 2,345 人（28.5%）から増減を繰り返し、2055 年（令和 37 年）には 2,265 人（36.4%）になると推計されます。



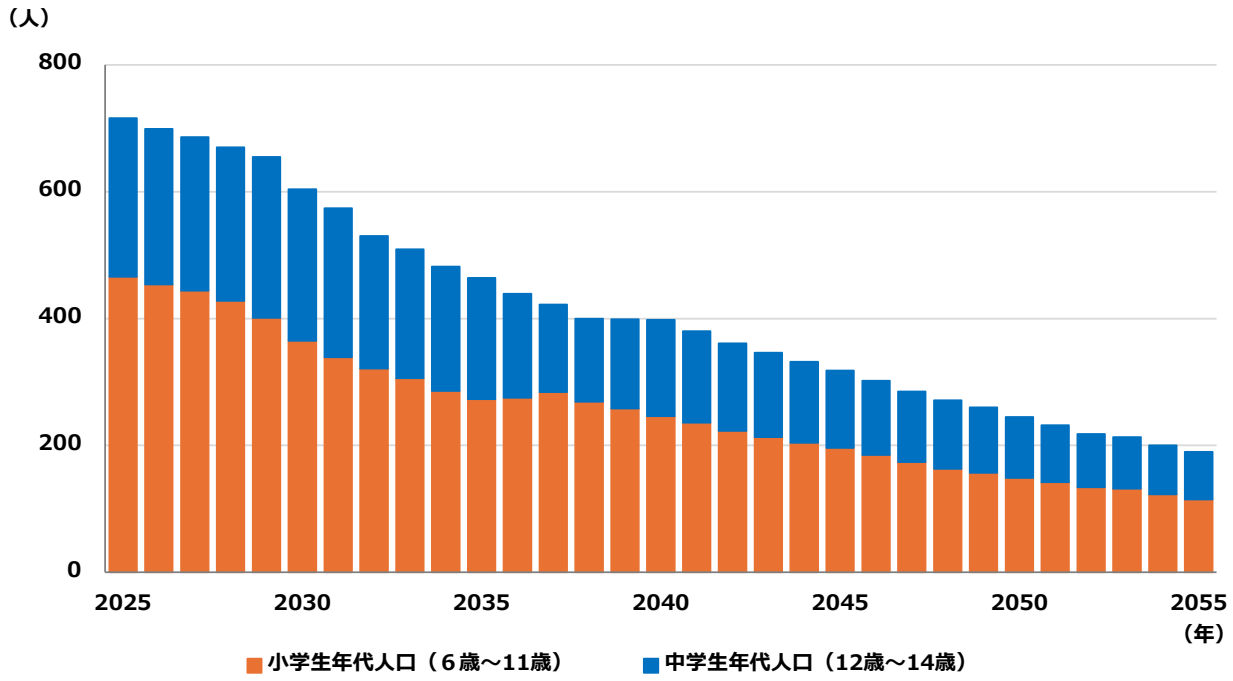
	2025 年	2030 年	2035 年	2040 年	2045 年	2050 年	2055 年
0～14 歳人口	1,026 (12.4%)	862 (10.5%)	688 (8.5%)	583 (7.5%)	455 (6.3%)	343 (5.1%)	245 (3.9%)
15～64 歳人口	4,870 (59.1%)	5,044 (61.2%)	5,121 (63.2%)	4,835 (62.4%)	4,440 (61.9%)	4,070 (60.8%)	3,720 (59.7%)
65 歳以上人口	2,345 (28.5%)	2,334 (28.3%)	2,289 (28.3%)	2,336 (30.1%)	2,279 (31.8%)	2,278 (34.0%)	2,265 (36.4%)
計	8,241	8,240	8,098	7,754	7,174	6,691	6,230

（13）三和小学校区

②小学生年代・中学生年代人口

小学生年代の人口は、2025 年（令和 7 年）と 2055 年（令和 37 年）を比較すると、466 人から 115 人へと、約 75.3%（351 人）減少すると推計されます。

中学生年代の人口は、2025 年（令和 7 年）と 2055 年（令和 37 年）を比較すると、250 人から 75 人へと、約 70.0%（175 人）減少すると推計されます。



	2025 年	2030 年	2035 年	2040 年	2045 年	2050 年	2055 年
小学生年代（６～11 歳）	466	365	273	246	196	149	115
中学生年代（12～14 歳）	250	239	191	152	122	96	75
計	716	604	464	398	318	245	190

（13）三和小学校区

③５歳階級別（2025 年→2055 年）

図　2025 年

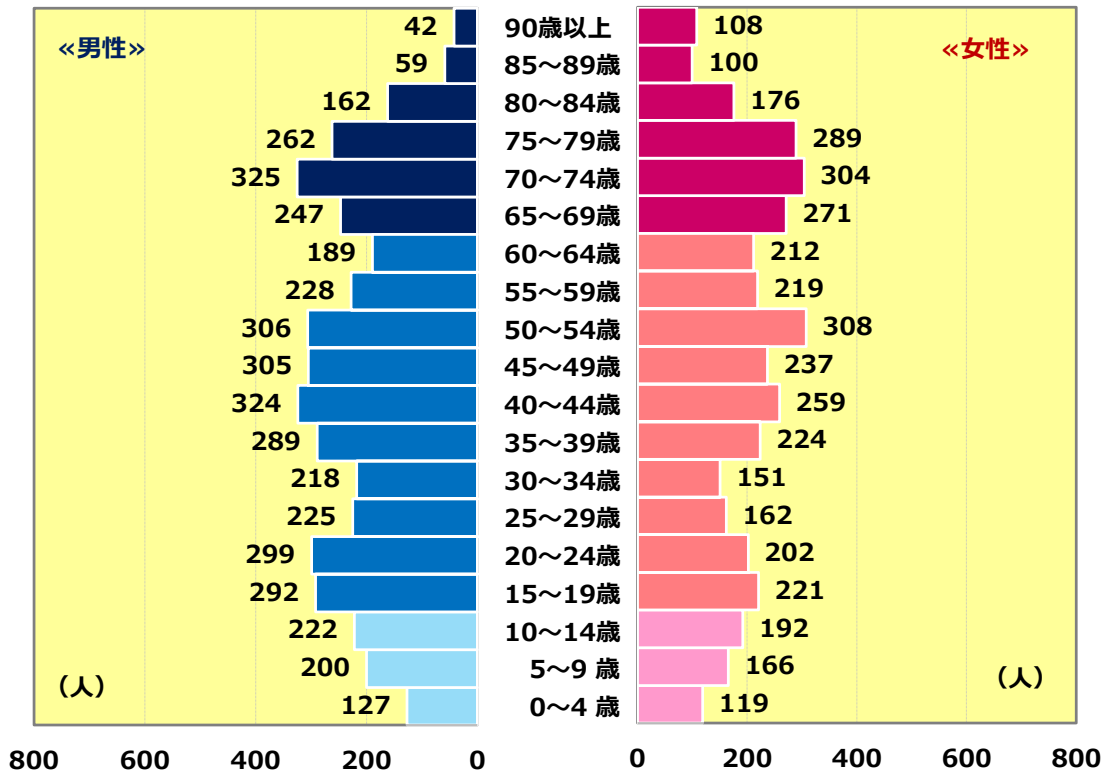


図　2035 年

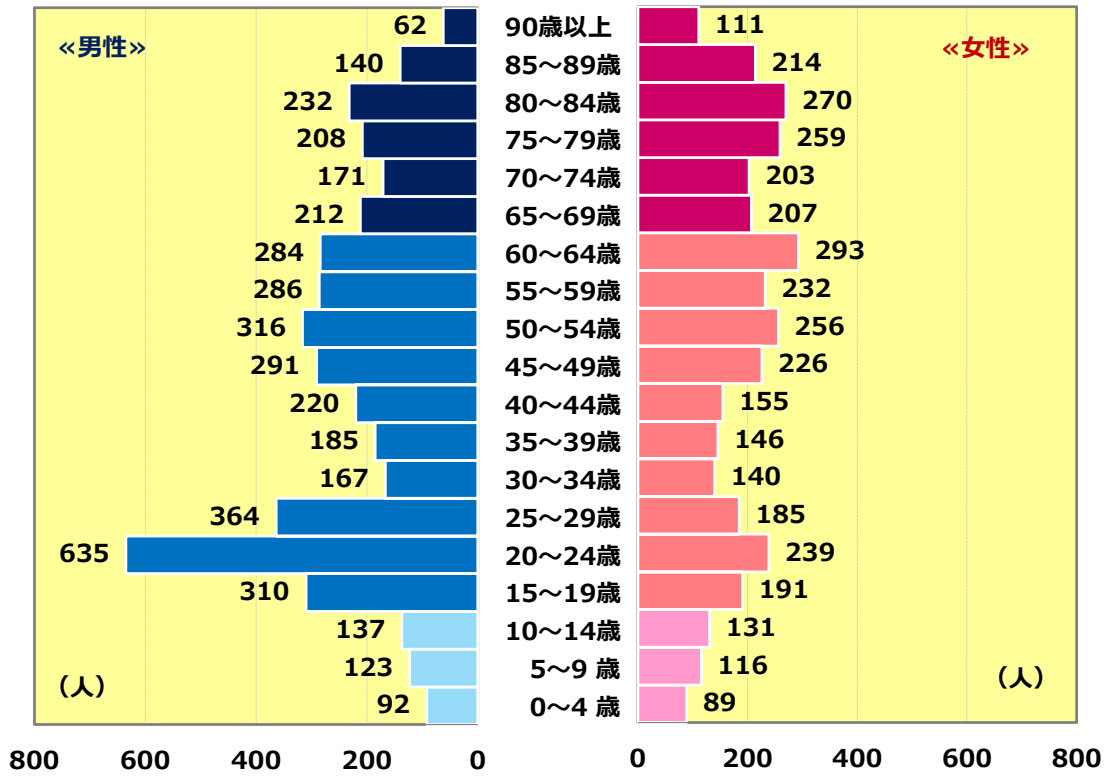


図　2045 年

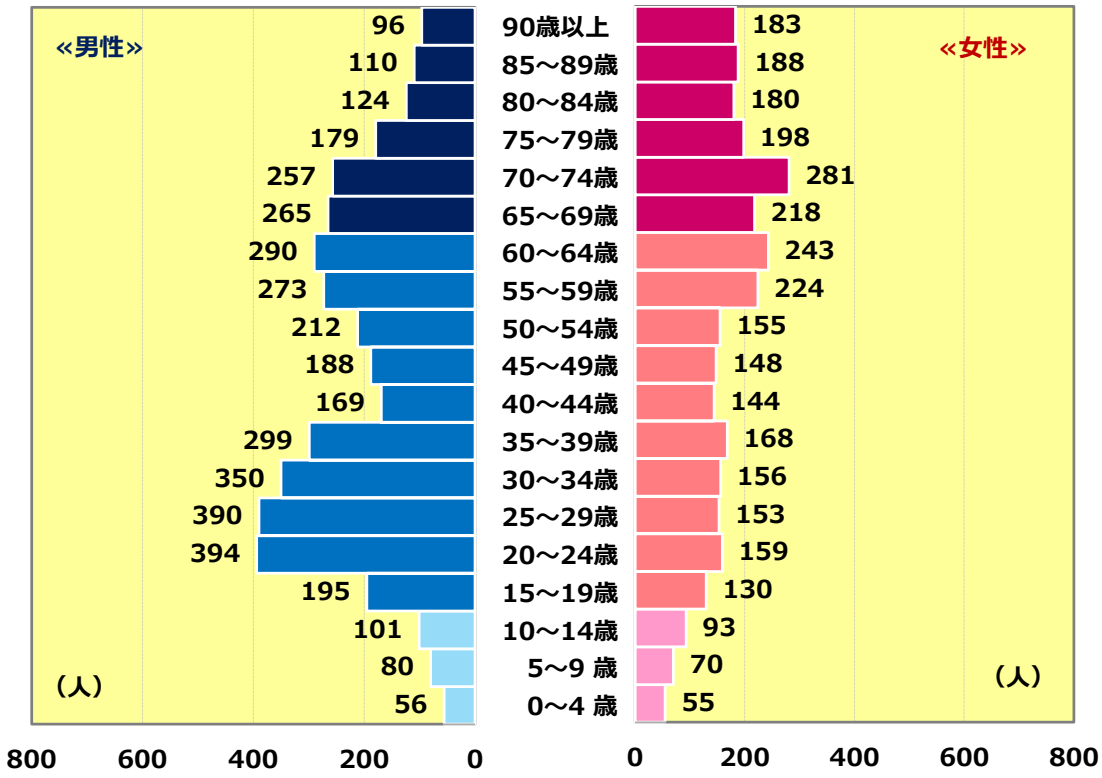
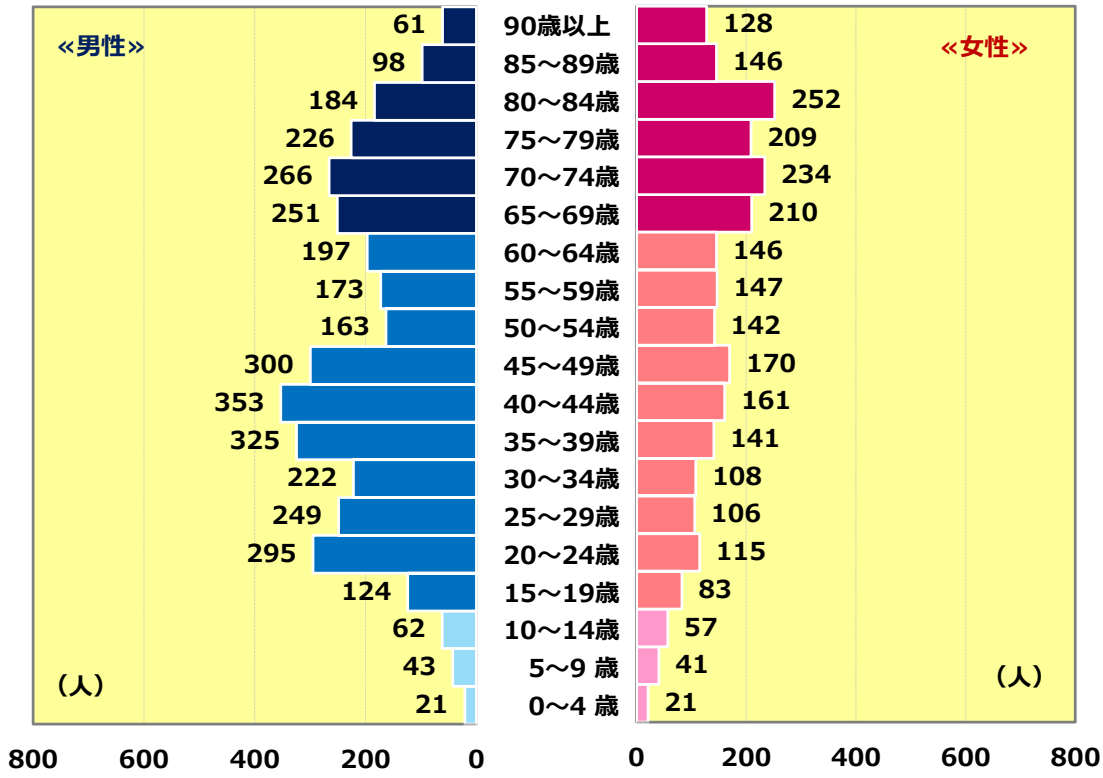


図　2055 年



（14）米津小学校区

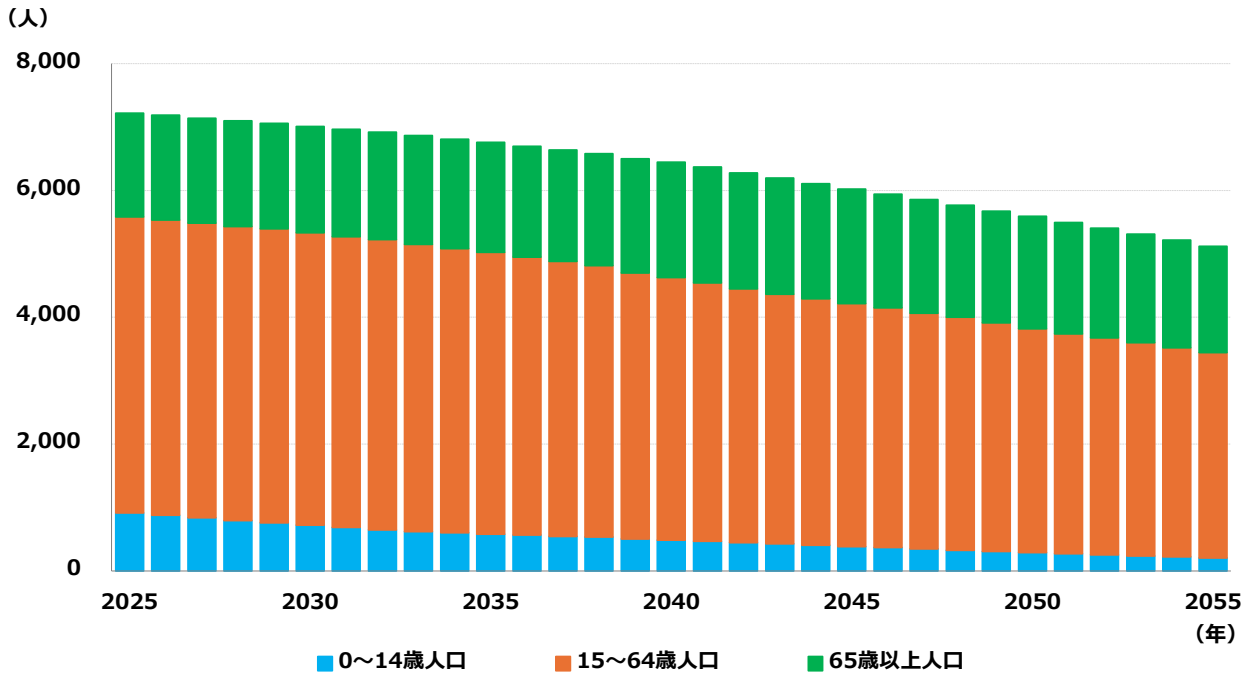
①年齢３区分別人口

米津小学校区の人口は 2025 年（令和７年）の 7,219 人から年々減少し、2055 年（令和 37 年）には 5,118 人と、2,101 人（29.1%）減少すると推計されます。

０～14 歳人口は 2025 年（令和７年）の 917 人（12.7%）から年々減少し、2055 年（令和 37 年）には 205 人（4.0%）になると推計されます。

15～64 歳人口は 2025 年（令和７年）の 4,664 人（64.6%）から年々減少し、2055 年（令和 37 年）には 3,239 人（63.3%）になると推計されます。

65 歳以上人口は 2025 年（令和７年）の 1,638 人（22.7%）から年々増加します。2040 年（令和 22 年）以降は減少に転じるものの、65 歳以上人口比率は年々増加し続け、2055 年（令和 37 年）には 1,674 人（32.7%）になると推計されます。



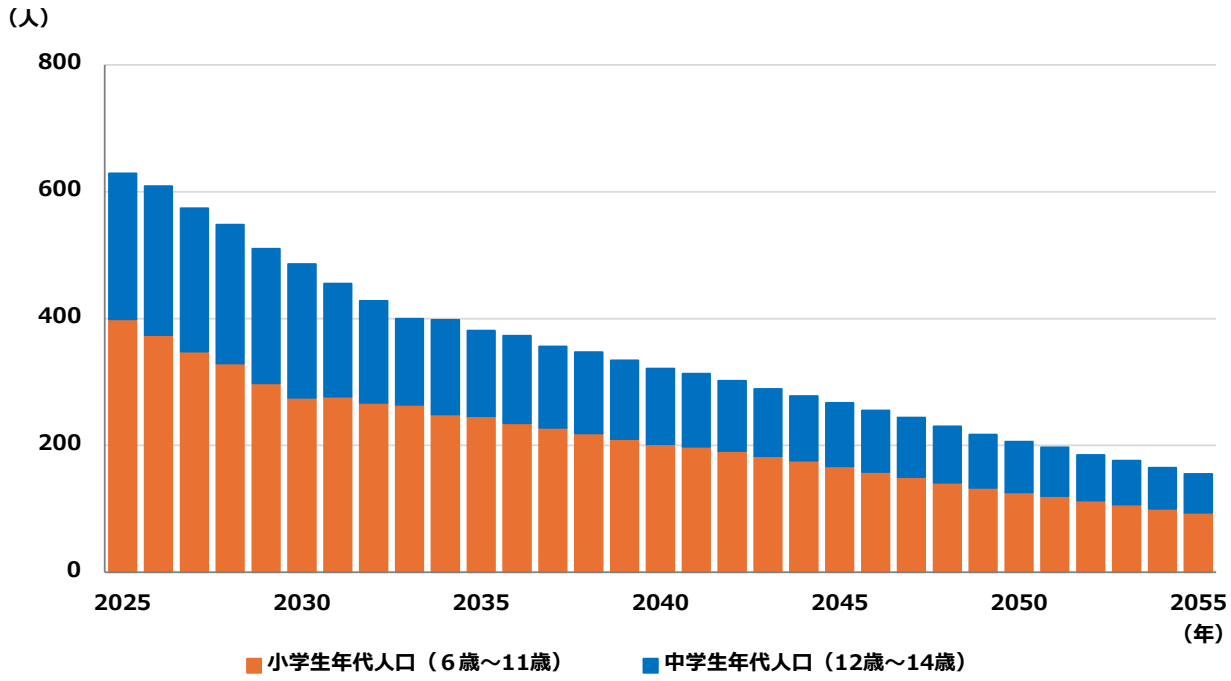
	2025 年	2030 年	2035 年	2040 年	2045 年	2050 年	2055 年
0～14 歳人口	917 (12.7%)	724 (10.3%)	583 (8.6%)	486 (7.5%)	386 (6.4%)	289 (5.2%)	205 (4.0%)
15～64 歳人口	4,664 (64.6%)	4,610 (65.8%)	4,440 (65.7%)	4,141 (64.3%)	3,832 (63.7%)	3,531 (63.2%)	3,239 (63.3%)
65 歳以上人口	1,638 (22.7%)	1,674 (23.9%)	1,734 (25.7%)	1,816 (28.2%)	1,802 (29.9%)	1,770 (31.7%)	1,674 (32.7%)
計	7,219	7,008	6,757	6,443	6,020	5,590	5,118

（14）米津小学校区

②小学生年代・中学生年代人口

小学生年代の人口は、2025 年（令和 7 年）と 2055 年（令和 37 年）を比較すると、399 人から 94 人へと、約 76.4%（305 人）減少すると推計されます。

中学生年代の人口は、2025 年（令和 7 年）と 2055 年（令和 37 年）を比較すると、230 人から 61 人へと、約 73.5%（169 人）減少すると推計されます。



	2025 年	2030 年	2035 年	2040 年	2045 年	2050 年	2055 年
小学生年代（６～11 歳）	399	275	246	202	167	126	94
中学生年代（12～14 歳）	230	211	135	119	100	80	61
計	629	486	381	321	267	206	155

（14）米津小学校区

③５歳階級別（2025 年→2055 年）

図　2025 年

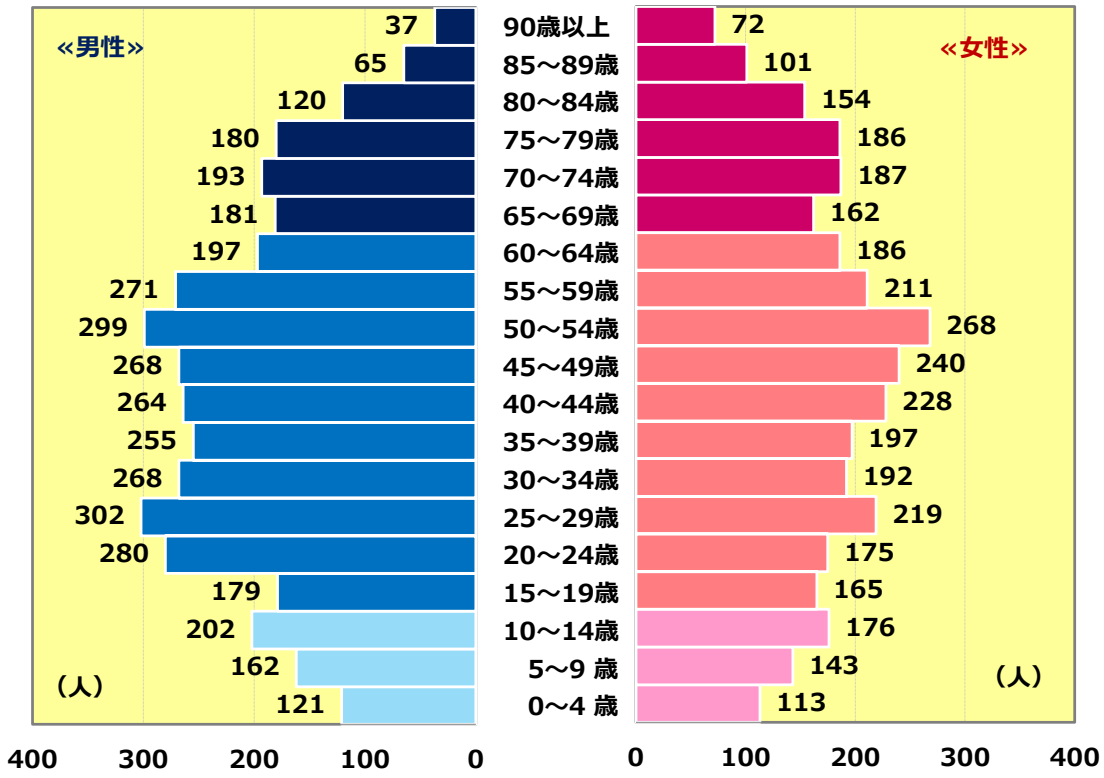


図　2035 年

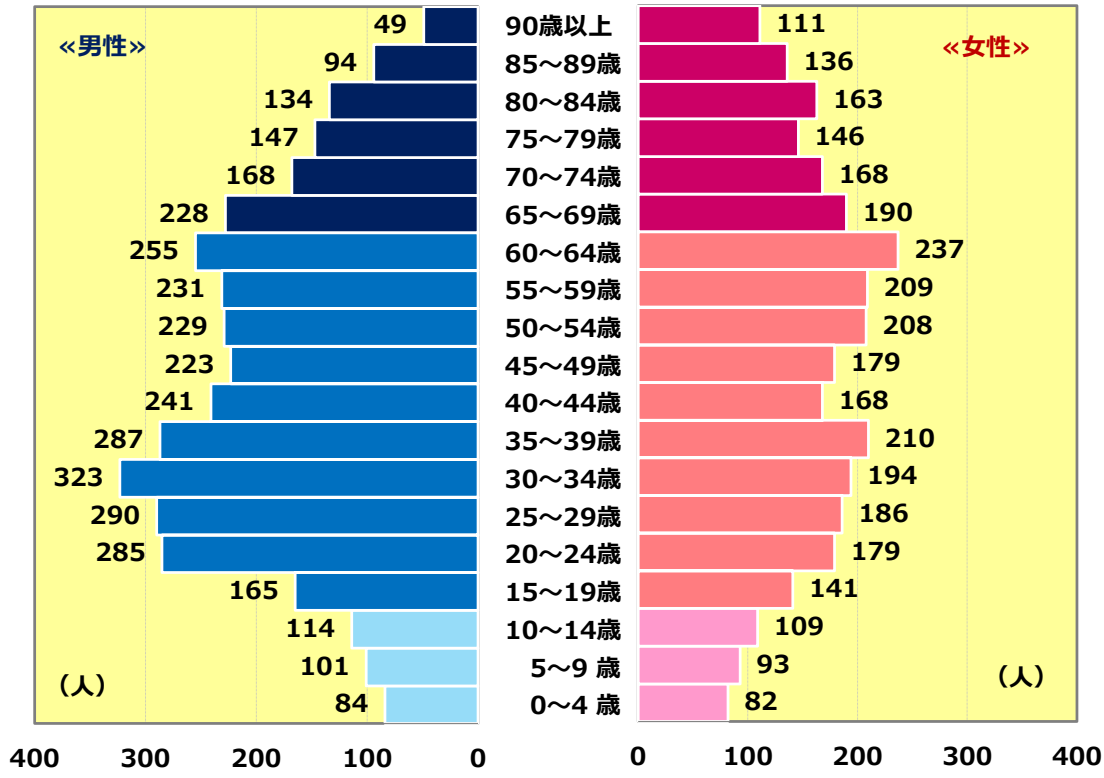


図　2045 年

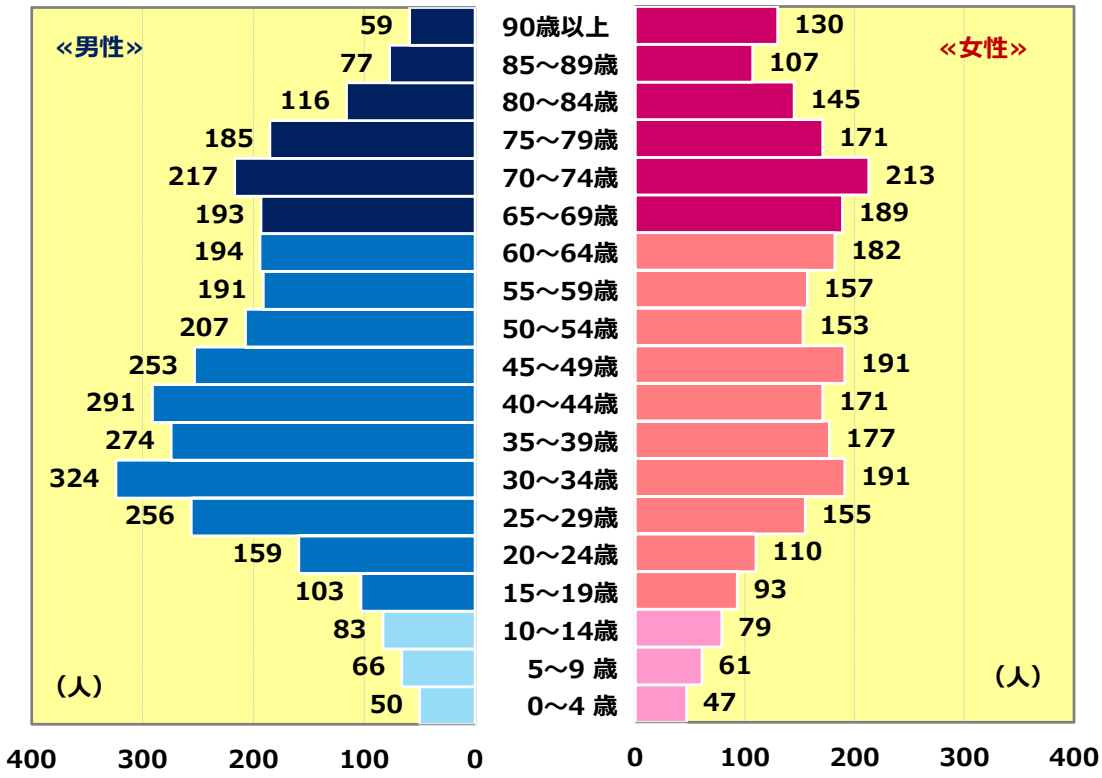
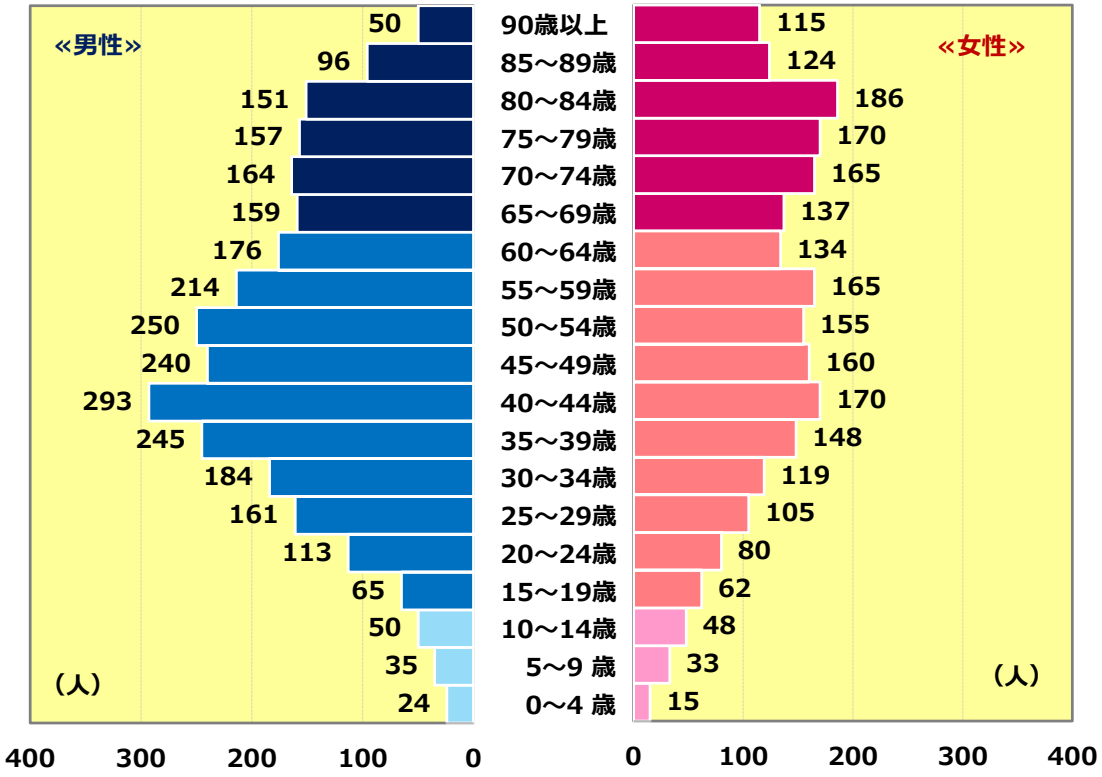


図　2055 年



（15）一色西部小学校区

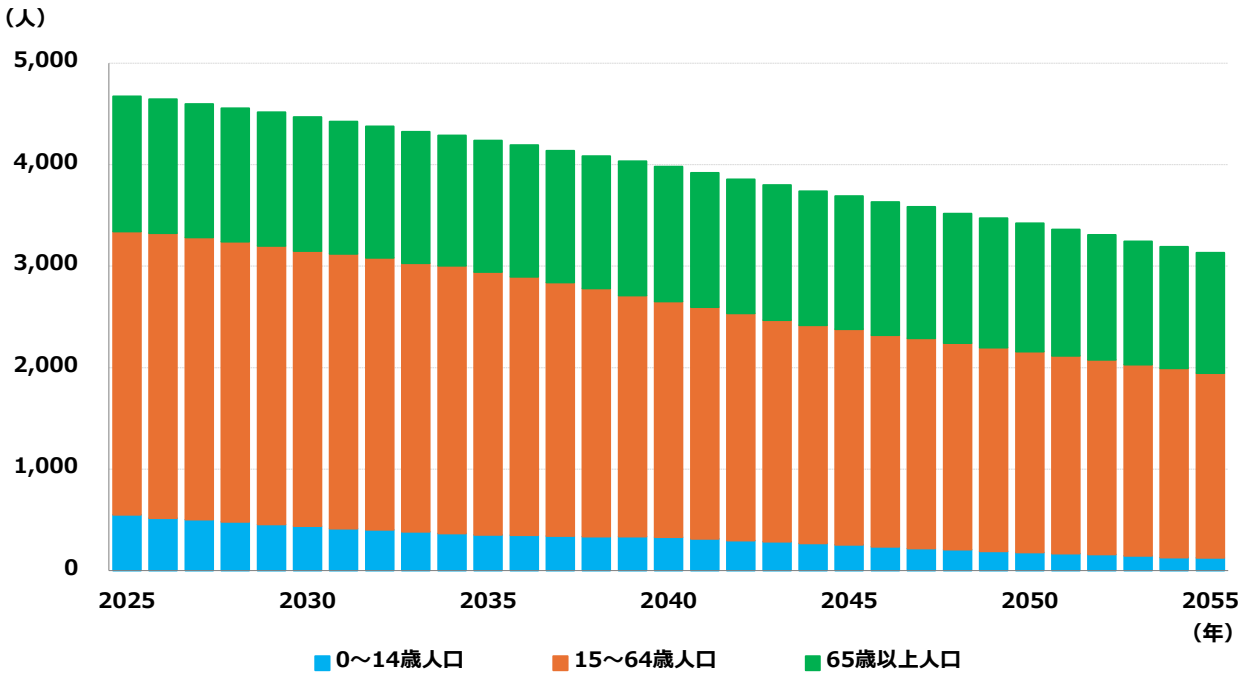
①年齢３区分別人口

一色西部小学校区の人口は 2025 年（令和７年）の 4,674 人から年々減少し、2055 年（令和 37 年）には 3,133 人と、1,541 人（33.0%）減少すると推計されます。

０～14 歳人口は 2025 年（令和７年）の 549 人（11.7%）から年々減少し、2055 年（令和 37 年）には 125 人（4.0%）になると推計されます。

15～64 歳人口は 2025 年（令和７年）の 2,793 人（59.8%）から年々減少し、2055 年（令和 37 年）には 1,821 人（58.1%）になると推計されます。

65 歳以上人口は 2025 年（令和７年）の 1,332 人（28.5%）から減少傾向にあるものの、65 歳以上人口比率は年々上昇しており、2055 年（令和 37 年）には 1,187 人（37.9%）になると推計されます。



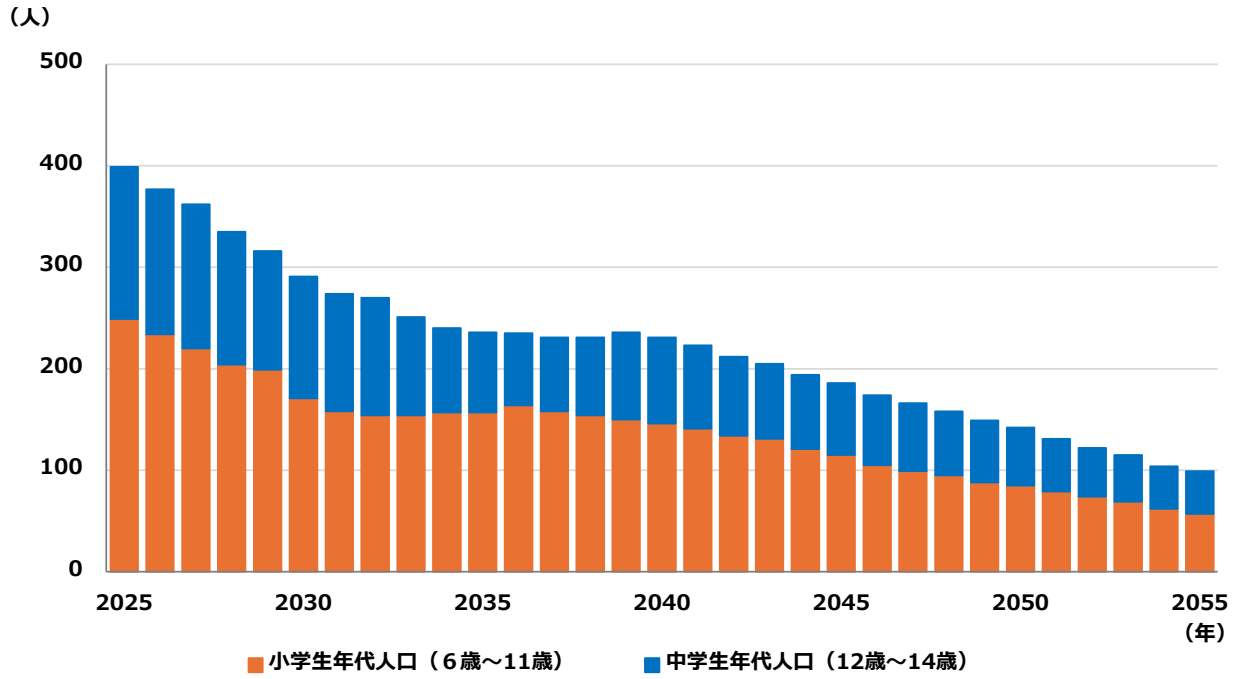
	2025 年	2030 年	2035 年	2040 年	2045 年	2050 年	2055 年
0～14 歳人口	549 (11.7%)	437 (9.8%)	351 (8.3%)	330 (8.3%)	254 (6.9%)	180 (5.3%)	125 (4.0%)
15～64 歳人口	2,793 (59.8%)	2,711 (60.7%)	2,592 (61.2%)	2,321 (58.3%)	2,125 (57.6%)	1,979 (57.8%)	1,821 (58.1%)
65 歳以上人口	1,332 (28.5%)	1,321 (29.6%)	1,294 (30.5%)	1,329 (33.4%)	1,310 (35.5%)	1,262 (36.9%)	1,187 (37.9%)
計	4,674	4,469	4,237	3,980	3,689	3,421	3,133

（15）一色西部小学校区

②小学生年代・中学生年代人口

小学生年代の人口は、2025 年（令和 7 年）と 2055 年（令和 37 年）を比較すると、249 人から 57 人へと、約 77.1%（192 人）減少すると推計されます。

中学生年代の人口は、2025 年（令和 7 年）と 2055 年（令和 37 年）を比較すると、150 人から 42 人へと、約 72.0%（108 人）減少すると推計されます。



	2025 年	2030 年	2035 年	2040 年	2045 年	2050 年	2055 年
小学生年代（６～11 歳）	249	171	157	146	115	85	57
中学生年代（12～14 歳）	150	120	79	85	71	57	42
計	399	291	236	231	186	142	99

（15）一色西部小学校区

③５歳階級別（2025 年→2055 年）

図　2025 年

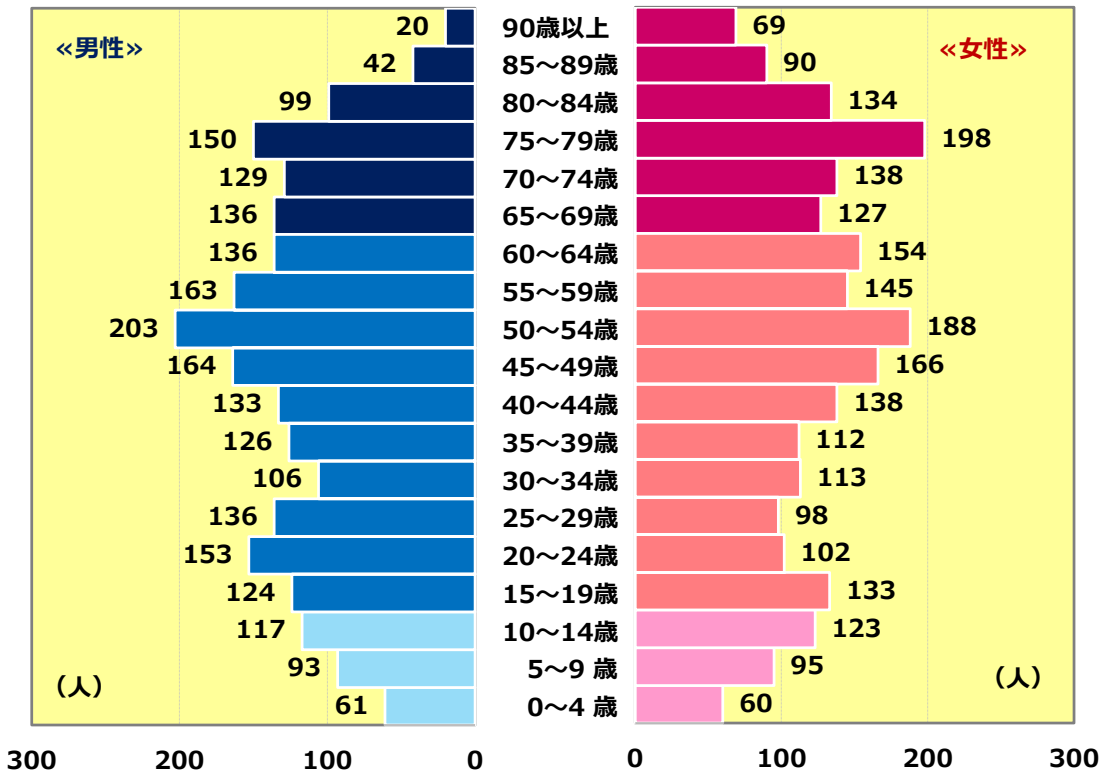


図　2035 年

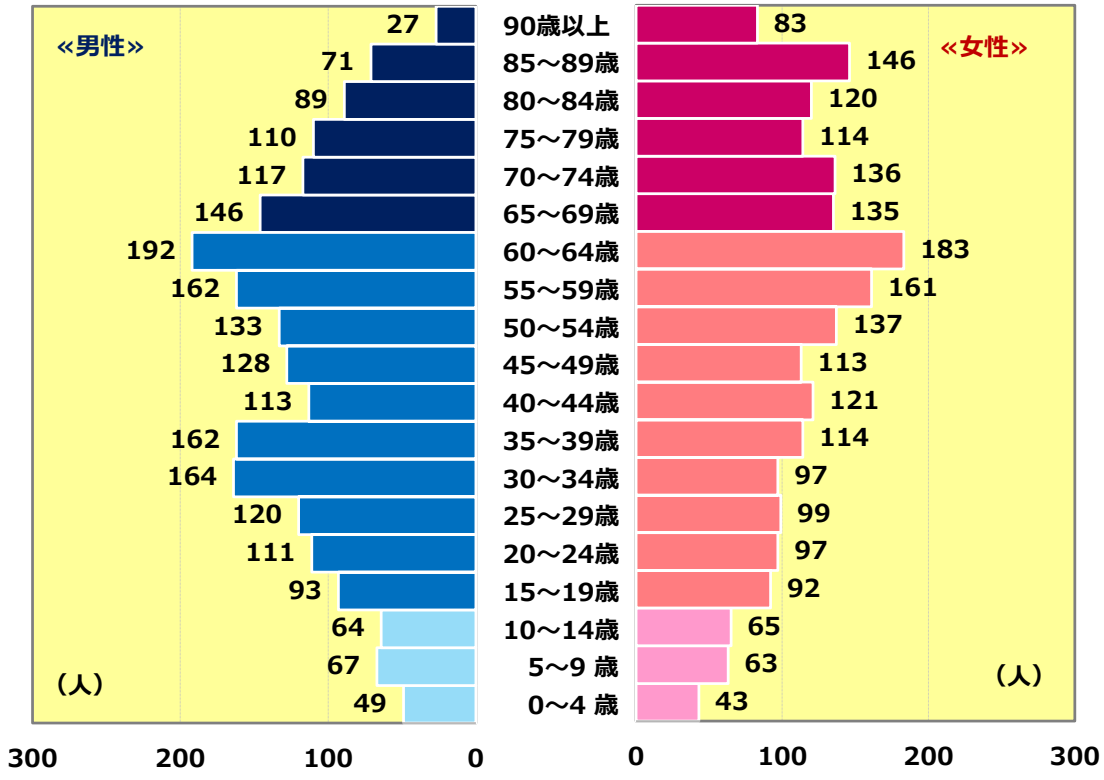


図　2045 年

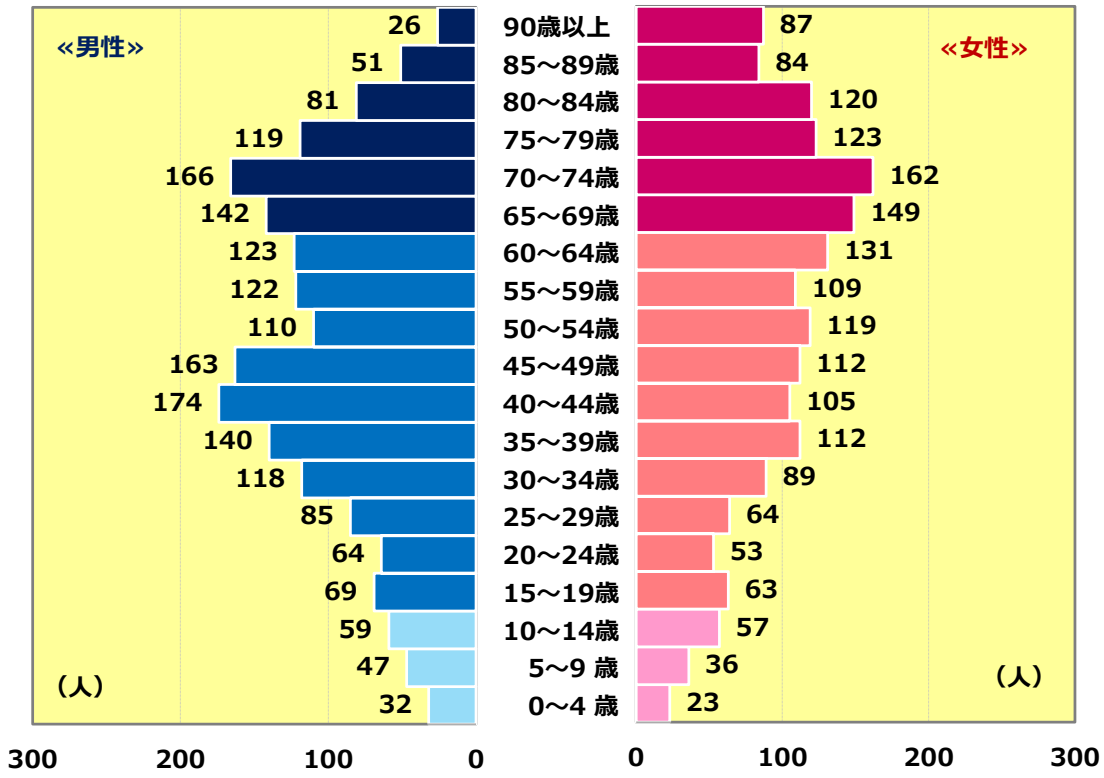
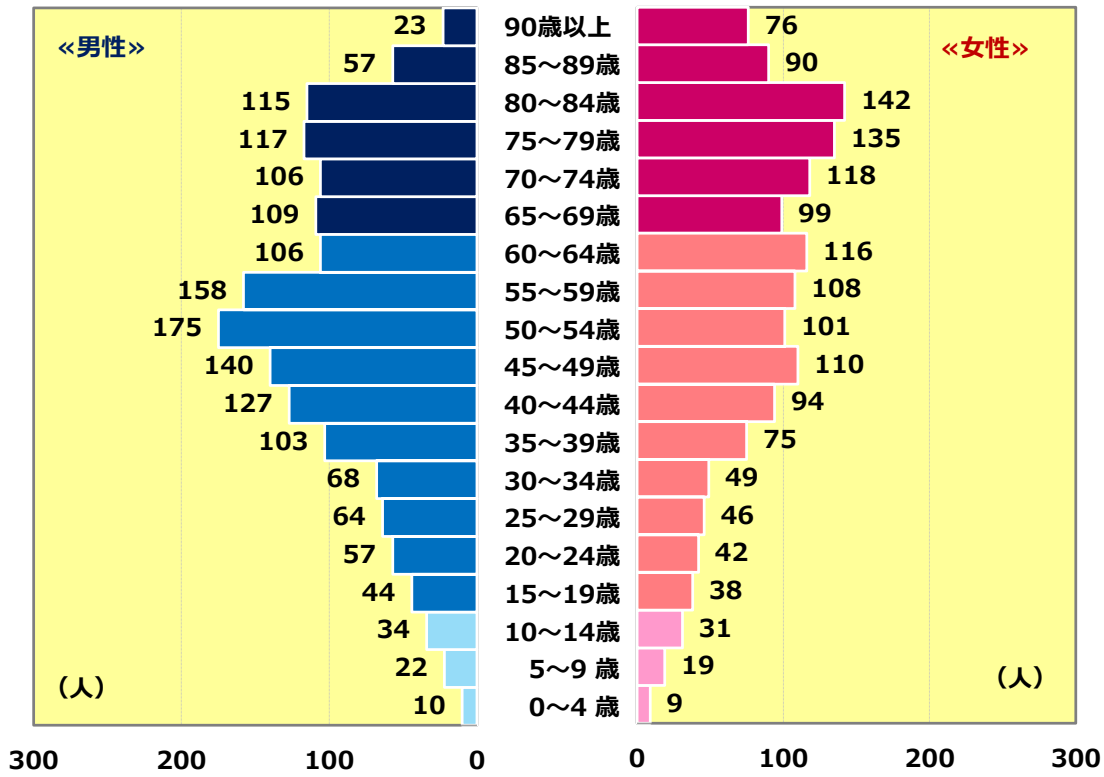


図　2055 年



（16）一色南部小学校区

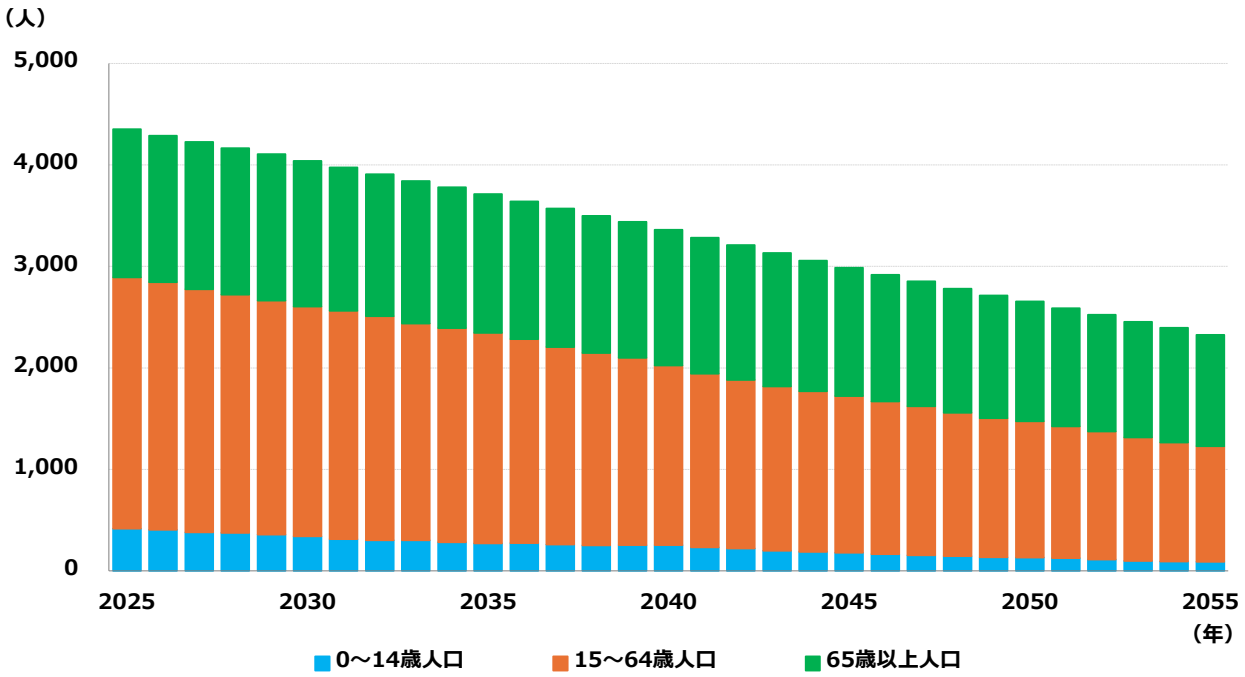
①年齢３区分別人口

一色南部小学校区の人口は 2025 年（令和７年）の 4,353 人から年々減少し、2055 年（令和 37 年）には 2,325 人と、2,028 人（46.6%）減少すると推計されます。

０～14 歳人口は 2025 年（令和７年）の 416 人（9.6%）から年々減少し、2055 年（令和 37 年）には 89 人（3.8%）になると推計されます。

15～64 歳人口は 2025 年（令和７年）の 2,475 人（56.9%）から年々減少し、2055 年（令和 37 年）には 1,138 人（48.9%）になると推計されます。

65 歳以上人口は 2025 年（令和７年）の 1,462 人（33.6%）から年々減少するものの、65 歳以上人口比率は年々上昇し、2055 年（令和 37 年）には 1,098 人（47.2%）になると推計されます。



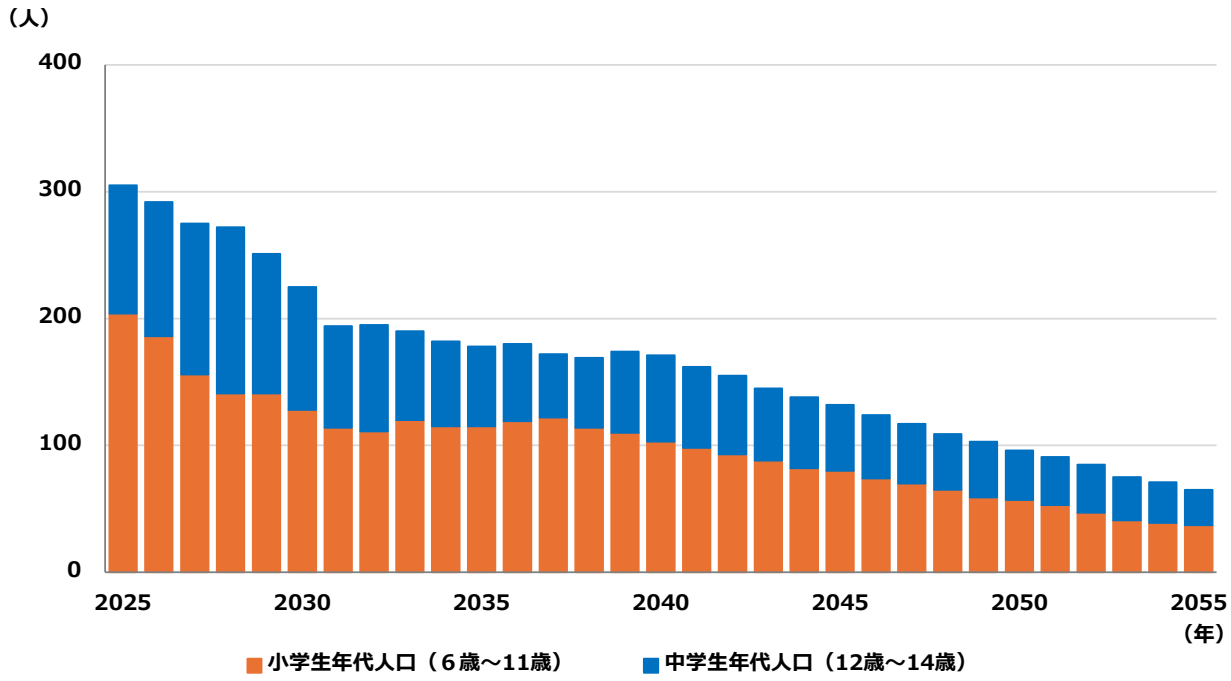
	2025 年	2030 年	2035 年	2040 年	2045 年	2050 年	2055 年
0～14 歳人口	416 (9.6%)	340 (8.4%)	272 (7.3%)	253 (7.5%)	179 (6.0%)	130 (4.9%)	89 (3.8%)
15～64 歳人口	2,475 (56.9%)	2,265 (56.1%)	2,073 (55.8%)	1,770 (52.7%)	1,544 (51.7%)	1,343 (50.6%)	1,138 (48.9%)
65 歳以上人口	1,462 (33.6%)	1,434 (35.5%)	1,368 (36.8%)	1,338 (39.8%)	1,264 (42.3%)	1,183 (44.5%)	1,098 (47.2%)
計	4,353	4,039	3,713	3,361	2,987	2,656	2,325

（16）一色南部小学校区

②小学生年代・中学生年代人口

小学生年代の人口は、2025 年（令和 7 年）と 2055 年（令和 37 年）を比較すると、204 人から 37 人へと、約 81.9%（167 人）減少すると推計されます。

中学生年代の人口は、2025 年（令和 7 年）と 2055 年（令和 37 年）を比較すると、101 人から 28 人へと、約 72.3%（73 人）減少すると推計されます。



	2025 年	2030 年	2035 年	2040 年	2045 年	2050 年	2055 年
小学生年代（6～11 歳）	204	128	115	103	80	57	37
中学生年代（12～14 歳）	101	97	63	68	52	39	28
計	305	225	178	171	132	96	65

（16）一色南部小学校区

③５歳階級別（2025 年→2055 年）

図　2025 年

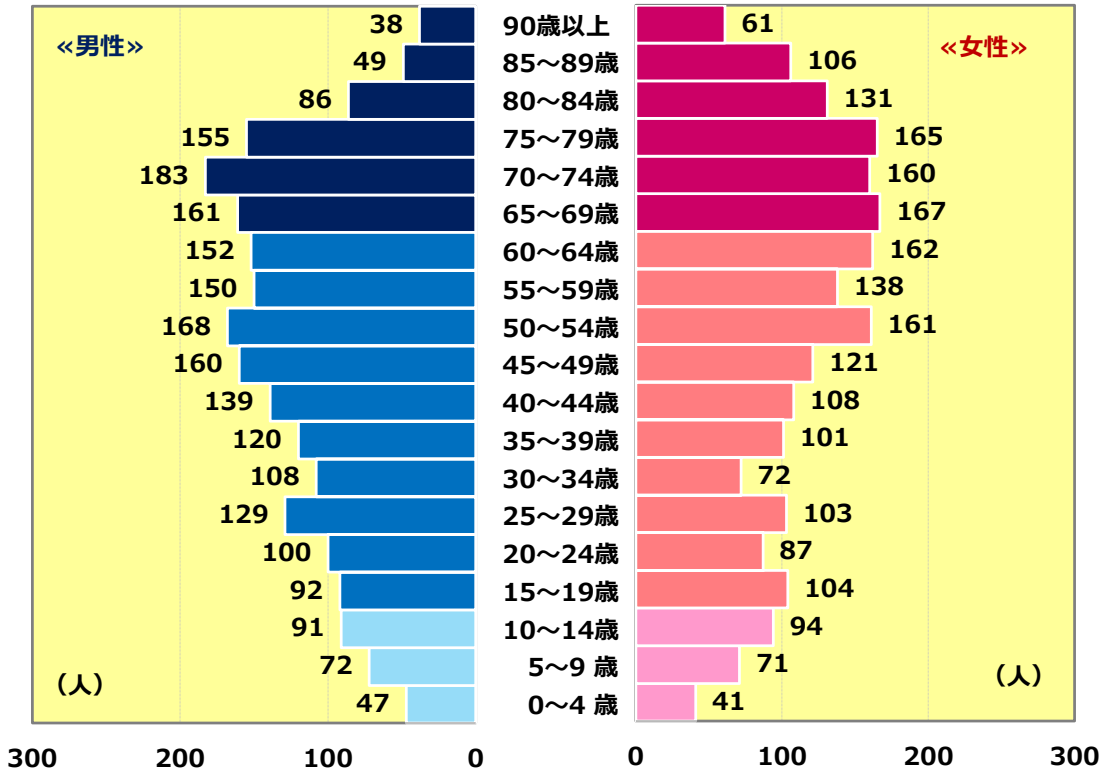


図　2035 年

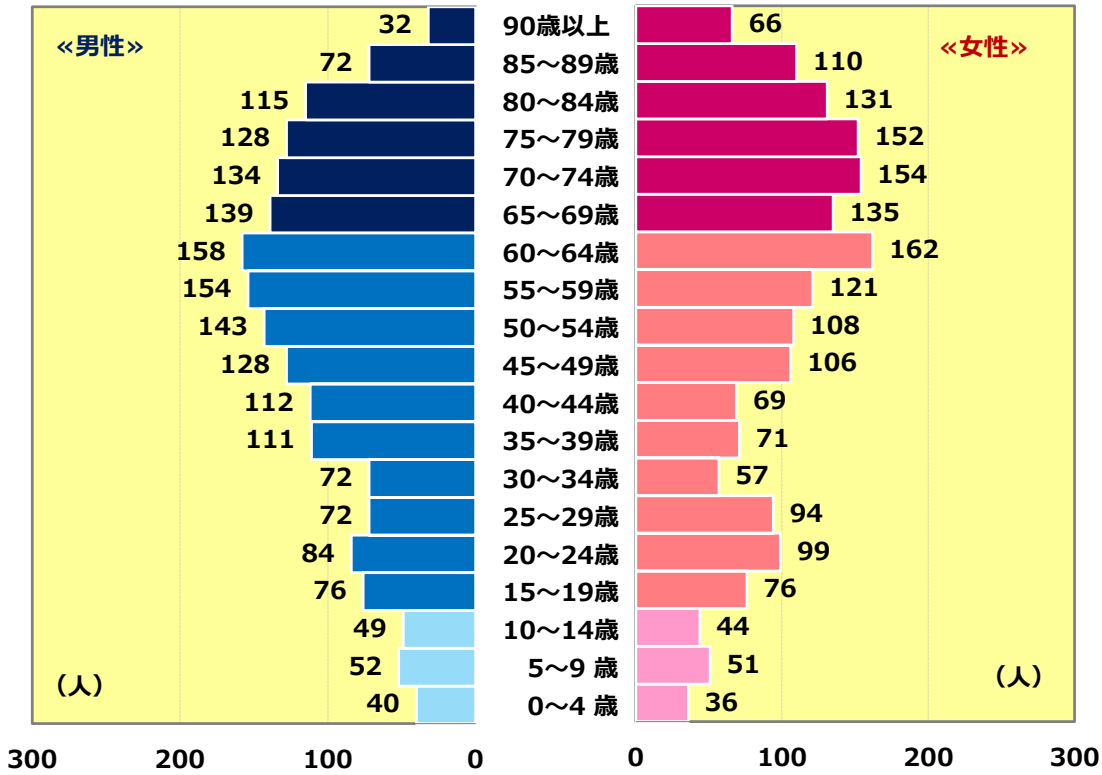


図　2045 年

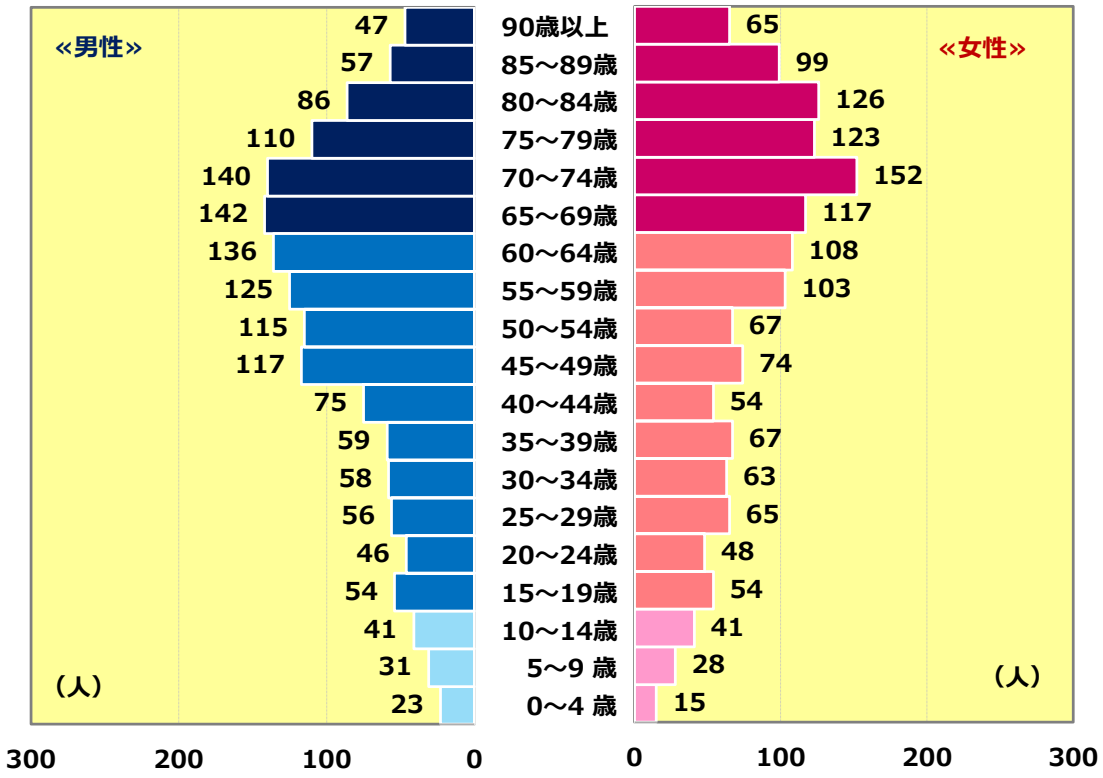
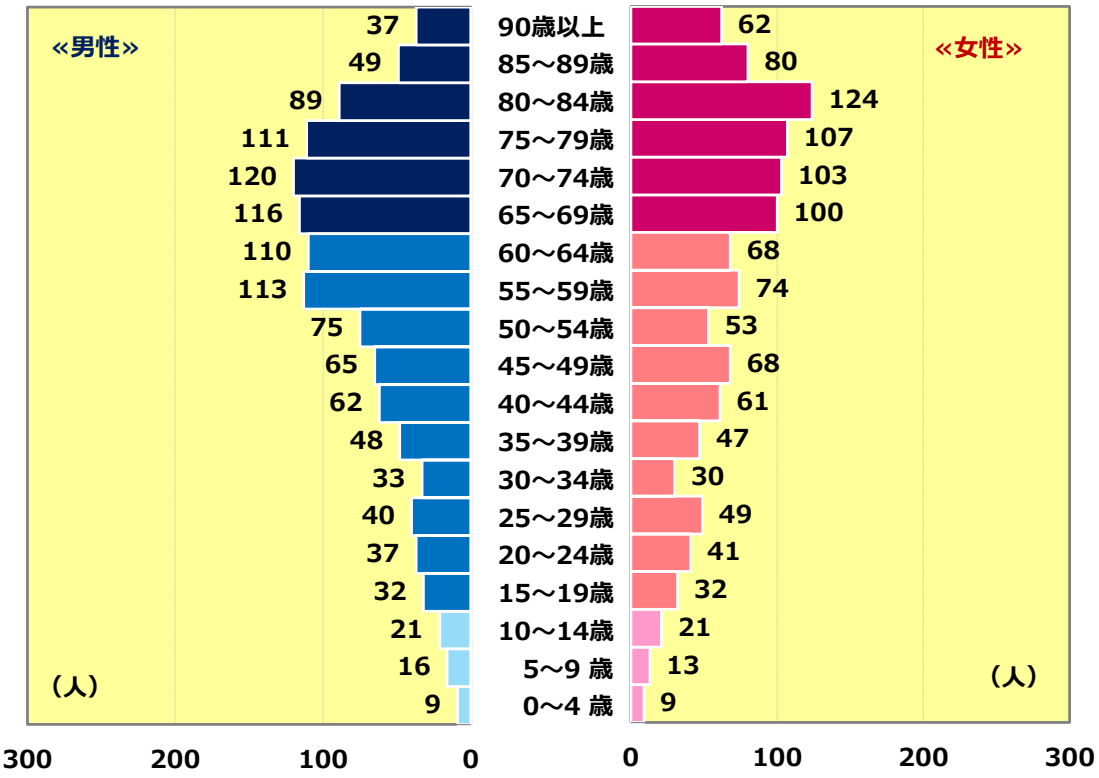


図　2055 年



（17）一色中部小学校区

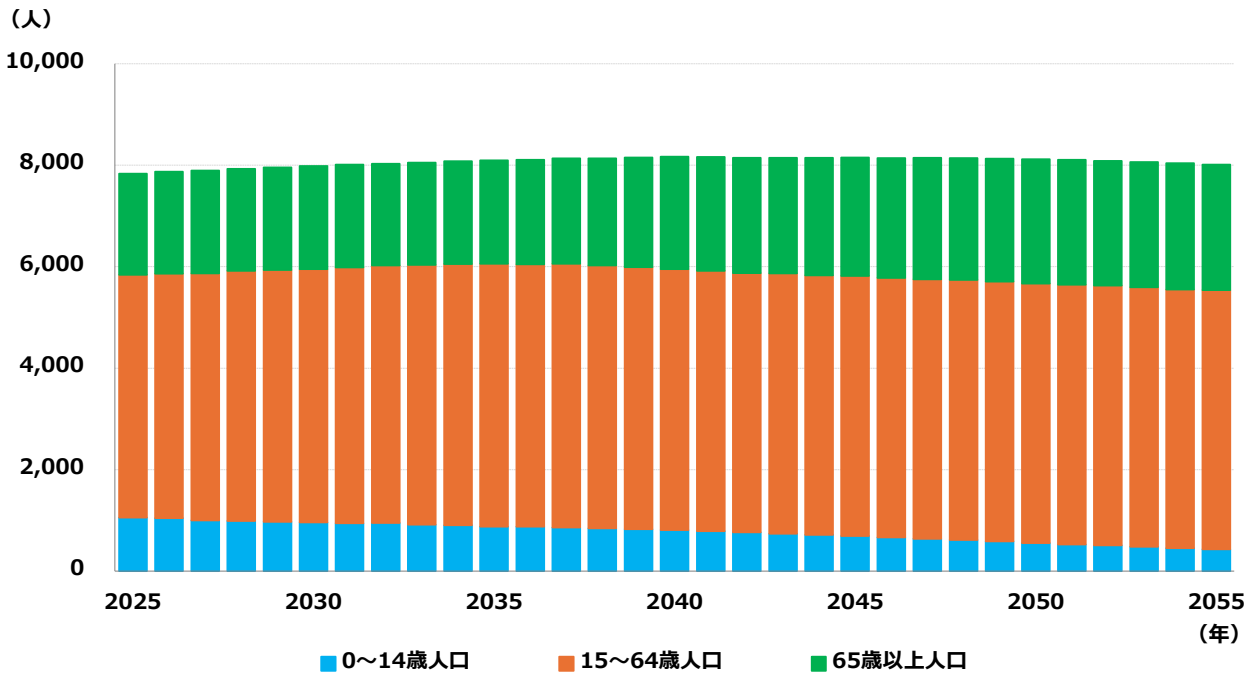
①年齢３区分別人口

一色中部小学校区の人口は 2025 年(令和 7 年)の 7,835 人から増加するものの、2040 年（令和 22 年）以降は減少に転じ、2055 年（令和 37 年）には 8,009 人となりますが、174 人（2.2%）増加すると推計されます。

０～14 歳人口は 2025 年（令和 7 年）の 1,056 人（13.5%）から年々減少し、2055 年（令和 37 年）には 432 人（5.4%）になると推計されます。

15～64 歳人口は 2025 年（令和 7 年）の 4,781 人（61.0%）から増加するものの、2035 年（令和 17 年）以降は減少に転じ、2055 年（令和 37 年）には 5,104 人（63.7%）になると推計されます。

65 歳以上人口は 2025 年（令和 7 年）の 1,998 人（25.5%）から年々増加し、2055 年（令和 37 年）には 2,473 人（30.9%）になると推計されます。



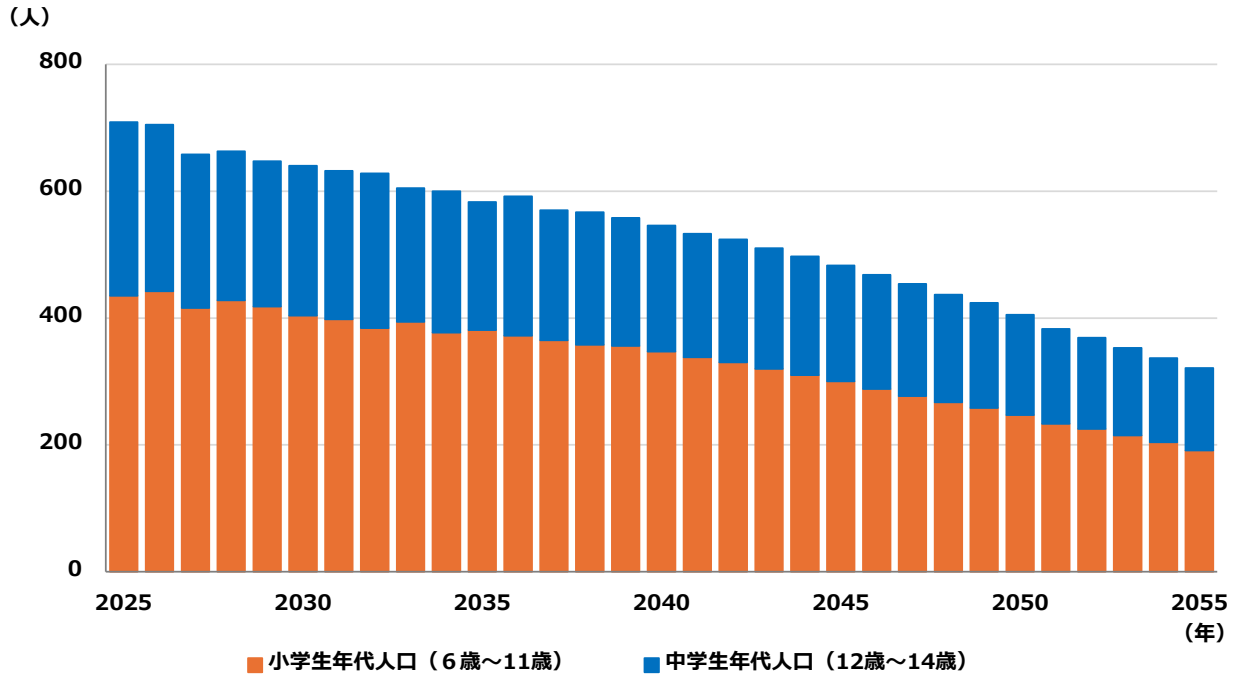
	2025 年	2030 年	2035 年	2040 年	2045 年	2050 年	2055 年
0～14 歳人口	1,056 (13.5%)	961 (12.0%)	877 (10.8%)	808 (9.9%)	695 (8.5%)	555 (6.8%)	432 (5.4%)
15～64 歳人口	4,781 (61.0%)	4,989 (62.5%)	5,178 (64.0%)	5,142 (63.0%)	5,120 (62.8%)	5,114 (63.0%)	5,104 (63.7%)
65 歳以上人口	1,998 (25.5%)	2,034 (25.5%)	2,040 (25.2%)	2,217 (27.1%)	2,334 (28.6%)	2,448 (30.2%)	2,473 (30.9%)
計	7,835	7,984	8,095	8,167	8,149	8,117	8,009

（17）一色中部小学校区

②小学生年代・中学生年代人口

小学生年代の人口は、2025 年（令和 7 年）と 2055 年（令和 37 年）を比較すると、435 人から 191 人へと、約 56.1%（244 人）減少すると推計されます。

中学生年代の人口は、2025 年（令和 7 年）と 2055 年（令和 37 年）を比較すると、274 人から 130 人へと、約 52.6%（144 人）減少すると推計されます。



	2025 年	2030 年	2035 年	2040 年	2045 年	2050 年	2055 年
小学生年代（６～11 歳）	435	404	381	347	300	247	191
中学生年代（12～14 歳）	274	236	202	199	183	158	130
計	709	640	583	546	483	405	321

（17）一色中部小学校区

③５歳階級別（2025 年→2055 年）

図　2025 年

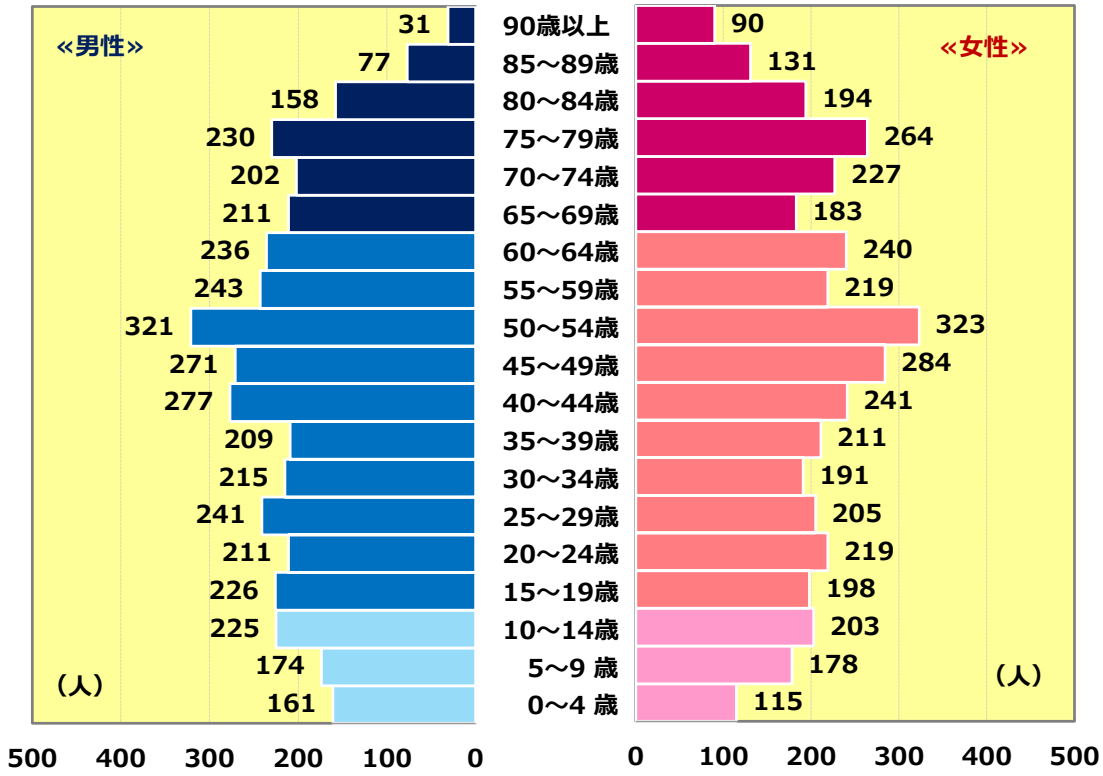


図　2035 年

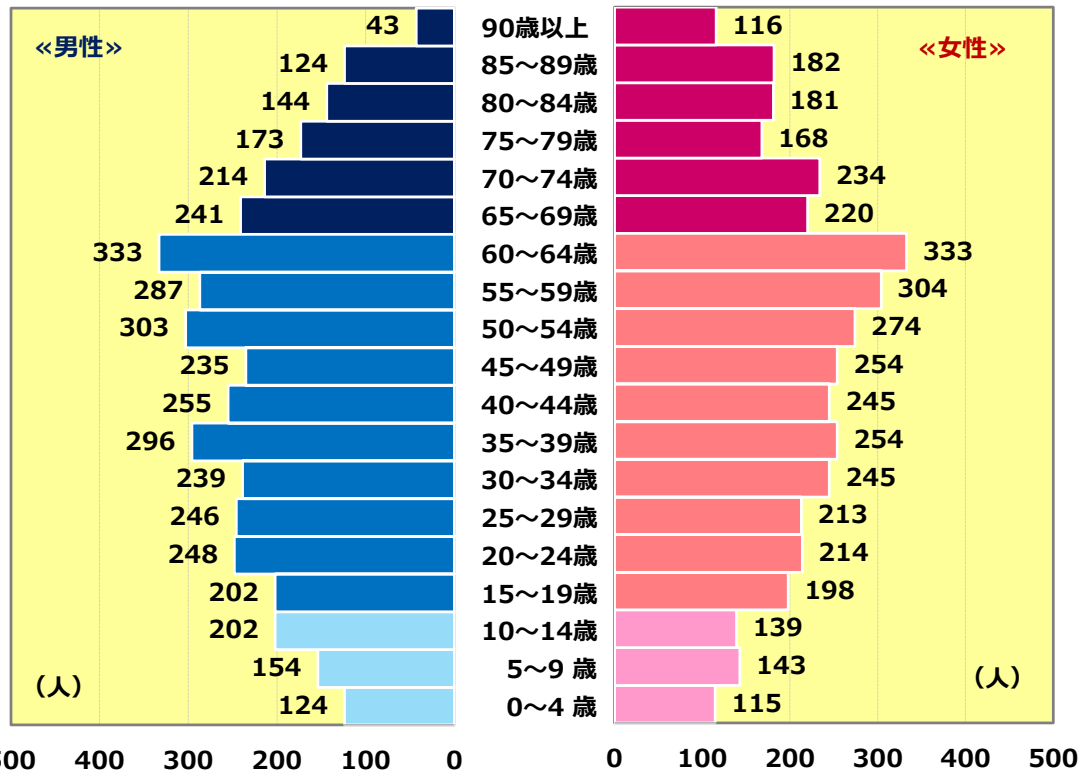


図　2045 年

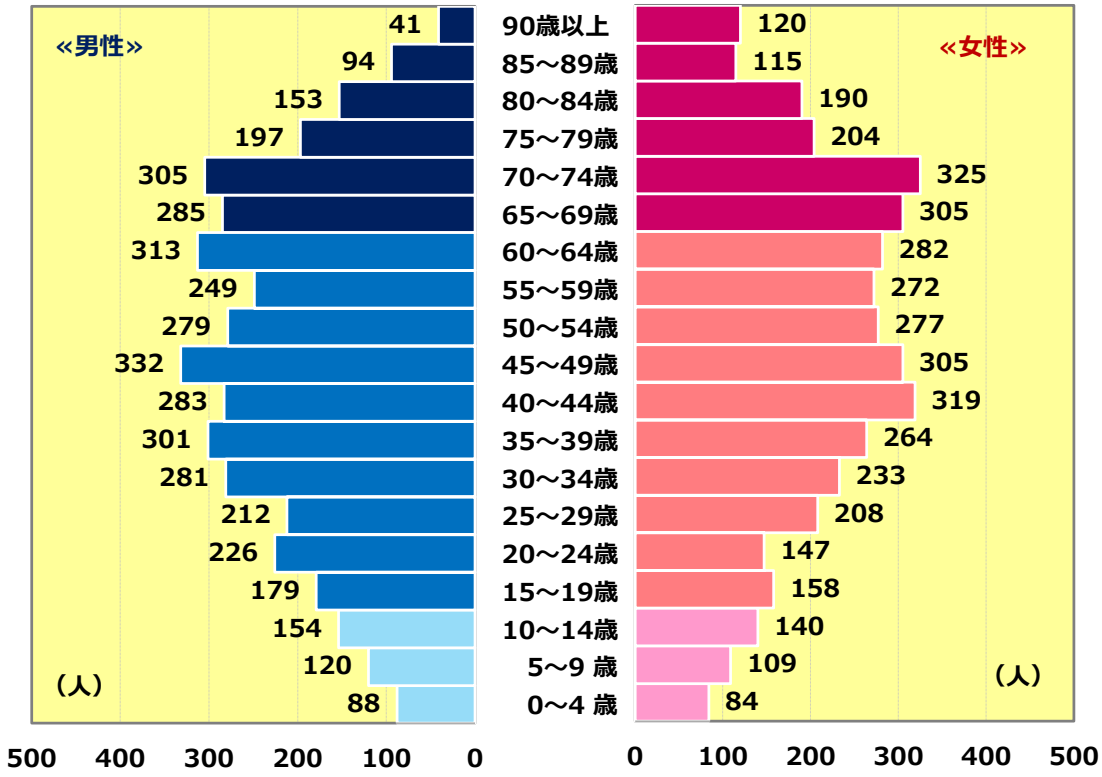
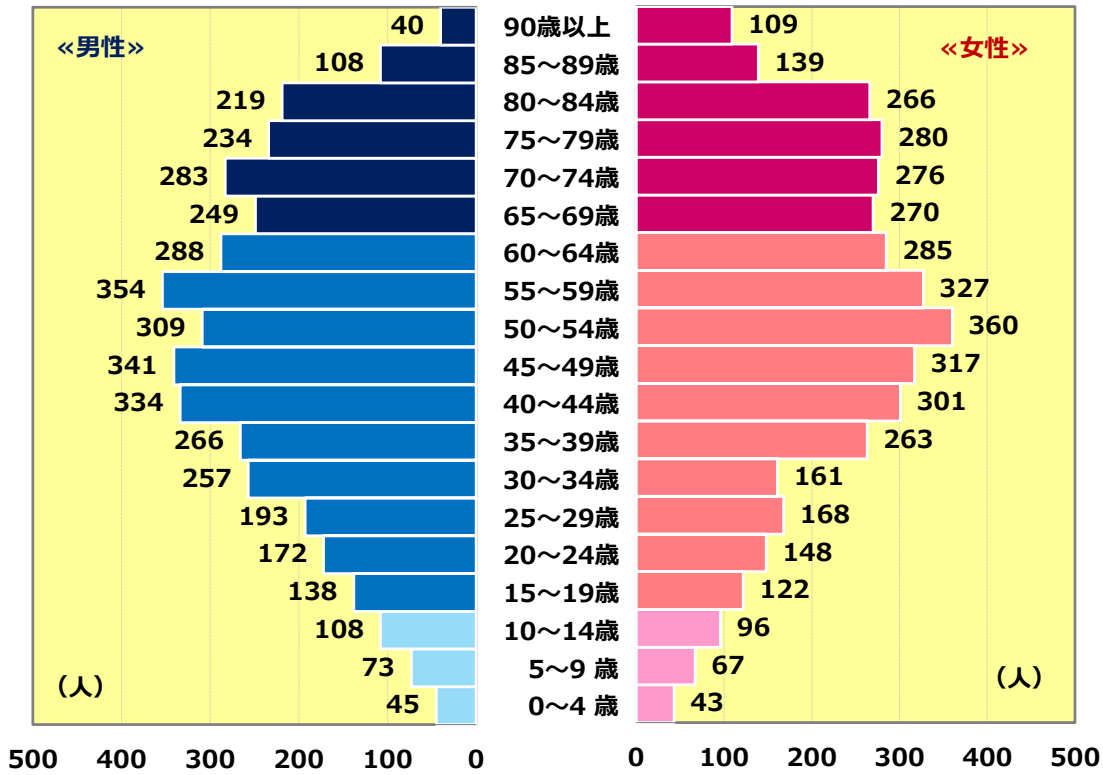


図　2055 年



（18）一色東部小学校区

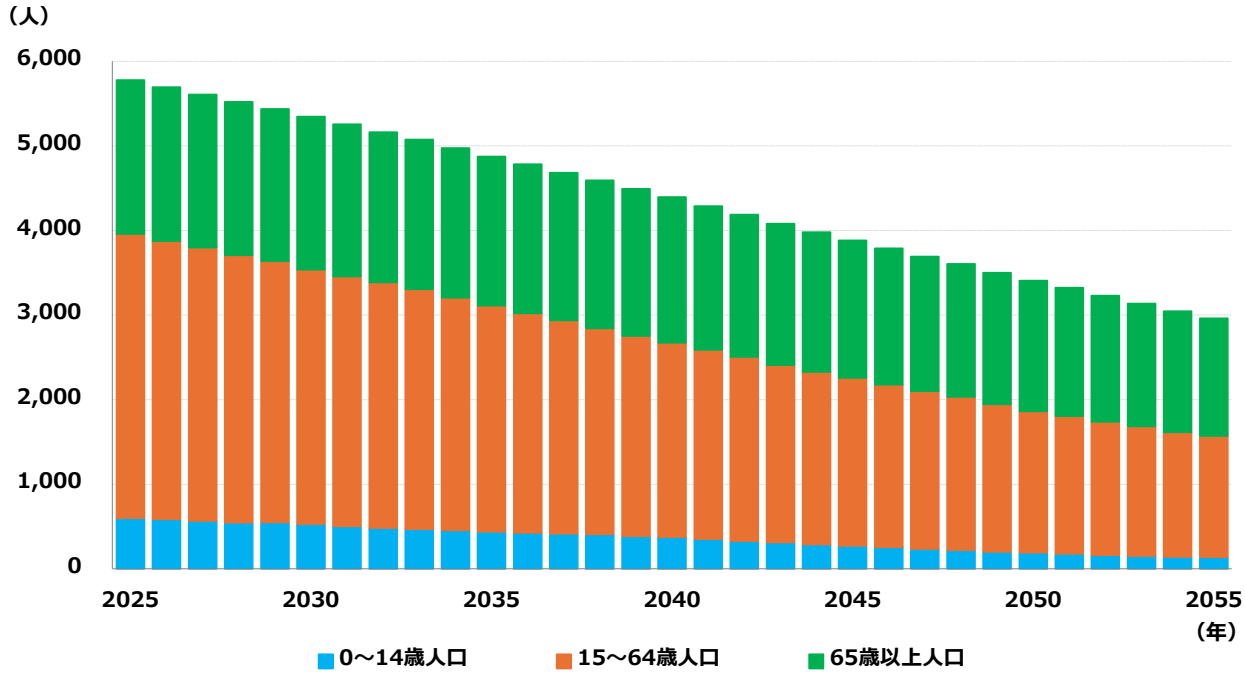
①年齢３区分別人口

一色東部小学校区の人口は 2025 年（令和７年）の 5,777 人から年々減少し、2055 年には 2,961 人と、2,816 人（48.7%）減少すると推計されます。

０～14 歳人口は 2025 年（令和７年）の 600 人（10.4%）から年々減少し、2055 年（令和 37 年）には 136 人（4.6%）になると推計されます。

15～64 歳人口は 2025 年（令和７年）の 3,358 人（58.1%）から年々減少し、2055 年（令和 37 年）には 1,435 人（48.5%）になると推計されます。

65 歳以上人口は 2025 年（令和７年）の 1,819 人（31.5%）から年々減少するものの、65 歳以上人口比率は年々上昇し、2055 年（令和 37 年）には 1,390 人（46.9%）になると推計されます。



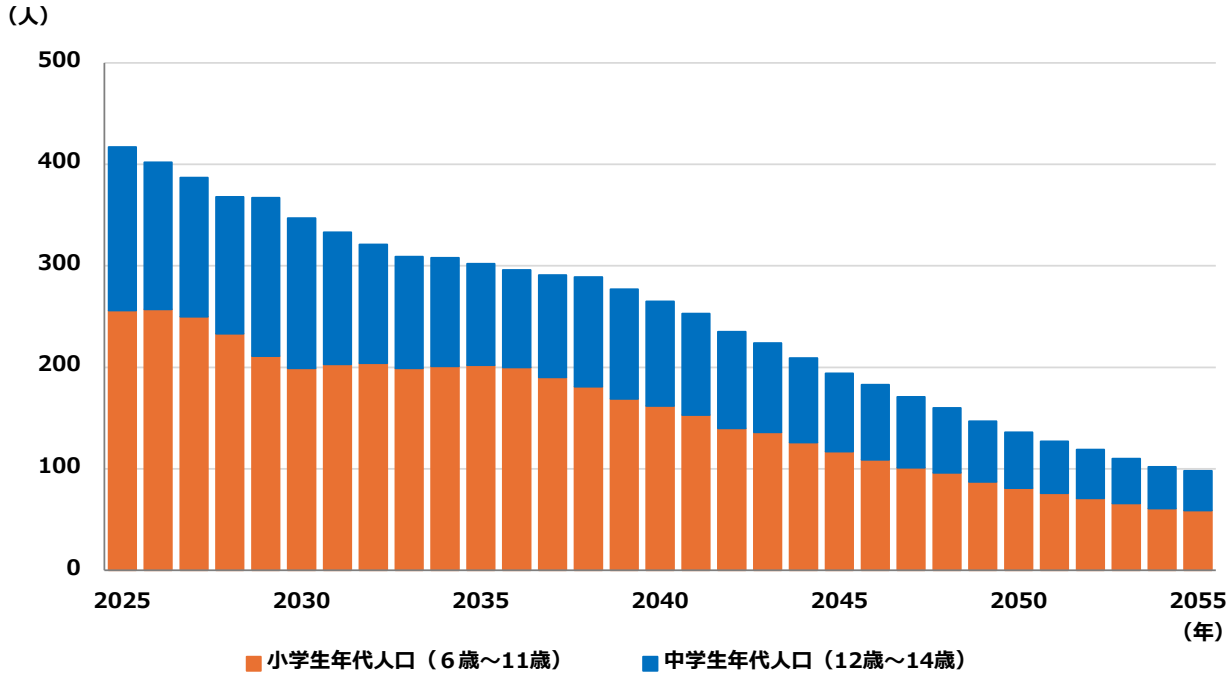
	2025 年	2030 年	2035 年	2040 年	2045 年	2050 年	2055 年
0～14 歳人口	600 (10.4%)	529 (9.9%)	439 (9.0%)	374 (8.5%)	273 (7.0%)	192 (5.6%)	136 (4.6%)
15～64 歳人口	3,358 (58.1%)	3,008 (56.3%)	2,674 (54.9%)	2,299 (52.3%)	1,985 (51.1%)	1,670 (49.0%)	1,435 (48.5%)
65 歳以上人口	1,819 (31.5%)	1,810 (33.9%)	1,760 (36.1%)	1,722 (39.2%)	1,623 (41.8%)	1,546 (45.4%)	1,390 (46.9%)
計	5,777	5,347	4,873	4,395	3,881	3,408	2,961

（18）一色東部小学校区

②小学生年代・中学生年代人口

小学生年代の人口は、2025 年（令和 7 年）と 2055 年（令和 37 年）を比較すると、256 人から 59 人へと、約 77.0%（197 人）減少すると推計されます。

中学生年代の人口は、2025 年（令和 7 年）と 2055 年（令和 37 年）を比較すると、161 人から 39 人へと、約 75.8%（122 人）減少すると推計されます。



	2025 年	2030 年	2035 年	2040 年	2045 年	2050 年	2055 年
小学生年代（６～11 歳）	256	199	202	162	117	81	59
中学生年代（12～14 歳）	161	148	100	103	77	55	39
計	417	347	302	265	194	136	98

（18）一色東部小学校区

③５歳階級別（2025 年→2055 年）

図　2025 年

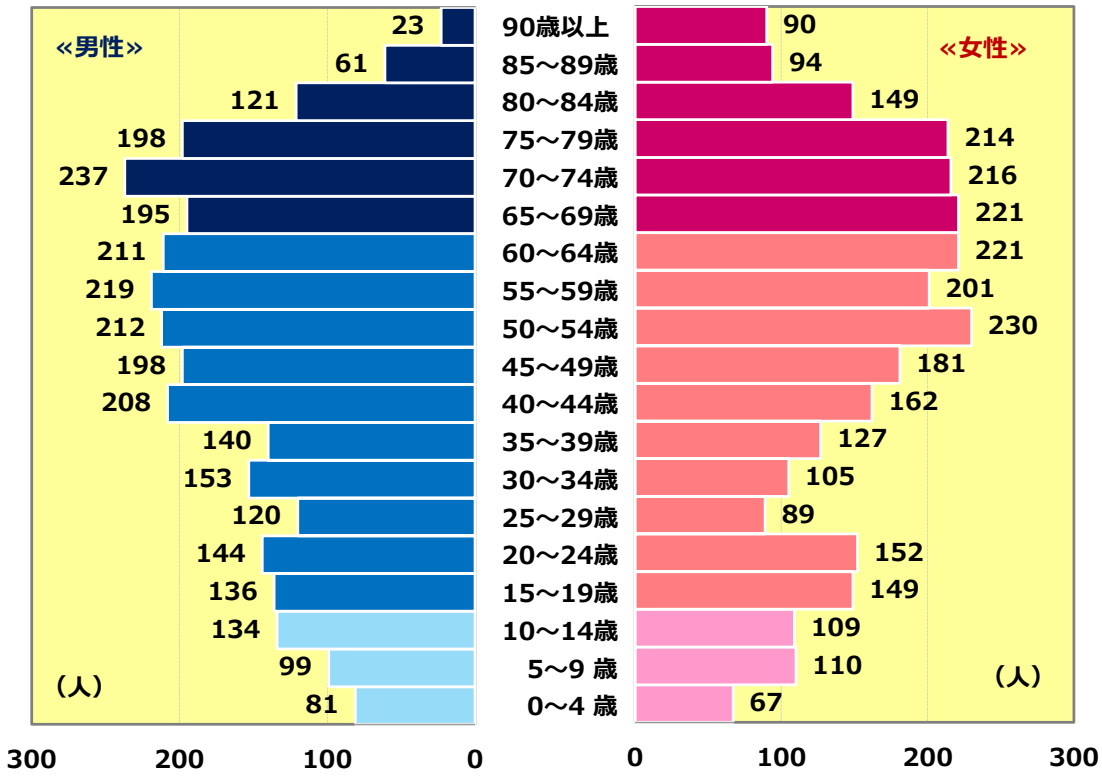


図　2035 年

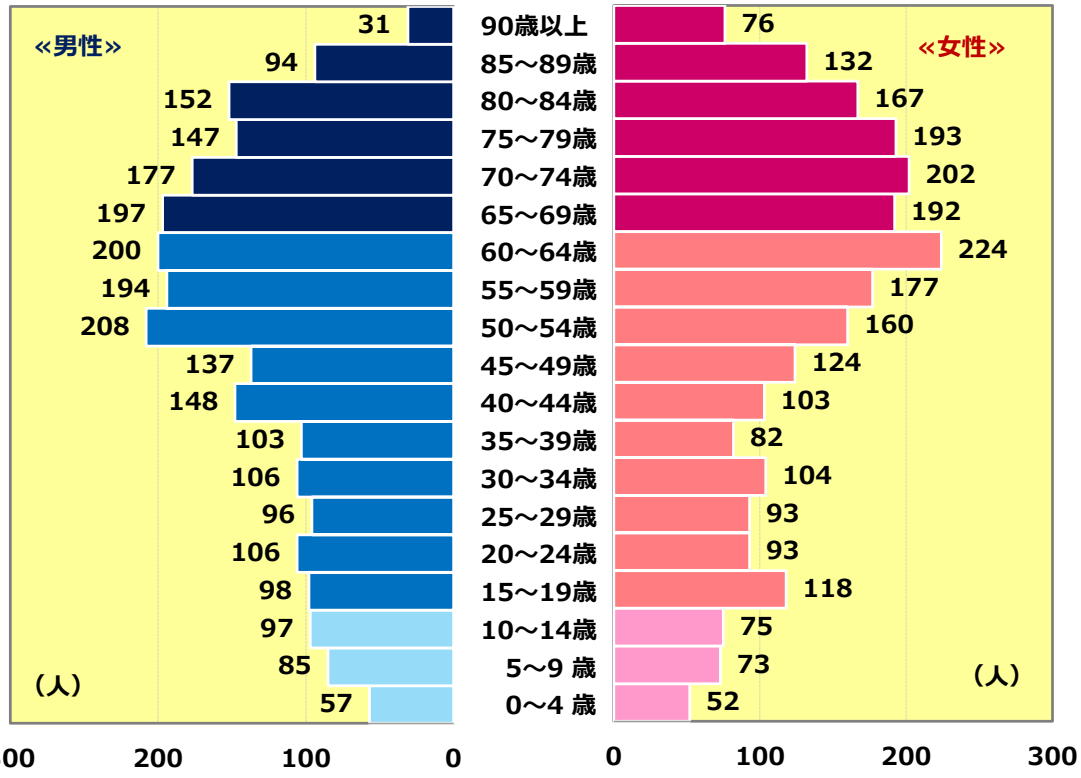


図　2045 年

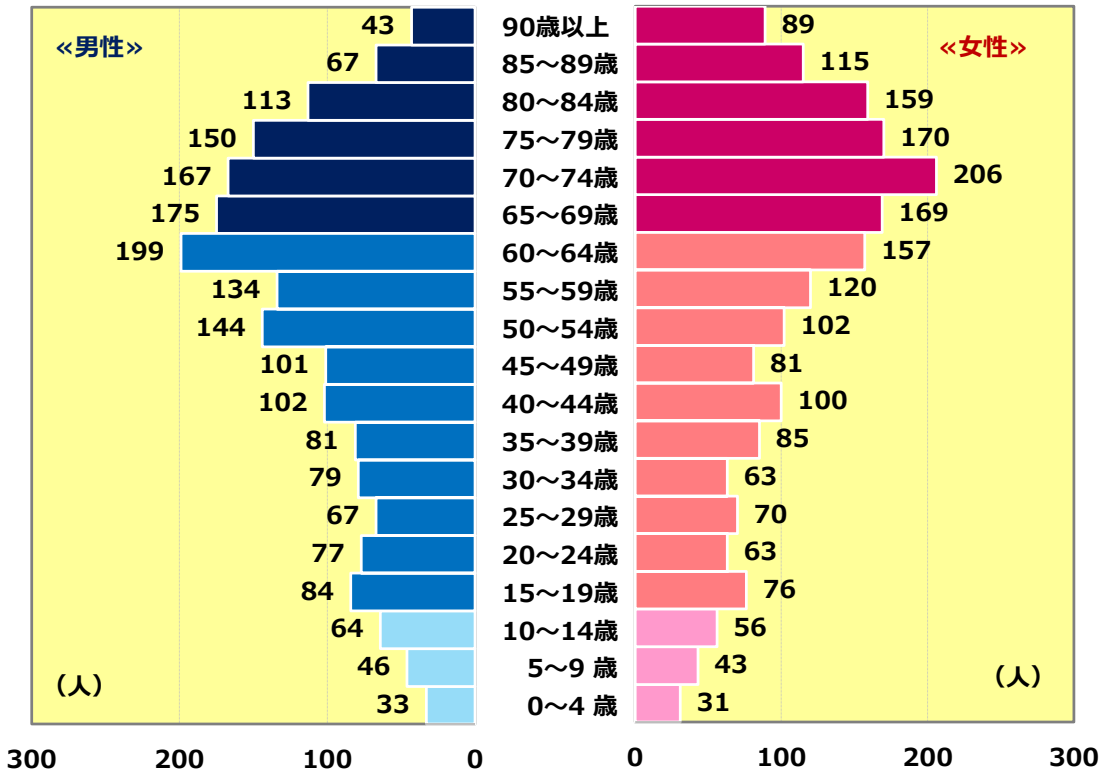
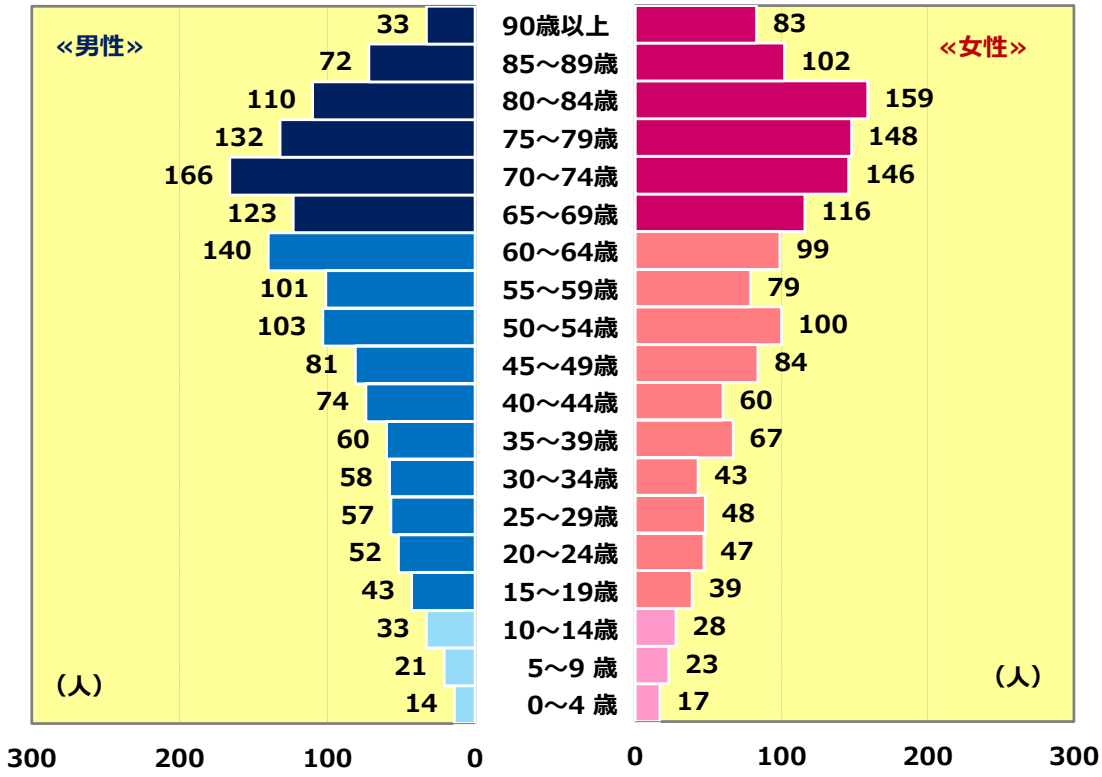


図　2055 年



（19）佐久島

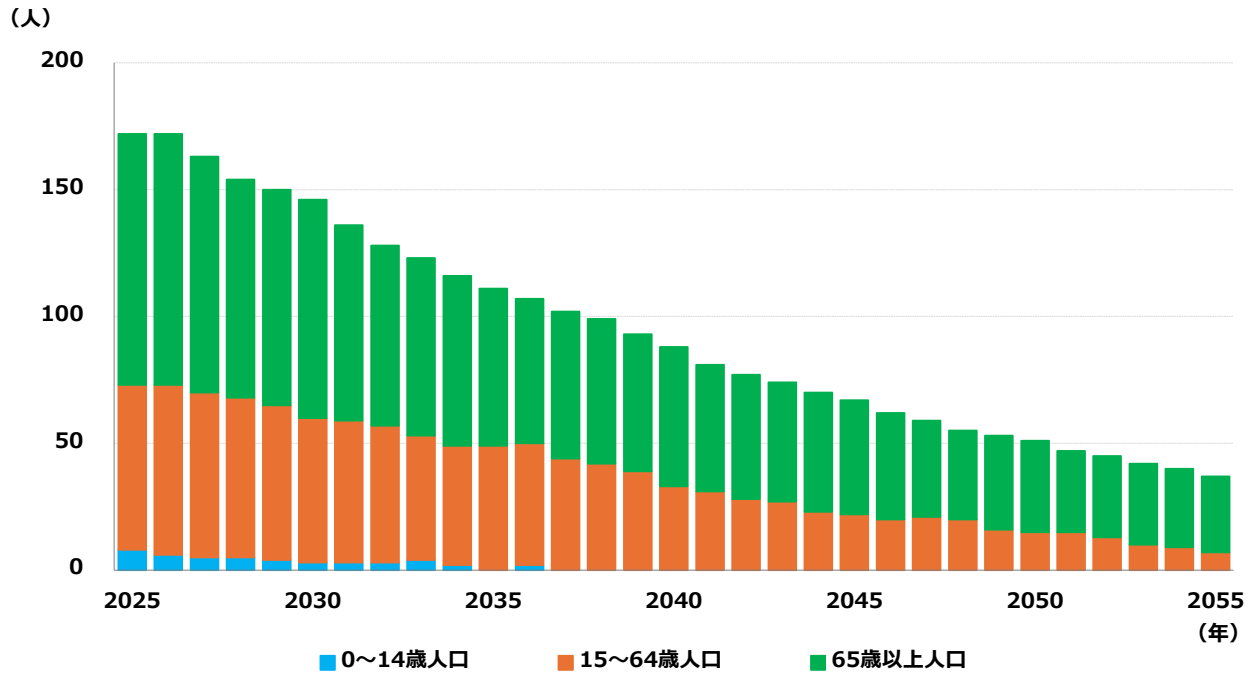
①年齢３区分別人口

佐久島の人口は 2025 年（令和７年）の 172 人から年々減少し、2055 年（令和 37 年）には 37 人と、135 人（78.5%）減少すると推計されます。

０～14 歳人口は 2025 年（令和７年）の８人（4.7%）から減少し、2035 年（令和 17 年）以降は０人になると推計されます。

15～64 歳人口は 2025 年（令和７年）の 65 人（37.8%）から年々減少し、2055 年（令和 37 年）には７人（18.9%）になると推計されます。

65 歳以上人口は 2025 年（令和７年）の 99 人（57.6%）から年々減少するものの、65 歳以上人口比率は年々上昇し、2055 年（令和 37 年）には 30 人（81.1%）になると推計されます。



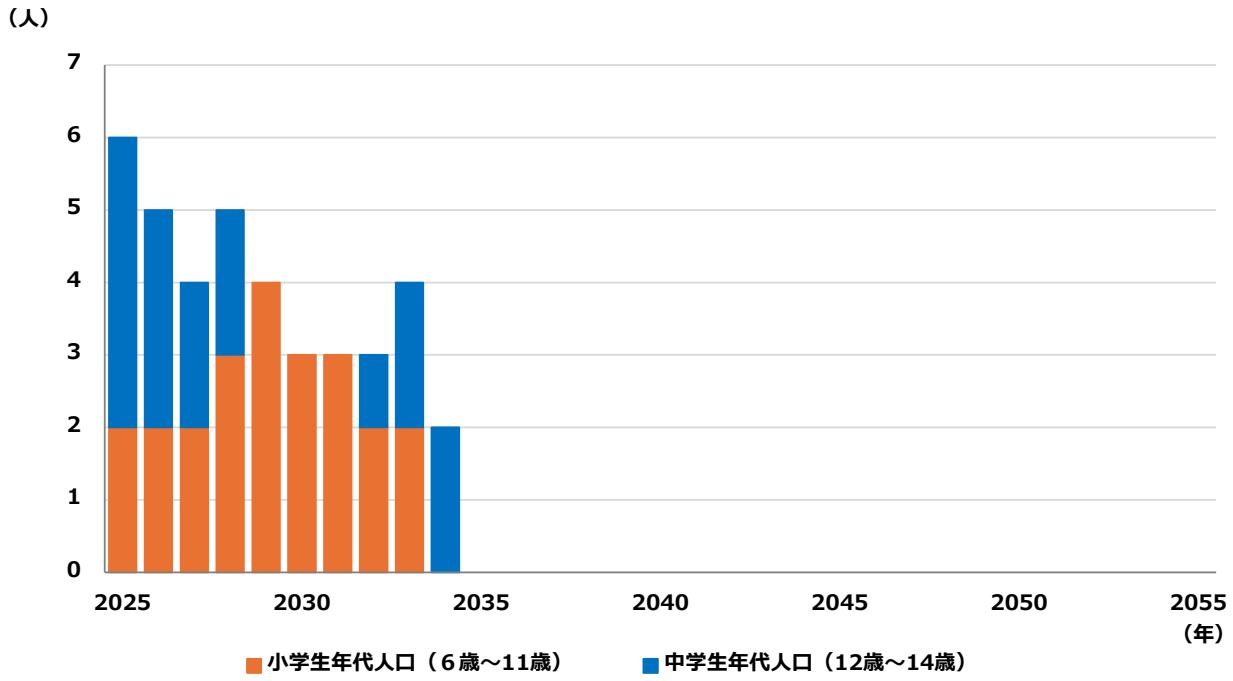
	2025 年	2030 年	2035 年	2040 年	2045 年	2050 年	2055 年
0～14 歳人口	8 (4.7%)	3 (2.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
15～64 歳人口	65 (37.8%)	57 (39.0%)	49 (44.1%)	33 (37.5%)	22 (32.8%)	15 (29.4%)	7 (18.9%)
65 歳以上人口	99 (57.6%)	86 (58.9%)	62 (55.9%)	55 (62.5%)	45 (67.2%)	36 (70.6%)	30 (81.1%)
計	172	146	111	88	67	51	37

（19）佐久島

②小学生年代・中学生年代人口

小学生年代の人口は、2025 年（令和 7 年）と 2055 年（令和 37 年）を比較すると、２人から０人になると推計されます。

中学生年代の人口は、2025 年（令和 7 年）と 2055 年（令和 37 年）を比較すると、４人から０人になると推計されます。



	2025 年	2030 年	2035 年	2040 年	2045 年	2050 年	2055 年
小学生年代（６～11 歳）	2	3	0	0	0	0	0
中学生年代（12～14 歳）	4	0	0	0	0	0	0
計	6	3	0	0	0	0	0

（19）佐久島

③５歳階級別（2025 年→2055 年）

図　2025 年

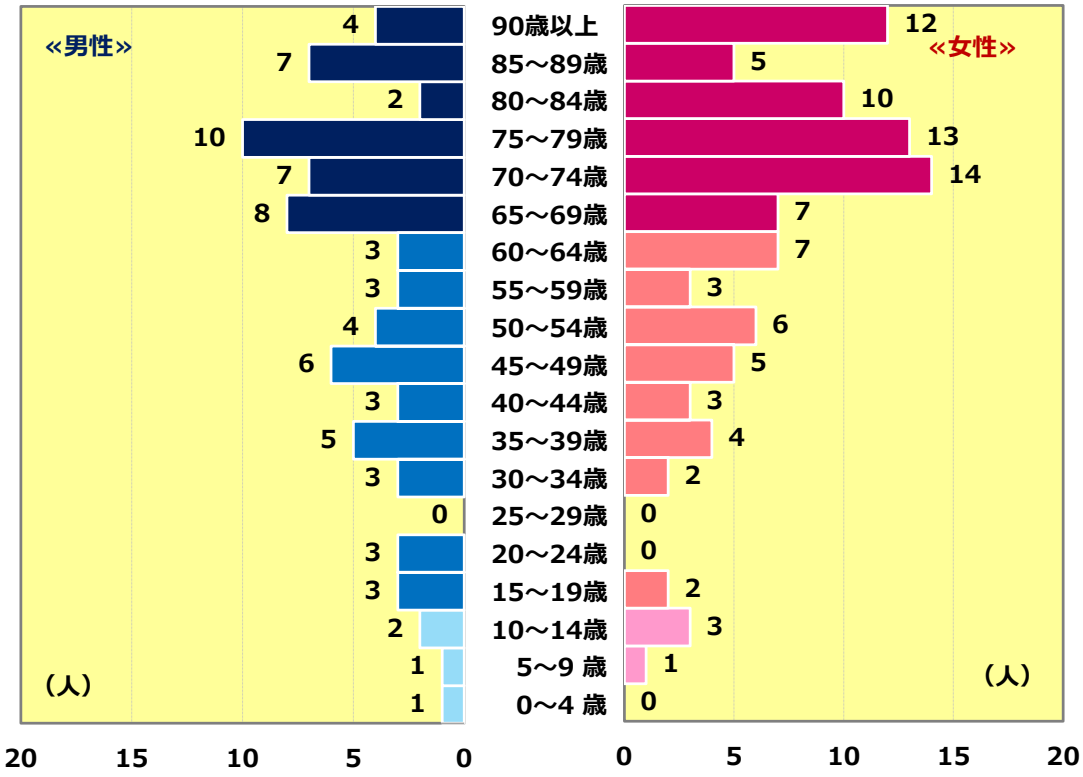


図　2035 年

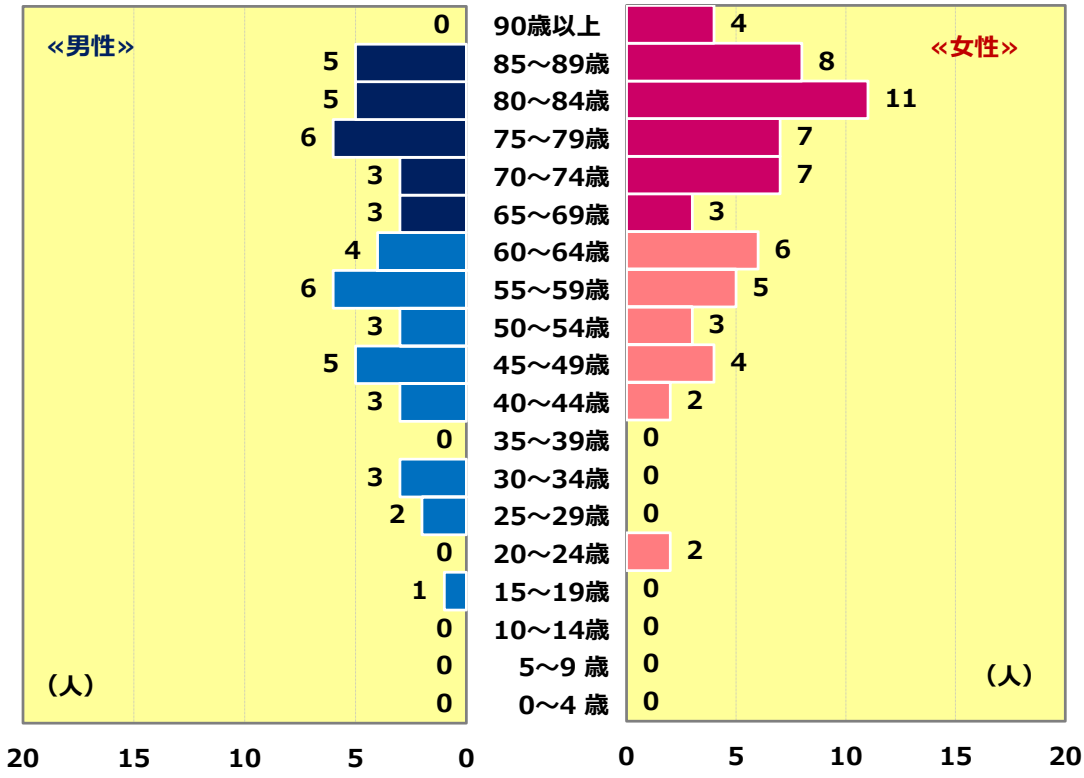


図　2045 年

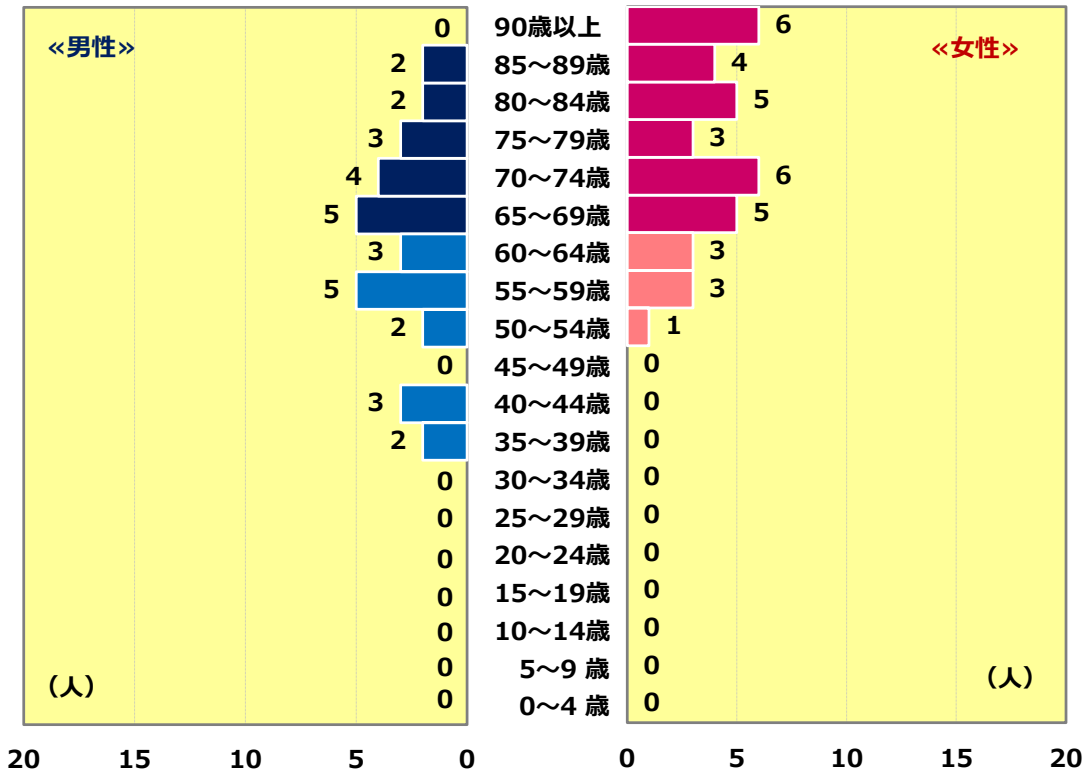
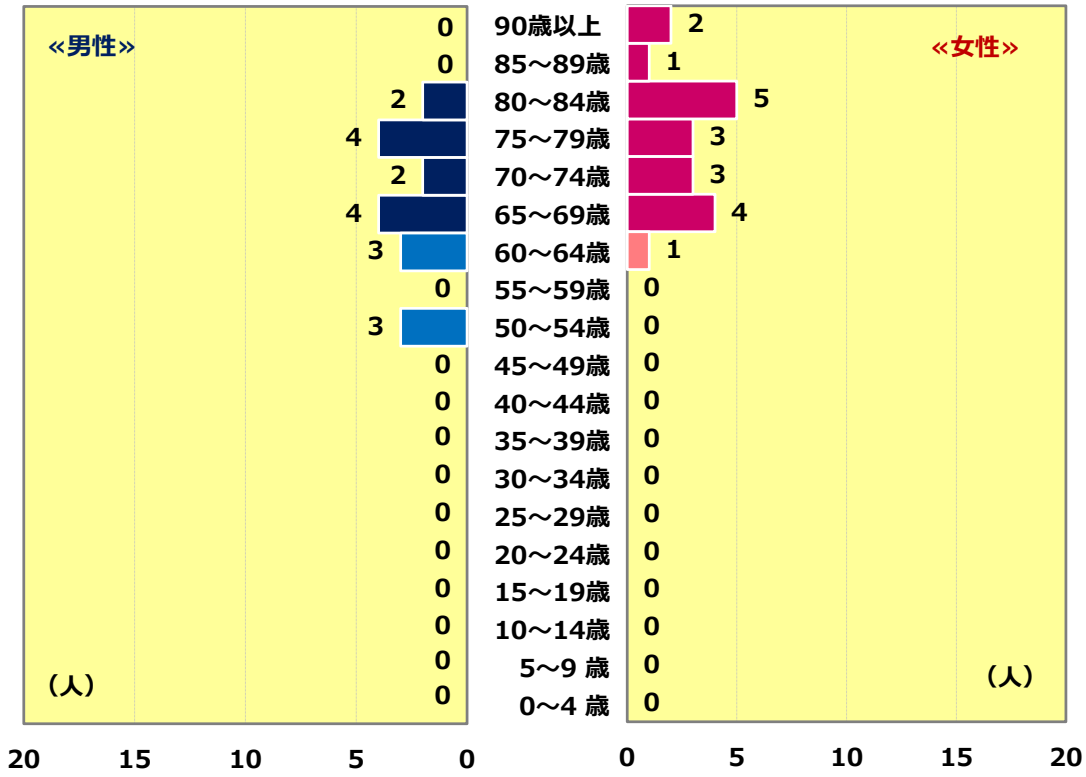


図　2055 年



（20）吉田小学校区

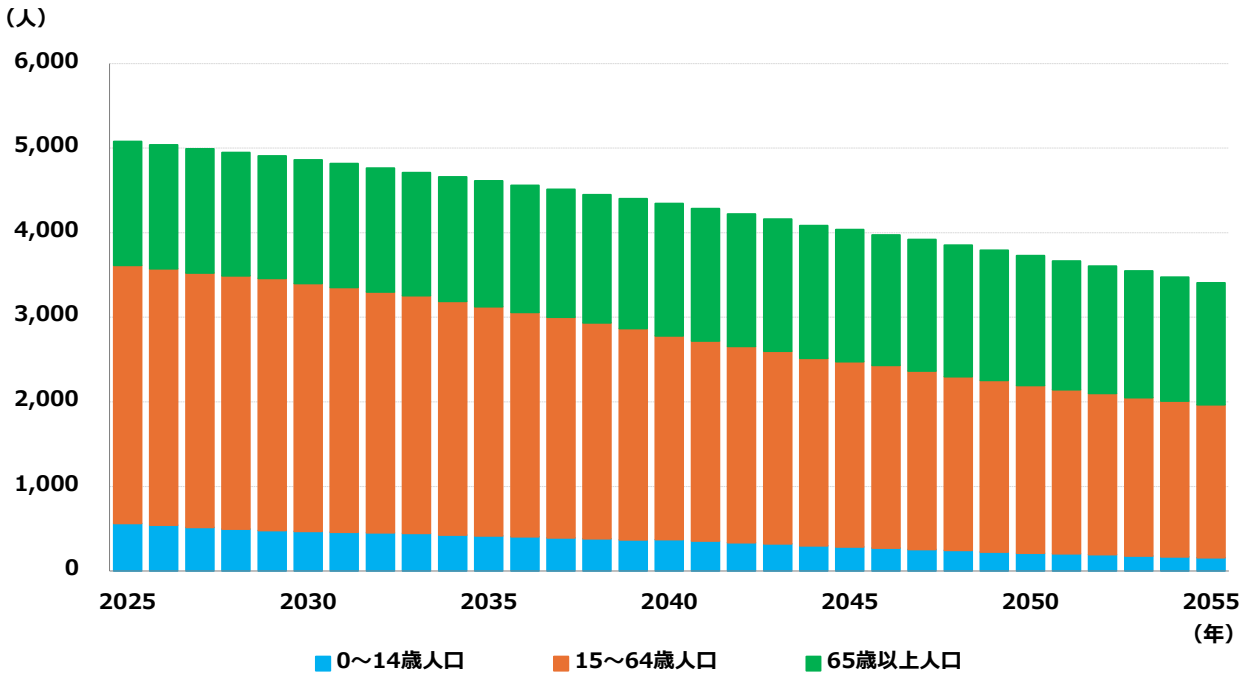
①年齢３区分別人口

吉田小学校区の人口は 2025 年（令和７年）の 5,078 人から年々減少し、2055 年（令和 37 年）には 3,406 人と、1,672 人（32.9%）減少すると推計されます。

０～14 歳人口は 2025 年（令和７年）の 563 人（11.1%）から年々減少し、2055 年（令和 37 年）には 157 人（4.6%）になると推計されます。

15～64 歳人口は 2025 年（令和７年）の 3,050 人（60.1%）から年々減少し、2055 年（令和 37 年）には 1,811 人（53.2%）になると推計されます。

65 歳以上人口は 2025 年（令和７年）の 1,465 人（28.8%）から増減を繰り返すものの、65 歳以上人口比率は年々上昇し、2055 年（令和 37 年）には 1,438 人（42.2%）になると推計されます。



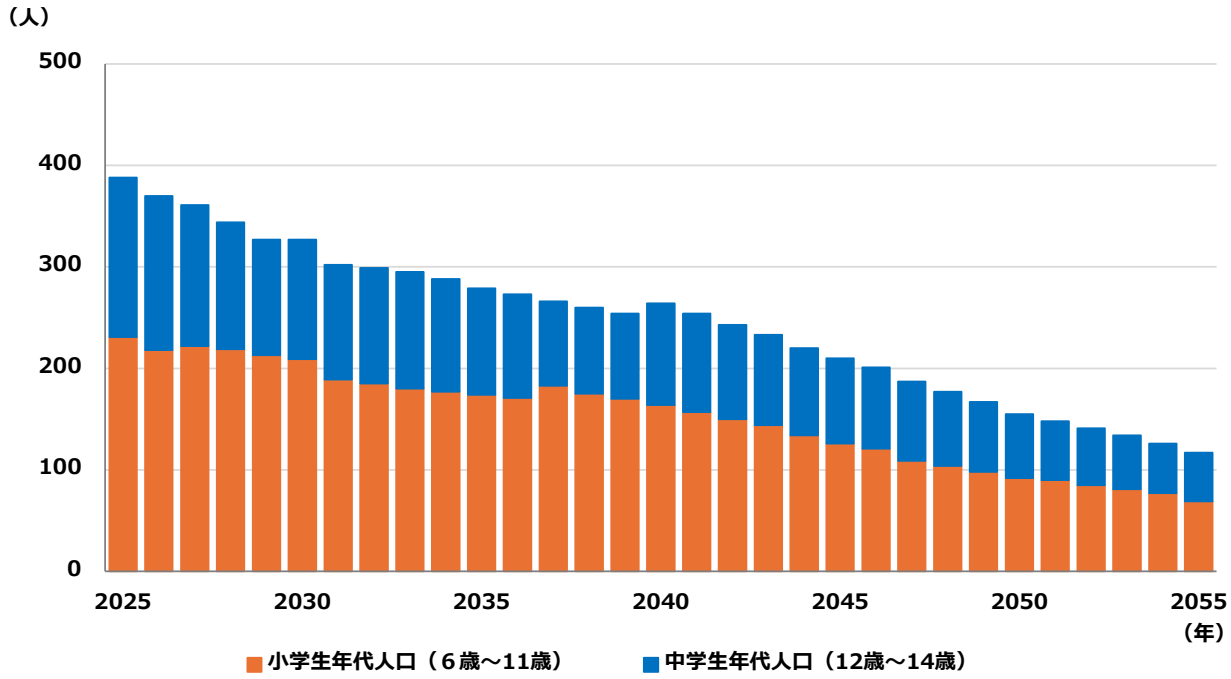
	2025 年	2030 年	2035 年	2040 年	2045 年	2050 年	2055 年
0～14 歳人口	563 (11.1%)	470 (9.7%)	414 (9.0%)	372 (8.6%)	284 (7.0%)	212 (5.7%)	157 (4.6%)
15～64 歳人口	3,050 (60.1%)	2,929 (60.2%)	2,711 (58.8%)	2,409 (55.5%)	2,192 (54.3%)	1,982 (53.2%)	1,811 (53.2%)
65 歳以上人口	1,465 (28.8%)	1,463 (30.1%)	1,487 (32.2%)	1,563 (36.0%)	1,561 (38.7%)	1,534 (41.1%)	1,438 (42.2%)
計	5,078	4,862	4,612	4,344	4,037	3,728	3,406

（20）吉田小学校区

②小学生年代・中学生年代人口

小学生年代の人口は、2025 年（令和 7 年）と 2055 年（令和 37 年）を比較すると、231 人から 69 人へと、約 70.1%（162 人）減少すると推計されます。

中学生年代の人口は、2025 年（令和 7 年）と 2055 年（令和 37 年）を比較すると、157 人から 48 人へと、約 69.4%（109 人）減少すると推計されます。



	2025 年	2030 年	2035 年	2040 年	2045 年	2050 年	2055 年
小学生年代（６～11 歳）	231	209	174	164	126	92	69
中学生年代（12～14 歳）	157	118	105	100	84	63	48
計	388	327	279	264	210	155	117

（20）吉田小学校区

③５歳階級別（2025 年→2055 年）

図　2025 年

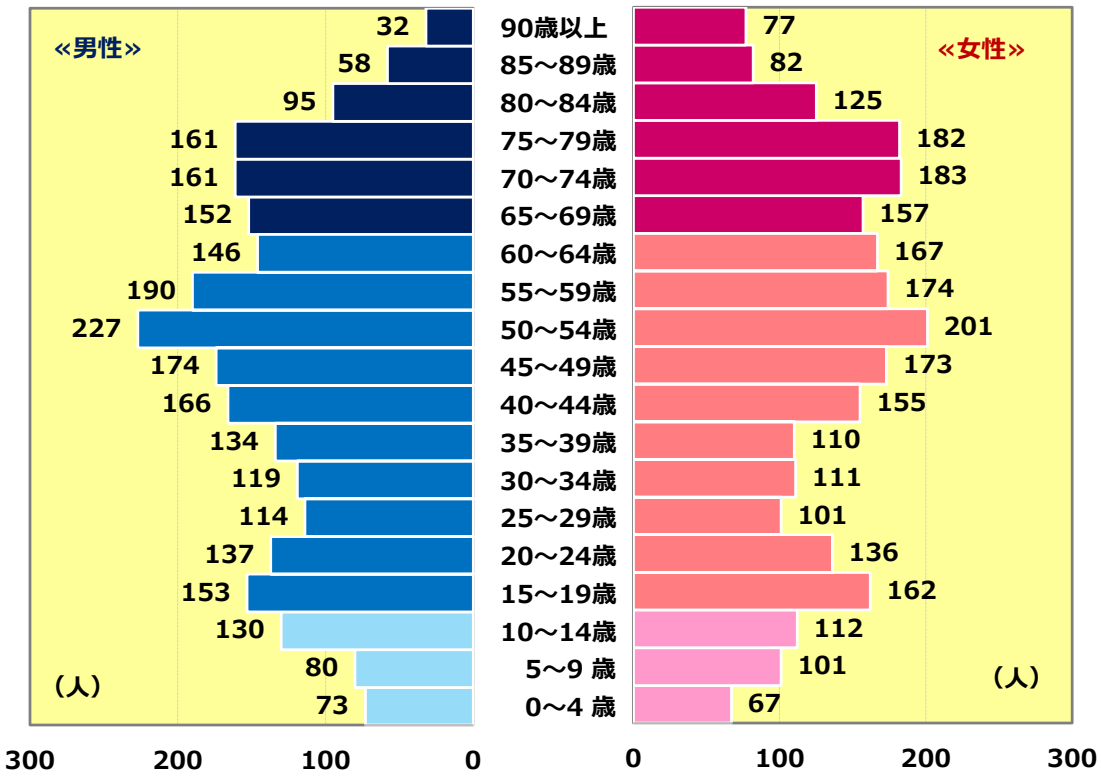


図　2035 年

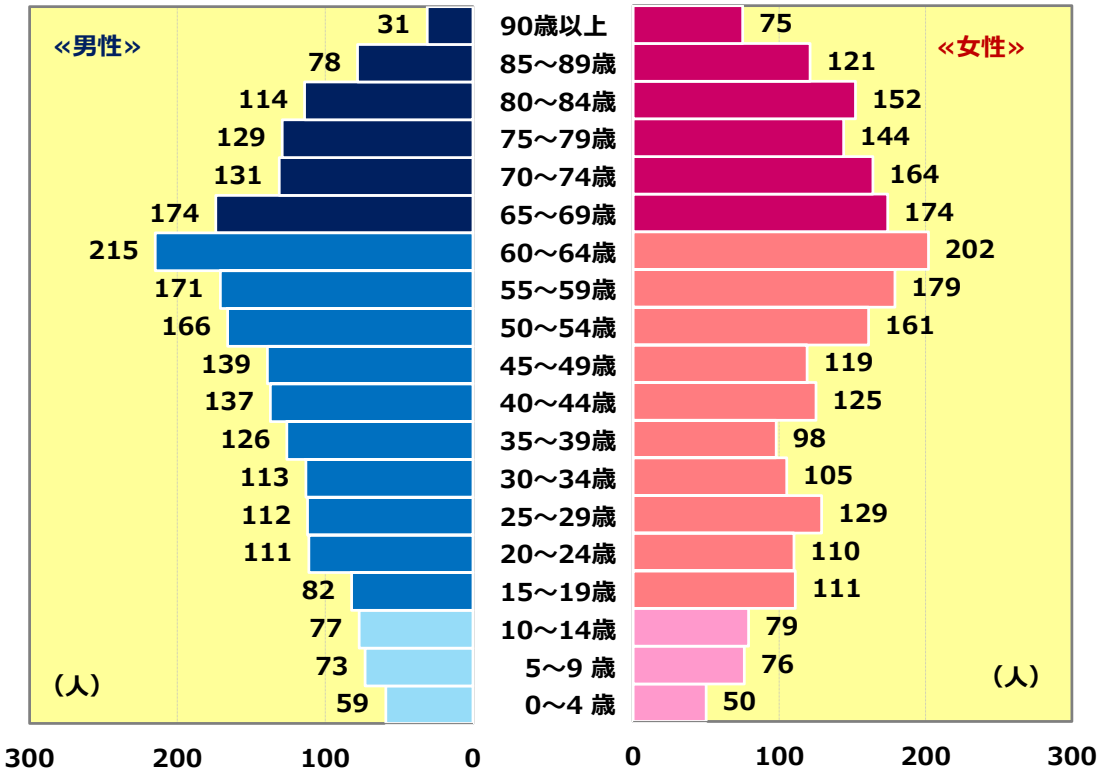


図　2045 年

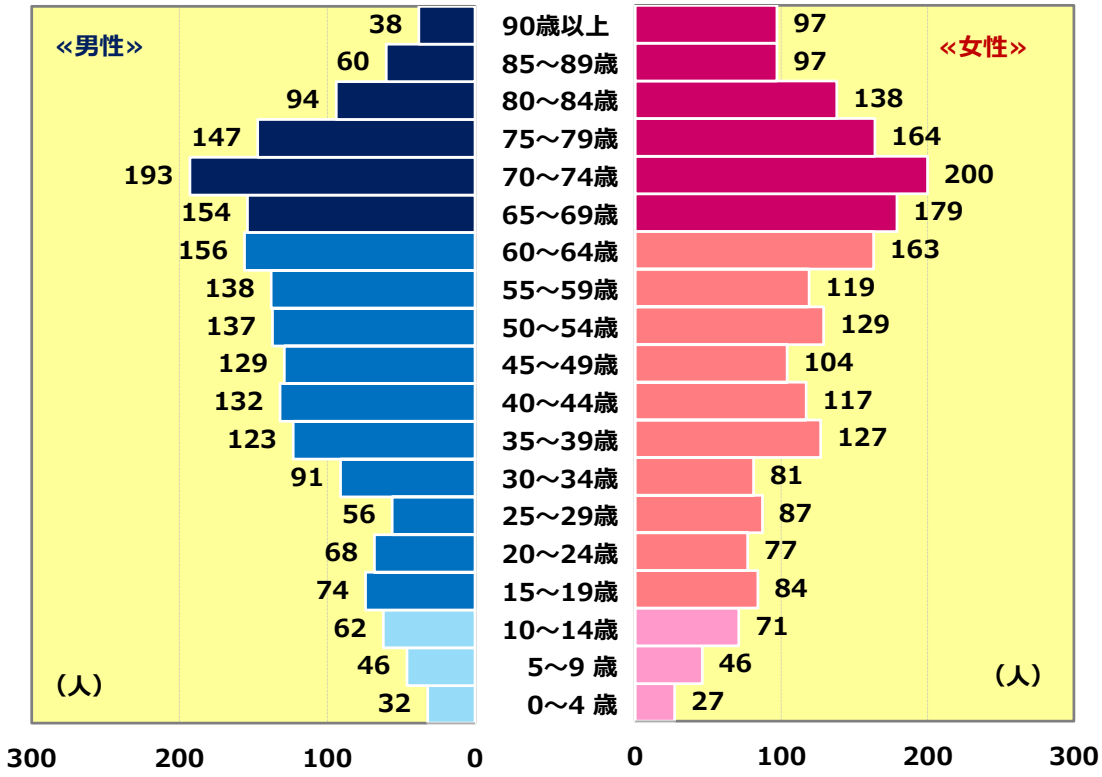
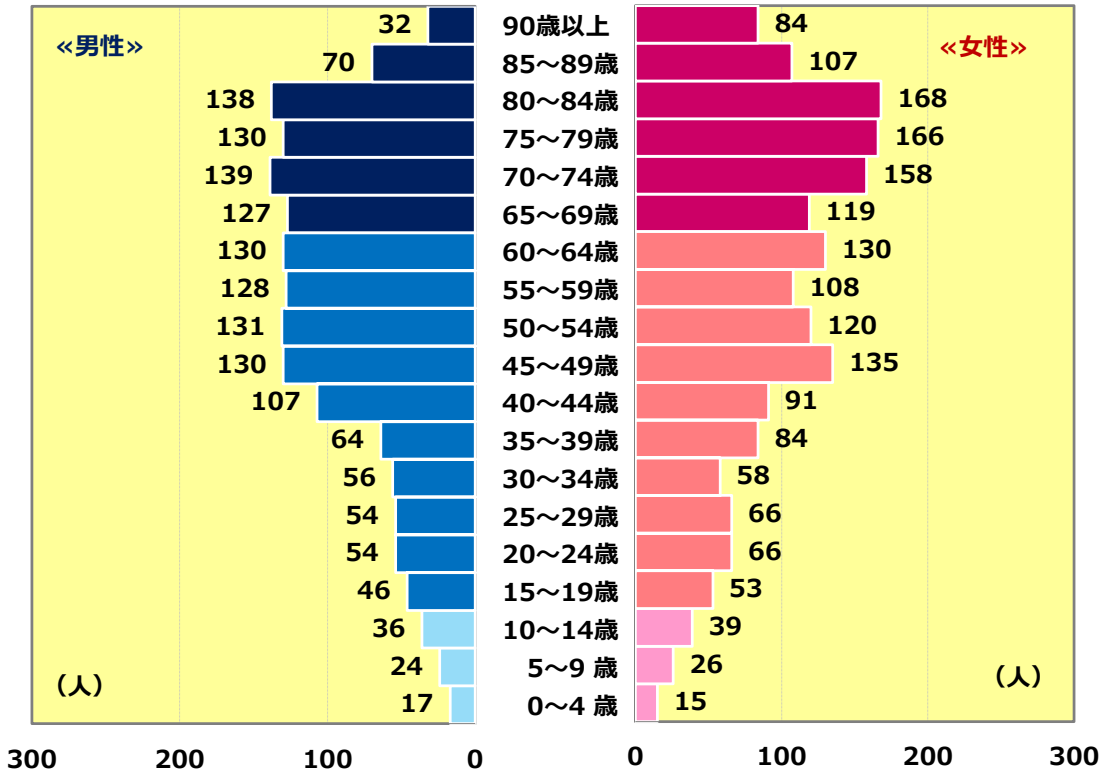


図　2055 年



（21）白浜小学校区

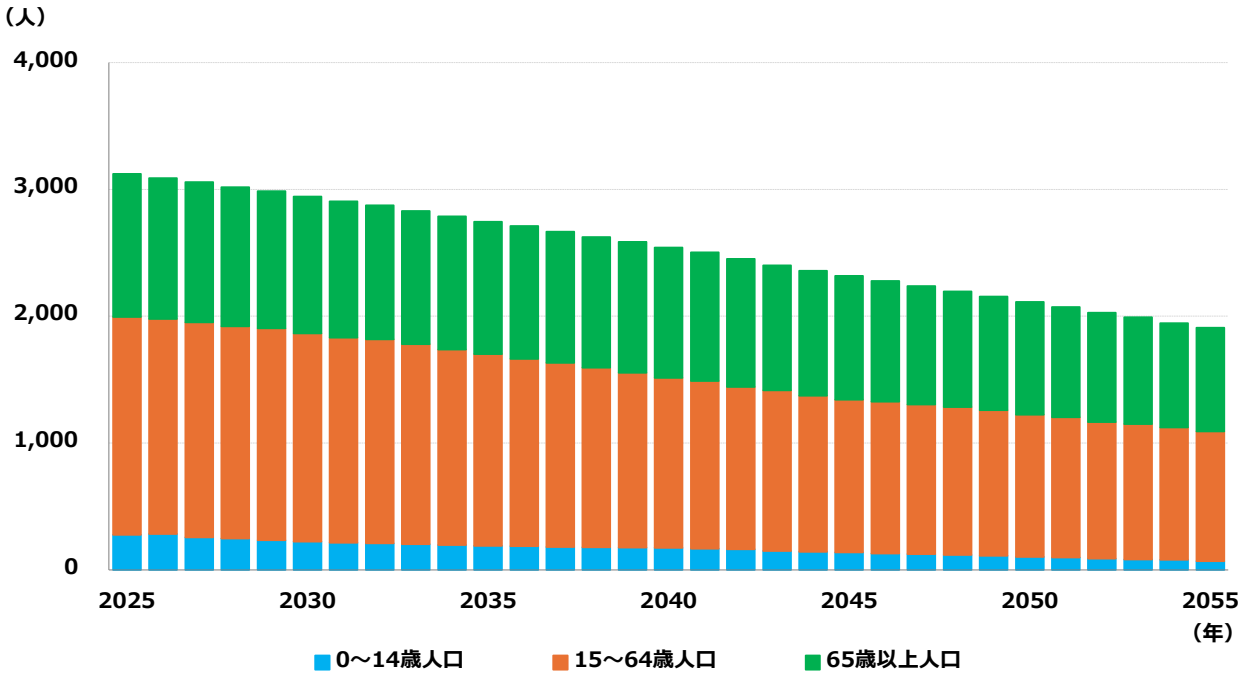
①年齢３区分別人口

白浜小学校区の人口は 2025 年（令和７年）の 3,121 人から年々減少し、2055 年（令和 37 年）には 1,910 人と、1,211 人（38.8%）減少すると推計されます。

０～14 歳人口は 2025 年（令和７年）の 277 人（8.9%）から年々減少し、2055 年（令和 37 年）には 69 人（3.6%）になると推計されます。

15～64 歳人口は 2025 年（令和７年）の 1,718 人（55.0%）から年々減少し、2055 年（令和 37 年）には 1,023 人（53.6%）になると推計されます。

65 歳以上人口は 2025 年（令和７年）の 1,126 人（36.1%）から年々減少するものの、65 歳以上人口比率は年々上昇し、2055 年（令和 37 年）には 818 人（42.8%）になると推計されます。



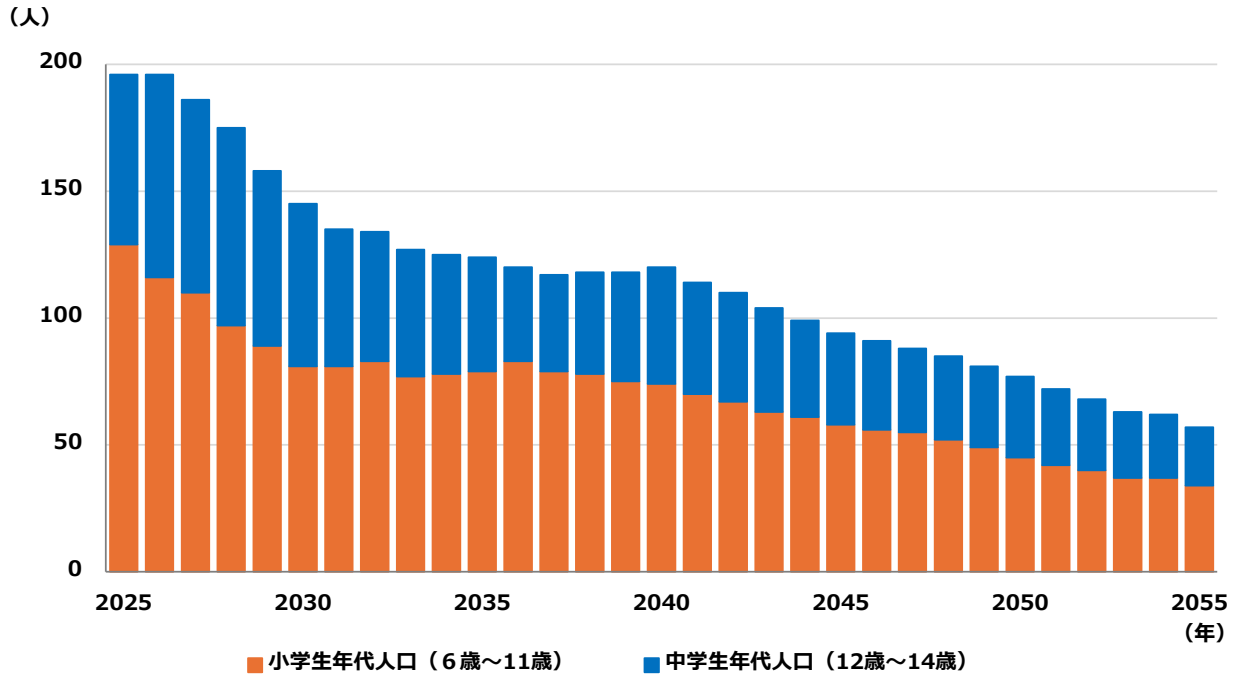
	2025 年	2030 年	2035 年	2040 年	2045 年	2050 年	2055 年
0～14 歳人口	277 (8.9%)	224 (7.6%)	191 (7.0%)	175 (6.9%)	138 (6.0%)	103 (4.9%)	69 (3.6%)
15～64 歳人口	1,718 (55.0%)	1,641 (55.8%)	1,510 (55.0%)	1,339 (52.7%)	1,205 (52.0%)	1,121 (53.1%)	1,023 (53.6%)
65 歳以上人口	1,126 (36.1%)	1,078 (36.6%)	1,043 (38.0%)	1,028 (40.4%)	976 (42.1%)	888 (42.0%)	818 (42.8%)
計	3,121	2,943	2,744	2,542	2,319	2,112	1,910

（21）白浜小学校区

②小学生年代・中学生年代人口

小学生年代の人口は、2025 年（令和 7 年）と 2055 年（令和 37 年）を比較すると、129 人から 34 人へと、約 73.6%（95 人）減少すると推計されます。

中学生年代の人口は、2025 年（令和 7 年）と 2055 年（令和 37 年）を比較すると、67 人から 23 人へと、約 65.7%（44 人）減少すると推計されます。



	2025 年	2030 年	2035 年	2040 年	2045 年	2050 年	2055 年
小学生年代（６～11 歳）	129	81	79	74	58	45	34
中学生年代（12～14 歳）	67	64	45	46	36	32	23
計	196	145	124	120	94	77	57

（21）白浜小学校区

③５歳階級別（2025 年→2055 年）

図　2025 年

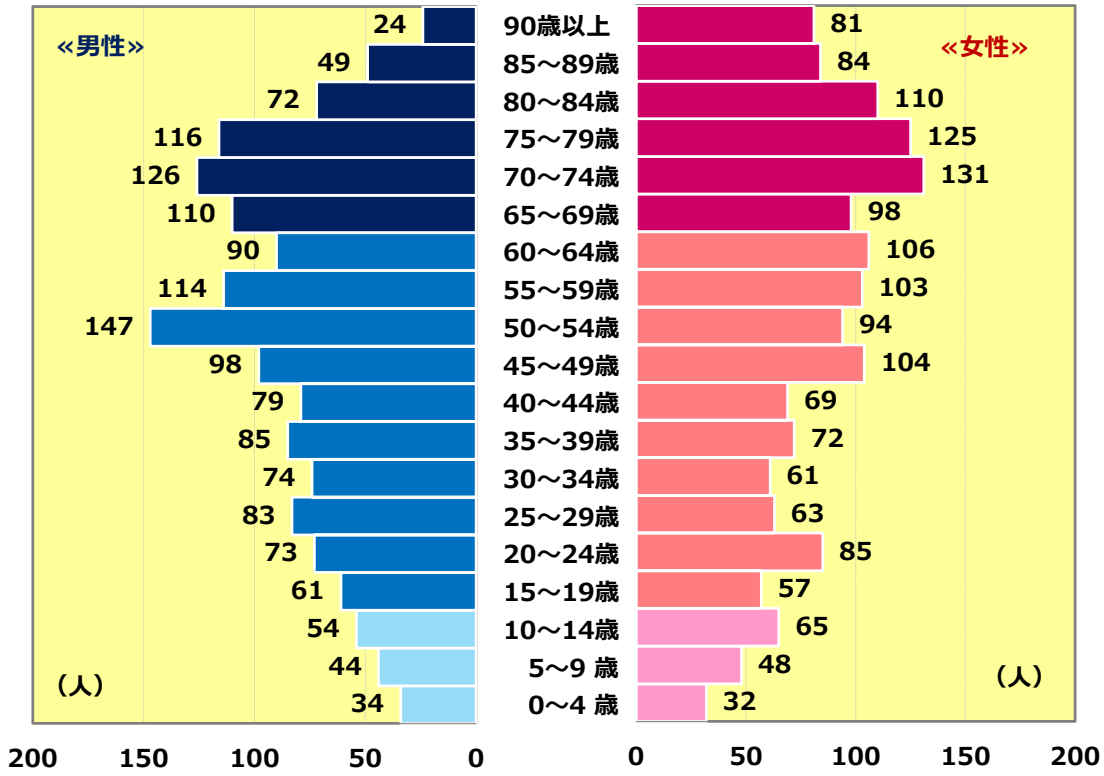


図　2035 年

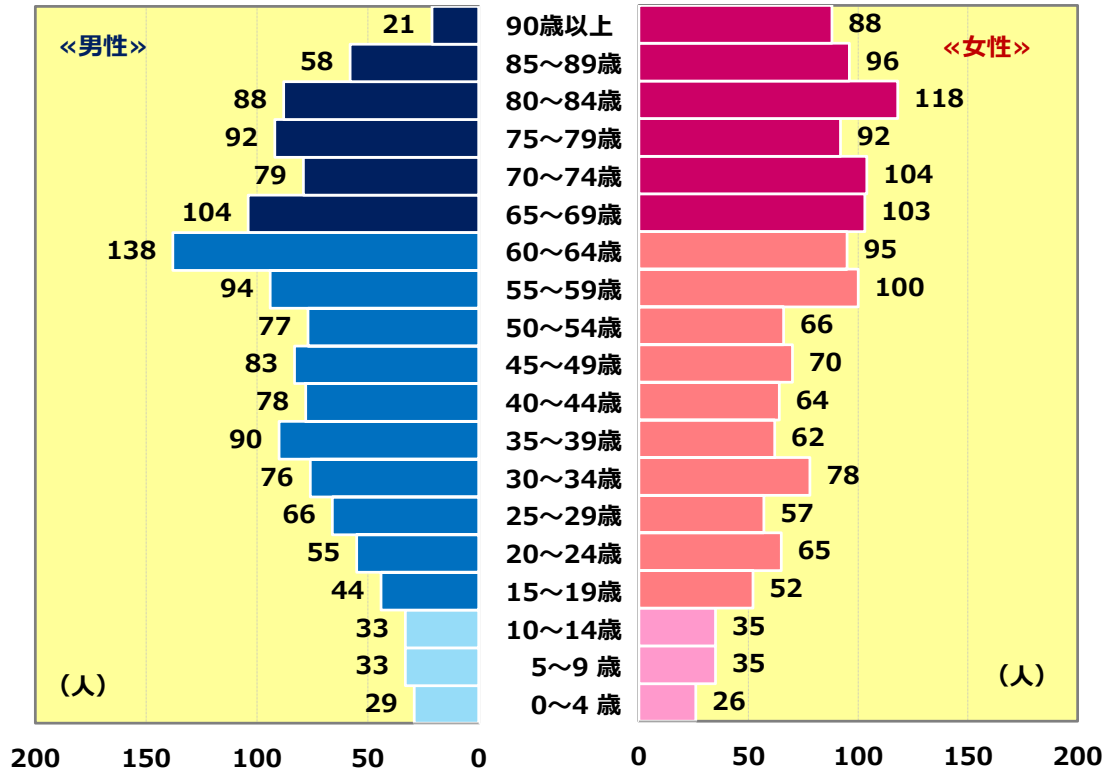


図　2045 年

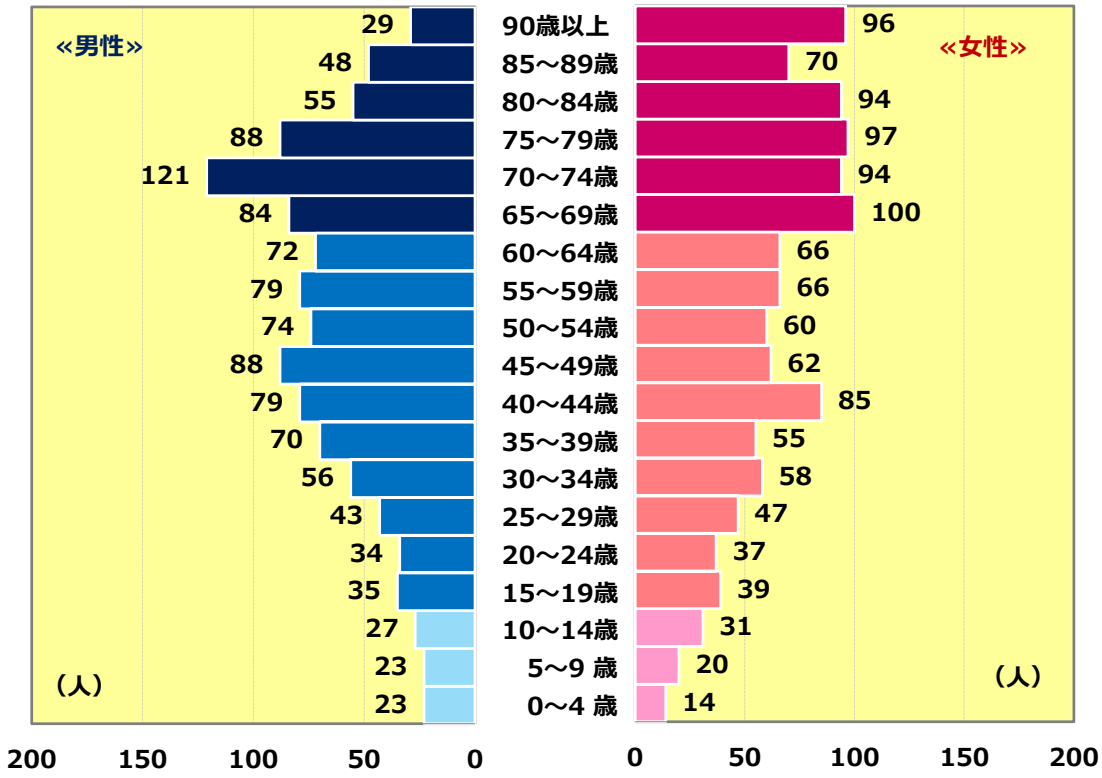
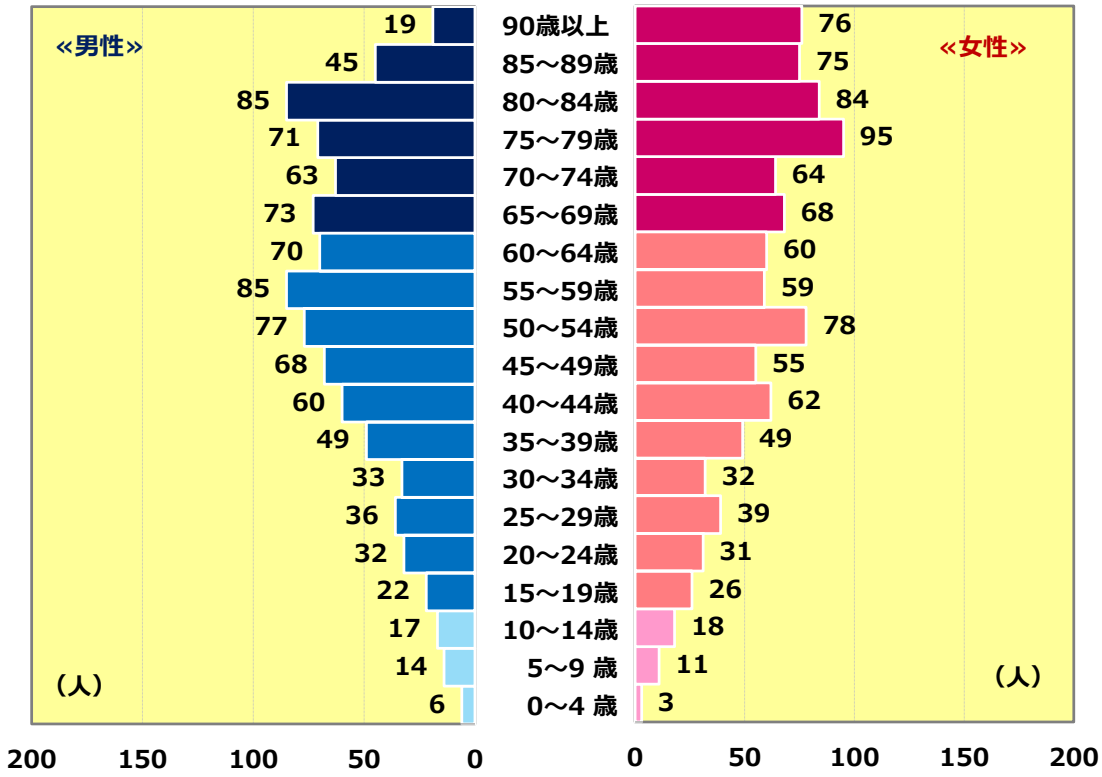


図　2055 年



（22）荻原小学校区

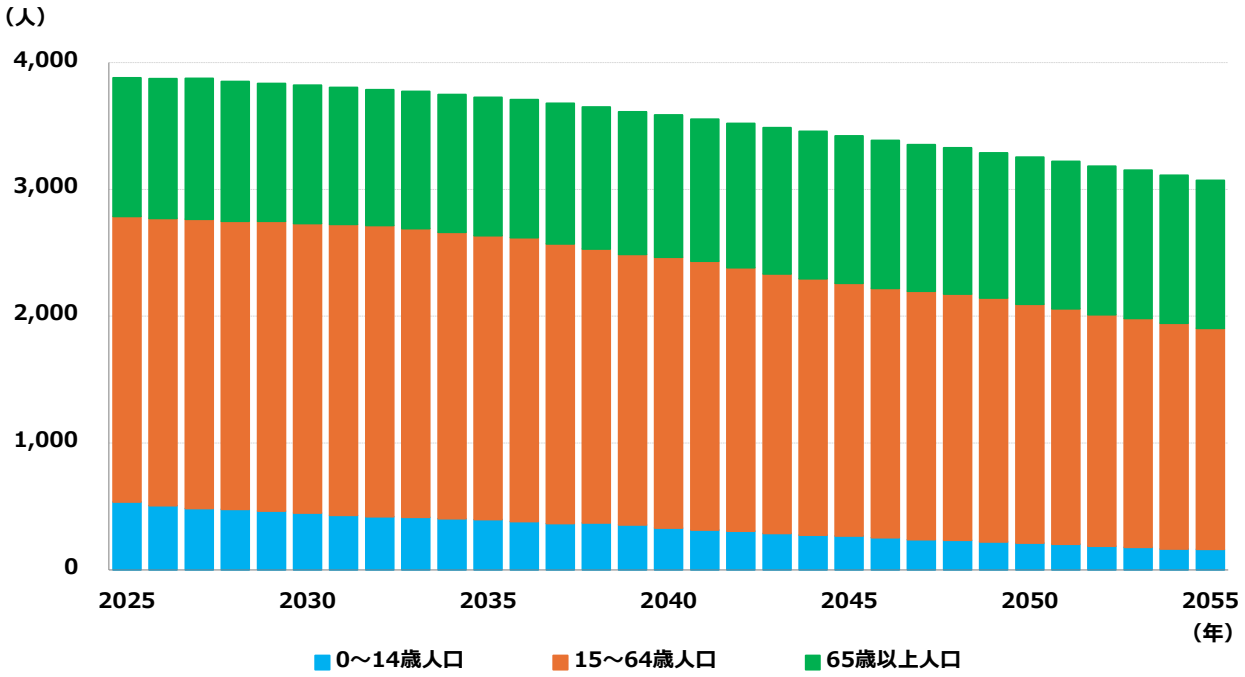
①年齢３区分別人口

荻原小学校区の人口は 2025 年（令和７年）の 3,880 人から年々減少し、2055 年（令和 37 年）には 3,071 人と、809 人（20.9%）減少すると推計されます。

０～14 歳人口は 2025 年（令和７年）の 536 人（13.8%）から年々減少し、2055 年（令和 37 年）には 164 人（5.3%）になると推計されます。

15～64 歳人口は 2025 年（令和７年）の 2,250 人（58.0%）から増加するものの、2030 年（令和 12 年）以降は減少に転じ、2055 年（令和 37 年）には 1,742 人（56.7%）になると推計されます。

65 歳以上人口は 2025 年（令和７年）の 1,094 人（28.2%）から増減を繰り返すものの、65 歳以上人口比率は年々上昇し、2055 年（令和 37 年）には 1,165 人（37.9%）になると推計されます。



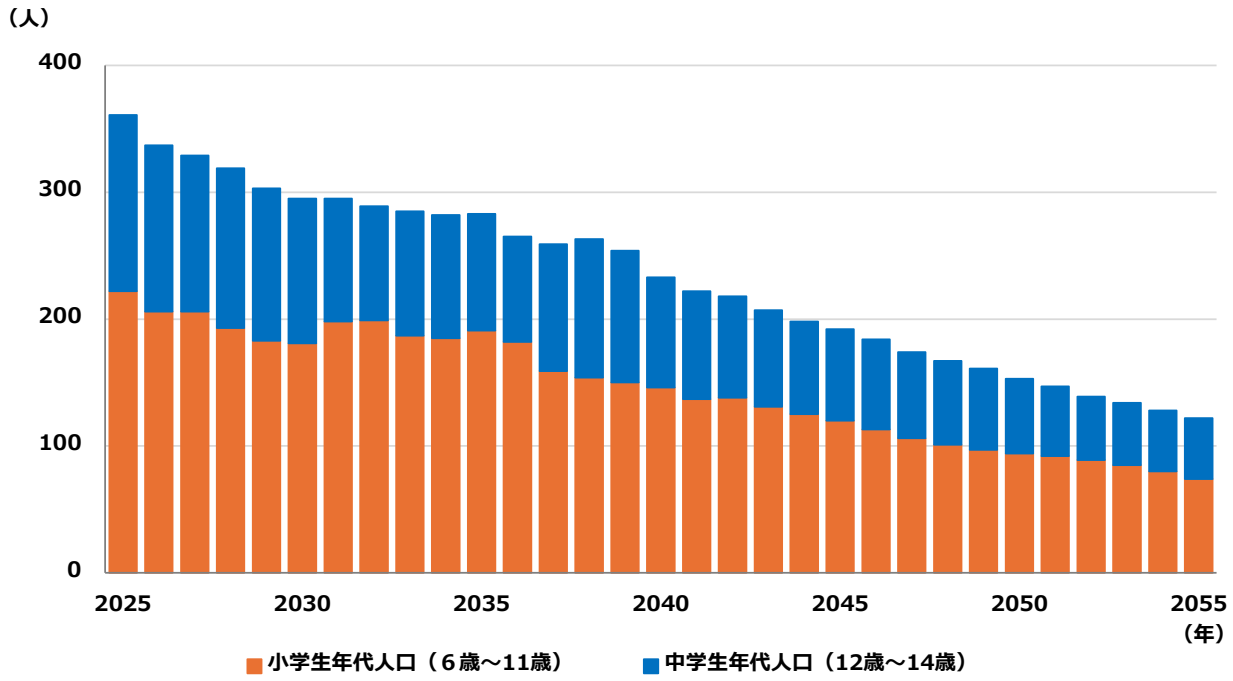
	2025 年	2030 年	2035 年	2040 年	2045 年	2050 年	2055 年
0～14 歳人口	536 (13.8%)	450 (11.8%)	398 (10.7%)	331 (9.2%)	267 (7.8%)	213 (6.5%)	164 (5.3%)
15～64 歳人口	2,250 (58.0%)	2,281 (59.7%)	2,238 (60.1%)	2,135 (59.5%)	1,994 (58.3%)	1,882 (57.8%)	1,742 (56.7%)
65 歳以上人口	1,094 (28.2%)	1,089 (28.5%)	1,088 (29.2%)	1,120 (31.2%)	1,161 (33.9%)	1,159 (35.6%)	1,165 (37.9%)
計	3,880	3,820	3,724	3,586	3,422	3,254	3,071

（22）荻原小学校区

②小学生年代・中学生年代人口

小学生年代の人口は、2025 年（令和 7 年）と 2055 年（令和 37 年）を比較すると、222 人から 74 人へと、約 66.7%（148 人）減少すると推計されます。

中学生年代の人口は、2025 年（令和 7 年）と 2055 年（令和 37 年）を比較すると、139 人から 48 人へと、約 65.5%（91 人）減少すると推計されます。



	2025 年	2030 年	2035 年	2040 年	2045 年	2050 年	2055 年
小学生年代（6～11 歳）	222	181	191	146	120	94	74
中学生年代（12～14 歳）	139	114	92	87	72	59	48
計	361	295	283	233	192	153	122

（22）荻原小学校区

③５歳階級別（2025 年→2055 年）

図　2025 年

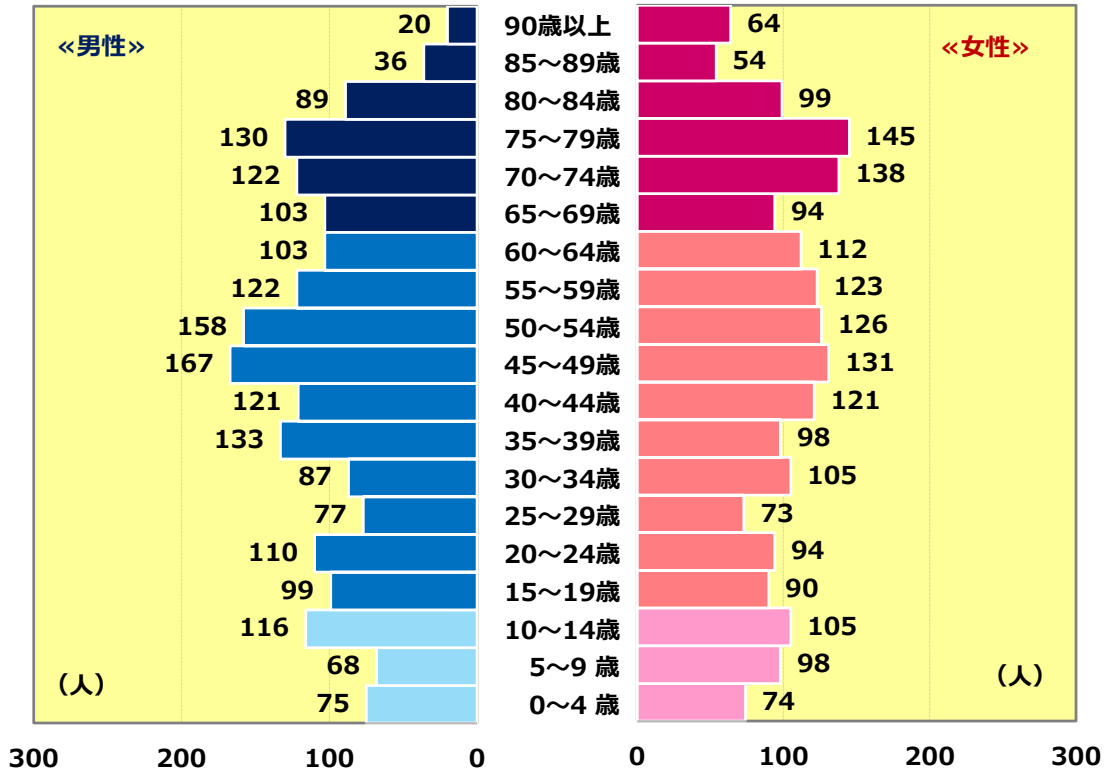


図　2035 年

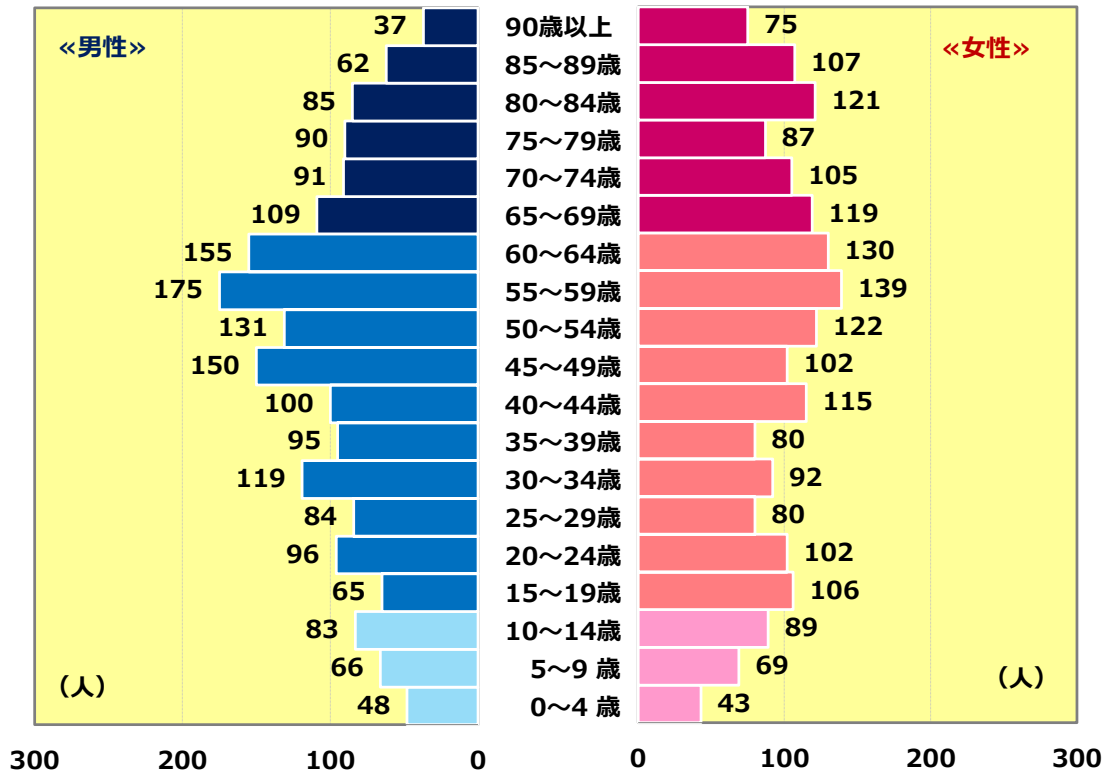


図　2045 年

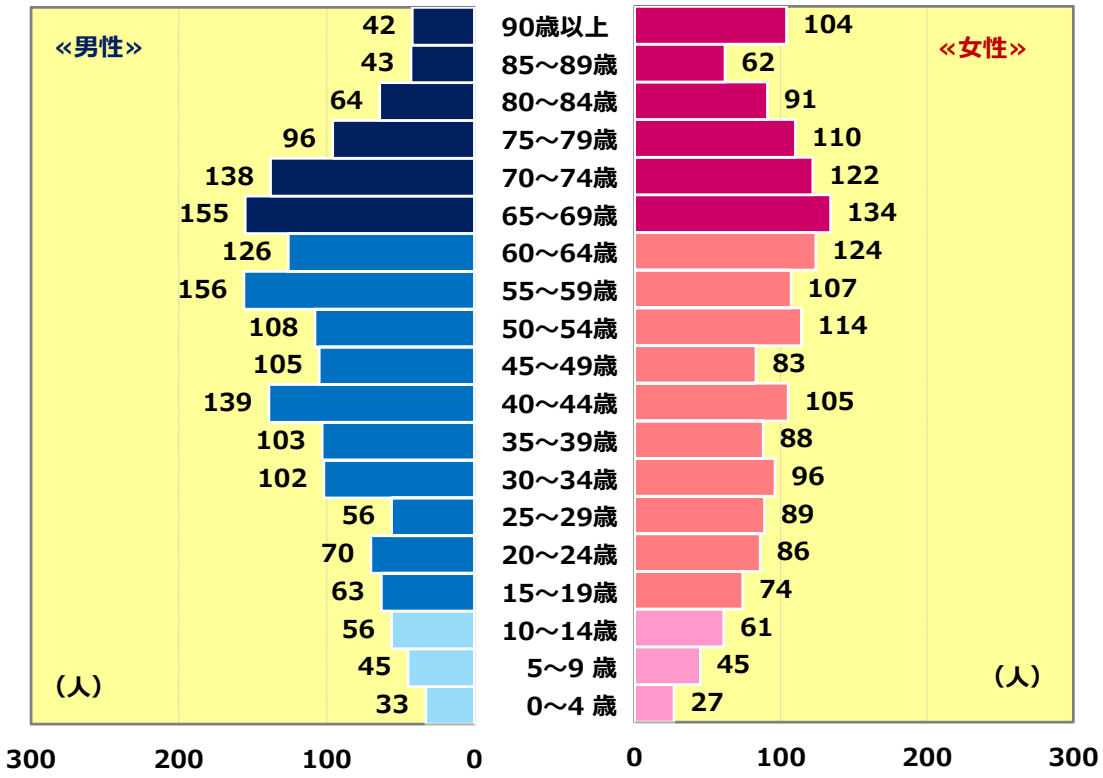
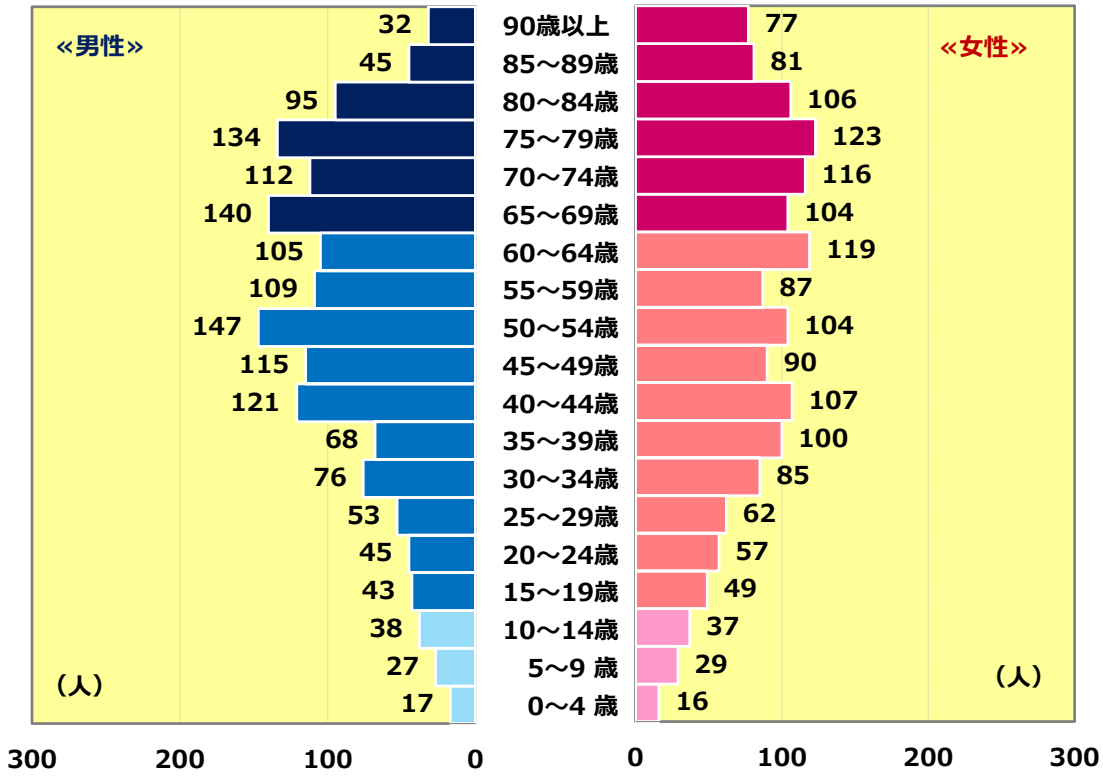


図　2055 年



（23）津平小学校区

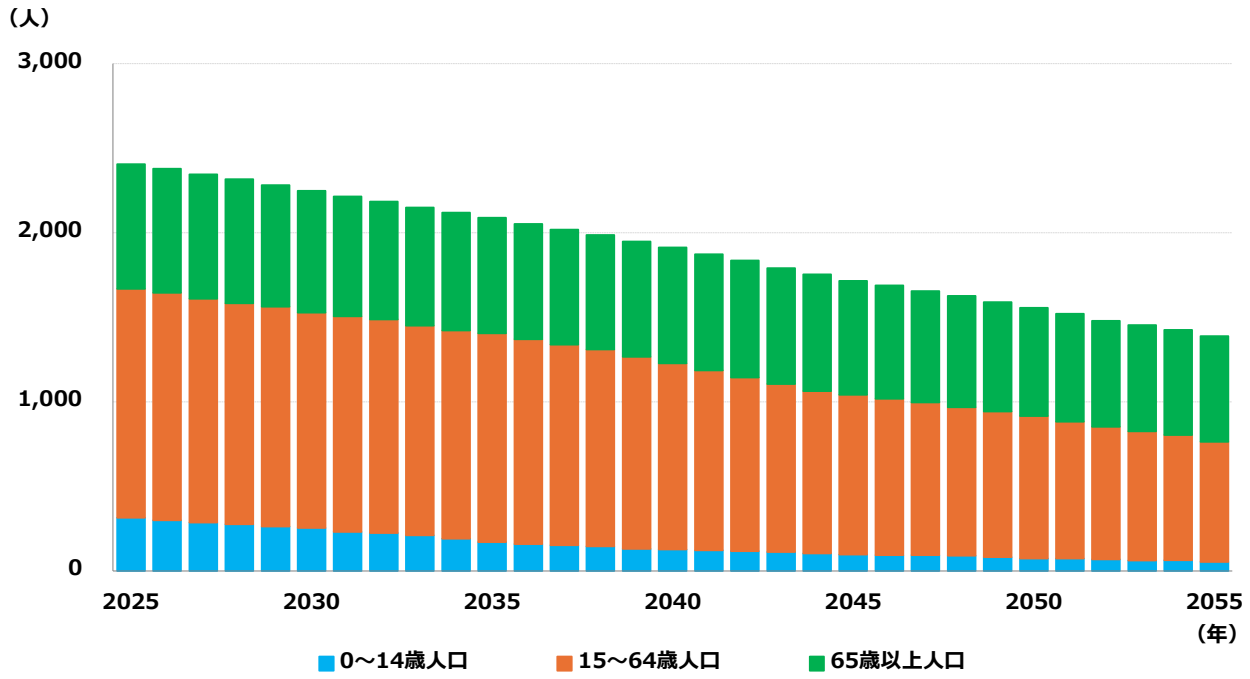
①年齢３区分別人口

津平小学校区の人口は 2025 年（令和７年）の 2,405 人から年々減少し、2055 年（令和 37 年）には 1,388 人と、1,017 人（42.3%）減少すると推計されます。

０～14 歳人口は 2025 年（令和７年）の 315 人（13.1%）から年々減少し、2055 年（令和 37 年）には 54 人（3.9%）になると推計されます。

15～64 歳人口は 2025 年（令和７年）の 1,354 人（56.3%）から年々減少し、2055 年（令和 37 年）には 710 人（51.2%）になると推計されます。

65 歳以上人口は 2025 年（令和７年）の 736 人（30.6%）から年々減少するものの、65 歳以上人口比率は年々上昇し、2055 年（令和 37 年）には 624 人（45.0%）になると推計されます。



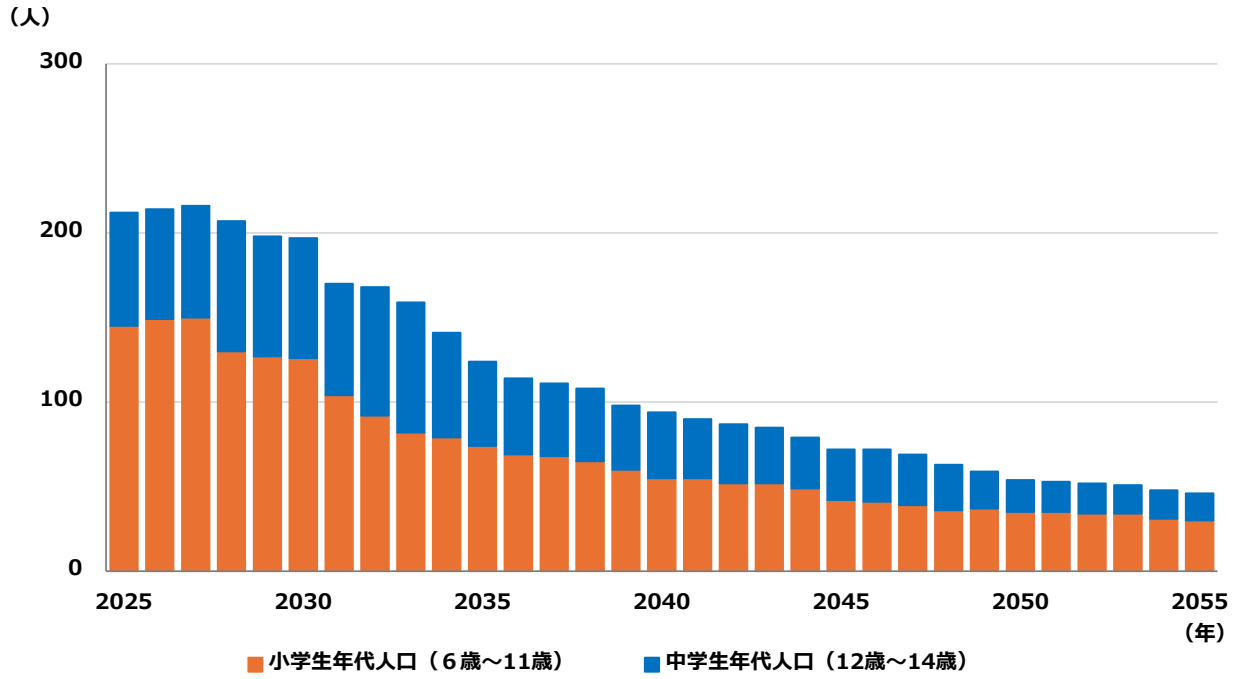
	2025 年	2030 年	2035 年	2040 年	2045 年	2050 年	2055 年
0～14 歳人口	315 (13.1%)	255 (11.3%)	171 (8.2%)	127 (6.6%)	98 (5.7%)	74 (4.8%)	54 (3.9%)
15～64 歳人口	1,354 (56.3%)	1,273 (56.6%)	1,234 (59.1%)	1,100 (57.5%)	943 (55.0%)	842 (54.1%)	710 (51.2%)
65 歳以上人口	736 (30.6%)	720 (32.0%)	683 (32.7%)	686 (35.9%)	674 (39.3%)	640 (41.1%)	624 (45.0%)
計	2,405	2,248	2,088	1,913	1,715	1,556	1,388

（23）津平小学校区

②小学生年代・中学生年代人口

小学生年代の人口は、2025 年（令和 7 年）と 2055 年（令和 37 年）を比較すると、145 人から 30 人へと、約 79.3%（115 人）減少すると推計されます。

中学生年代の人口は、2025 年（令和 7 年）と 2055 年（令和 37 年）を比較すると、67 人から 16 人へと、約 76.1%（51 人）減少すると推計されます。



	2025 年	2030 年	2035 年	2040 年	2045 年	2050 年	2055 年
小学生年代（６～11 歳）	145	126	74	55	42	35	30
中学生年代（12～14 歳）	67	71	50	39	30	19	16
計	212	197	124	94	72	54	46

（23）津平小学校区

③５歳階級別（2025 年→2055 年）

図　2025 年

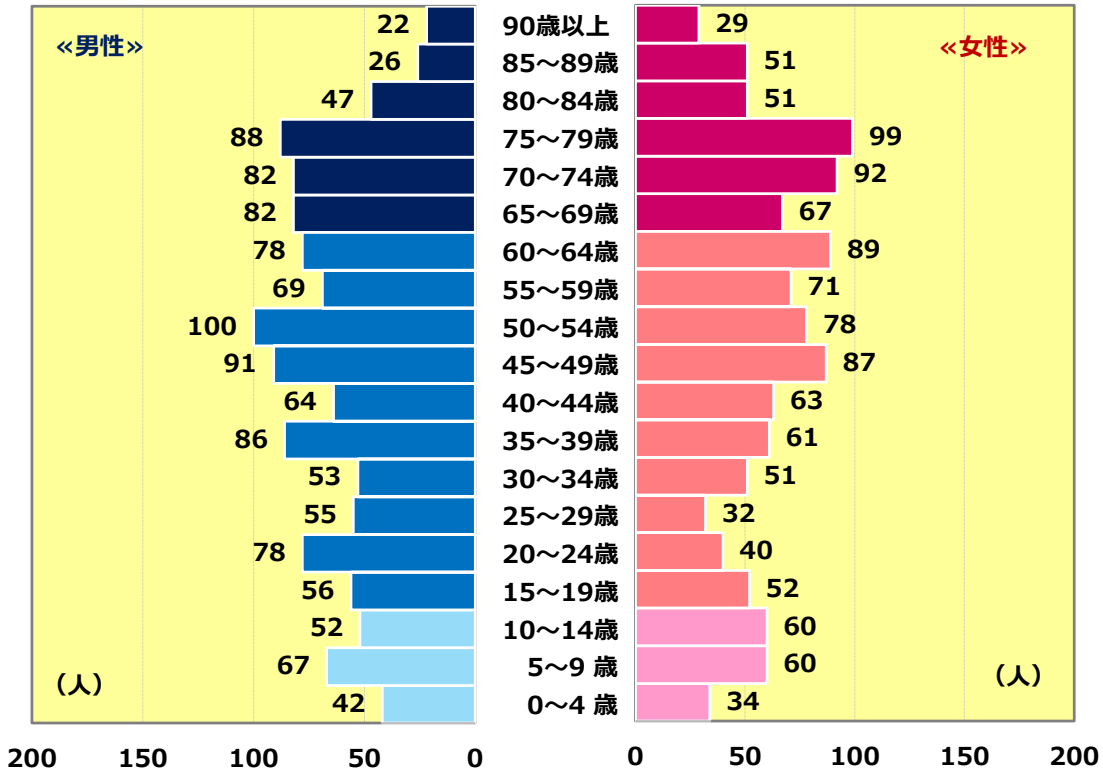


図　2035 年

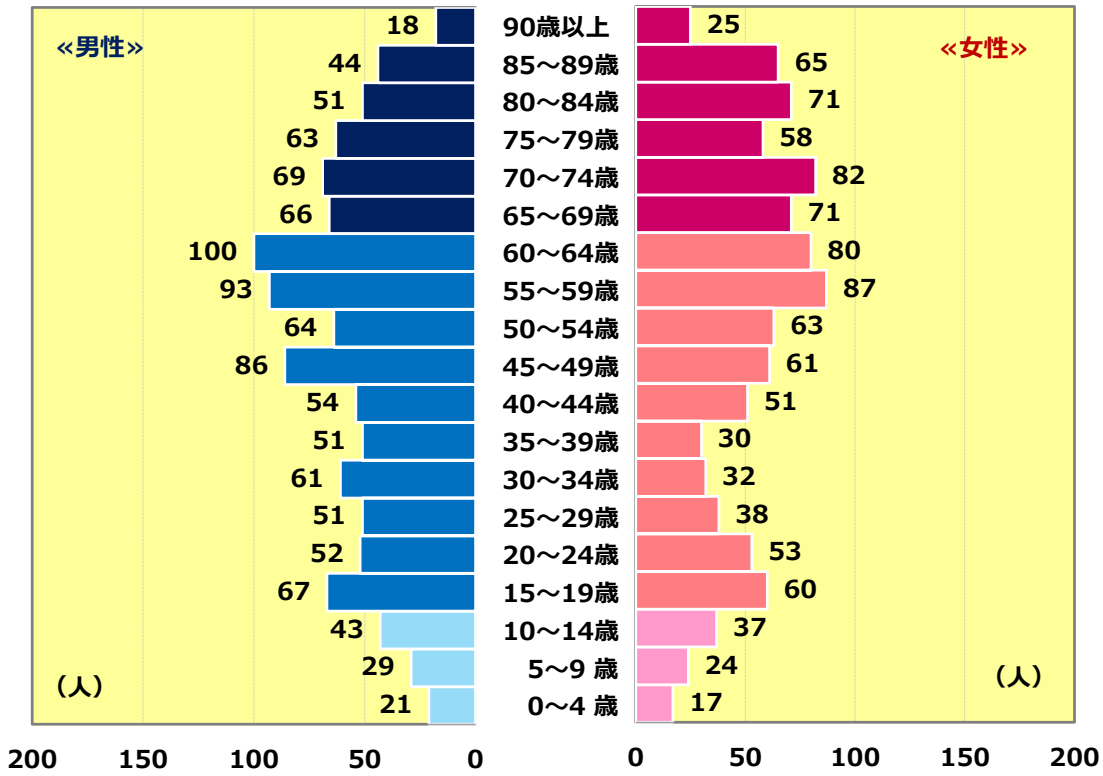


図　2045 年

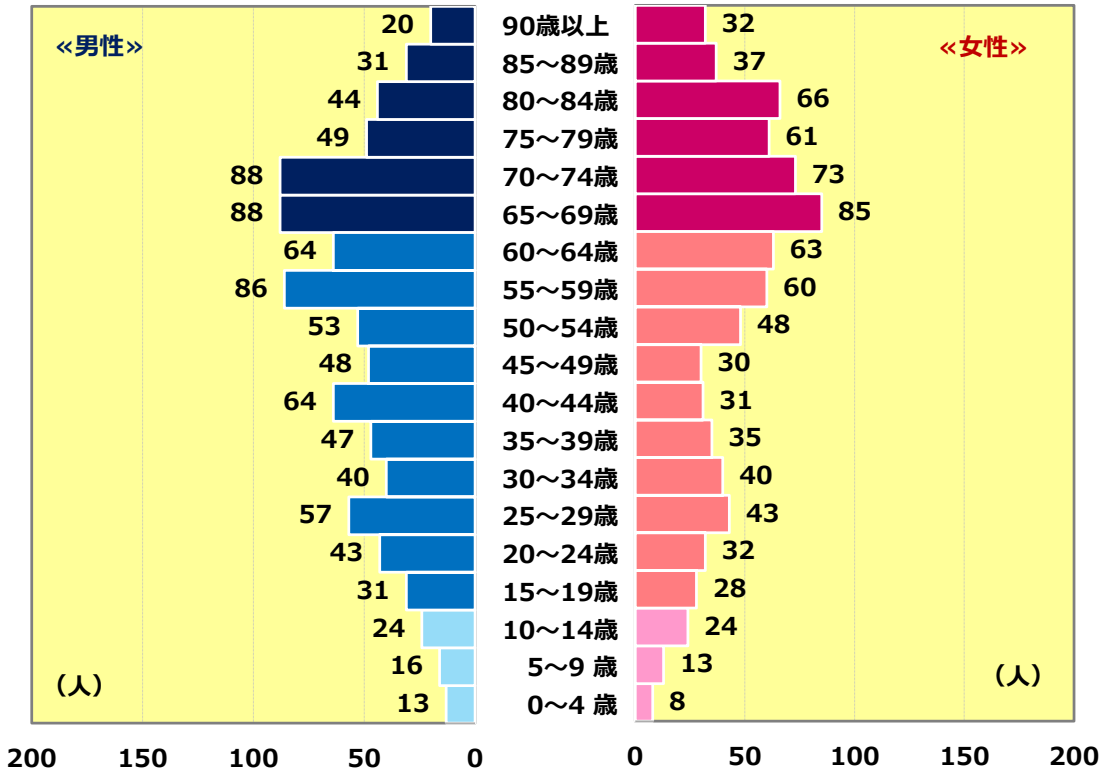
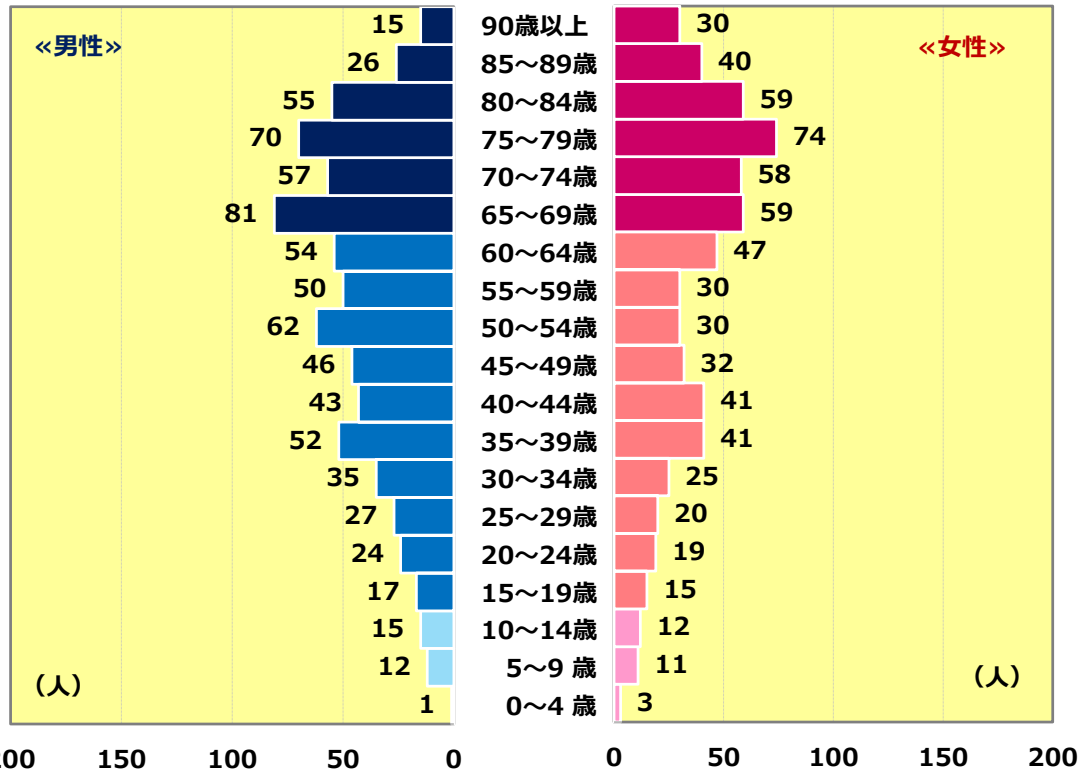


図　2055 年



（24）横須賀小学校区

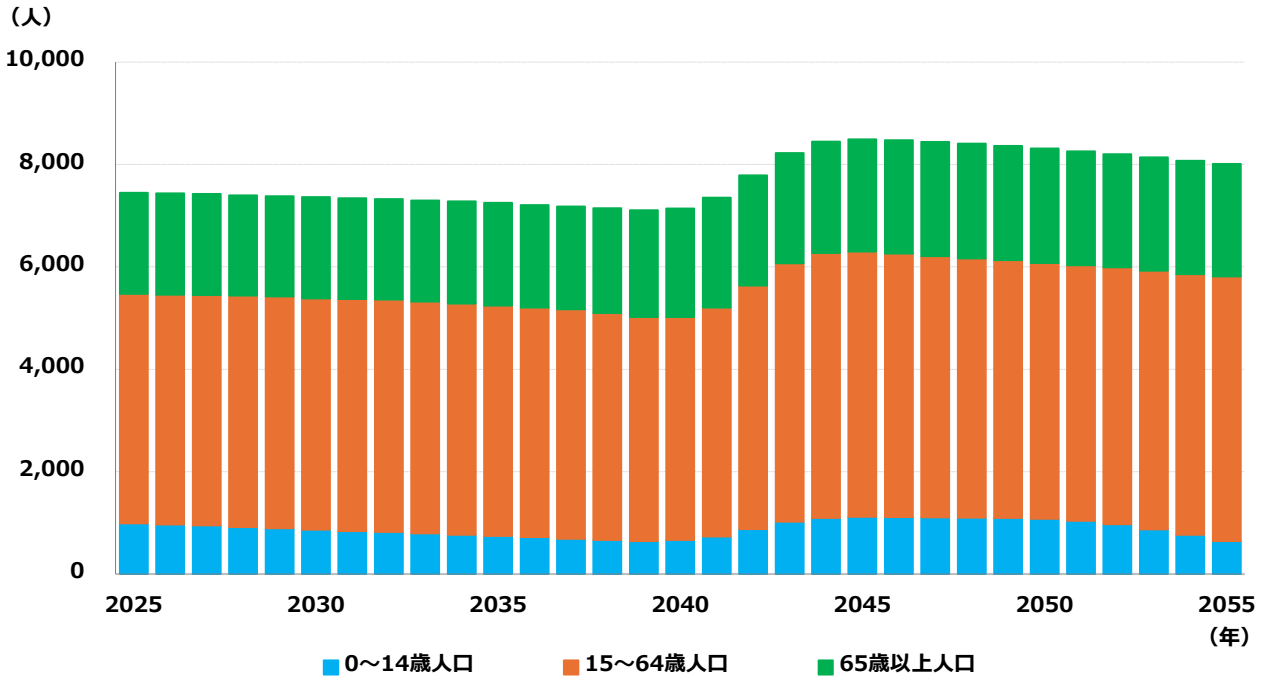
①年齢３区分別人口

横須賀小学校区の人口は 2025 年（令和 7 年）の 7,446 人から減少するものの、2040 年（令和 22 年）以降に増加に転じます。2045 年（令和 27 年）以降は再び減少し、2055 年（令和 37 年）には 8,013 人となり、567 人（7.6%）が増加すると推計されます。

０～14 歳人口は 2025 年（令和 7 年）の 990 人（13.3%）から減少するものの、2040 年（令和 22 年）に一旦増加しますが、2040 年（令和 27 年）は減少し、2055 年（令和 37 年）には 640 人（8.0%）になると推計されます。

15～64 歳人口は 2025 年（令和 7 年）の 4,482 人（60.2%）から減少するものの、2040 年（令和 22 年）以降に一旦増加しますが、2045 年（令和 27 年）以降は増減を繰り返し、2055 年（令和 37 年）には 5,174 人（64.6%）になると推計されます。

65 歳以上人口は 2025 年（令和 7 年）の 1,974 人（26.5%）から年々増加するものの、2050 年（令和 32 年）以降は減少へと転じ、2055 年（令和 37 年）には 2,199 人（27.4%）になると推計されます。



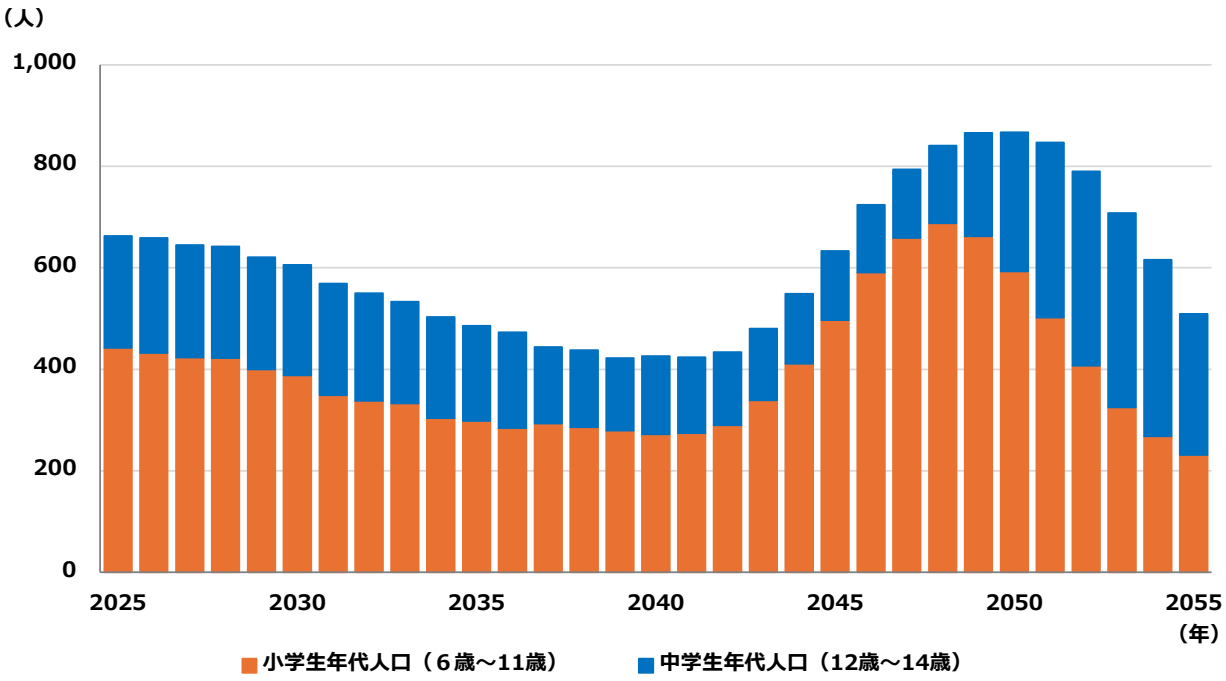
	2025 年	2030 年	2035 年	2040 年	2045 年	2050 年	2055 年
0～14 歳人口	990 (13.3%)	868 (11.8%)	741 (10.2%)	666 (9.3%)	1,118 (13.2%)	1,075 (12.9%)	640 (8.0%)
15～64 歳人口	4,482 (60.2%)	4,514 (61.3%)	4,503 (62.1%)	4,355 (61.0%)	5,178 (61.0%)	5,001 (60.2%)	5,174 (64.6%)
65 歳以上人口	1,974 (26.5%)	1,981 (26.9%)	2,008 (27.7%)	2,121 (29.7%)	2,196 (25.9%)	2,237 (26.9%)	2,199 (27.4%)
計	7,446	7,363	7,252	7,142	8,492	8,313	8,013

（24）横須賀小学校区

②小学生年代・中学生年代人口

小学生年代の人口は、2025 年（令和 7 年）と 2055 年（令和 37 年）を比較すると、442 人から 231 人へと、約 47.7%（211 人）減少すると推計されます。

中学生年代の人口は、2025 年（令和 7 年）と 2055 年（令和 37 年）を比較すると、221 人から 278 人へと、約 25.8%（57 人）増加すると推計されます。



	2025 年	2030 年	2035 年	2040 年	2045 年	2050 年	2055 年
小学生年代（６～11 歳）	442	388	298	272	497	593	231
中学生年代（12～14 歳）	221	218	188	154	136	274	278
計	663	606	486	426	633	867	509

（24）横須賀小学校区

③５歳階級別（2025 年→2055 年）

図　2025 年

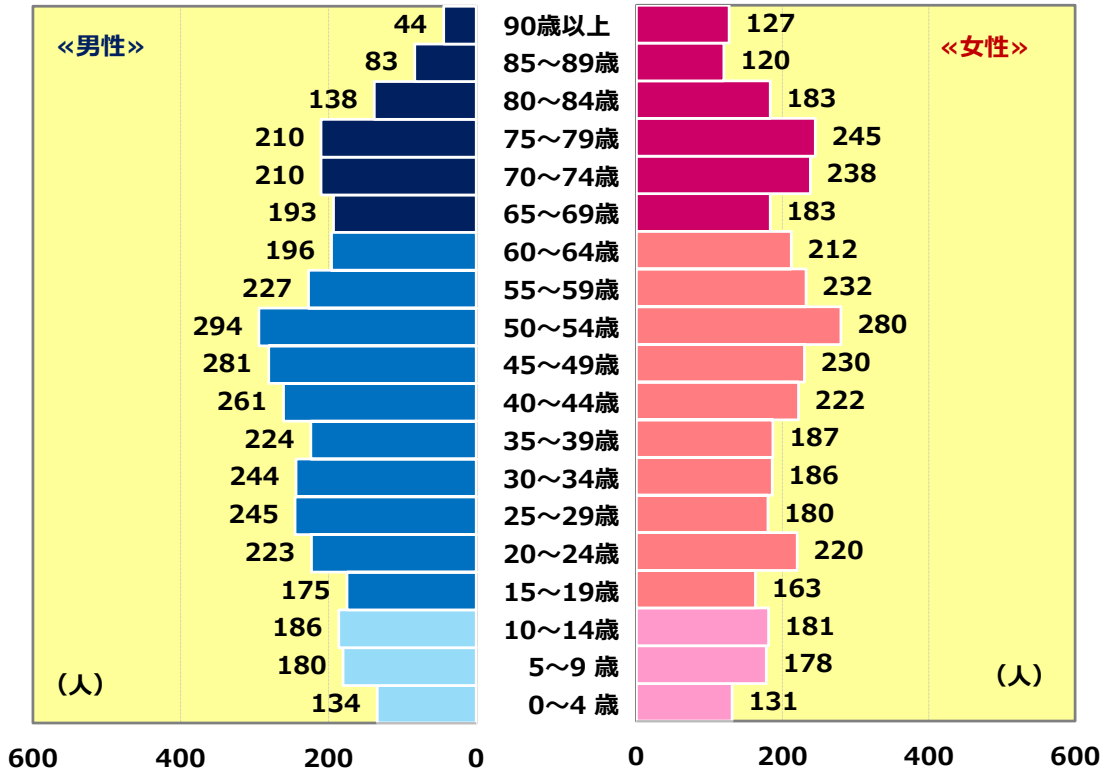


図　2035 年

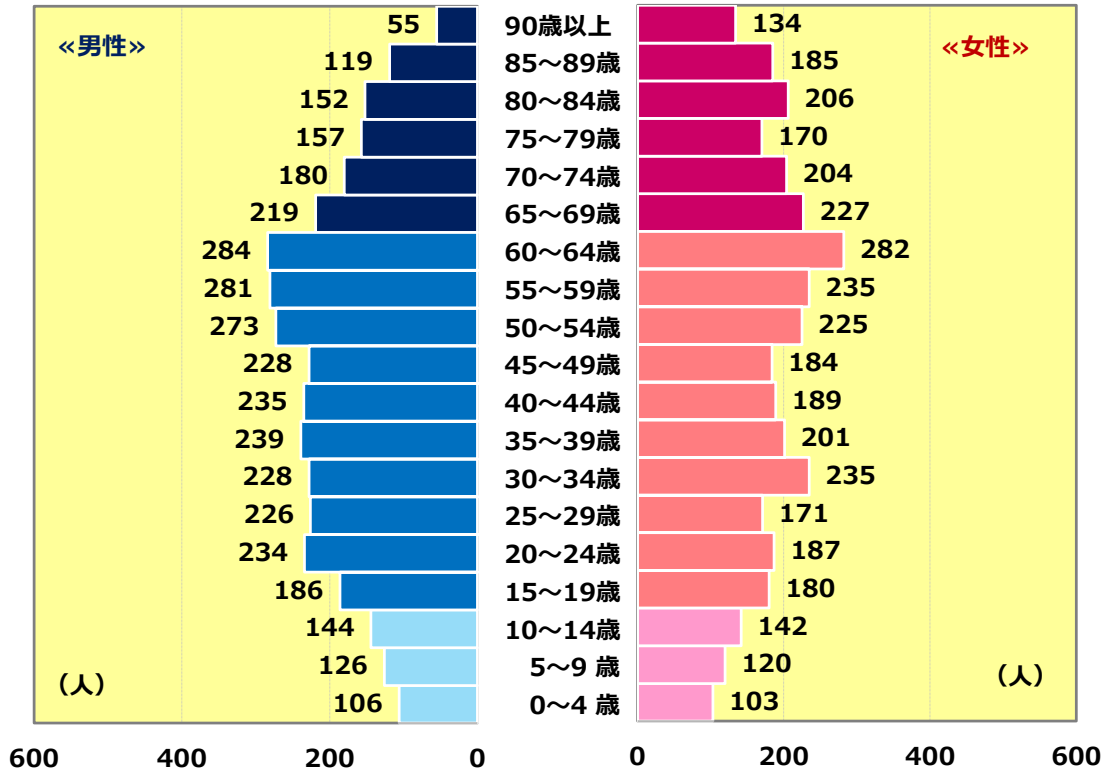


図　2045 年

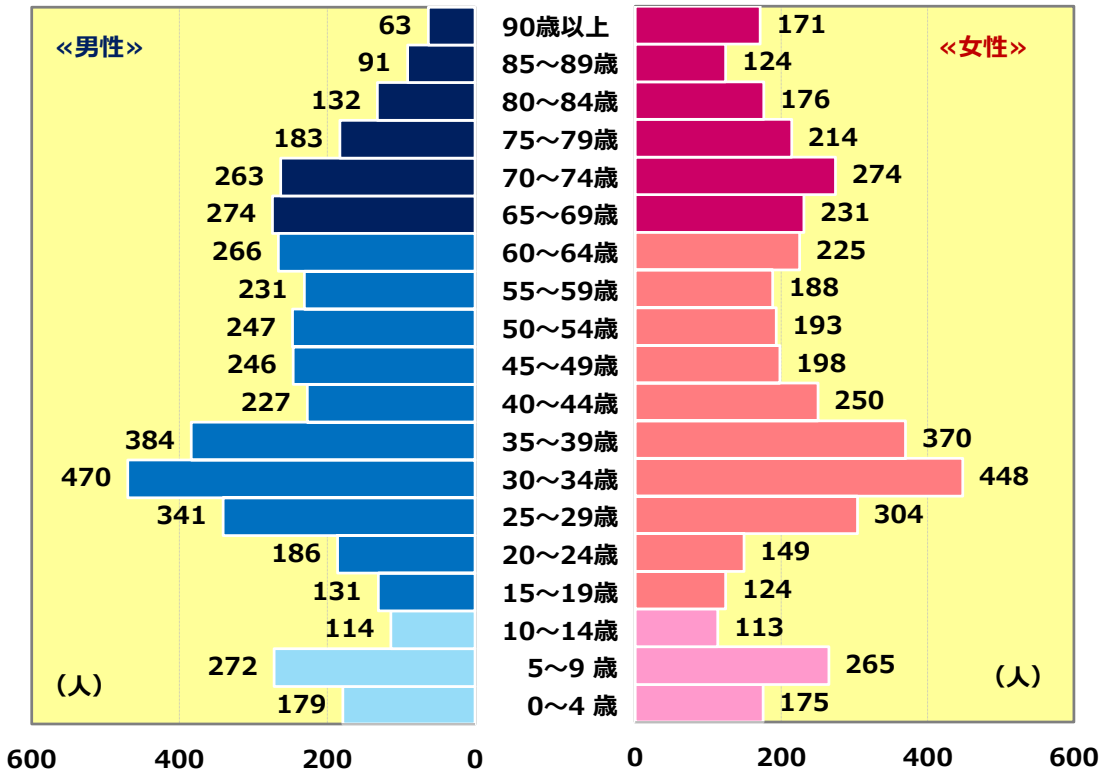
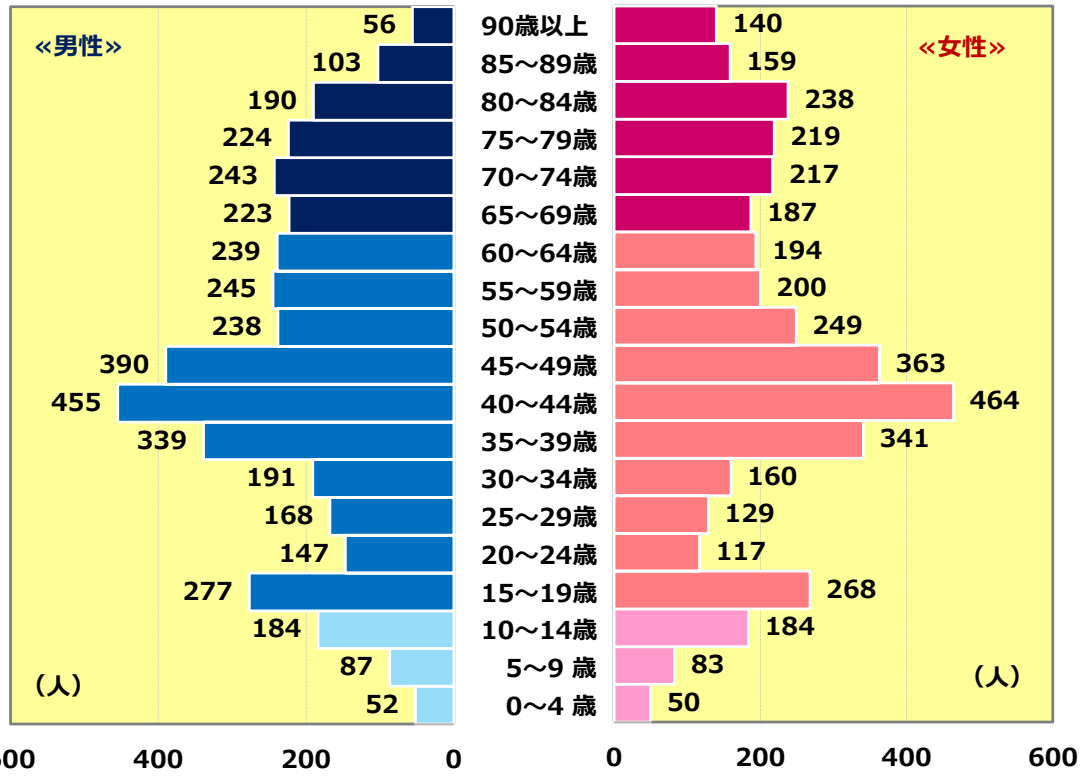


図　2055 年



（25）幡豆小学校区

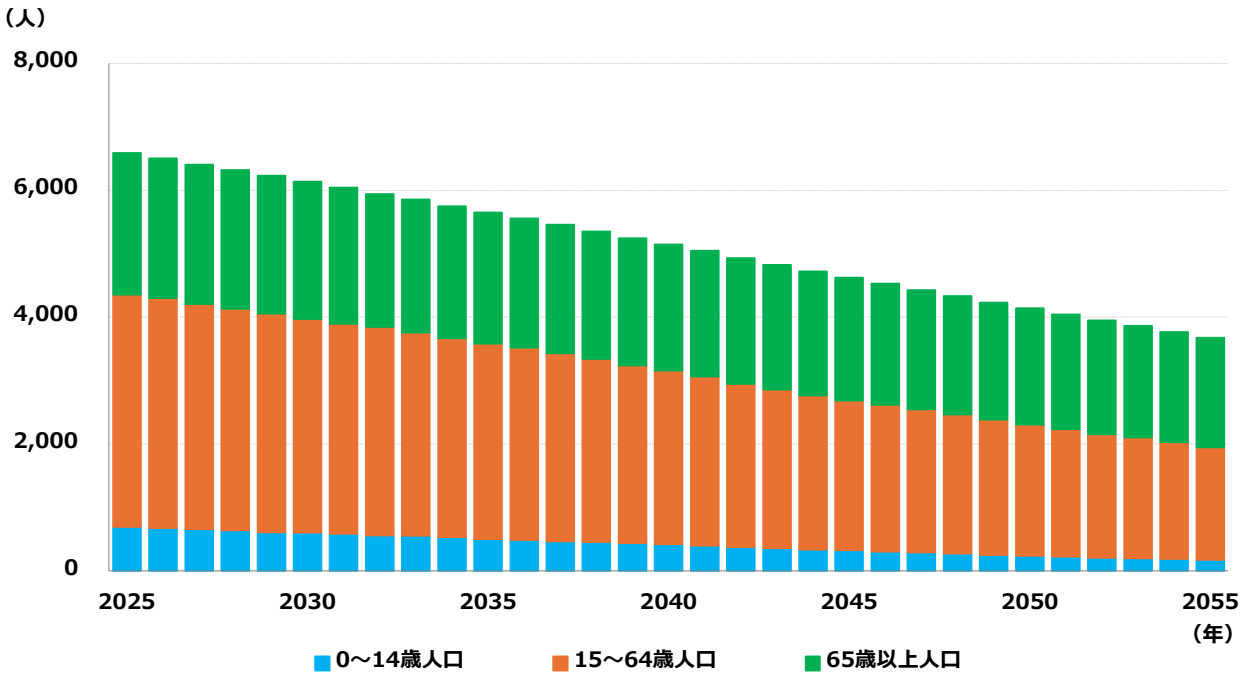
①年齢３区分別人口

幡豆小学校区の人口は 2025 年（令和７年）の 6,586 人から年々減少し、2055 年（令和 37 年）には 3,676 人と、2,910 人（44.2%）減少すると推計されます。

０～14 歳人口は 2025 年（令和７年）の 694 人（10.5%）から年々減少し、2055 年（令和 37 年）には 174 人（4.7%）になると推計されます。

15～64 歳人口は 2025 年（令和７年）の 3,661 人（55.6%）から年々減少し、2055 年（令和 37 年）には 1,775 人（48.3%）になると推計されます。

65 歳以上人口は 2025 年（令和７年）の 2,231 人（33.9%）から年々減少するものの、65 歳以上人口比率は年々上昇し、2055 年（令和 37 年）には 1,727 人（47.0%）になると推計されます。



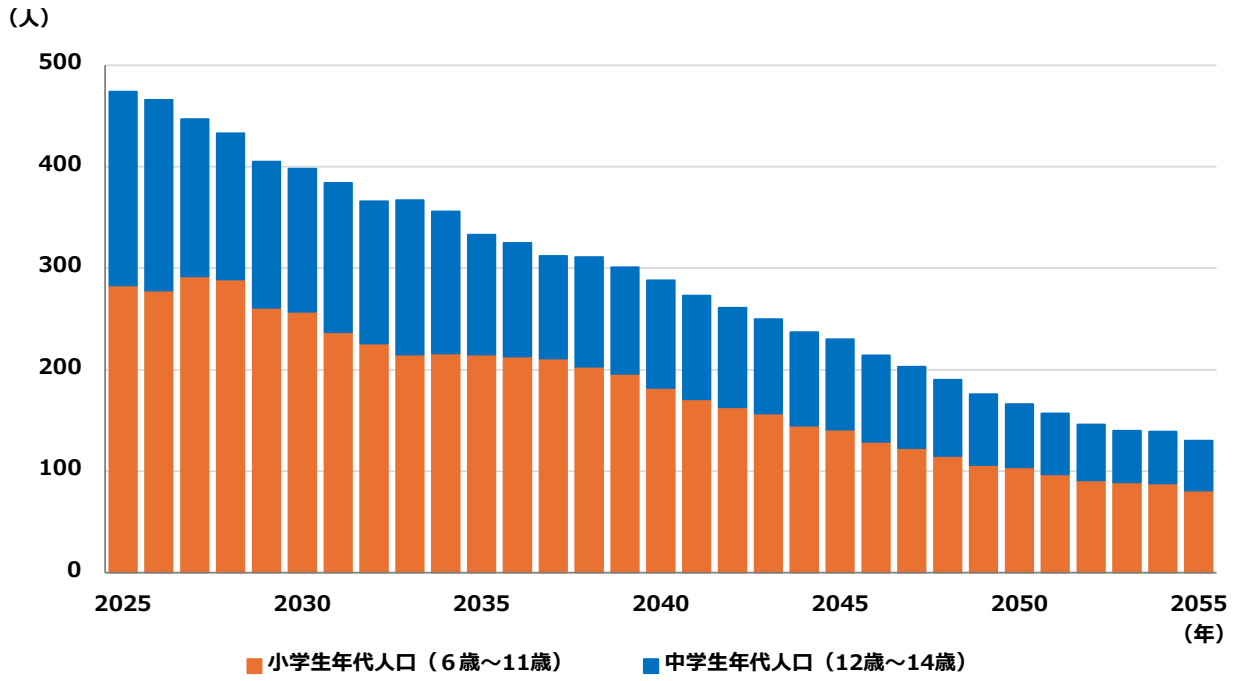
	2025 年	2030 年	2035 年	2040 年	2045 年	2050 年	2055 年
0～14 歳人口	694 (10.5%)	601 (9.8%)	501 (8.9%)	418 (8.1%)	325 (7.0%)	236 (5.7%)	174 (4.7%)
15～64 歳人口	3,661 (55.6%)	3,370 (54.9%)	3,079 (54.5%)	2,738 (53.2%)	2,360 (51.1%)	2,070 (50.0%)	1,775 (48.3%)
65 歳以上人口	2,231 (33.9%)	2,165 (35.3%)	2,070 (36.6%)	1,991 (38.7%)	1,936 (41.9%)	1,836 (44.3%)	1,727 (47.0%)
計	6,586	6,136	5,650	5,147	4,621	4,142	3,676

（25）幡豆小学校区

②小学生年代・中学生年代人口

小学生年代の人口は、2025 年（令和 7 年）と 2055 年（令和 37 年）を比較すると、283 人から 81 人へと、約 71.4%（202 人）減少すると推計されます。

中学生年代の人口は、2025 年（令和 7 年）と 2055 年（令和 37 年）を比較すると、191 人から 49 人へと、約 74.3%（142 人）減少すると推計されます。



	2025 年	2030 年	2035 年	2040 年	2045 年	2050 年	2055 年
小学生年代（6～11 歳）	283	257	215	182	141	104	81
中学生年代（12～14 歳）	191	141	118	106	89	62	49
計	474	398	333	288	230	166	130

（25）幡豆小学校区

③５歳階級別（2025 年→2055 年）

図　2025 年

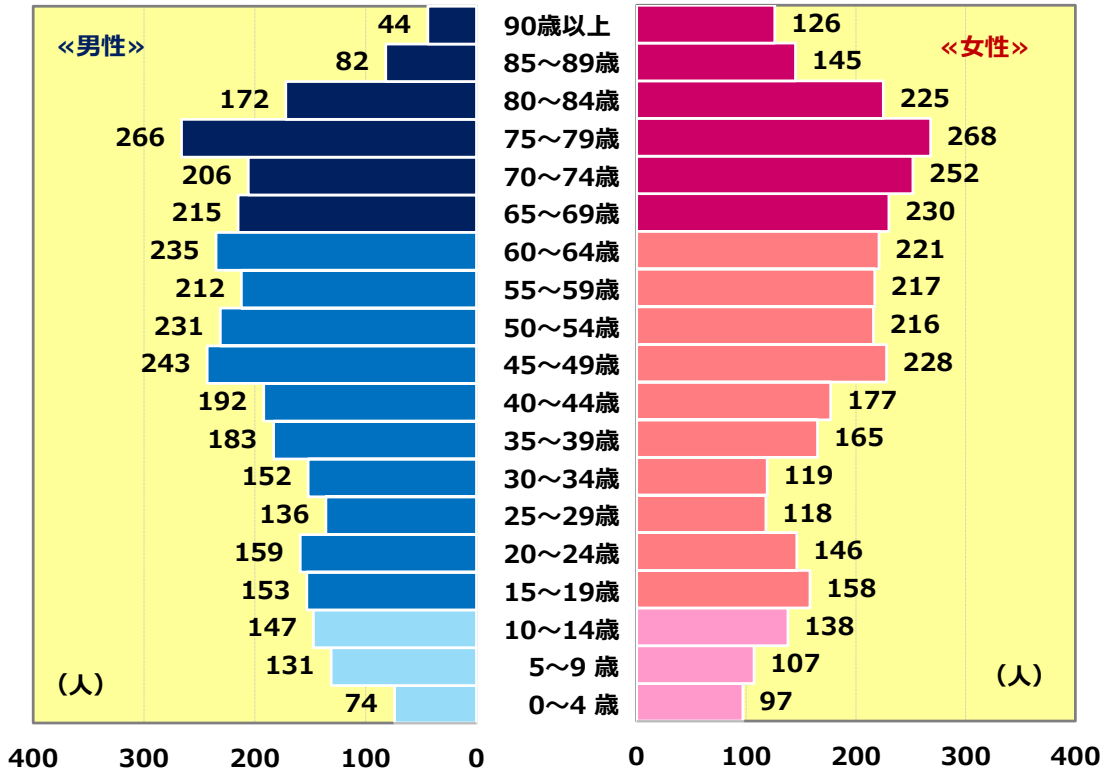


図　2035 年

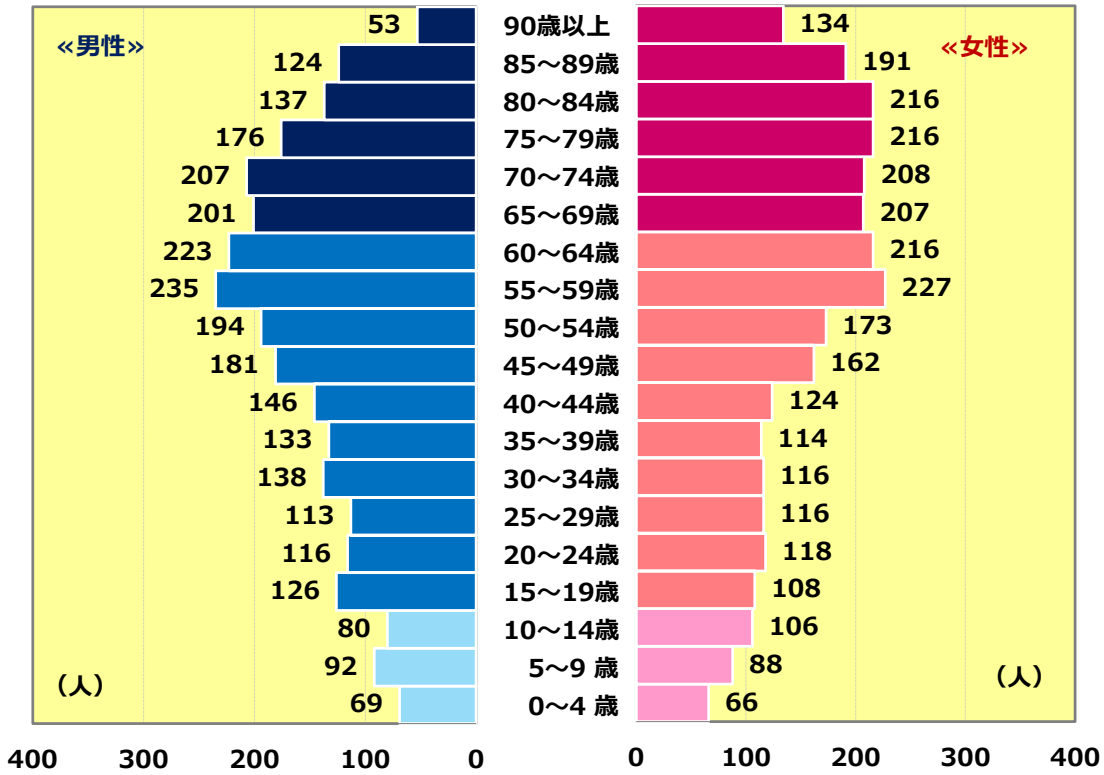


図　2045 年

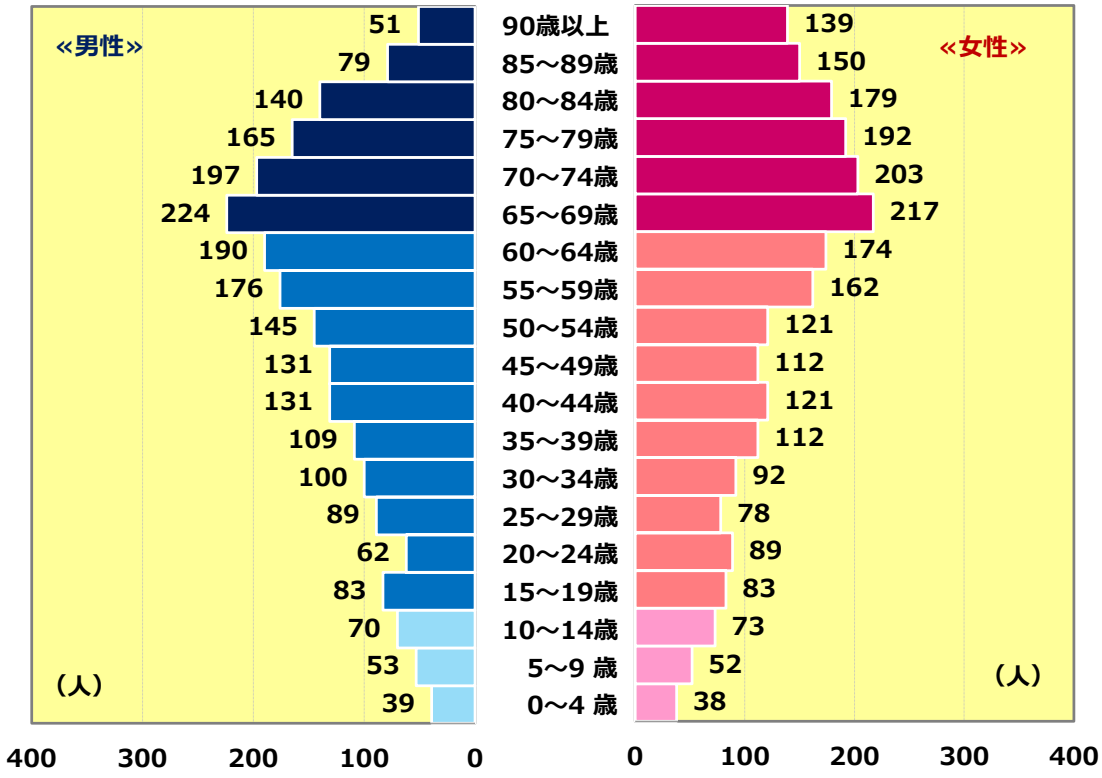
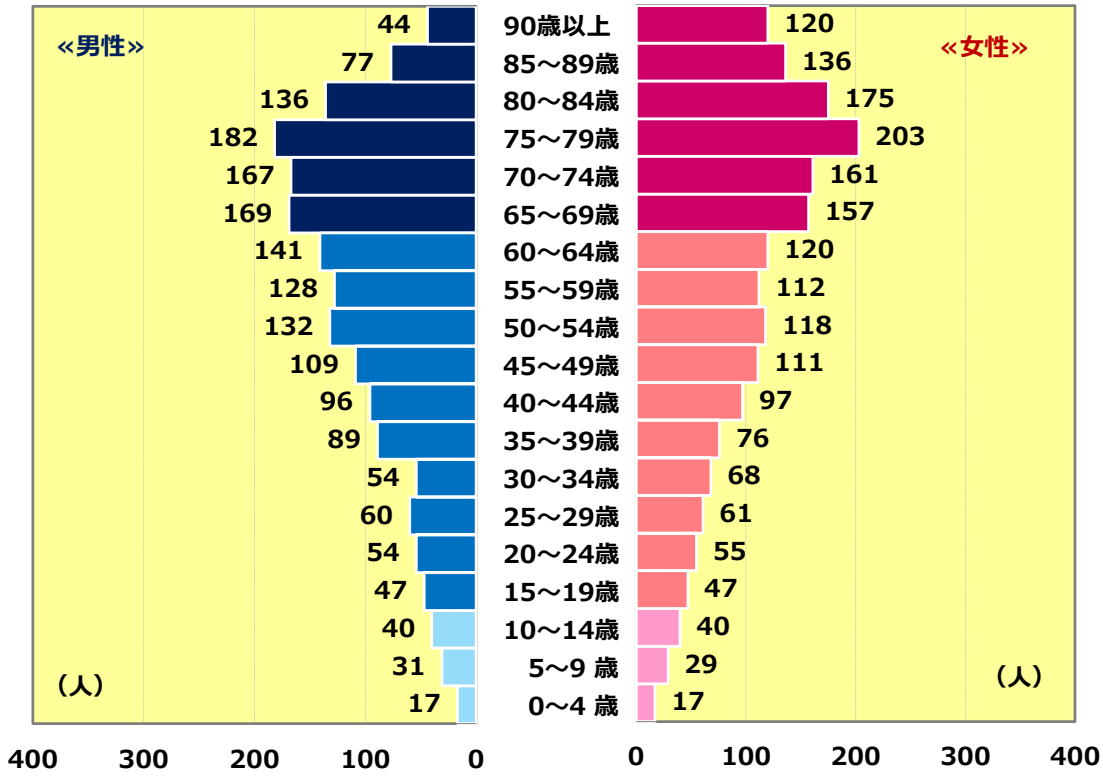


図　2055 年



（26）東幡豆小学校区

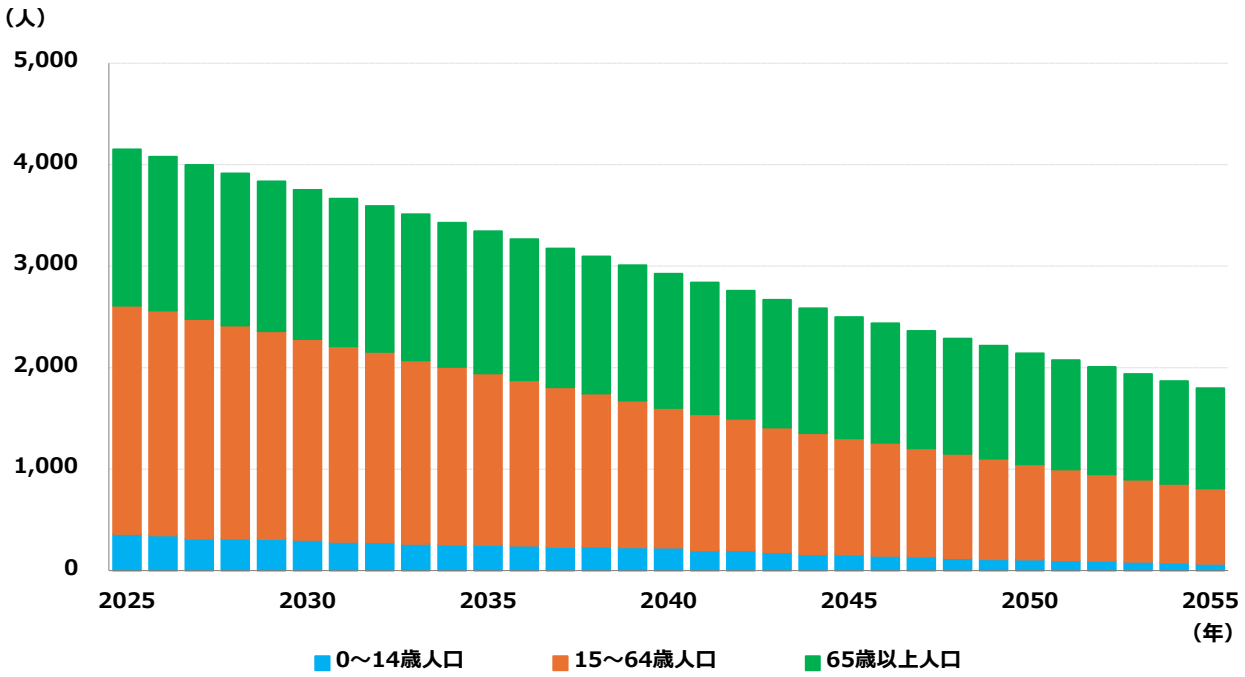
①年齢３区分別人口

東幡豆小学校区の人口は 2025 年（令和７年）の 4,152 人から年々減少し、2055 年（令和 37 年）には 1,799 人と、2,353 人（56.7%）減少すると推計されます。

０～14 歳人口は 2025 年（令和７年）の 360 人（8.7%）から年々減少し、2055 年（令和 37 年）には 67 人（3.7%）になると推計されます。

15～64 歳人口は 2025 年（令和７年）の 2,250 人（54.2%）から年々減少し、2055 年（令和 37 年）には 743 人（41.3%）になると推計されます。

65 歳以上人口は 2025 年（令和７年）の 1,542 人（37.1%）から年々減少するものの、65 歳以上人口比率は年々上昇し、2055 年（令和 37 年）には 989 人（55.0%）になると推計されます。



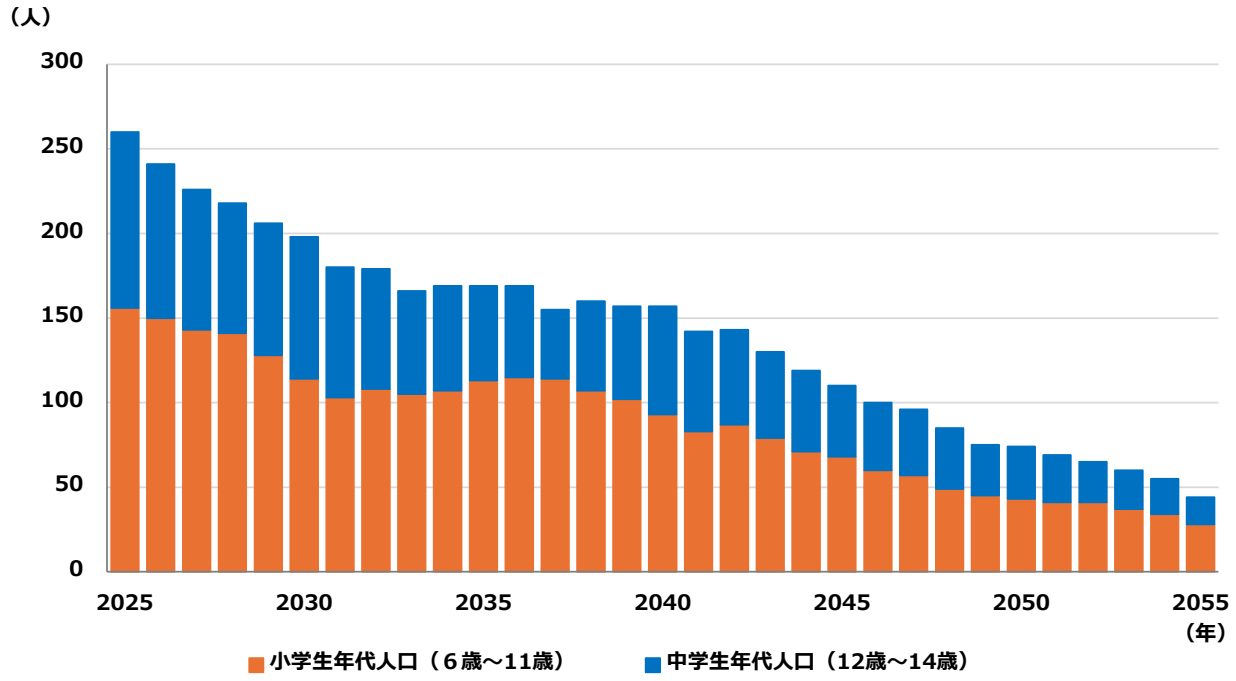
	2025 年	2030 年	2035 年	2040 年	2045 年	2050 年	2055 年
0～14 歳人口	360 (8.7%)	301 (8.0%)	250 (7.5%)	225 (7.7%)	156 (6.2%)	109 (5.1%)	67 (3.7%)
15～64 歳人口	2,250 (54.2%)	1,980 (52.8%)	1,693 (50.6%)	1,376 (47.0%)	1,147 (45.9%)	939 (43.9%)	743 (41.3%)
65 歳以上人口	1,542 (37.1%)	1,472 (39.2%)	1,401 (41.9%)	1,325 (45.3%)	1,196 (47.9%)	1,093 (51.1%)	989 (55.0%)
計	4,152	3,753	3,344	2,926	2,499	2,141	1,799

（26）東幡豆小学校区

②小学生年代・中学生年代人口

小学生年代の人口は、2025 年（令和 7 年）と 2055 年（令和 37 年）を比較すると、156 人から 28 人へと、約 82.1%（128 人）減少すると推計されます。

中学生年代の人口は、2025 年（令和 7 年）と 2055 年（令和 37 年）を比較すると、104 人から 16 人へと、約 84.6%（88 人）減少すると推計されます。



	2025 年	2030 年	2035 年	2040 年	2045 年	2050 年	2055 年
小学生年代（6～11 歳）	156	114	113	93	68	43	28
中学生年代（12～14 歳）	104	84	56	64	42	31	16
計	260	198	169	157	110	74	44

（26）東幡豆小学校区

③５歳階級別（2025 年→2055 年）

図　2025 年

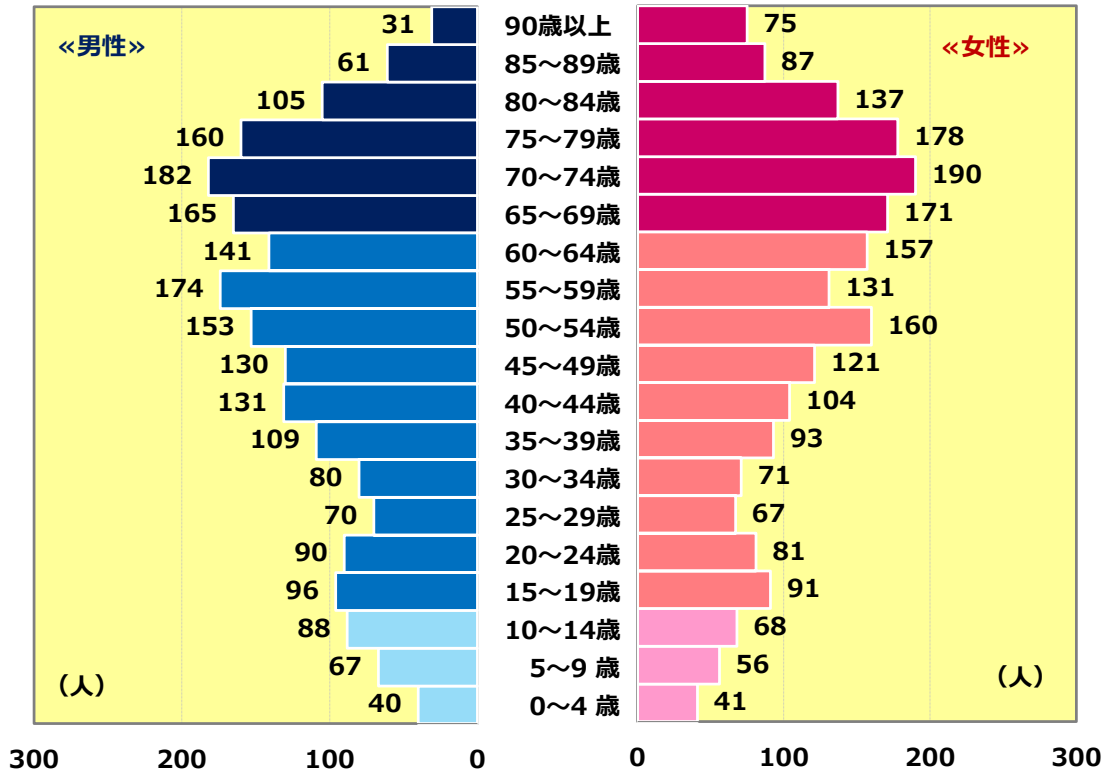


図　2035 年

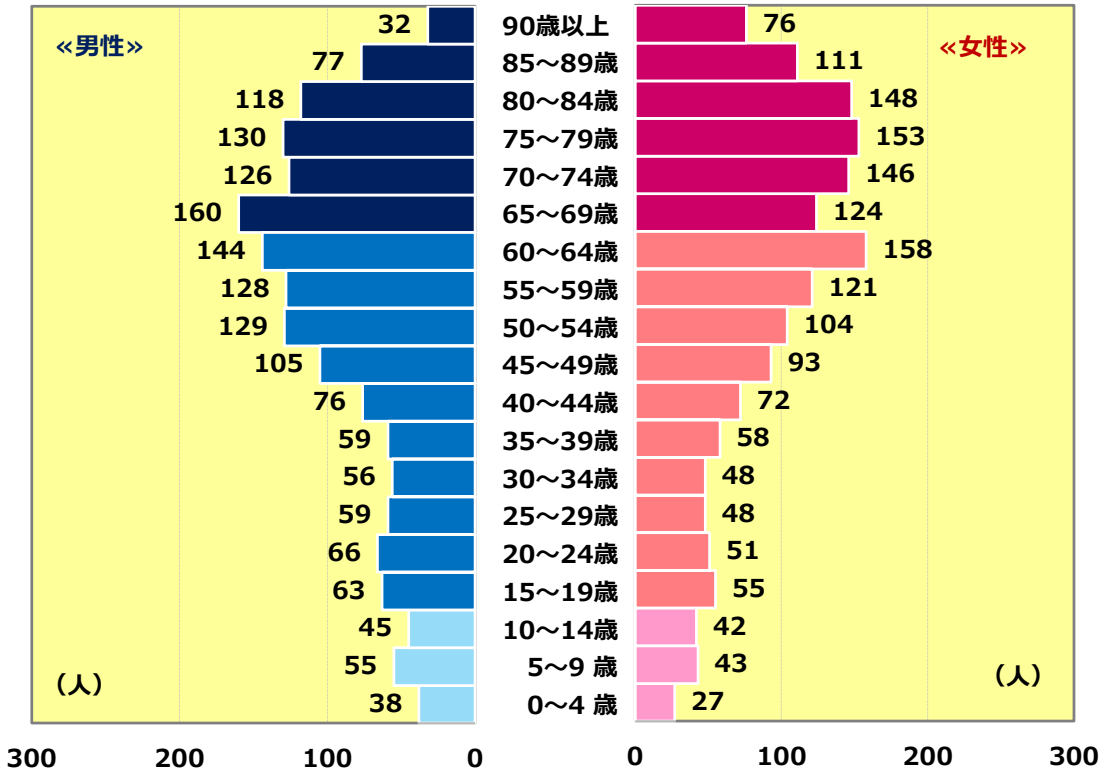


図　2045 年

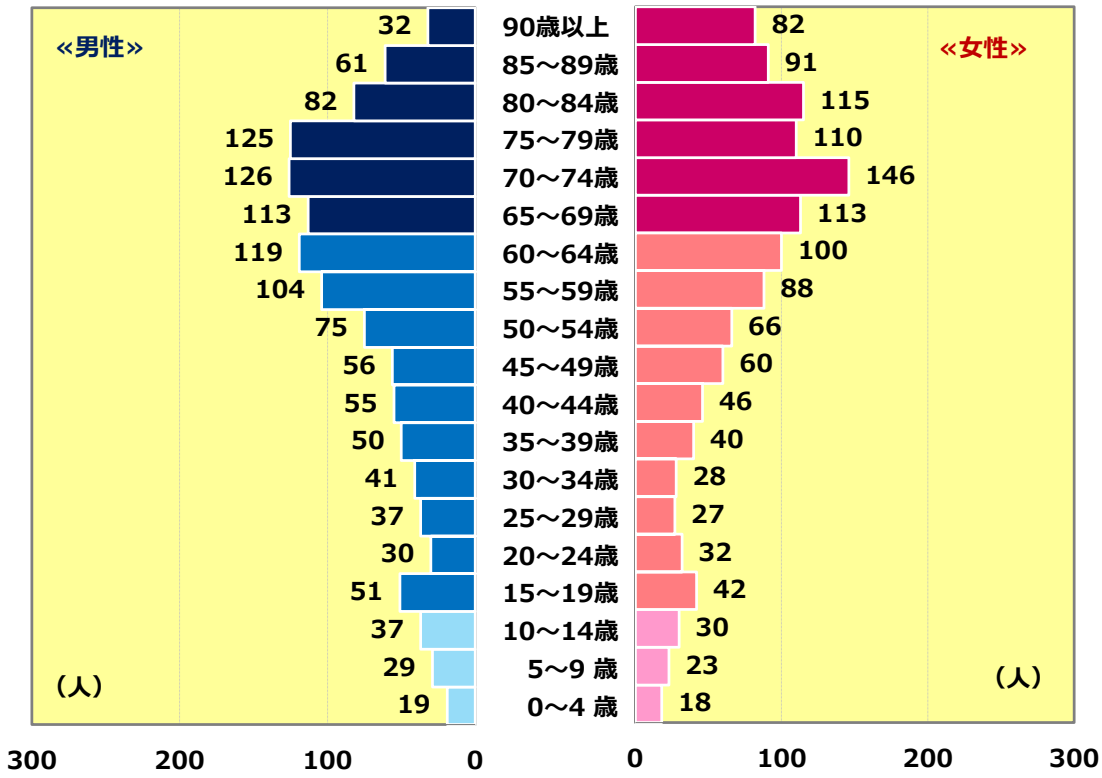
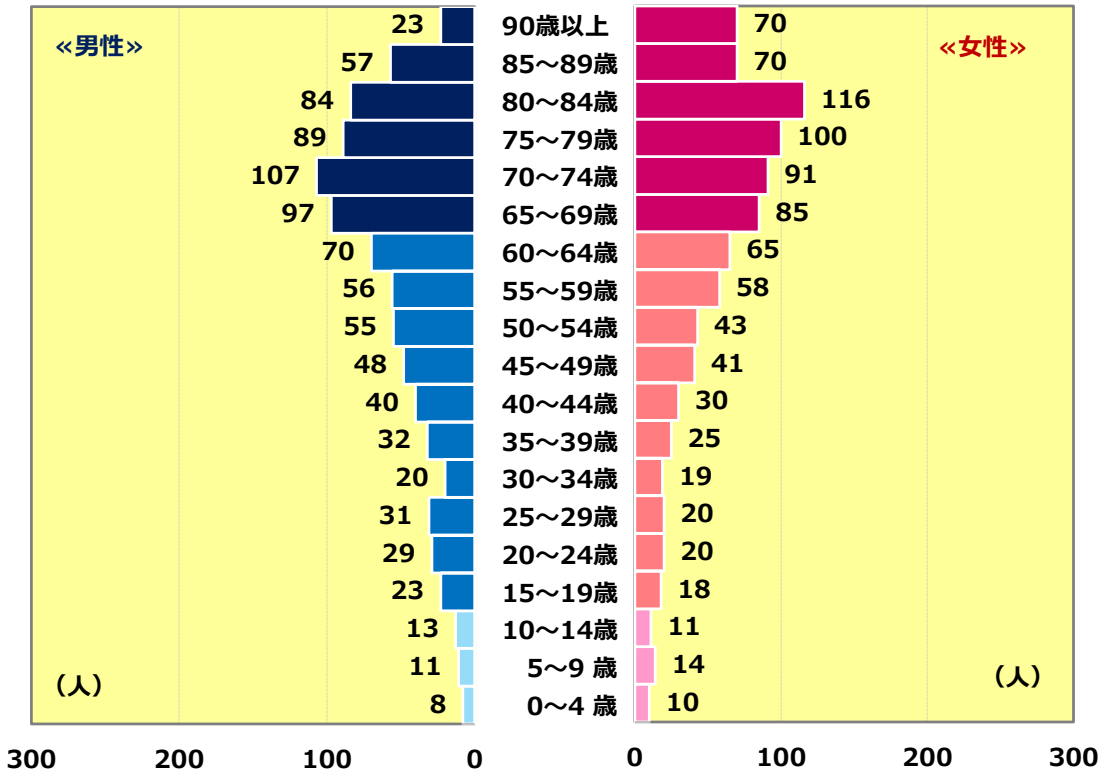


図　2055 年



第5章　将来課題の整理

①はじめに

本章では、推計から分かった「人口減少」と「人口構造の変化」が本市の将来に及ぼす影響を想定し、今後の方向性を示します。

なお、この将来人口推計は、将来を断定的に示す予測ではなく、これまでの人口動向が継続した場合を仮定した推計であり、社会情勢や施策の進展等によって変動する可能性があります。今後も定期的に更新し、各種計画の基礎資料として活用していくことを目的としています。

②将来人口推計からみえる人口構造の変化

これまでの人口動態の分析、および将来推計の結果を総括すると、本市が今後向き合う変化が明らかになりました。

一つ目は、これまでにない水準で進む少子高齢化です。2016 年（平成 28 年）に 1,362 人でピークを迎えた日本人市民の出生数は、2023 年（令和５年）には 1,000 人を割り込むなど、近年の減少ペースが極めて速く、少子化が急速に進行しています。この傾向が今後も続いた場合、年少人口（0～14 歳）は 2025 年（令和７年）の 22,060 人から 30 年後の 2055 年（令和 37 年）には 6,100 人へと激減し、総人口に占める割合は 13.0%から 4.8%へと極めて深刻な水準に低下すると推計されています。

さらに、少子化の進行は将来の社会を支える生産年齢人口（15～64 歳）の減少に直結しています。生産年齢人口は 2025 年（令和７年）の 102,963 人から 2055 年（令和 37 年）には 75,555 人へと大幅に減少する見込みです。一方、老年人口（65 歳以上）は 2025 年（令和７年）の 44,261 人から 2055 年（令和 37 年）には 46,637 人へと増加し、総人口の約３人に１人を占める水準に達すると推計されています。

二つ目は、総人口の減少とその加速度的な進行です。総人口は 2025 年（令和７年）の 169,284 人から、2055 年（令和 37 年）には 128,292 人へと、30 年間で 40,992 人（24.2%）も減少すると推計されています。この減少ペースは時間とともに加速しており、10 年ごとの減少率をみると、2025 年から 2035 年の最初の 10 年間は 5.0%、次の 10 年間では 8.8%、さらにその後の 10 年間には 12.1%と減少幅が拡大しています。この背景には少子高齢化の進展が深く関係しています。その要因として、子どもを産む年代の女性人口の減少の加速による出生数の減少により新たに増える人口のペースが鈍化する一方で、老年人口の増加が死亡数の増加につながり、減少する人口のペースが加速している点が挙げられます。そのため、2040 年代、2050 年代にかけて老年人口がさらに増加することで、減少速度はさらに加速しています。

③人口減少、人口構造の変化から生じる課題の整理

人口減少と人口構造の変化は、市内経済や市民生活に深刻な影響を及ぼすことが予測されます。以下では、人口減少および人口構造の変化による主な課題を整理します。

一つ目の課題は、生産年齢人口の減少による地域産業を支える労働力不足です。この影響で、地域産業では人手不足が加速し、事業やサービスの存続が危ぶまれるケースが増加する可能性があります。また、働きやすい職場環境の維持が難しくなることで人材流出につながり、さらなる労働力の減少を招く可能性があります。

二つ目の課題は市内経済の縮小です。人口減少により、市内での消費が縮小し、それに伴って市内経済が縮小する懸念があります。また、医療機関や公共交通といった生活インフラの維持が難しくなり、市民の生活利便性が低下する恐れがあります。こうした影響が重なることで、地域の魅力が失われ、さらなる人口減少を招く可能性があります。

三つ目の課題は、税収の減少と社会保障費の増加による財政の逼迫です。人口構造の変化に伴い、生産年齢人口が減少することで税収の減少が避けられない状況となります。一方、老年人口の増加により医療や介護費などの社会保障費が急増し、財政への負担がさらに深刻化する可能性があります。

④「魅力的な西尾市」と「持続的な西尾市」を実現するまちづくり

人口減少と人口構造の変化は、経済活動や行政サービス、財政など多方面に大きな影響を及ぼすものであり、今後のまちづくりの中で避けて通れない重要な課題です。

国は 2014 年（平成 26 年）、人口減少に歯止めをかけるという基本方針のもと地方創生を掲げ、本市をはじめ全国の自治体が魅力あるまちづくりを推進するために各種施策を展開してきました。しかし、地方創生から 10 年が経過した現在においても東京一極集中や地方の人口減少といった課題は、依然として解消されていません。

こうした状況を踏まえ、国は 2024 年（令和６年）に新たな方針として地方創生 2.0 を示しました。この方針では、当面避けることのできない人口減少を正面から受け止めたうえで、若者や女性に選ばれる地方、誰もが安心して暮らせて、一人一人が幸せを実現できる地方を目指すことが基本姿勢として示されています。

このような国の動きも踏まえ、本市が本格的な人口減少社会に対応していくためには、「魅力的な西尾市」と「持続的な西尾市」の二つの軸を併せ持った取組を進めていく必要があります。

「魅力的な西尾市」とは、子育て世代が安心して定住できる環境を整えることはもちろん、若者が本市での生活を選びたいと感じられる地域を目指すまちづくりです。妊娠・出産期からの切れ目ない支援や、多様な保育サービス等の充実などにより、生まれる前から乳幼児期までの支援の充実を図り、あわせて、子どもの居場所づくりをはじめとし

た学童期・思春期の学びを支え、継続した育ちの支援を図ることで、「子育てをするならやっぱり西尾市」と思っていただける取組を推進します。また、本市の豊かな自然や歴史を生かした日常的に楽しめる場所の魅力向上、一色産うなぎや抹茶をはじめとする特産品を生かした食の魅力向上、誰もが気軽にスポーツを楽しめる環境づくりなどを推進します。こうした取組を通じて、市民が日々の暮らしの中で西尾の良さを実感し、市外の方にも「住んでみたい」と感じてもらうことで、転出を抑制し、定住や移住の促進につなげ、人口減少の進行を可能な限り緩和しながら、地域の活力を維持していくものです。

「持続的な西尾市」とは、人口減少が進行する中においても、地域の暮らしや必要な機能が将来にわたり維持され、市民がそれぞれのライフステージに応じて安心して暮らし続けられるまちづくりです。そのため、人口規模の変化を踏まえた効率的な行政運営と多様なサービス提供体制の構築を進めるとともに、公共施設の再配置やＤＸの推進、官民連携などを通じて、限られた資源を有効に活用し、いつまでも住み続けられるまちの実現を目指していくものです。

将来人口推計から明らかになった課題に対し、「魅力的な西尾市」と「持続的な西尾市」という二つの軸を基本方針に据え、変化する人口構造を正確に把握しながら、各種計画の策定や具体的な施策を展開していくことが求められます。